

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第1集

余り田遺跡

一般国道10号宮崎西バイパス建設事業に伴う発掘調査報告書(2)

1997年3月

宮崎県埋蔵文化財センター

余り田遺跡

一般国道10号宮崎西バイパス建設事業に伴う発掘調査報告書(2)

1997年3月

宮崎県埋蔵文化財センター

序

日頃より埋蔵文化財の保護、活用につきましては深いご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

宮崎県教育委員会では、平成7年度に建設省より委託を受け、一般国道10号宮崎西バイパス建設事業に伴う余り田遺跡の発掘調査を実施しました。本書はその発掘調査報告書です。

調査の結果、丘陵先端部において五輪塔や板碑が群集した中世の墓地、丘陵下の低湿地で平安時代を中心とする多量の遺物が出土した流路状遺構などが検出されました。また、平安時代の土器の中には100点を越える墨書土器が含まれており、文字の意味や周辺遺跡との関連が注目されます。

本書が学術資料として、あるいは学校教育や生涯学習の資料として広く活用され、埋蔵文化財に対する認識や理解を深めるための一助となることを期待します。

最後になりましたが、調査にあたってご協力いただいた関係諸機関をはじめ、ご指導ご助言いただいた先生方、ならびに地元の皆様に対し心より厚く御礼申し上げます。

平成9年3月

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 藤 本 健 一

例 言

- 1 本書は、建設省九州建設局宮崎工事事務所が計画した一般国道10号宮崎西バイパス建設事業に伴う事前調査として宮崎県教育委員会が実施した余り田遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本書に使用した位置図は、国土地理院発行の5万分の1図『宮崎』をもとに作成した。
- 3 本書で報告する余り田遺跡は、Ⅰ区とⅡ区で大きく立地が異なり、本来2つの遺跡であるが、ここではともに余り田遺跡として扱っている。
- 4 現地調査における実測図作成および写真撮影は松林豊樹、東憲章がおこなった。ただし、空中写真撮影、Ⅰ区遺構分布図作成は以下の業者に委託した。
空中写真撮影 株式会社スカイサーベイ
Ⅰ区遺構分布図作成 アジア航測株式会社
- 5 Ⅱ区では自然科学分析を株式会社古環境研究所に委託して実施した。この結果は付編1として本書に掲載している。
- 6 遺物・図面の整理は宮崎県埋蔵文化財センターで行い、遺物の実測・拓本・計測などについては、松林のほか整理補助員の協力を得て行った。
- 7 遺物の写真は松林・東が撮影した。
- 8 本書に使用した方位は主に磁北である。
- 9 土器の色調については、農林水産省農林水産技術会議事務局ほか監修の「新版 標準土色帳」に準拠した。
- 10 Ⅱ区で出土している土師質土器の供膳具については、皿以外の高台をもつものはすべて塚として扱っている。また、高台をもたないもので口径が器高の4倍を超えるものを皿として扱った。
- 11 Ⅱ区で出土している墨書土器にみられる文字の判読については、宮崎産業経営大学法学部 柴田博子・群馬県教育委員会文化財保護課 高島英之氏から多くの御教示を頂いた。
- 12 Ⅱ区で出土した獣骨については、鹿児島大学農学部家畜解剖学教室に分析を依頼し、西中川駿・吉野文彦氏より玉稿を賜った。
- 13 本書の執筆は主として松林が行い、一部（第1章第1節）を永友良典が行った。編集は松林が行った。
- 14 余り田遺跡に関する遺物・実測図などは宮崎県埋蔵文化財センターに保管している。

本文目次

第1章 はじめに

第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の組織	1
第3節 遺跡の位置と歴史的環境	2
第4節 調査の概要	4

第2章 I区の調査

第1節 遺構	6
第2節 遺物	6
1 五輪塔	6
2 板碑	10
3 土器	14
4 古銭	14

第3章 II区の調査

第1節 遺構	23
1 流路状遺構	23
2 水田遺構	23
第2節 遺物	27
1 土師器および土師質土器	27
2 黒色土器	60
3 焼塩土器	60
4 須恵器	62
5 陶磁器	75
6 鉄器	75
7 木器	76
8 その他	76

第4章 まとめ

1 五輪塔群について	109
2 II区出土土器について	109
3 墨書土器について	111
4 流路状遺構について	112

挿 図 目 次

第1図	余り田遺跡の位置と周辺の遺跡…… 3	第35図	Ⅱ区出土遺物実測図(23)……58
第2図	余り田遺跡周辺地形図…… 5	第36図	Ⅱ区出土遺物実測図(24)……59
第3図	Ⅰ区遺構分布図…… 7～8	第37図	Ⅱ区出土遺物実測図(25)……60
第4図	火輪法量分布図……12	第38図	Ⅱ区出土遺物実測図(26)……61
第5図	水輪法量分布図……13	第39図	Ⅱ区出土遺物実測図(27)……62
第6図	地輪法量分布図……13	第40図	Ⅱ区出土遺物実測図(28)……63
第7図	Ⅰ区出土土器実測図……15	第41図	Ⅱ区出土遺物実測図(29)……66
第8図	Ⅰ区出土古銭拓影……15	第42図	Ⅱ区出土遺物実測図(30)……67
第9図	石塔・板碑各部名称および法量表凡例 …16	第43図	Ⅱ区出土遺物実測図(31)……68
第10図	Ⅱ区平面図……24	第44図	Ⅱ区出土遺物実測図(32)……69
第11図	流路状遺構土層断面図……25	第45図	Ⅱ区出土遺物実測図(33)……70
第12図	Ⅱ区東側土層断面図……26	第46図	Ⅱ区出土遺物実測図(34)……71
第13図	Ⅱ区出土遺物実測図(1)……28	第47図	Ⅱ区出土遺物実測図(35)……72
第14図	Ⅱ区出土遺物実測図(2)……29	第48図	Ⅱ区出土遺物実測図(36)……73
第15図	Ⅱ区出土遺物実測図(3)……30	第49図	Ⅱ区出土遺物実測図(37)……74
第16図	Ⅱ区出土遺物実測図(4)……31	第50図	Ⅱ区出土遺物実測図(38)……75
第17図	Ⅱ区出土遺物実測図(5)……33	第51図	Ⅱ区出土遺物実測図(39)……76
第18図	Ⅱ区出土遺物実測図(6)……34	第52図	Ⅱ区出土遺物実測図(40)……77
第19図	Ⅱ区出土遺物実測図(7)……35	第53図	Ⅱ区出土遺物実測図(41)……78
第20図	Ⅱ区出土遺物実測図(8)……38	第54図	土師質土器(坏・埴・皿)法量分布図 110
第21図	Ⅱ区出土遺物実測図(9)……39		
第22図	Ⅱ区出土遺物実測図(10)……40		
第23図	Ⅱ区出土遺物実測図(11)……41		
第24図	Ⅱ区出土遺物実測図(12)……42		
第25図	Ⅱ区出土遺物実測図(13)……44		
第26図	Ⅱ区出土遺物実測図(14)……45		
第27図	Ⅱ区出土遺物実測図(15)……48		
第28図	Ⅱ区出土遺物実測図(16)……50		
第29図	Ⅱ区出土遺物実測図(17)……51		
第30図	Ⅱ区出土遺物実測図(18)……53		
第31図	Ⅱ区出土遺物実測図(19)……53		
第32図	Ⅱ区出土遺物実測図(20)……54		
第33図	Ⅱ区出土遺物実測図(21)……55		
第34図	Ⅱ区出土遺物実測図(22)……57		

表 目 次

第 1 表	I 区出土土器觀察表	15
第 2 表	I 区出土古錢計測表	15
第 3 表	空風輪法量表(1)	17
第 4 表	空風輪法量表(2)	18
第 5 表	火輪法量表	19
第 6 表	水輪法量表(1)	20
第 7 表	水輪法量表(2)	21
第 8 表	地輪法量表	22
第 9 表	II 区出土土器觀察表(1)	78
第 10 表	II 区出土土器觀察表(2)	79
第 11 表	II 区出土土器觀察表(3)	80
第 12 表	II 区出土土器觀察表(4)	81
第 13 表	II 区出土土器觀察表(5)	82
第 14 表	II 区出土土器觀察表(6)	83
第 15 表	II 区出土土器觀察表(7)	84
第 16 表	II 区出土土器觀察表(8)	85
第 17 表	II 区出土土器觀察表(9)	86
第 18 表	II 区出土土器觀察表(10)	87
第 19 表	II 区出土土器觀察表(11)	88
第 20 表	II 区出土土器觀察表(12)	89
第 21 表	II 区出土土器觀察表(13)	90
第 22 表	II 区出土土器觀察表(14)	91
第 23 表	II 区出土土器觀察表(15)	92
第 24 表	II 区出土土器觀察表(16)	93
第 25 表	II 区出土土器觀察表(17)	94
第 26 表	II 区出土土器觀察表(18)	95
第 27 表	II 区出土土器觀察表(19)	96
第 28 表	II 区出土土器觀察表(20)	97
第 29 表	II 区出土土器觀察表(21)	98
第 30 表	II 区出土土器觀察表(22)	99
第 31 表	II 区出土土器觀察表(23)	100
第 32 表	II 区出土土器觀察表(24)	101

図 版 目 次

図版 1	余り田遺跡 I 区遠景……………	107	図版36	余り田遺跡 II 区出土遺物29……………	142
図版 2	余り田遺跡 I 区検出状況及び現況……………	108	図版37	余り田遺跡 II 区出土墨書土器 1 ……	143
図版 3	余り田遺跡 I 区検出石造物 1 ……	109	図版38	余り田遺跡 II 区出土墨書土器 2 ……	144
図版 4	余り田遺跡 I 区検出石造物 2 ……	110	図版39	余り田遺跡 II 区出土墨書土器 3 ……	145
図版 5	余り田遺跡 I 区検出石造物 3 ……	111	図版40	余り田遺跡 II 区出土墨書土器 4 ……	146
図版 6	余り田遺跡 I 区検出石造物 4 ……	112	図版41	余り田遺跡 II 区出土墨書土器 5 ……	147
図版 7	余り田遺跡 II 区遠景及び調査状況……………	113	図版42	余り田遺跡 II 区出土墨書土器 6 ……	148
図版 8	余り田遺跡 II 区出土遺物 1 ……	114	図版43	余り田遺跡 II 区出土線刻土器……………	149
図版 9	余り田遺跡 II 区出土遺物 2 ……	115	図版44	余り田遺跡 II 区出土線刻土器、 I 区出土土器、古銭、II 区流路 出土植物遺体……………	150
図版10	余り田遺跡 II 区出土遺物 3 ……	116			
図版11	余り田遺跡 II 区出土遺物 4 ……	117			
図版12	余り田遺跡 II 区出土遺物 5 ……	118			
図版13	余り田遺跡 II 区出土遺物 6 ……	119			
図版14	余り田遺跡 II 区出土遺物 7 ……	120			
図版15	余り田遺跡 II 区出土遺物 8 ……	121			
図版16	余り田遺跡 II 区出土遺物 9 ……	122			
図版17	余り田遺跡 II 区出土遺物10……………	123			
図版18	余り田遺跡 II 区出土遺物11……………	124			
図版19	余り田遺跡 II 区出土遺物12……………	125			
図版20	余り田遺跡 II 区出土遺物13……………	126			
図版21	余り田遺跡 II 区出土遺物14……………	127			
図版22	余り田遺跡 II 区出土遺物15……………	128			
図版23	余り田遺跡 II 区出土遺物16……………	129			
図版24	余り田遺跡 II 区出土遺物17……………	130			
図版25	余り田遺跡 II 区出土遺物18……………	131			
図版26	余り田遺跡 II 区出土遺物19……………	132			
図版27	余り田遺跡 II 区出土遺物20……………	133			
図版28	余り田遺跡 II 区出土遺物21……………	134			
図版29	余り田遺跡 II 区出土遺物22……………	135			
図版30	余り田遺跡 II 区出土遺物23……………	136			
図版31	余り田遺跡 II 区出土遺物24……………	137			
図版32	余り田遺跡 II 区出土遺物25……………	138			
図版33	余り田遺跡 II 区出土遺物26……………	139			
図版34	余り田遺跡 II 区出土遺物27……………	140			
図版35	余り田遺跡 II 区出土遺物28……………	141			

第1章 はじめに

第1節 調査に至る経緯

建設省では昭和40年代から相次ぐ大規模団地建設で急速に発展していった宮崎市西部の大塚地区や生目地区と市街地を結ぶ一般国道10号線の交通渋滞を緩和するために、昭和49年度から宮崎西バイパスの建設事業を開始した。同事業は大淀川に架かる宮崎大橋の増設をはじめ大淀川左岸の宮崎市出来島から同市西ノ原までの国道拡幅、西ノ原から同市富吉までのバイパス建設からなる延長5.3kmに及ぶ工事計画であった。

宮崎西バイパスの建設工事予定地区内には県指定史跡大淀1号古墳及び浮田地区所在の石塔群が含まれていたため、県教育委員会では建設省九州建設局宮崎工事事務所と協議をおこない、昭和63年5月に宮崎市西ノ原の道路拡幅部にかかる昭和初期の国道拡張の際に削平を受けていた大淀1号古墳の指定地外の一部について発掘調査をおこなった。その後、平成7年度に宮崎市大字浮田字余り田において石塔群が立地する丘陵下の水田地の試掘調査を実施した。数カ所についてのトレンチ調査の結果、中世以前とみられる土器などの遺物が確認されたため、遺跡範囲を丘陵下の水田地まで広げて同年6月26日から平成8年2月19日まで発掘調査をおこなった。

第2節 調査の組織

調査の組織は以下のとおりである。

調査依頼者 建設省九州建設局宮崎工事事務所

平成7年度（現地調査）

調査主体 宮崎県教育委員会

教育長	田原 直廣
教育次長	八木 洋
	中田 忠
文化課長	江崎 富治
同課長補佐	田中 雅文
同庶務係長	高山 恵元
事務担当者	宮越 尊
同主査	横山 幸子
同埋蔵文化財第一係長	面高 哲郎
同主査	永友 良典
同主幹兼埋蔵文化財第二係長	岩永 哲夫
同主事	吉本 正典
同主事	東 憲章
調査担当者	松林 豊樹

平成8年度（整理調査および報告書作成）

調査主体 宮崎県埋蔵文化財センター

所長	藤本 健一	
副所長兼調査第一係長	岩永 哲夫	
庶務係長	三石 泰博	
調査第二係長	北郷 泰道	
事務担当者	庶務係主任主事	吉田 秀子
同主任主事		磯貝 政伸
調査第二係主査		谷口 武範
同主事		重山 郁子
調査担当者	同主事	松林 豊樹

第3節 遺跡の位置と歴史的環境

余り田遺跡は宮崎市大字浮田字余り田に所在する。

宮崎市の中央部には、大淀川が東西に大きく蛇行しながら流れており、本遺跡はその支流である大谷川右岸に位置する。

今回調査を実施した遺跡は余り田遺跡と呼称しているがその立地や性格から本来は2つの遺跡に別れる。ひとつはⅠ区とした標高25m内外の北向きに延びる細い丘陵先端部に立地する中世の石塔群で、もうひとつはⅡ区とした標高8m内外の低湿地に立地する古代を中心とした遺跡である。

ここでは、余り田遺跡の中心をなす古代、中世頃の周辺の遺跡を紹介し、その概要を述べる。

古代

宮崎県においてこれまでに調査されている古代の遺跡は少なく、近年ようやくその例を増やしつつある。蕨野遺跡では9世紀後半頃の土師質土器の焼成遺構5基と土坑6基を検出している。出土遺物はそのほとんどが土師質土器であり、その形態は本遺跡出土のものに近い。

八見遺跡では、石鍋、湖州鏡、白磁小壺などの豊富な副葬品を伴う11世紀後半から12世紀前半頃の土壙墓が検出されており、近接する学頭遺跡からも古代から中世にかけての遺物が出土している。

上の原・白ヶ野遺跡群でも平安時代の遺構・遺物が出土されている。中でも白ヶ野第3遺跡B地区では10世紀頃の竪穴住居跡が3軒まとまって検出されており、その周辺で「□丸」の墨書が施された土師質土器の坏が出土している。

中世以降

余り田遺跡周辺は中世期において伊東氏と島津氏による勢力争いの舞台となった地で、多くの中世山城や五輪塔・板碑を配する墓地が存在している。

妙圓寺石塔群は余り田遺跡Ⅰ区の石塔群が立地する丘陵の高蟬城側に位置する。ここは現在本勝寺という日蓮宗本能寺派の寺院になっており、その寺域内に板碑463基、五輪塔約650基を数える。紀年銘をもつものも多く、15世紀前半にひとつの造営のピークがみられる。

小村薬師堂では寛喜四年(1232年)の銘を持つ五輪塔ほか六面石幢や層塔などが106基確認されている。余り田遺跡周辺の石塔群の中では最も古いものを含むが、かなり時期幅がみられる。

末香寺跡では天文十一年(1542年)の銘をもつものを含む五輪塔65基、天正九年(1581年)の銘をもつものを含む板碑35基が確認されている。

中福良墓地は「日向ノ金石文」において天正十年銘のものを含む板碑4基が収録されているが、現在はその所在を確認できない。

周辺の中世山城についてはこれまでに調査されたところはないためその詳細は不明である。また、今年度東九州縦貫自動車道建設事業に伴い、本城跡が調査されている。



- | | | | | | |
|-------------|----------|----------|---------------|---------------|----------|
| 1 瓜生野横穴墓群 | 2 柏田貝塚 | 3 池内横穴墓群 | 4 下北方古墳群 | 5 生目古墳群 | 6 跡江貝塚 |
| 7 平岩墓地 | 8 竹ノ下遺跡 | 9 多宝寺遺跡 | 10 権現昔遺跡 | 11 大淀古墳群 | 12 生目村古墳 |
| 13 石塚城 | 14 余り田遺跡 | 15 高蟬城 | 16 妙圓寺石塔群 | 17 内宮田遺跡 | 18 長嶺城 |
| 19 圍城跡 | 20 宮ノ城跡 | 21 末香寺跡 | 22 中岡遺跡 | 23 内野々第1・第2遺跡 | |
| 24 小村薬師堂 | 25 中福良墓地 | 26 本城跡 | 27 上ノ原、白ヶ野遺跡群 | 28 椎屋形第1・第2遺跡 | |
| 29 宮水流・八兒遺跡 | 30 学頭遺跡 | 31 蕨野遺跡 | | | |

第1図 余り田遺跡の位置と周辺の遺跡

第4節 調査の概要

前節で述べたように、今回の報告書で扱う余り田遺跡は2つの遺跡からなる。この2遺跡について、調査区西側の丘陵先端部に位置する中世墓地をⅠ区、その東側谷部分の低湿地をⅡ区として調査を進めた。

Ⅰ区の調査

Ⅰ区は調査当時余り田観音と呼ばれるお堂とともに地主の方によって供養されており、五輪塔や板碑が整然と立ち並んでいた。地主の方のお話によれば近くに散在していた五輪塔も運んできて並べたとのことであり、調査時点での状況は墓地が形成された頃とは配置などが異なっていることが予想された。

これらの五輪塔群は調査後に隣接地に移転されることが決まっており、時間的制約や諸般の事情から、個別の実測などはおこなわなかった。

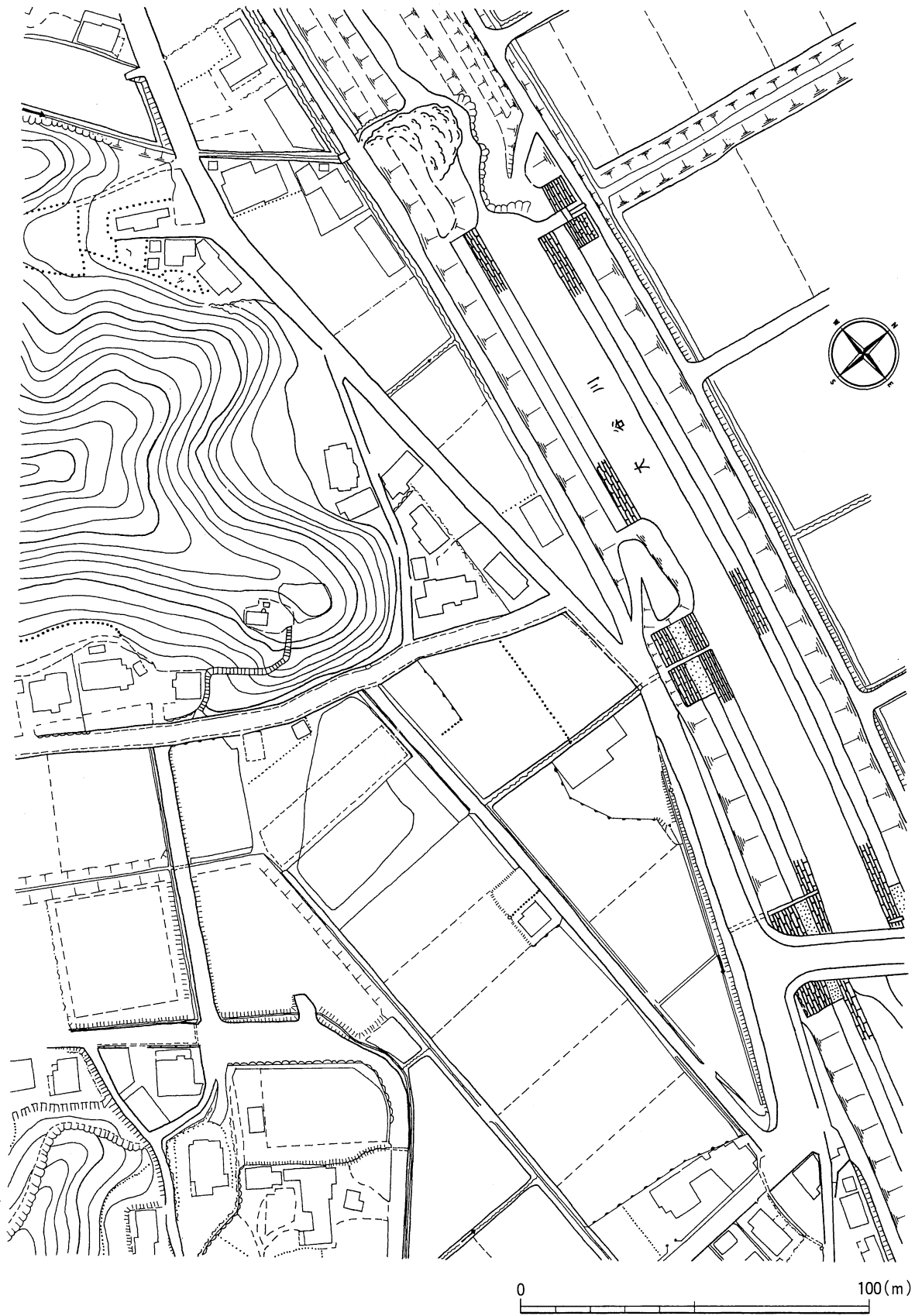
また、五輪塔直下では墓壙などの遺構や遺物はみられなかったが、周辺の表土内から数点の土師質土器と古銭が出土している。

Ⅱ区の調査

Ⅱ区はⅠ区の丘陵と東側の高蟬城跡が立地する丘陵に挟まれた谷部分にあたり、北側50mには大谷川が流れている。このⅡ区では、廃土置き場の都合から調査区を東西に2分割し、西側から調査をおこなった。また、Ⅱ区はその地形から水田跡の可能性が考えられたため、表土剥ぎ以前に植物珪酸体（プラント・オパール）分析を実施した。その結果、東側において稲のプラント・オパールを豊富に含んだ層（第12図第3層）の存在が確認されたため、その上10cm程まで機械力によって除去し、その後人力によって掘り下げをおこなった。

西側では表土およびその直下の近代の水田耕作土、水田基盤層を機械力で除去し、その下の明青灰色シルト質土まで掘り下げ精査をおこなったが、水田にともなうような遺構は確認されなかった。しかし、このシルト質土直下の明青灰色粘質土上面では、中央部に大谷川へ向かって緩やかに落ちていく溝状の遺構がみられた。この遺構では、その埋土の最下層においておびただしい量の遺物が出土した。これらの遺物には、弥生時代後期から古代のものまでかなりの時期幅がみられるが、その大部分は古代（平安時代）の土器である。この古代の土器には総数150点にのぼる墨書土器が含まれており、この遺構の性格を考える上で非常に重要である。また、遺物の中には少量の鉄器や木器、獣骨などもみられた。

東側も西側と同様に掘り下げ精査をおこなった。ここでは、前述のとおり一般的に水田跡と判定される量を越える多くのプラント・オパールが検出される層（第12図第3層）の存在が確認されたため、水田跡の存在が予想された。しかし、その層上面における平面的観察、調査区外周や調査区内トレンチの壁面から畦畔などの水田関連遺構を検出することはできなかった。検出された遺構としては、南側においてわずかに窪んだ小さな溝状の落ち込みだけである。また、Ⅱ区東側において遺物は1点も出土していない。



第2図 余り田遺跡周辺地形図

第2章 I区の調査

第1節 遺構

I区は前章で述べたとおり標高25m内外の北側に向かって延びる狭い丘陵先端部に当たる。調査以前の段階でここに五輪塔約35基、板碑7基が立ち並んでいた。五輪塔の配置状況はその地形から、東側のやや広い平坦面にほぼ6列の東西方向に並んだ一群（以下、下段群と呼ぶ）と、一段高く狭い平坦面上の南北方向にほぼ2列に並んだ一群（以下、上段群と呼ぶ）に大きく分かれる。

上段群、下段群ともにその五輪塔の形態から地輪、水輪、火輪、空風輪の組み合わせが不自然なものが多い点、散乱した状態であったものを集めて並べたというこの墓地を管理されている地主の方のお話から、墓地が形成時点とはかなり状況が変わっていることが考えられた。また、開発によって消失する部分以外にも数基の五輪塔、板碑がみられた。

第2節 遺物

1 五輪塔

五輪塔は正しく組み合わせられているものの特定がむずかしいため、空風輪、火輪、水輪、地輪ごとに分類をおこなうこととする。

空風輪

空風輪は調査区内で52点確認された。空輪部の横からみた形状により、以下のように分類する。

空風輪Ⅰ類 空輪部が円筒形で長いもの

- I-1 頂部が円頭形で風輪部との境の溝が深いもの（52、55、64、67、73）
- I-2 頂部が円頭形で風輪部との境の溝が浅く幅広いもの（23、32、43、61）
- I-3 頂部が円頭形で空輪の下部を削って風輪部との境をつくるもの（1、3、18、19、41、60、69、82、83、86）
- I-4 頂部が圭頭形のもの（21、36、46）

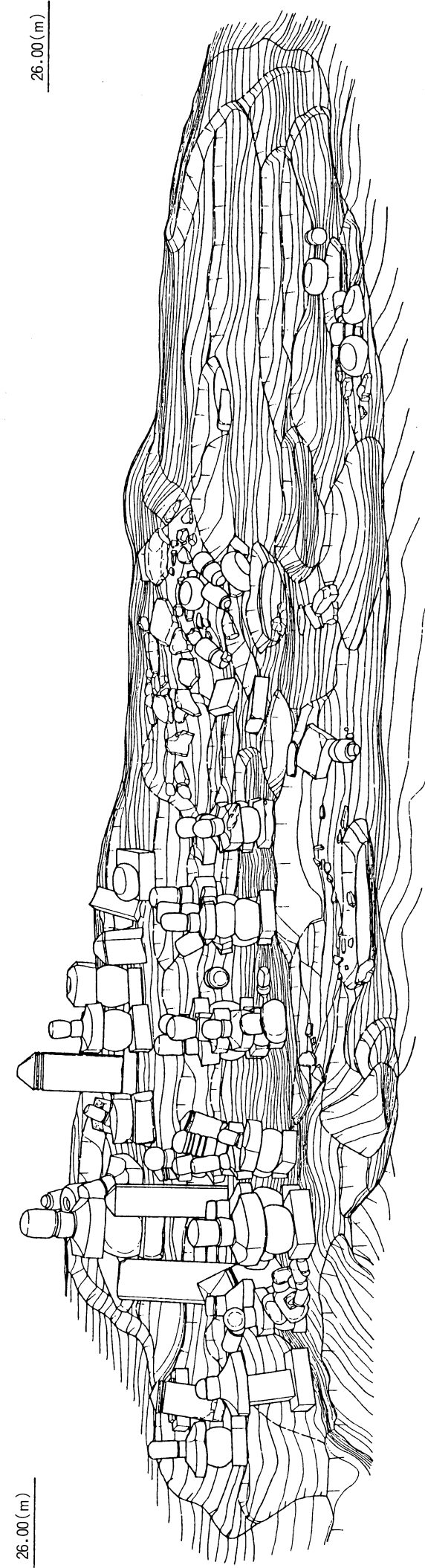
空風輪Ⅱ類 空輪部が円筒形でやや短いもの

- Ⅱ-1 空輪部下位のケズリが強く、稜がみられるもの（24、53、78、80）
- Ⅱ-2 空輪の長さはⅢ類に近いが側面に丸みがないもの（5、14、25、27、47）

空風輪Ⅲ類 空輪部が球形に近いもの

- Ⅲ-1 頂部が円頭形のもの（8、16、17、26、30、33、34、42、48、51）
- Ⅲ-2 頂部が平頭形のもの（29）
- Ⅲ-3 頂部が尖頭形のもの（12、22）

その他の特徴として1面に墨書が施されたもの（8、16、28上、30、53、69）、4面に墨書が施されたもの（1、12、14、26、44、46、64、78、83）がみられた。



第3图 I区遺構分布图 (1/50)

火輪

火輪は調査区内で34点が確認された。最大幅によって小型(27~38cm)、中型(39~46cm)大型(47cm以上)とし、さらに高さを最大幅で割った平均値0.46を基準に高・中・低として以下のように分類する。

- 火輪Ⅰ類 小型で低いもの(17、19、30、53)
- 火輪Ⅱ類 小型で中間的高さのもの(13、14、15、18、20、21、24、27、29、61)
- 火輪Ⅲ類 小型で高いもの(22、25、32、55、75、77)
- 火輪Ⅳ類 中型で低いもの(23、34、40、83)
- 火輪Ⅴ類 中型で中間的高さのもの(33、51、52、78、80)
- 火輪Ⅵ類 中型で高いもの(31、62)
- 火輪Ⅶ類 大型で中間的高さのもの(82)
- 火輪Ⅷ類 大型で高いもの(41)

その他の特徴として2面に墨書が施されたもの(27、28)、4面に墨書が施されたもの(15、41、52、61、62)、1面に刻書が施されたもの(40)がみられた。また、ほとんどのものは、軒が反っているが、52、55には反りがみられない。

水輪

水輪は調査区内で46点が確認された。最大幅によって小型(25~34cm)、中型(35~42cm)、大型(43cm以上)とし、さらに高さを最大幅で割った平均値0.58を基準に高・中・低として以下のように分類する。

- 水輪Ⅰ類 小型で低いもの(7、18下、21、27、33上、38、50下、70、74)
- 水輪Ⅱ類 小型で中間的高さのもの(2、13、15、17、24、25、29、31、37上、37下、50上、53、85)
- 水輪Ⅲ類 小型で高いもの(14、22、34)
- 水輪Ⅳ類 中型で低いもの(39)
- 水輪Ⅴ類 中型で中間的高さのもの(6、18上、19、20、28、30、32、33下、41、51、55、65、75、78)
- 水輪Ⅵ類 中型で高いもの(23、40、52、77)
- 水輪Ⅶ類 大型で高いもの(82)

その他の特徴として墨書が施されたものと納骨孔を持つものがある。

墨書が施されたものでは、1面のみなもの(4、14、15、20、24、30、37上、50上、78、82)、4面に施されたもの(41、65)がある。また82は裏面と思われる面に紀年銘(□文禄参□實山永□□)がみられる。

地輪

地輪は調査区内で38点を確認した。受部をもつものはみられず、幅によって小型(25~34cm)中型(35~42cm)大型(43cm以上)とし、さらに高さを幅で割った平均値0.25を基準に高さを高・中・低として以下のように分類した。

地輪Ⅰ類 小型で低いもの (21)

地輪Ⅱ類 小型で中間的高さのもの (10、11、14、53、75)

地輪Ⅲ類 小型で高いもの (29)

地輪Ⅳ類 中型で低いもの (13、22)

地輪Ⅴ類 中型で中間的高さのもの (9、15、17、18、19、20、23、24、25、27、30、31、32、33、36、55、63、71、77、78)

地輪Ⅵ類 中型で高いもの (51、52、74、85)

地輪Ⅶ類 大型で低いもの (40)

地輪Ⅷ類 大型で中間的高さのもの (41、82)

地輪Ⅸ類 大型で低いもの (34、80)

その他の特徴として、墨書が1面に施されたもの (80)、刻書が1面と墨書が3面に施されたもの (9)がみられた。

層輪

層輪的なものが2点みられた。31は円頭形の宝珠と2段の請花状のもので構成される。露盤は無く、請花状のものの中位は沈線によって区画される。40は円頭形の宝珠と上部請花、沈線によって4つに区画された層輪的な円柱部と下部請花によって構成される。上部、下部請花には線刻によって花卉が表現されており、宝珠部の1面には梵字の刻書がみられる。

五輪塔様石塔

54は適当な呼称がないためここでは五輪塔様石塔とした。塔身部が角柱状で正面に仏像のレリーフ、その他の3面には墨書がみられる。また正面の仏像レリーフの縁には永禄五年 (1562年) の紀年銘が墨書されている。

2 板碑

板碑は調査区内で10基が確認された。ほとんどは4面ともきれいに面取りされているが84は背面に自然面を残す。各板碑の概要は以下のとおりである。

35は角柱に近く、大型である。2段の台座を持ち、下段幅60cm、奥行き68cm、高さ30cm、上段幅52cm、奥行き52cm、高さ6cmを計る。板碑は総高168cm、幅35.5cm、奥行き32cmで二条線は4面に巡り頭部先端は尖る。正面に刻書、その他3面に墨書が施されている。永正十年 (1513年) の紀年銘がみられる。碑文は以下のとおりである。

(正面)

「 梵字 (バイ・薬師) 願以此功德普及於一切□□ □
梵字 (キリーク・弥陀) 奉讀 大乘妙典式千部二世□□
梵字 (サ・聖観音) 我等与衆生皆共成□□□ 白」

(裏面)

「于時永正十酉年十月吉日」

(左側面)

「妙阿弥陀仏」

(右側面)

「俗名

宥阿弥陀仏

長峰

」

56は下段幅51cm、奥行き47cm、高さ13cm、上段幅37cm、奥行き33cm、高さ2cmの2段の台座を持つ。板碑は総高77cm、幅31cm、奥行き15cm、頭部高21cmで二条線は背面以外の3面に巡り頭部先端は小さな長方形の平坦面を成す。正面に以下のような墨書がみられる。

(正面)

「 □

□庵開□□□□

□□

」

57は台座を持たず、総高75cm、幅27cm、厚さ16cm、頭部長16cmを計る。二条線は背面以外の3面に巡り頭部先端は小さな長方形の平坦面を成す。4面ともに墨書が施されているとみられるが、いずれも判読できない。

58も台座を持たず、総高112cm、幅27cm、厚さ19cm、頭部長18cmを計る。二条線は背面以外の3面に巡り頭部先端は小さな長方形の平坦面を成す。墨書等は確認できない。

59と81は同一個体である。台座は持たず、総高118cm、幅27cm、厚さ21cm、頭部長11cmを計る。二条線は背面以外の3面に巡り頭部先端は小さな長方形の平坦面を成す。4面ともに墨書が施されているとみられるが、いずれも判読できない。

66は頭部付近のみ残存する。残存総高32cm、幅21cm、厚さ9cm、頭部長17cmを計る。また、頭部直下に高さ10cmの額部を持つ。正面に以下のような墨書がみられる。

(正面)

「 咄 唯□」以下欠損

68も頭部付近のみ残存する。残存総高25cm、幅18cm、厚さ9cm、頭部長12cmを計る。この板碑も頭部直下に高さ3cmの額部を持つ。墨書などは確認できない。

76は台座を持たず、総高86cm、幅26cm、厚さ19cm、頭部長15cmを計る。二条線は背面以外の3面に巡り頭部先端は小さな長方形の平坦面を成す。正面に以下のような墨書がみられる。

(正面)

「 □正□□□丑

□□□□□□□元禪師

□□□」

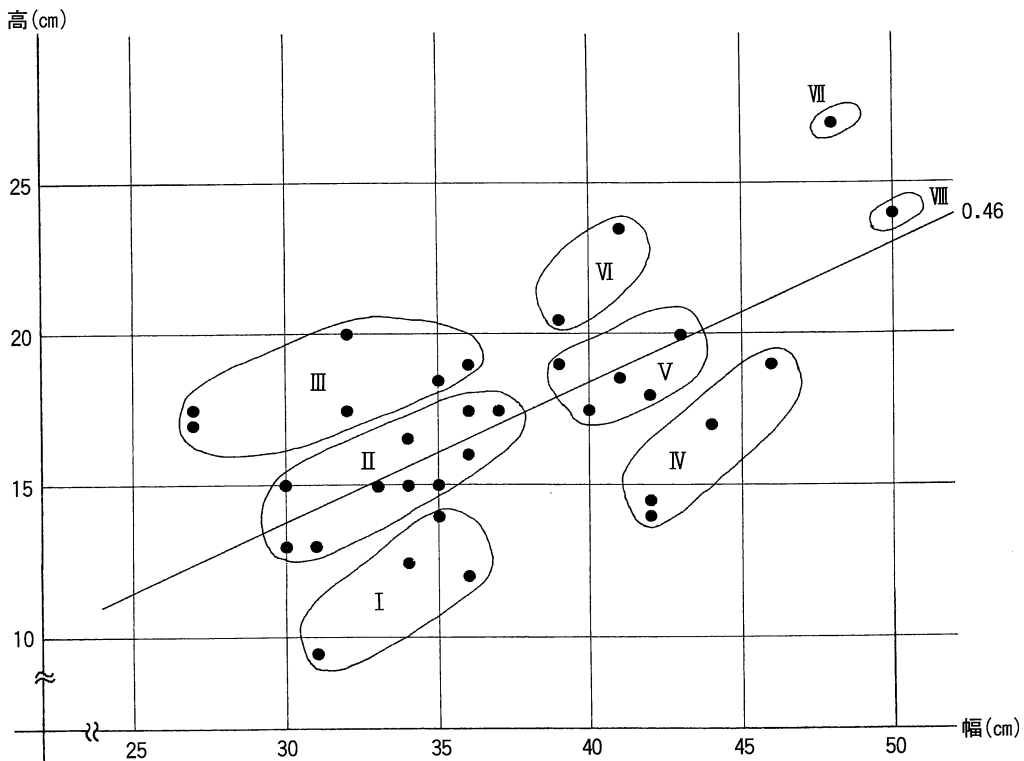
79は幅52cm奥行き49cm高さ11cmの台座を持つ。板碑は総高92cm、幅31cm、厚さ19cm、頭部高21cmで二条線は背面以外の3面に巡り頭部先端は小さな長方形の平坦面を成す。正面に月輪と墨書、その他の3

面にも墨書が施されているとみられるが、判読できない。

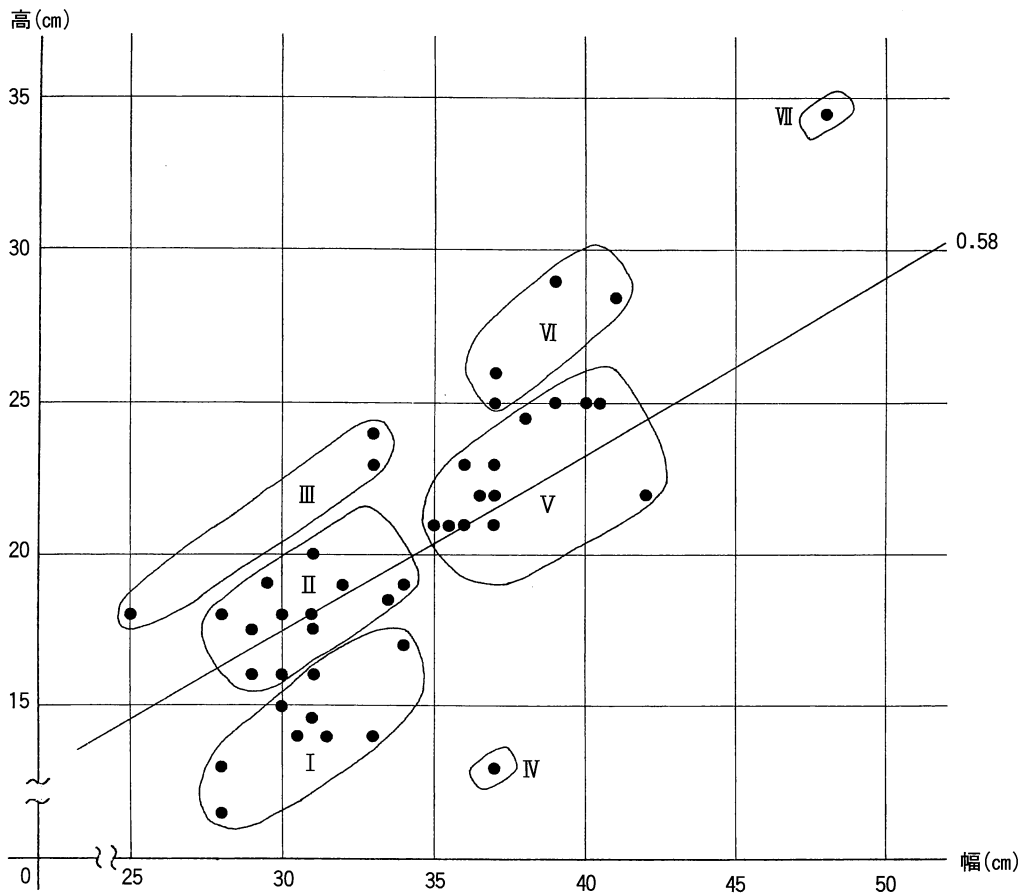
84はもともと調査地外から最近運び込んだもので、正面に刻書が施され元禄の年号がみられるため、五輪塔群とは直接関係はないとみられる。総高140cm、幅51cm、厚さ15cmを計る。正面の碑文は欠損が激しいが、以下のように判読した。

(正面)

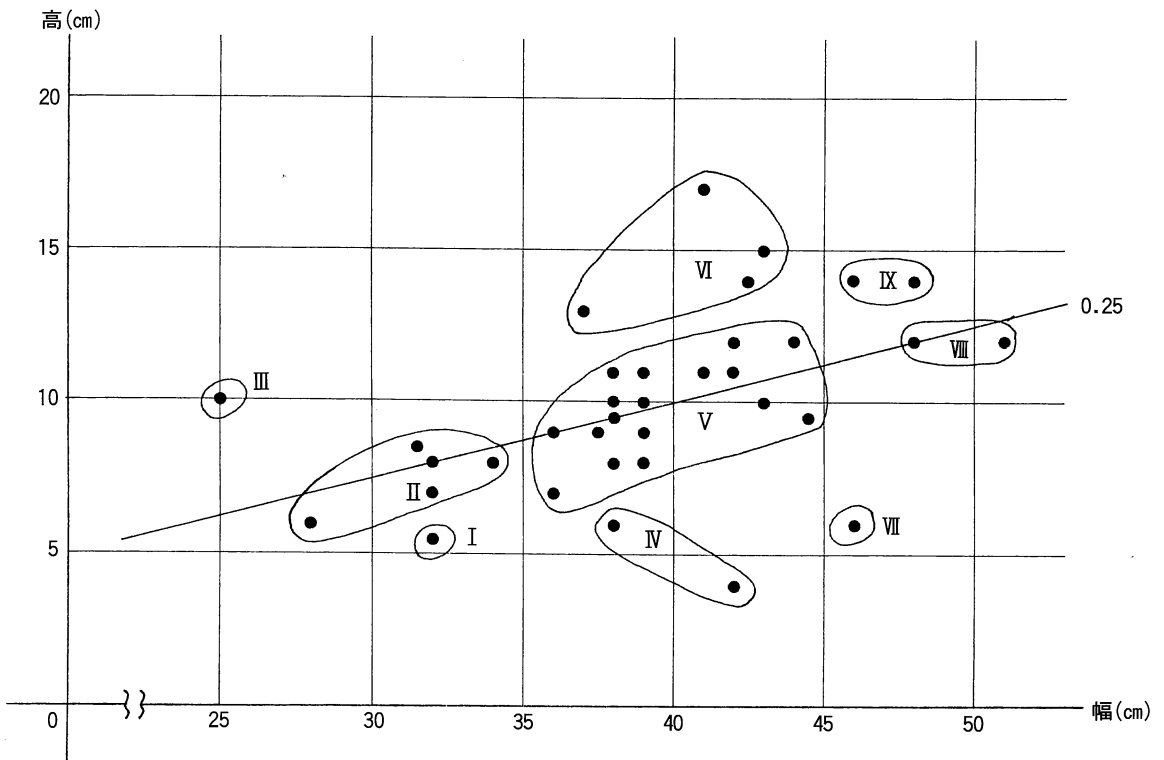
「
 清屋次兵衛藏
 □□□□
 □□□
 元禄八□ □□□
 □□□二夜月天子奉□□□□衆□□
 □□□□
 作正次
 □□□
 □□□□」



第4図 火輪法量分布図



第5図 水輪法量分布図



第6図 地輪法量分布図

3 土器 (第7図)

人力による表土剥ぎを行った際に表土中より数点の土師質土器の出土があった。

1～3は同一器形とおもわれる。口縁部と体部の境が丸みをおび、明瞭な稜をもたない。また体部はわずかに内湾し中位に稜をもち、口縁部は短く直立気味に立ち上がる。底部は静止糸切りである。

4は1～3に比べ底径が小さく、体部と底部の境が明瞭で稜をもつ。口縁部などの形態は不明だが1～3よりは口径が小さくなると思われる。底部は静止糸切りでやや上底気味である。

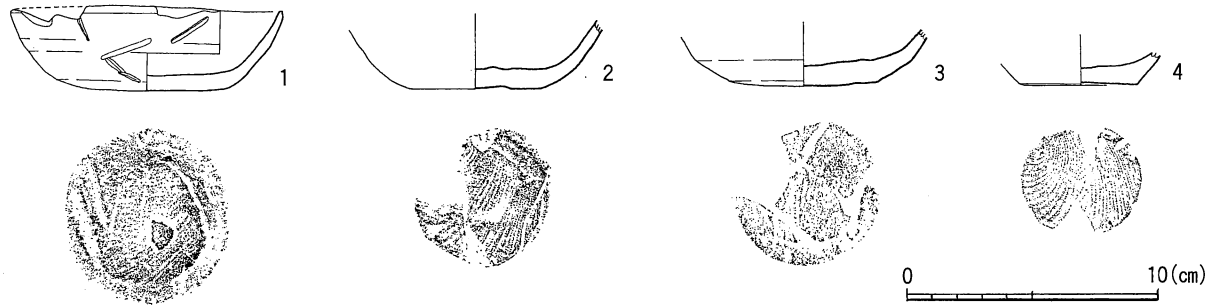
4 古銭 (第8図)

土器同様、表土剥ぎを行った際に表土中より4点の古銭が出土した。

5、6は洪武通寶でわずかに5の方が大きい。2点とも「寶」の裏に当たる位置に文字らしいものが見られるが判読不明である。洪武通寶の鑄造年は洪武元年（西暦1368年）である。

7、8は永楽通寶で大きさもほぼ同一である。永楽通寶の鑄造年は永楽6年（西暦1408年）である。

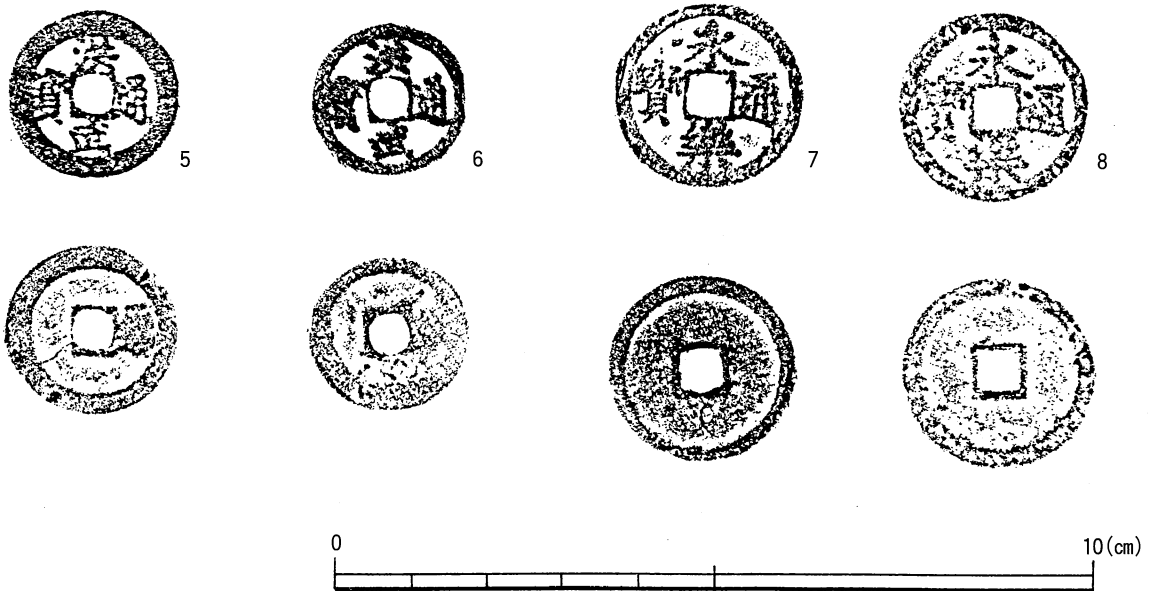
5と6は8の空風輪下から張り付いた状態で出土していることから同時期に五輪塔に供献された可能性が高い。



第7図 I区出土土器実測図 1/3

番号	種別	器種	出土地点	法量 (cm)			調整		色調		胎土	備考
				口径	底径	器高	外面	内面	外面	内面		
1	土師質	坏	I区表土中	10.7	5.4	3.3	回転ナデ	回転ナデ	にぶい黄橙(10YR7/4)	黄橙(10YR8/6)	精良	底部静止糸切り
2	〃	〃	〃	〃	(5.3)	〃	〃	〃	にぶい黄橙(10YR7/3)	にぶい黄橙(10YR7/3) 褐灰(10YR5/1)	2mm以下の赤褐色 砂粒を少し含む	〃
3	〃	〃	〃	〃	(6.0)	〃	〃	〃	にぶい黄橙(10YR7/3)	にぶい黄橙(10YR7/3)	2mm以下の褐色、 橙色砂粒を少し含む	〃
4	〃	〃	〃	〃	4.2	〃	〃	〃	にぶい黄橙(10YR7/4)	にぶい黄橙(10YR7/4)	精良	〃

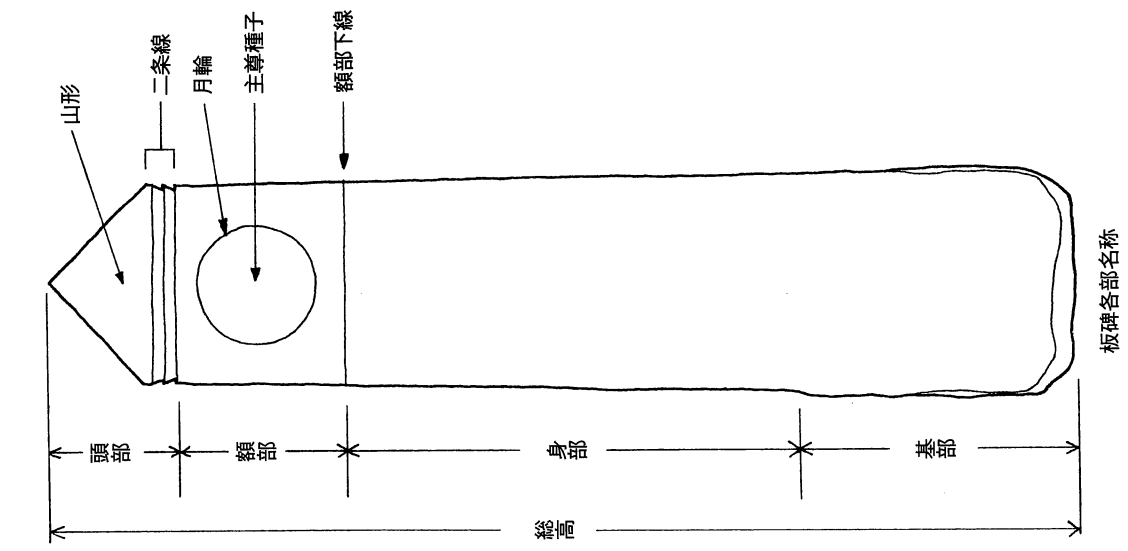
第1表 I区出土土器遺物観察表



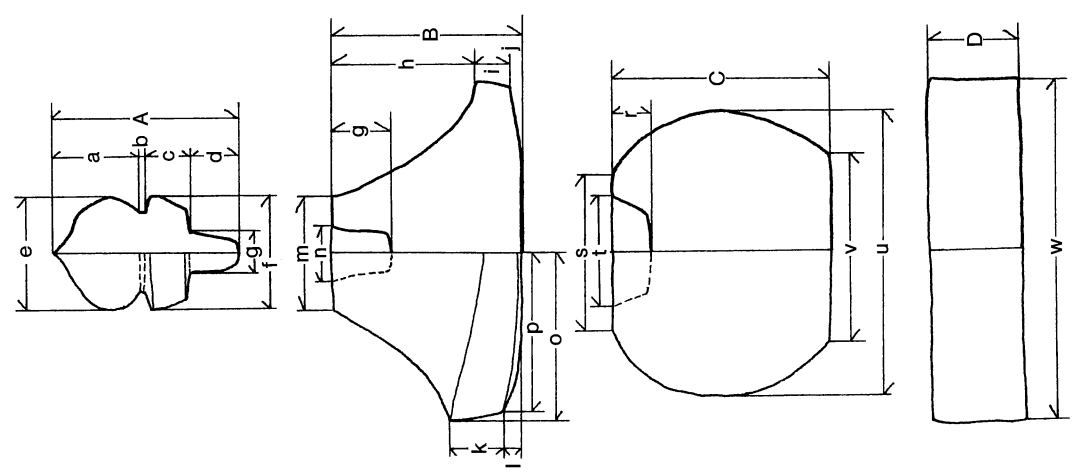
第8図 I区出土古銭拓影

番号	銭名	出土地点	直径 (cm)	厚さ (cm)	孔径 (cm)	重さ (g)	鑄造地名	鑄造年号 (西暦)	備考
5	洪武通寶	I区表土中	2.29	0.16	0.55	2.8	明	洪武元年 (1368)	7と貼り付いて出土。寶の裏面に文字がみられる。
6	洪武通寶	I区表土中	2.16	0.17	0.55	3.3	明	洪武元年 (1368)	寶の裏面に文字がみられる。
7	永樂通寶	I区表土中	2.53	0.15	0.60	3.6	明	永樂六年 (1408)	5と貼り付いて出土。
8	永樂通寶	I区表土中	2.58	0.18	0.55	3.3	明	永樂六年 (1408)	

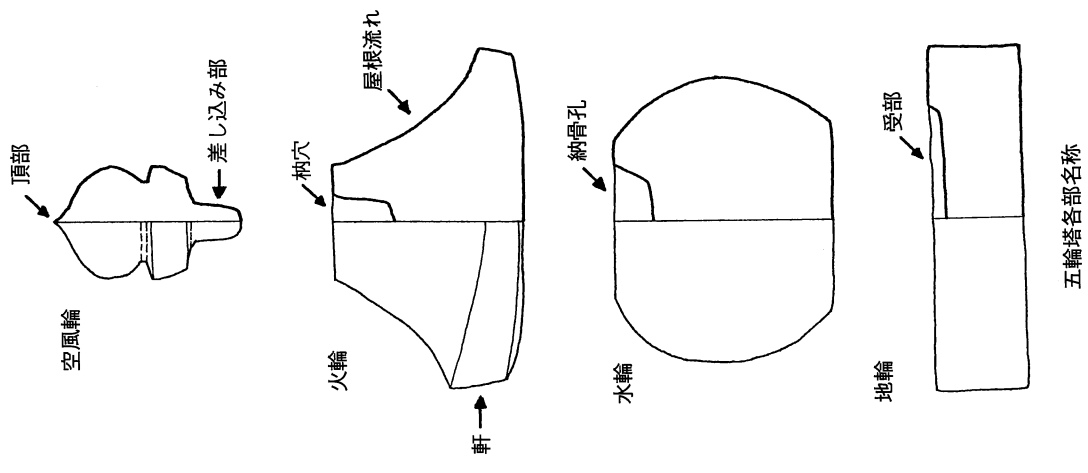
第2表 I区出土古銭計測表



板碑各部名称



五輪塔法量表凡例



五輪塔各部名称

第9図 石塔・板碑各部名称および法量表凡例

番 号	形 態	法 量								備 考
		A	a	b	c	d	e	f	g	
1	I-3		22.5	1.5	10.0		21.0	19.0		4面に墨書 空部梵字「キヤ」 風部梵字「カ」
3	I-3		21.5	1.0	6.0		17.0			
5	II-2		15.0	2.0~3.0	5.5		17.0	15.5		
8	III-1		17.0	0.5	9.0		18.5	17.5		1面に墨書 文字不明
12	III-3		19.5	1.5	4.0		21.0	20.0		4面に墨書
13						5.5			10.0	基部のみ残存
14	II-2		16.5	2.0	8.0		15.5	16.0		4面に墨書 空部梵字「キヤ」 風部梵字「カ」
15			18.0				15.0			風輪以下欠損
16	III-1		20.0	1.0	6.0		19.5	18.5		1面に墨書 文字不明
17	III-1	28.5	15.5	1.0	8.0	4.0	15.0~16.5	15.0	9.5	
18	I-3		23.0	1.0	9.5	14.0~18.5	14.5~16.0	11.0		
19	I-3	37.0	23.0	1.0	7.0	6.0	16.0	16.0	9.0	
21	I-4	27.0	16.5	1.0~2.0	3.0	5.5	13.5	11.5	8.5	
22	III-3	35.5	18.0	2.0	8.5	7.0	19.0~23.0	18.0~21.0	13.5	
23	I-2	44.5	24.0	3.0~4.0	11.0	5.5	18.0	18.0	11.5	
24	II-1	45.0	24.0	1.0	12.0	8.0	23.0	20.0	11.5	4面に墨書 文字不明
25	II-2	34.5	19.5	1.0	11.0	3.0	18.0	17.5	11.0	空部梵字「キヤ」 風部梵字「カ」
26	III-1		20.0	1.0	10.5		17.5~20.0	18.0		空部梵字「キヤク」 風部不明
27	II-2	31.5	16.5	1.0	7.0	7.0	17.0	16.0	10.0	空部「空」 風部「風」
28上			24.5				16.0			空部のみ残存、1面墨書 文字不明
29	III-2	27.5	11.5	1.5~3.0	9.0	4.0	17.0	16.0	9.0	
30	III-1	36.0	20.0	0.5	9.5	6.0	18.0~19.5	18.0	9.0	1面に墨書 空部梵字「キヤク」 風部梵字「カク」
32	I-2		20.5	3.0~4.0	6.5		16.0	15.0		
33	III-1	35.5	18.0	1.0	10.0	6.5	20.0~21.0	20.5	10.5	
34	III-1		18.0	1.0	9.0		18.5	15.0		
36	I-4		21.0	2.0~3.5	7.0		17.0	14.0		
37					7.5	5.0		15.0	6.0	
39					10.5	8.0		17.5	10.0	
41	I-3	42.0	25.0	0.5	12.5	4.0	23.0	24.0	10.5	
42	III-1		13.0				16.0			
43	I-2		18.0	2.0~3.0	6.5		18.0	17.0		
44			23.5	2.0			13.0			4面に墨書 空部上梵字「キヤ」 空部下梵字「カン」
45			18.0	0.5			14.5			
46	I-4		22.5	1.0	5.0		17.0	16.5		4面に墨書 空部梵字「キヤ」 風部不明
47	II-2		18.0				19.0	17.0		空部のみ残存、4面墨書梵字「キヤ」「キャン」
48	III-1		14.0	2.0	7.0		19.0	19.0		
49			14.0	1.0			14.0			
51	III-1		20.0	0.5	10.5		21.5	15.5		

第3表 空風輪法量表(1)

番 号	形 態	法 量								備 考
		A	a	b	c	d	e	f	g	
52	I-1		16.0	1.5~3.0	7.0		17.0	14.5		
53	II-1	36.5	19.5	1.0	10.0	6.0	16.5	15.5	9.5	1面に墨書「空」 風部不明
55	I-1	43.0	26.5	1.0~2.0	9.5	5.0	16.0	15.0	11.0	
60	I-3		26.5	0.5	7.0		14.5~19.0	18.5		
61	I-2		24.5	3.0~4.5	8.0		15.0~19.0	17.0		
64	I-1	29.7	17.0	1.7	6.0	5.0	15.0	13.0	9.0	4面に墨書「空」 風部不明
67	I-1	31.5	18.0	2.0	7.5	4.0	15.0	13.0	7.0	
69	I-3		22.0	1.0	8.0		19.0	17.0		1面に墨書 文字不明
73	I-1		23.0	3.0	7.0		16.5	14.5		
78	II-1	34.5	19.0	0.5	9.0	6.0	14.5	14.5	8.5	4面に墨書「空」 風部不明
80	II-1		20.5	0.5	8.5		15.5	15.5		
82	I-3	51.0	28.0	1.0	15.0	7.0	25.5	22.5	11.5	
83	I-3	43.0	24.5	0.5	11.0	7.0	19.5	20.5	10.5	4面に墨書「空」 風部不明
86	I-3	38.5	22.0	1.0	10.0	5.5	17.5	17.5	11.0	

第4表 空風輪法量表(2)

番 号	形 態	法 量											備 考
		B	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	
13	Ⅱ	13.0	3.5	8.5	1.0	9.0	3.0	12.0	8.5	15.0	15.0	3.5	
14	Ⅱ	16.5	5.0	10.5	1.0	9.0	3.0	17.0	—	17.5	17.0	—	
15	Ⅱ	15.0	5.0	8.0	1.0	8.0	2.5	14.0	10.0	16.5	16.5	6.0	
17	Ⅰ	12.0	4.0	7.5	0.5	8.0	2.0	14.0	10.5	18.0	18.0	5.0	
18	Ⅱ	15.0	3.0	10.0	2.0	10.0	3.0	14.0	—	15.0	15.0	—	
19	Ⅰ	14.0	3.5	9.5	1.0	10.0	2.5	15.0	10.5	17.5	17.5	7.0	
20	Ⅱ	17.5	5.0	11.0	1.5	10.0	4.5	17.0	—	18.0	18.0	—	
21	Ⅱ	13.0	6.0	6.0	1.0	5.5	3.0	15.0	9.0	15.5	15.5	7.0	
22	Ⅲ	17.0	4.0	11.5	1.5	10.0	6.0	20.0	14.0	13.5	13.5	7.5	
23	Ⅳ	14.0	3.0	9.0	2.0	12.0	2.0	17.0	13.5	21.0	21.0	8.0	
24	Ⅱ	17.5	4.5	11.5	1.5	12.0	3.0	17.0	14.0	18.0	18.5	7.0	
25	Ⅲ	20.0	9.0	8.5	2.5	9.0	4.0	16.0	11.0	16.0	16.0	5.0	
27	Ⅱ	16.0	7.0	7.0	2.0	8.0	3.5	15.0	10.0	18.0	18.0	7.0	軒部4面墨書 梵字か
29	Ⅱ	15.0	2.0	11.0	2.0	11.0	3.0	16.0	10.5	16.5	17.0	6.0	
30	Ⅰ	9.5	2.5	6.5	0.5	9.0	1.5	13.0	10.5	15.5	15.5	6.0	
31	Ⅵ	23.5	10.0	11.0	2.5	8.0	8.0	7.0	—	20.5	20.5	—	
32	Ⅲ	19.0	5.0	13.0	1.0	15.0	2.0	14.0	—	18.5	18.0	—	
33	Ⅴ	20.0	7.0	10.0	3.0	7.0	8.0	16.0	11.0	20.5	21.5	7.0	
34	Ⅳ	14.5	4.5	8.0	2.0	10.0	2.5	16.0	—	21.5	21.0	—	
40	Ⅳ	17.0	4.0	11.0	2.0	10.5	4.0	21.0	12.0	22.0	22.0	4.5	軒部1面刻書 梵字「ラ」
41	Ⅷ	27.0	10.0	13.0	4.0	14.0	6.0	23.0	14.0	24.0	24.0	7.5	※ 4面墨書 梵字「ラン」「ラク」、 屋根部1面墨書不明
51	Ⅴ	17.5	6.0	10.5	1.0	13.0	2.0	23.0	12.5	20.0	20.0	8.0	
52	Ⅴ	18.0	10.0	6.0	2.0	6.0	2.5	21.0	—	21.0	21.0	—	軒部4面墨書 梵字か
53	Ⅰ	12.5	4.5	7.0	1.0	9.0	2.0	11.5	10.0	17.0	17.0	4.5	
55	Ⅲ	17.5	7.5	9.0	1.0	9.0	2.0	17.5	12.0	16.0	16.0	6.0	
61	Ⅱ	15.0	5.0	9.0	1.0	8.0	2.0	16.0	—	17.5	17.5	—	
62	Ⅵ	20.5	5.5	10.0	3.0	10.5	5.5	15.5	—	19.5	19.5	—	軒部4面墨書 梵字か
72			4.0					13.0			16.0	16.0	欠損が激しい
75	Ⅲ	17.5	5.0	10.5	2.0	10.0	6.5	15.0	—	13.5	13.5	—	
77	Ⅲ	18.5	4.5	13.0	1.0	12.0	3.0	16.0	—	18.0	17.5	—	
78	Ⅴ	19.0	6.5	11.0	1.5	12.5	3.0	16.0	—	19.5	19.5	—	軒部2面墨書 梵字か
80	Ⅴ	18.5	5.0	11.5	2.0	9.5	5.0	15.0	—	20.5	20.5	—	
82	Ⅷ	24.0	8.0	13.0	3.0	16.0	3.5	27.0	12.0	25.0	25.0	6.0	
83	Ⅳ	19.0	8.0	9.0	2.0	8.0	8.0	20.0	14.0	23.0	23.0	9.0	

第5表 火輪法量表(1)

番号	形態	法 量						備 考
		C	r	s	t	u	v	
2	Ⅱ	18.5	—	28.0	—	33.5	28.0	
4		—	—	28.0	—	—	—	1面墨書 不明
6	V	21.0	—	28.0	—	37.0	—	
7	I	17.0	—	27.0	—	34.0	—	
13	Ⅱ	18.0	—	26.0	—	31.0	24.0	
14	Ⅲ	17.0	—	22.5	—	25.0	21.0	1面墨書 梵字「パー」
15	Ⅱ	17.5	—	27.0	—	31.0	26.0	◇ 梵字か
17	Ⅱ	19.0	—	30.0	—	32.0	26.0	
18上	V	21.0	—	30.0	—	36.0	27.0	
18下	I	14.0	—	27.0	—	30.5	26.0	
19	V	23.0	—	30.0	—	36.0	27.0	
20	V	21.0	—	28.0	—	35.0	27.0	1面墨書 梵字「バ」
21	I	14.5	—	28.0	—	31.0	27.0	
22	Ⅲ	23.0	—	26.0	—	33.0	25.0	
23	Ⅵ	26.0	—	28.0	—	37.0	27.0	
24	Ⅱ	20.0	—	25.0	—	31.0	25.0	1面墨書不明
25	Ⅱ	20.0	—	24.5	—	31.0	26.0	
27	I	16.0	—	25.0	—	31.0	26.0	
28	V	21.0	2.0	28.0~30.0	11.0	35.0~38.0	30.0	納骨孔?
29	Ⅱ	17.5	—	25.0	—	29.0	24.0	
30	V	21.0	—	30.0	—	35.5	28.0	1面墨書 梵字か
31	Ⅱ	18.0	—	23.0	—	30.0	22.0	
32	V	25.0	—	31.0	—	40.0	30.0	
33上	I	11.5	5.0	24.0	19.0	28.0	—	納骨孔
33下	V	22.0	—	27.0	—	37.0	28.0	
34	Ⅲ	24.0	—	28.0	—	33.0	26.0	
37上	Ⅱ	16.0	—	28.0	—	30.0	—	
37下	Ⅱ	16.0	—	24.0	—	29.0	24.0	
38	I	15.0	—	26.0	—	30.0	—	
39	Ⅳ	13.0	2.5	31.5	11.0	37.0	—	納骨孔? 1面墨書不明
40	Ⅵ	25.0	—	29.0	—	37.0	29.0	
41	V	22.0	—	31.0	—	42.0	30.0	4面墨書 梵字「バン」
50上	Ⅱ	18.0	—	22.0	—	28.0	22.0	
50下	I	13.0	—	23.0	—	27.0~29.0	—	
51	V	25.0	—	30.0	—	40.5	31.0	
52	Ⅵ	29.0	—	30.5	—	39.0	30.0	
53	Ⅱ	19.0	—	25.0	—	29.5	23.0	
55	V	25.0	—	29.5	—	39.0	29.0	

第6表 水輪法量表(1)

番 号	形 態	法 量						備 考
		C	r	s	t	u	v	
65	V	24.5	—	27.0	—	38.0	27.0	4面墨書 梵字か
70	I	14.0	—	24.0~26.0	—	31.5	—	
74	I	14.0	—	29.0	—	33.0	29.0	
75	V	22.0	—	29.0	—	36.5	27.0	
77	VI	28.5	—	31.0	—	41.0	30.0	
78	V	23.0	—	29.0	—	37.0	27.0	1面墨書 梵字か
82	VII	34.5	—	32.0	—	48.0	33.0	◇ 文章、本文参照
85	III	19.0	2.5	29.5	10.0	34.0	27.5	納骨孔?

第7表 水輪法量表(2)

番 号	形 態	法 量		備 考
		D	w	
9	V	12.0	44.0	1面刻書 梵字「ア」、3面墨書 梵字カ
10	II	6.0	28.0	
11	II	8.5	31.5	
13	IV	6.0	38.0	
14	II	7.0	32.0	
15	V	8.0	38.0	
17	V	9.0	36.0	
18	V	8.0	38.0	
19	V	9.5	38.0	
20	V	11.0	38.0	
21	I	5.5	32.0	
22	IV	4.0	42.0	
23	V	10.0	43.0	
24	V	8.0	38.0	
25	V	11.0	39.0	
27	V	10.0	38.0	
29	III	10.0	25.0	
30	V	10.0	39.0	
31	V	12.0	42.0	
32	V	9.0	37.5	
33	V	11.0	42.0	
34	IX	14.0	48.0	
36	V	7.0	36.0	
40	VII	6.0	46.0	
41	VIII	12.0	48.0	
51	VI	15.0	43.0	
52	VI	17.0	41.0	
53	II	8.0	34.0	
55	V	8.0	39.0	
63	V	9.0	39.0	
71	V	9.5	44.5	
74	VI	14.0	42.5	
75	II	8.0	32.0	
77	V	11.0	39.0	
78	V	11.0	41.0	
80	IX	14.0	46.0	
82	VII	12.0	51.0	
85	VI	13.0	37.0	

第 8 表 地輪法量表(1)

第3章 II区の調査

第1章で述べたように、II区では東側と西側を分けて調査を実施した。これは廃土置き場の都合だけではなく、II区において実施した自然科学分析の結果、東側と西側で稲のプラント・オパールを検出状況が大きく異なることにも起因する。また、東側と西側では土層の堆積状況も大きく異なるため、II区における基本土層は判断できなかった。

第1節 遺構

1 流路状況遺構

第1章で述べたようにI区の西側には大谷川へ向かって延びる溝状の落ち込みが確認された。検出は表土以下の近代の水田耕作土、水田基盤層、青灰色シルト質土の下である青灰色粘質土上面でおこなった。この溝状の落ち込みは自然地形なのか人為的な遺構なのか判断できないため、以下、便宜的に流路状遺構と呼称する。流路状遺構は調査区西側の南端付近から緩やかに深さを増し、調査区西側の北端を抜けて調査区の外へと続く。その先には大谷川が東西に流れており、川とぶつかる部分の形状によっては沼になる可能性もある。埋土の状況は第11図のとおりで、第12層から大量の遺物が出土している。出土遺物には土師器・土師質土器、黒色土器、布痕土器、須恵器、緑釉陶器、鉄製品、木製品、石器、獣骨など様々なものがみられた。また、出土遺物の大半を占める土師質土器、須恵器の坏・壺・皿といった供膳具の中には総数100点を越える墨書土器がみられた。

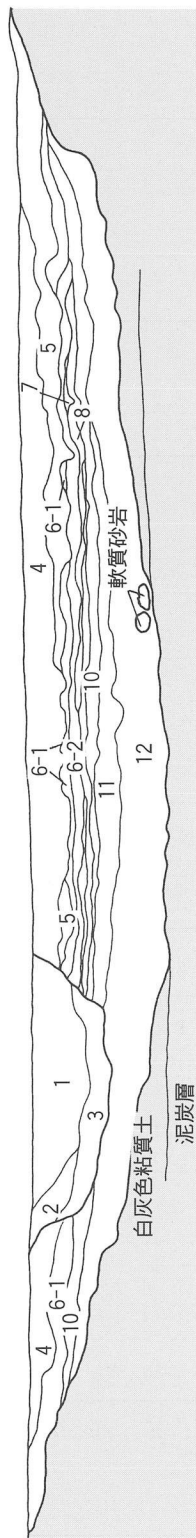
2 水田跡

II区東側では調査中に実施した自然科学分析によって、一般的に水田と認定される土に含まれる量を上回る稲のプラント・オパールが検出されていた。このため、多量の稲のプラント・オパールが検出された攪乱造成土以下の2番目の層（第12図第3層）から10cmほど上までを機械力により除去し、その後人力による掘り下げを行った。人力による掘り下げでは、まず、調査区周囲と調査区内を6分割するトレンチを設定し、トレンチ内を黒褐色泥炭層（第12図第6層）上面まで掘り下げた。このトレンチの断面観察では畦畔などを確認することはできなかった。この後第VI層上面まで面的に掘り下げたが、やはり水田関連遺構を検出することはできず、南端において浅く小さな溝状の落ち込みがみられたのみである。この溝状の落ち込みは最も深い部分で深さ20cm程度と浅く、南側へ向かって深くなる。

上述のとおり、自然科学分析の結果に反して水田遺構の検出はできなかった。このような矛盾がどのような理由に起因するのかは判断できないが、今後同様の類例の増加を待って他日に期したい。



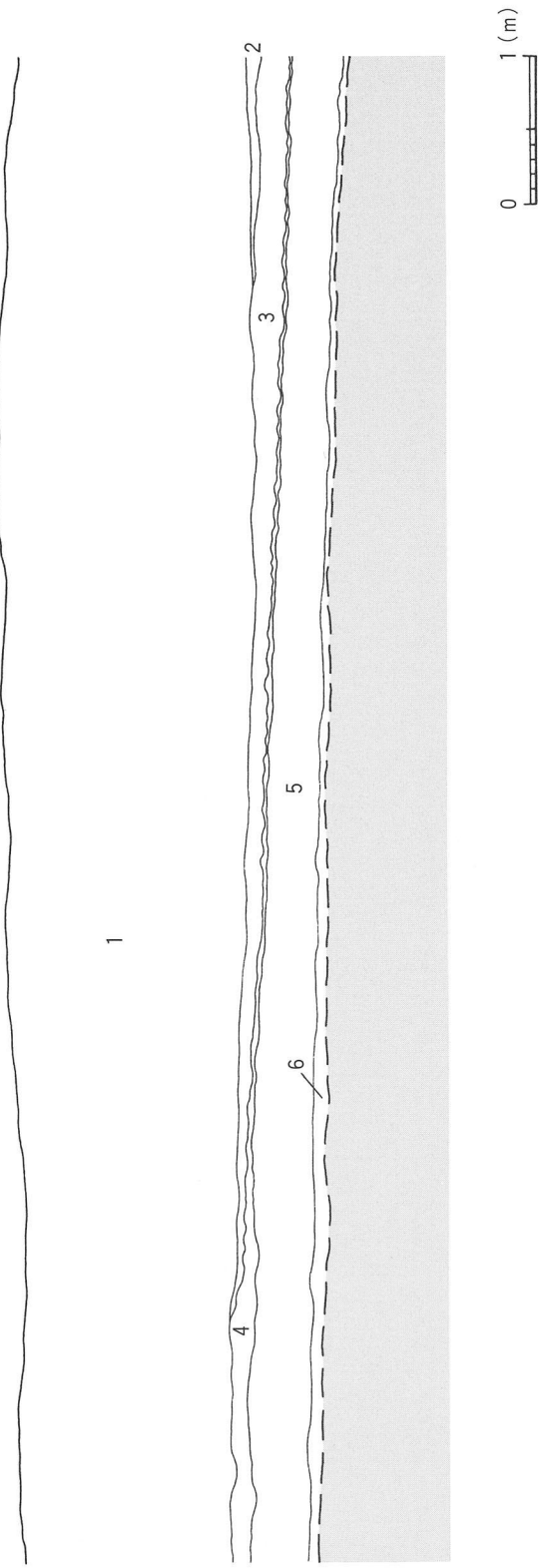
第10图 II区平面图



0 1 (m)

- | | | |
|------|-------------------|---|
| 1層 | 灰色シルト・砂質土 (5Y5/1) | シルトと砂の互層でラミナ状を呈する。糸根状斑鉄がみられやや硬質。 |
| 2層 | 灰色シルト・砂質土 (5Y4/1) | シルトと砂の互層でラミナ状を呈する。糸根状斑鉄がみられやや軟質。 |
| 3層 | 灰色砂質土 (5Y4/1) | シルトと砂の互層でラミナ状を呈する。糸根状斑鉄がみられやや軟質。炭化物粒、植物遺体を含む。 |
| 4層 | 灰色シルト質土 (7.5Y5/1) | 粘性が低く硬くしまる。糸根状斑鉄がみられる。 |
| 5層 | 灰色粘質土 (7.5Y4/1) | 粘性が強くしまりはあが軟質。糸根状斑鉄がみられ、炭化物粒を多く含む。 |
| 6-1層 | 灰色シルト質土 (5Y4/1) | 粘性は弱く軟質で6-2層と同一だがやや暗い。 |
| 6-2層 | 灰色シルト質土 (5Y5/1) | シルトと粘土の細互層でラミナ状を呈する。ヨシなどの植物遺体を多く含む。 |
| 7層 | 灰色粘質土 (5Y4/1) | 粘性が強く軟質でグライ化している。植物遺体を含む。8層に近いがやや暗く、基本的には8、9層と同層。 |
| 8層 | 灰オリーブ色粘質土 (5Y5/2) | 粘性が強く軟質でグライ化している。植物遺体を含む。 |
| 9層 | 灰色粘質土 (5Y4/1) | 粘性が強く軟質でグライ化している。混入物はほとんどみられない。 |
| 10層 | 灰オリーブ色粘質土 (5Y4/2) | 粘性が強く軟質でグライ化している。植物遺体、木片を少量含む。 |
| 11層 | 灰色粘質土 (5Y4/1) | 粘性が強く軟質でグライ化している。遺物を少量含む。 |
| 12層 | 灰色粘質土 (5Y4/1) | 粘性が強く軟質でグライ化している。植物遺体、木片を多量に含み、多くの遺物を包含する。 |

第11図 流路状遺構土層断面図



- | | | |
|-----|----------|------------------------------|
| 第1層 | 造成土 (攪乱) | |
| 第2層 | 青灰色シルト質土 | 砂を多く含む。 |
| 第3層 | 暗青灰色粘質土 | 混合物などは見られず、耕作の影響か層の下境が乱れている。 |
| 第4層 | 白灰色粘質土 | 糸根状斑鉄、雲状斑鉄、マンガン粒などを多く含む。 |
| 第5層 | 暗灰色粘質土 | 粘性が強く、植物遺体を少量含む。 |
| 第6層 | 黒褐色泥炭 | 粘性が無く、植物遺体を著しく多く含む。 |

第12図 II区東側土層断面図

第2節 遺物

Ⅱ区では690、691の2点を除くすべての遺物が流路状遺構最下層から出土した。出土遺物には土師器、土師質土器、黒色土器、布痕土器、須恵器、緑釉陶器、鉄製品、木製品、獣骨がある。

土師器・土師質土器

甕 (第13図～第17図)

甕は底部まで復元できたものは無く、口縁部から胴部上半までのものがほとんどであった。形態および調整技法によって大きく以下のように分類される。

甕Ⅰ類 口縁部が外反もしくは直線的に外方に開き、胴部がふくらみを持つ中胴と思われるもので、調整技法から7つに細分される。

- a 外面ヨコナデ・ナデ、内面ヘラケズリを基本とするもの (1～10、17～19、22、46)
- b 外面ナデ、内面ナデを基本とするもの (14)
- c 外面ヨコハケ、内面ヘラケズリを基本とするもの (11、12、13)
- d 外面タテハケ、内面ヘラケズリを基本とするもの (24)
- e 外面タテハケ、内面工具ナデを基本とするもの (15、25)
- f 外面タテハケ、内面ナデを基本とするもの (16)
- g 外面工具ナデ、内面ナデを基本とするもの (23)

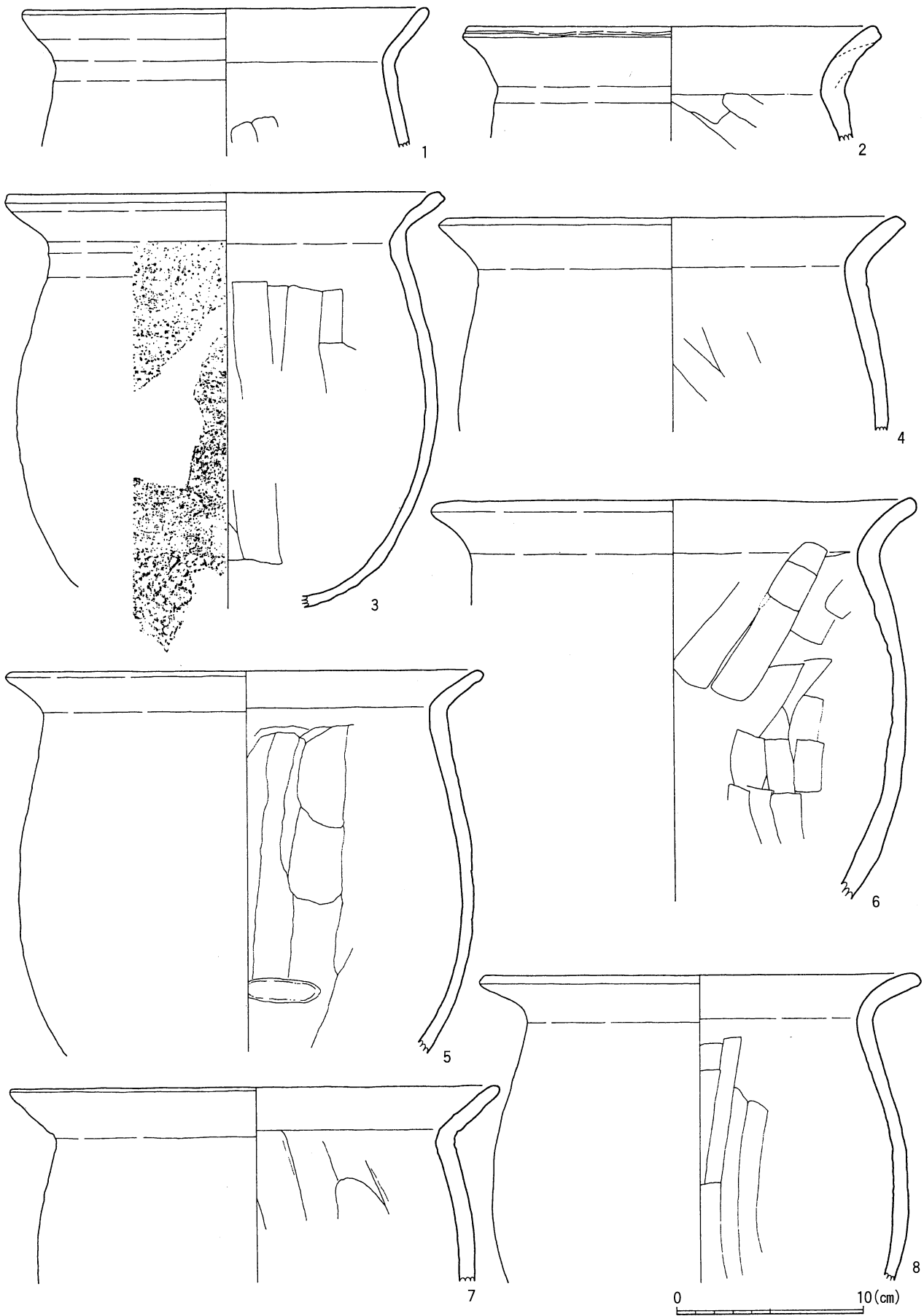
甕Ⅱ類 口縁部が外反もしくは直線的に外方へ開き、胴部がふくらみを持つ短胴と思われるもの。器形的には鉢に近いと言える。調整技法は外面ヨコナデ・ナデ、内面ヘラケズリを基本とするが、大型のもの (26、27) と小型のもの (28、29、30) がみられる。また、44は器壁が薄く、丁寧な器面調整が施されている。

甕Ⅲ類 口縁部が外反もしくは直線的に外方へ開き、胴部があまりふくらみを持たないもの。長胴もしくは中胴になると思われ、調整技法は外面ヨコナデ・ナデ、内面ヘラケズリを基本とする。大型のもの (31～35、39～41) と小型のもの (36～38) がみられる。

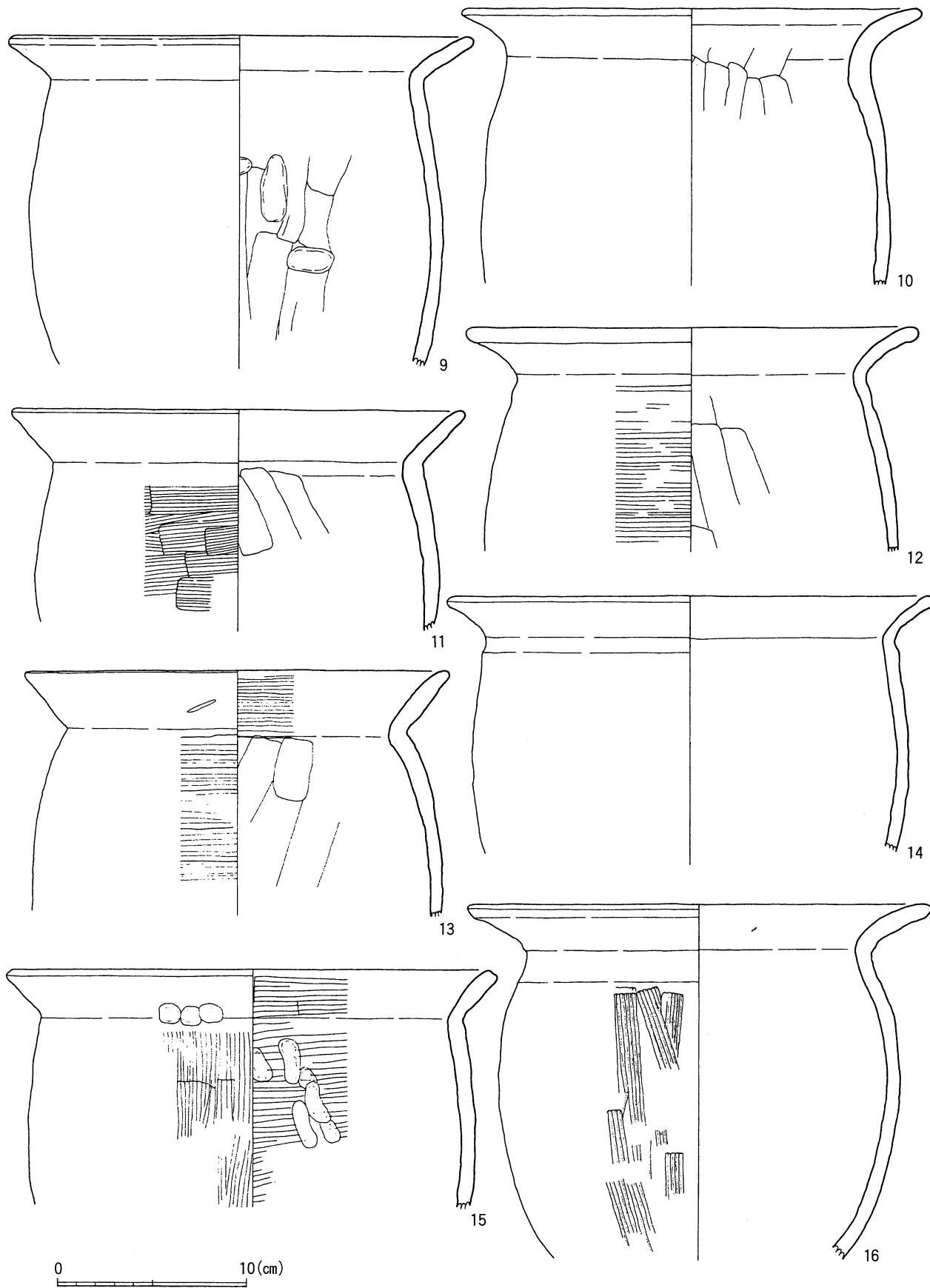
甕Ⅳ類 器形的にはⅢ類に近いが、器壁が薄く、口縁部が内湾気味に外方に開くもの。42の1点のみだが、外面の荒いタテハケもⅢ類とは異なるため分類した。

甕Ⅴ類 口縁部が外方に開くが、屈曲部に明瞭な稜を持たず小型のもの (47～52)。

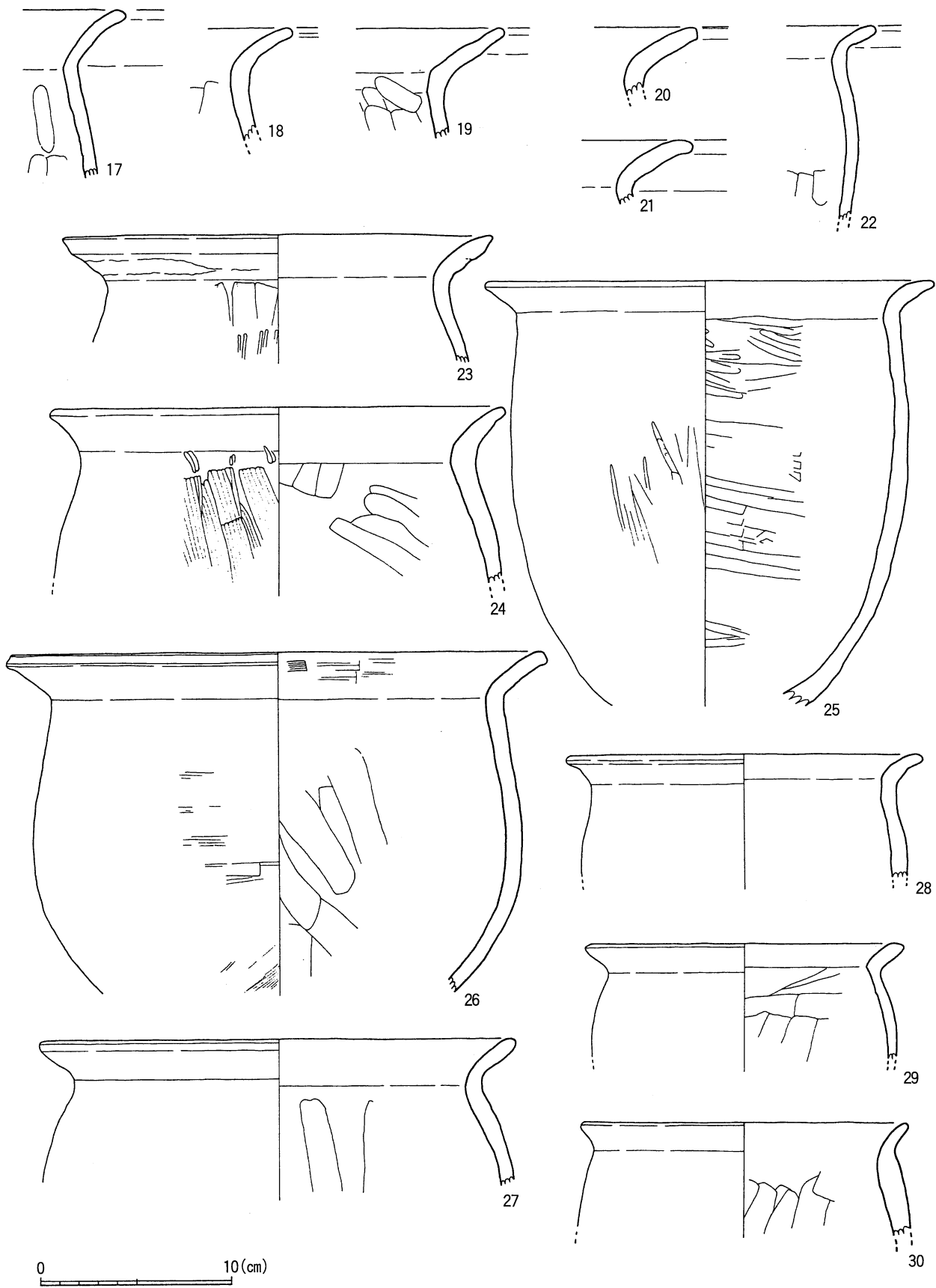
53、54は内面に粘土の輪積痕跡を明瞭に残しており、Ⅰ～Ⅴ類とは時期的に異なると思われる。



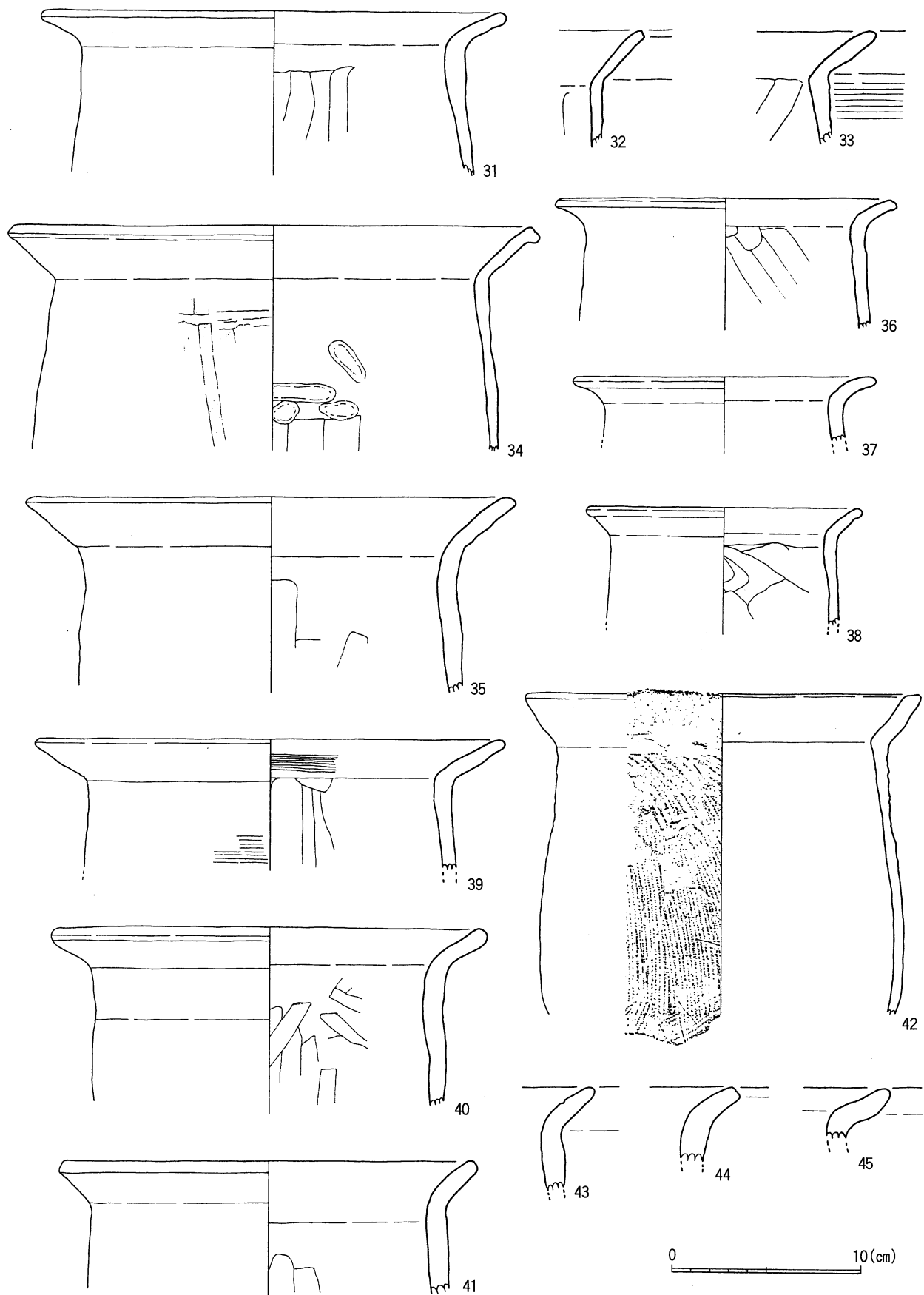
第13图 II区出土遗物实测图(1) 1/3



第14图 II区出土遗物实测图(2) 1/3



第15图 II区出土遗物实测图(3) 1/3



第16图 II区出土遗物实测图(4) 1/3

胴部片 (第17図)

胴部片としてここに挙げたものは甕または壺のものである。ただし、確実に壺とみられる口縁部が出土していないため、ほとんどは甕のものとみられる。

55、56、59、60、66は外面に荒い不定方向のハケメが施されており、内湾が強い。短胴の甕もしくは壺の胴部とみられる。57は摩耗が激しく調整は判断できないがその器形から壺の胴部とみられる。58は外面に横方向の荒いハケ調整と下部はヨコナデを施し、内面はヘラケズリである。61～65、67は甕の胴部片とみられる。いずれもタタキ調整の痕跡を残すが、61、62、65は内面に同心円の当具痕を残すのに対し63、64、67は内面をきれいにナデ消している。

底部 (第18図)

底部は本遺跡から出土した煮炊具などの口縁部の量と比較すると少ないといえる。形態的にはほとんどが平底の範疇にふくまれ、ここでは以下のように分類する。

底部Ⅰ類 底部と胴部の境の稜がやや明瞭でなく、底部も若干丸みを帯びるもの。

I-1 底径が大きく、胴部が外方に大きく開くもの (68、69)

I-2 底径が小さく、胴部が外方に大きく開くもの (79、80、81)

I-3 底径が小さく、胴部が急激に立上がるもの (82、83、84)

底部Ⅱ類 底部と胴部の境の稜が明瞭なもの (70、71、72、73、74、75、76)

底部Ⅲ類 胴部の立上がりが急で、底部がやや上げ底となるもの (77、78)

底部Ⅳ類 底部がほぼ垂直に短く立上がり、胴部が大きく開くもの (86、87、88)

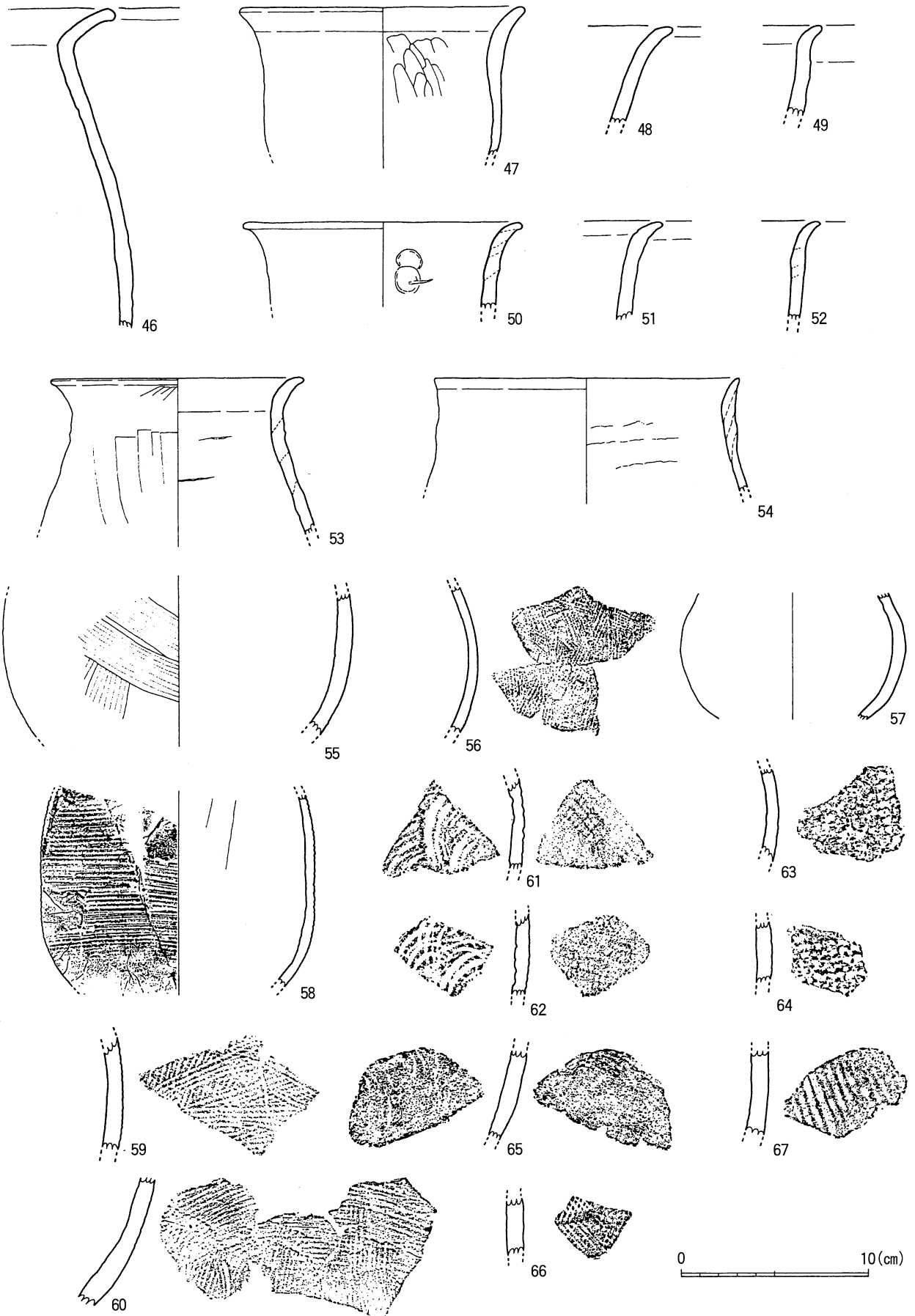
底部Ⅴ類 底部が大きく外方に開くもの (85、89、90、91)

甑 (第19図)

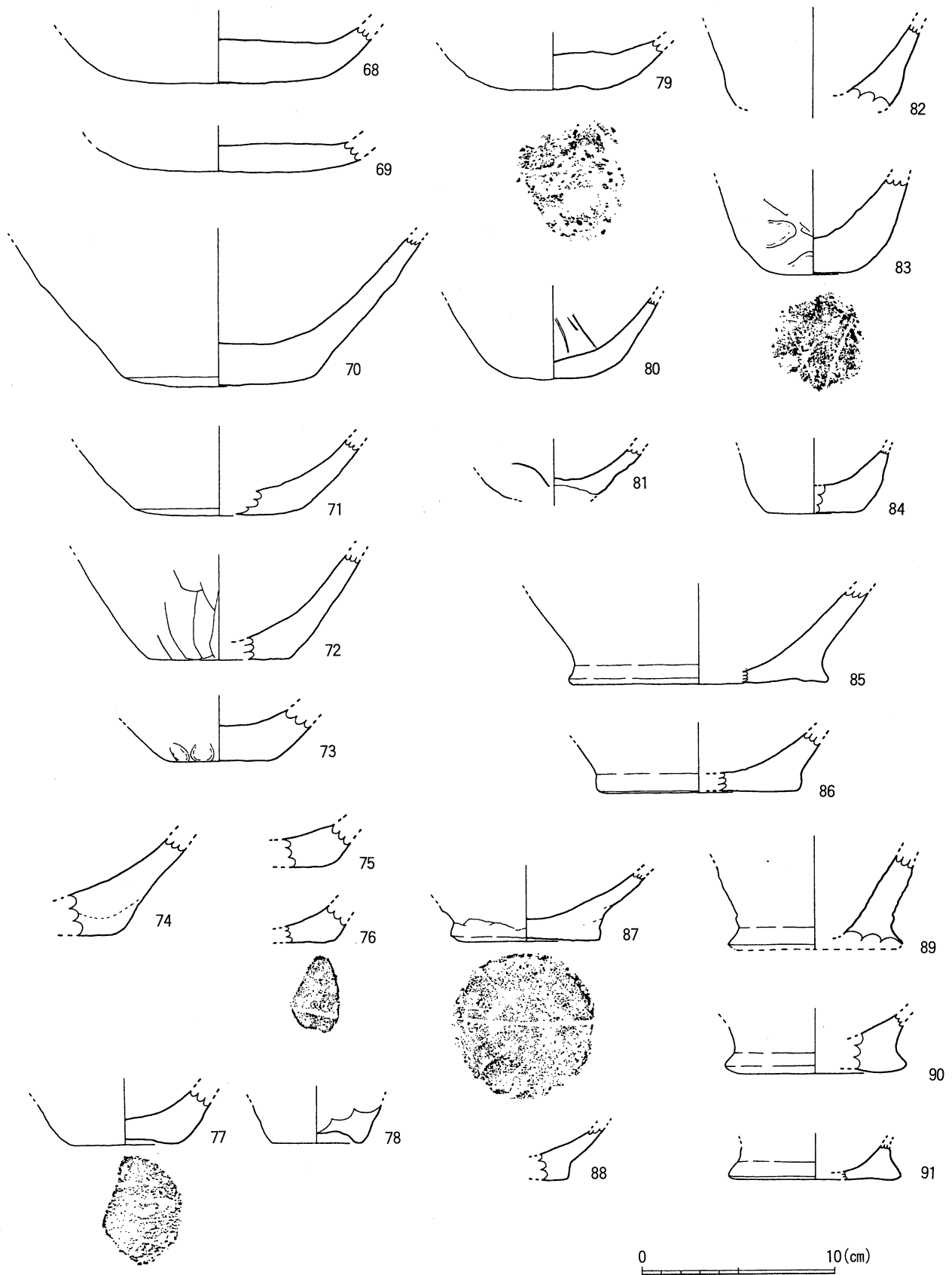
92～98は甑である。92は口縁部が外反し、2つの把手をもつとみられる。外面にタテハケ、内面にやや斜めのヨコハケの調整が施されている。93は92と同一個体である。94、95は把手でともに荒いナデ整形である。96～98は底部でいずれも単孔である。

鉢ほか (第19図)

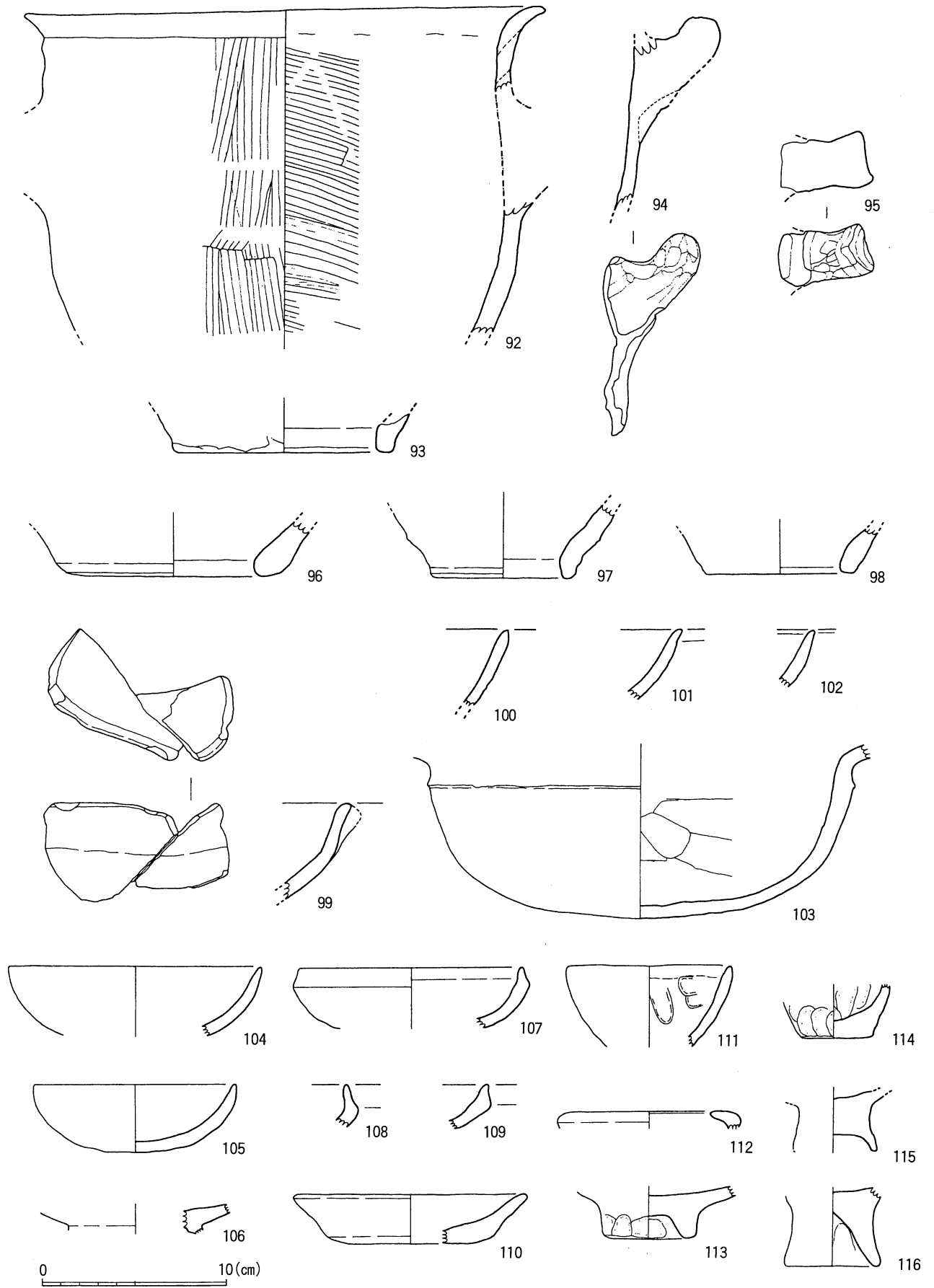
99は片口土器である。体部中位で屈曲し、口縁部がわずかに外反する。100～102は鉢形土器の口縁部とみられる。103は鍋形土器で口縁部が大きく外反し、その下にナデによる一条の突帯状のものがみられる。また、底部から胴部にかけてススの付着や変色がみられ火熱の影響と考えられる。104、105は碗形土器、107～109は坏である。111、114は小型器種、110は皿、そのほかは器種不明である。



第17图 II区出土遗物实测图(5) 1/3



第18图 II区出土遗物实测图(6) 1/3



第19图 II区出土遗物实测图(7) 1/3

高坏 (第20図)

坏部と脚部の形態から以下のように分類する。

坏部Ⅰ類 屈折し口縁部が外反するもので、口径に比して高さが高いもの (117) と高さ低いもの (118、119、120) がある。

坏部Ⅱ類 浅い碗状のもの (121)

坏部Ⅲ類 浅い碗状で口縁部が一段稜をもって屈折するもの (122、123)

脚部Ⅰ類 比較的器高が高く、やや外反しながら裾部が開くもの。(120、134～137)

脚部Ⅱ類 直線的に大きく外方向にひらき、脚裾径が大きいもの。(138)

脚部Ⅲ類 Ⅰ類と類似するが、器高が低いもの (139～141)

脚部Ⅳ類 坏部との境から一端垂直方向に伸び、その後外反しながら裾部が開くもの (142～144)

脚部Ⅴ類 器高が著しく低く、やや外反しながら裾部が大きく開くもの (122)

坏 (第21図～第25図)

Ⅱ区出土遺物の大半を占めるもので形態には様々なものがみられる。ここでは底部付近の調整や形態によって以下のように大まかな分類をおこなう。

坏Ⅰ類 口径12cm～13.5cm程度で口径に対して器高が高いもの

Ⅰ－1 底径が比較的大きいもの (148～153、161、167、168、335、357、378、438、429)

Ⅰ－2 1、3の中間的底径のもの (154～160、163～165、169～171、174～177、181～183、327、352、393～395、488、489)

Ⅰ－3 底径が比較的小さいもの (162、172、173、178～180、184、185、392、440、491)

坏Ⅱ類 口径12cm～13.5cm程度で口径に対して器高がやや低いもの

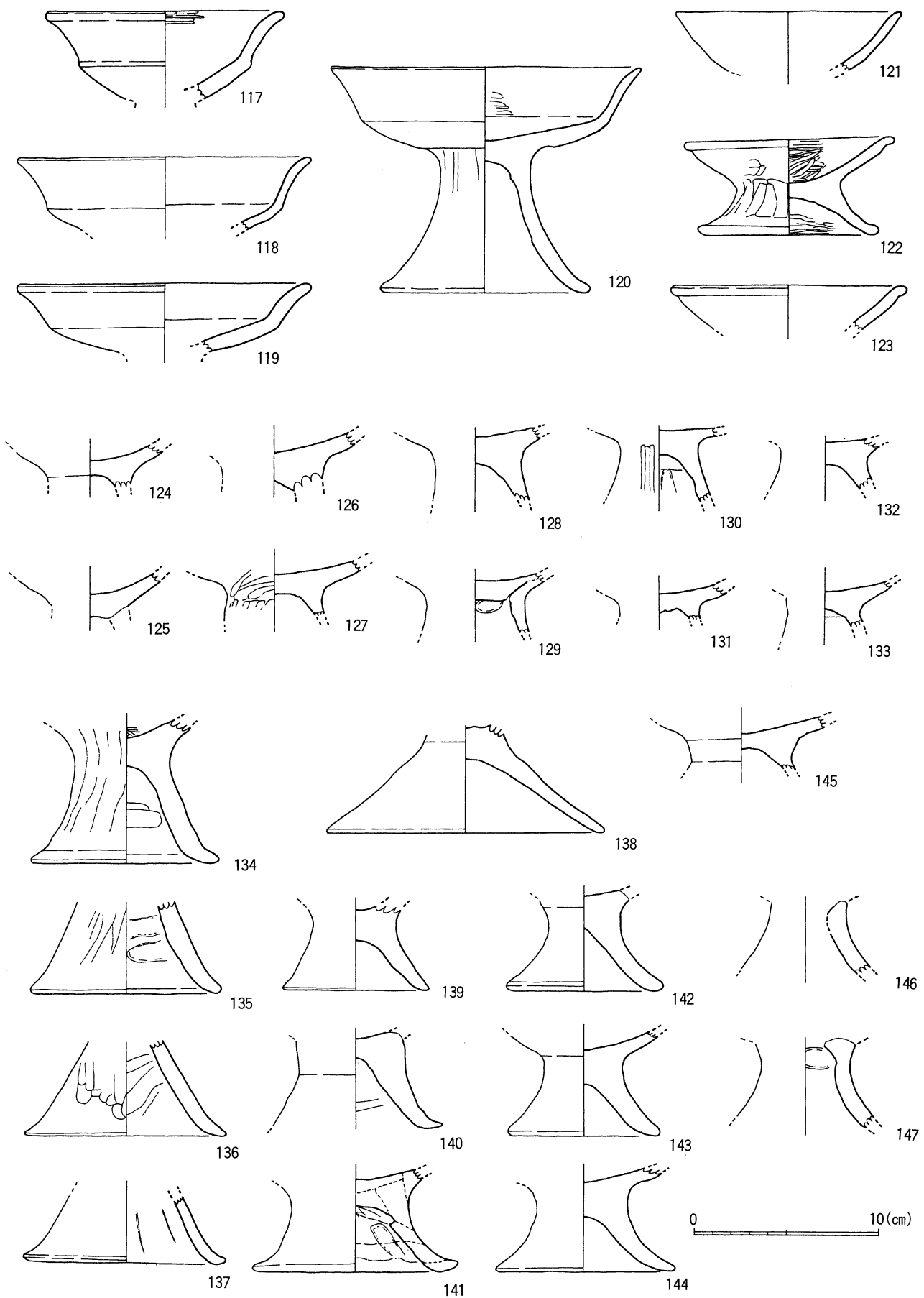
Ⅱ－1 底径が比較的大きいもの (186、188、189、193、199、201、330、334、354、373、450)

Ⅱ－2 1、3の中間的底径のもの (187、190、192、194、198、200、202～208、353、361、363、377、390、437、441、443、444、446、447、472、474、476、485)

Ⅱ－3 底径が比較的小さいもの (191、195～197、484)

坏Ⅲ類 口径12cm～13cm程度で口径に対して器高が低いもの

Ⅲ－1 底径が比較的大きいもの (209、219～226、328、333、337、348、358、359、368、376、389、399、439、470、496)



第20图 II区出土遗物实测图(8) 1/3

Ⅲ-2 1、3の中間的底径のもの (210、212~218、344、391、482、494)

Ⅲ-3 底径が比較的小さいもの (211、381)

坏Ⅳ類 口径14cm以上で器高が高いもの

Ⅳ-1 底径がやや大きいもの (239、244)

Ⅳ-2 底径がやや小さいもの (241、243、245、371、479)

坏Ⅴ類 口径14cm以上で器高がやや低いもの

Ⅴ-1 底径がやや大きいもの (233、235、237、240、451、492)

Ⅴ-2 底径がやや小さいもの (234、236、238、242、346、369、442、448)

坏Ⅵ類 口径14cm以上で器高が低いもの

Ⅵ-1 小型のもの (227~229)

Ⅵ-2 大型のもの (230~232、379、382、421、445)

坏Ⅶ類 直線的な体部から口縁部が大きく外反するもの

Ⅶ-1 器高が高く底径が小さいもの (246)

Ⅶ-2 器高が高く底径が大きいもの (362、398)

Ⅶ-3 器高が低く底径が小さいもの (247、248、332、360)

Ⅶ-4 器高が低く底径が大きいもの (249)

坏Ⅷ類 底部にロクロ切り離し部分が薄い円盤状に残るもの

Ⅷ-1 口径に対して器高がやや低く底径が小さいもの

a 体部が内湾気味のもの (250、326、329、331、351、635)

b 体部が外反気味のもの (251、252、364、372)

Ⅷ-2 口径に対して器高が高く底径が小さいもの (257、258、347)

Ⅷ-3 口径に対して器高が高く底径が大きいもの (253~256)

坏Ⅸ類 底部にロクロ切り離し部分が薄い円盤状の高台になるもの (259~261)

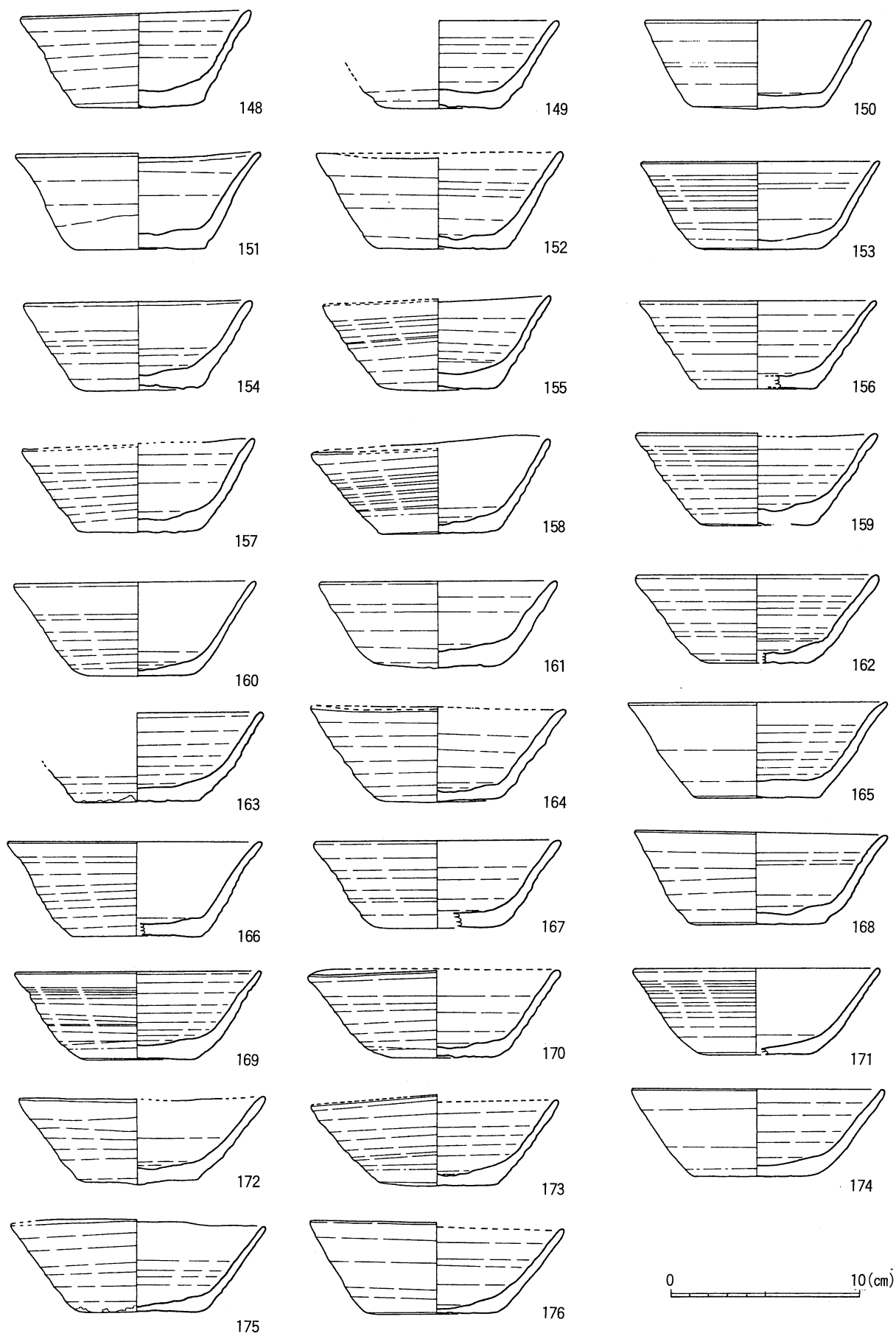
坏Ⅹ類 底部が厚手で底径が小さく体部から口縁部がやや外反気味に大きくひらくもの

Ⅹ-1 器高が低いもの (262)

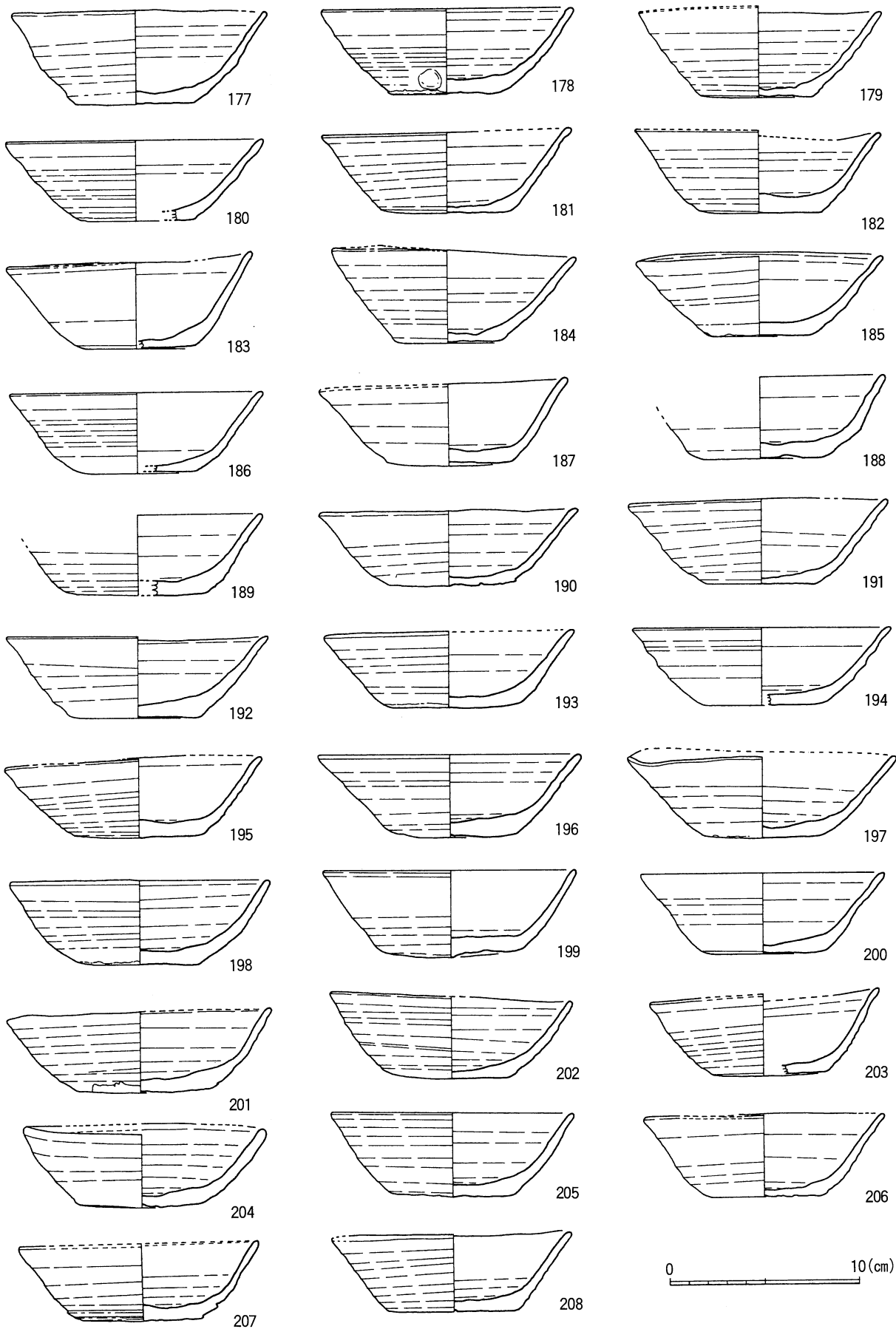
Ⅹ-2 器高が高いもの (265)

坏Ⅺ類 底部が厚く、径が小さい円盤高台状で端部が丸いもの

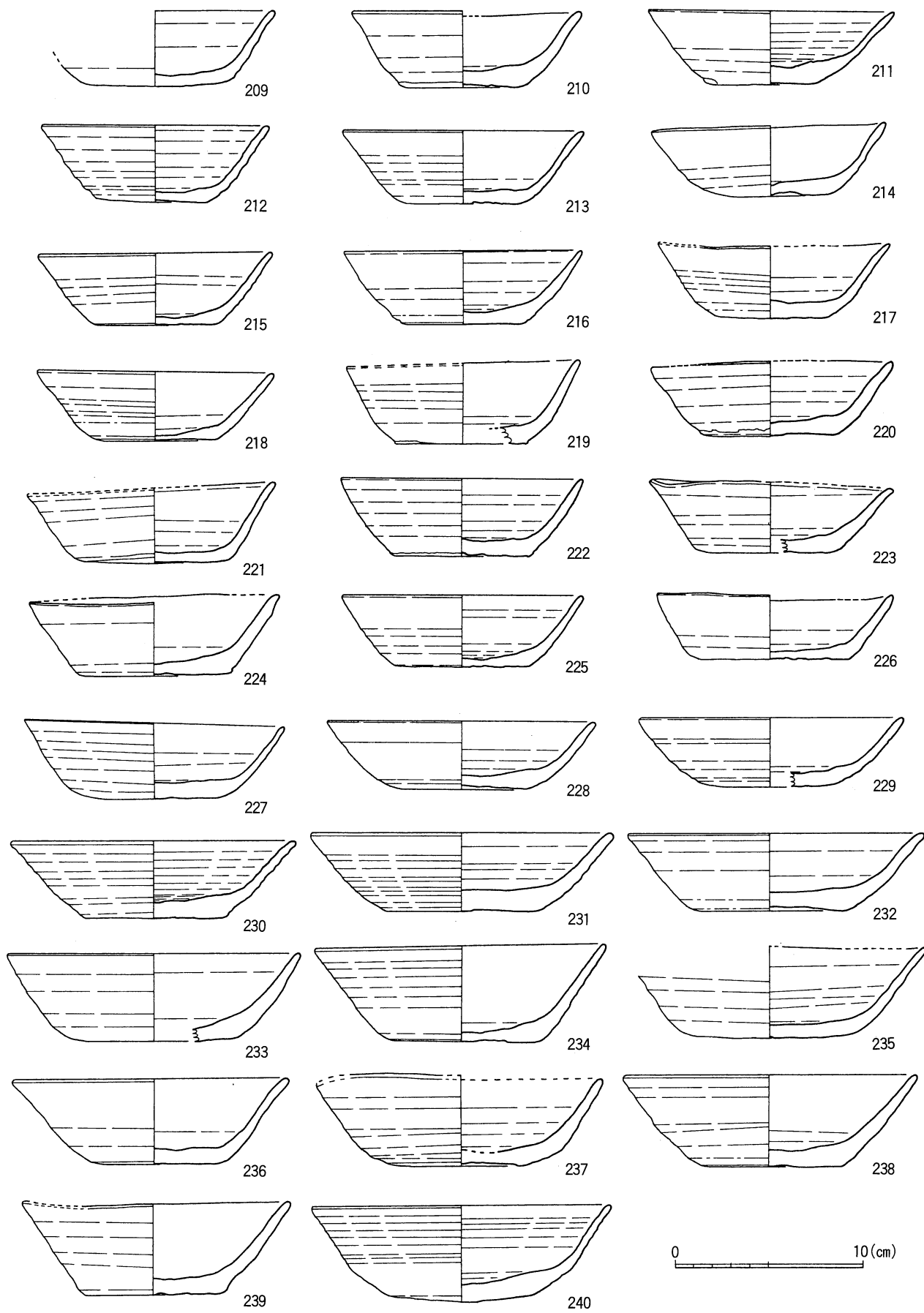
Ⅺ-1 器高が低いもの (263)



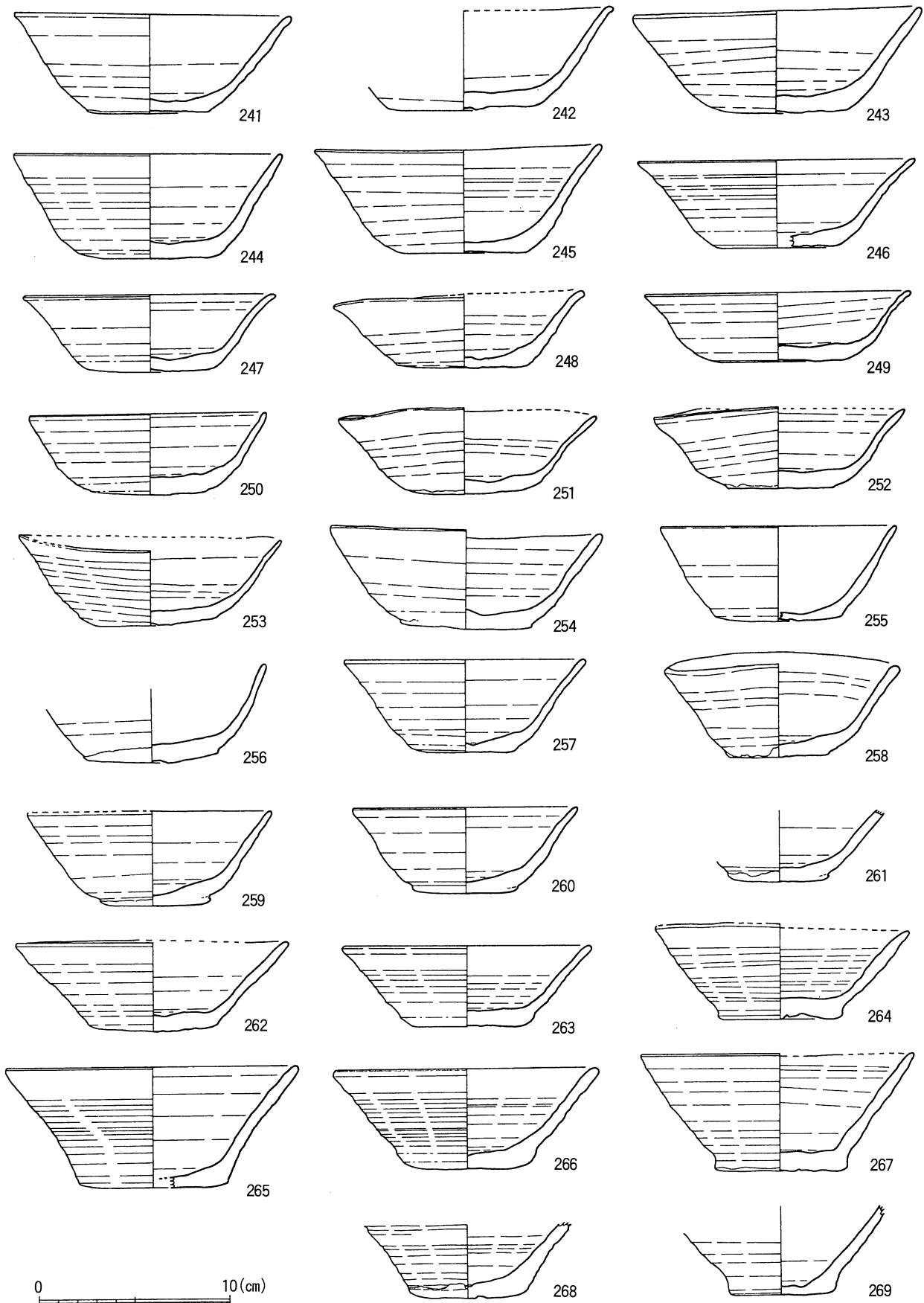
第21图 II区出土遺物実測図(9) 1/3



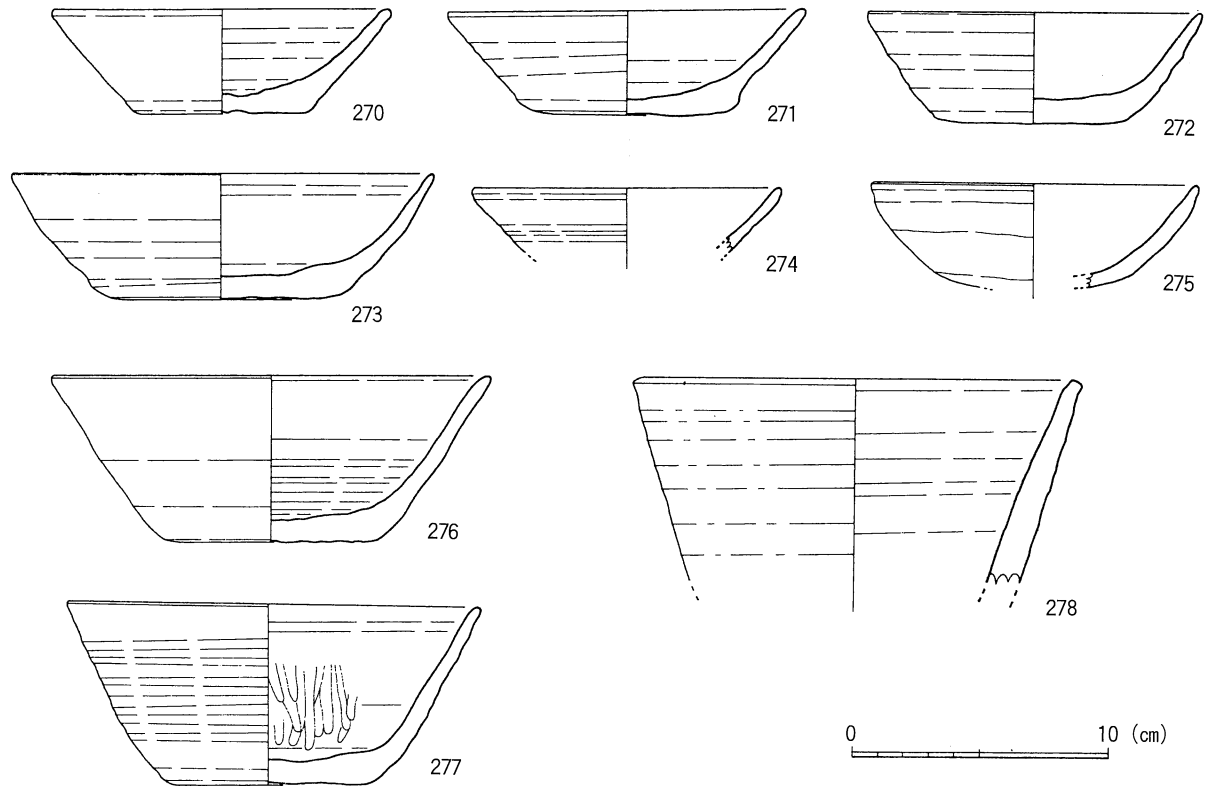
第22图 II区出土遗物实测图(10) 1/3



第23图 II区出土遗物实测图(11) 1/3



第24图 II区出土遺物実測図(12) 1/3



第25図 II区出土遺物実測図(13) 1/3

XI-2 器高が高いもの (266, 268)

坏XII類 底部が厚く、径が小さい円盤高台状となり端部に明瞭な稜をもつもの

XII-1 器高が低いもの (264)

XII-2 器高が高いもの (267, 269)

坏XIII類 底部が厚く、径が大きな円盤高台状となり端部が丸く器高が低いもの

XIII-1 小型のもの (270~272)

XIII-2 大型のもの (273)

上記の分類に当てはまらないものが数点あるため、個別に記述をおこなう。

274は小型で直線的な体部をもち口縁部が若干直立気味となる。275は体部が内湾し口縁部下に稜をもち口縁部が尖り気味である。また風化しているため断定はできないが、外面の調整が回転ナデではなくヘラケズリのように見える。276はIV類に含まれるが、さらにひとまわり大きい。277も形態的にはIV類に近いが、内面の調整にヘラミガキがみられるため除外した。278は口径に対してかなり器高がいとみられ、底部の形状も不明なためここに置いたが、深碗になる可能性が考えられる。

壺 (第26図～第27図)

壺は体部および高台部の形態を大きく以下のように分類する。

体部Ⅰ類 口径に対して器高が高く、体部はやや内湾気味で口縁部が外反する底径の小さいもの(279)

体部Ⅱ類 口径に対して器高が高く、体部が外反しながら口縁部へと開くもの(283、286、289、303、350、428)

体部Ⅲ類 口径に対して器高が高く、体部は直線的で口縁部が外反するもの(481)

体部Ⅳ類 口径に対して器高がやや低く、体部は直線的なもの(280、284、287、290、292、293、295、296、298、366、425)

体部Ⅴ類 口径に対して器高が低く、体部は直線的で口縁部が外反するもの(310)

体部Ⅵ類 体部が内湾するもの(306、468、469)

高台 a 外方に開き端部が平坦に近いもの(280、286、290、292、300、301、304、305、306、388、469)

高台 b 外方に開き端部が丸いもの(281、282、285、287、288、289、291、295、307、308、350、365、366、418、428、430、481)

高台 c 外方に開き端部外方の強いナデ調整によって先端が尖り気味になるもの(284、293)

高台 d 外方に開き断面三角形状になり先端が尖るもの(468)

高台 e ほぼ直立し断面が三角形状となるもの(294、339)

高台 f 高台が高く直立気味で端部が外方に屈折するもの(279)

f' 高台が低く直立気味で端部が外方に屈折するもの(297)

高台 g 断面形が方形で高台の高さが非常に低いもの(310、311)

体部および高台部の形態以外に指摘できる特徴として306、307、308、430の底部外面には放射状の調整痕がみられる。また、分類をしていない309は高坏とは考えられず、高台または脚の可能性があるので、ここに入れた。

Ⅲ (第27図)

Ⅲの出土は坏や壺と比較すると少なく、大きくは高台を持つものと持たないものに別れるが、ここでは以下のように分類した。

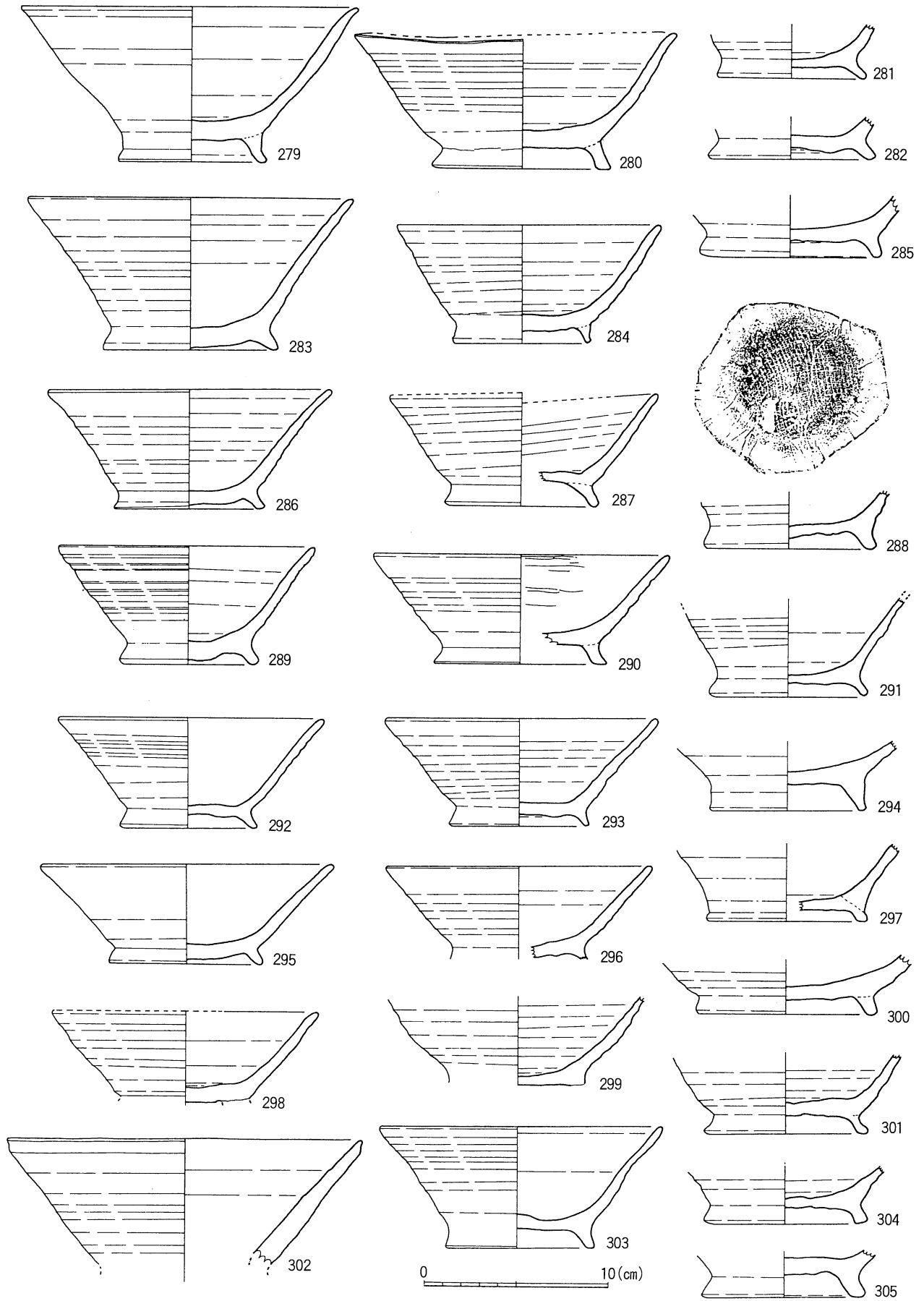
ⅢⅠ類 高台を持たないもの

Ⅰ-1 底径が大きく、厚手で強く外反しながら口縁部に至るもの(312)

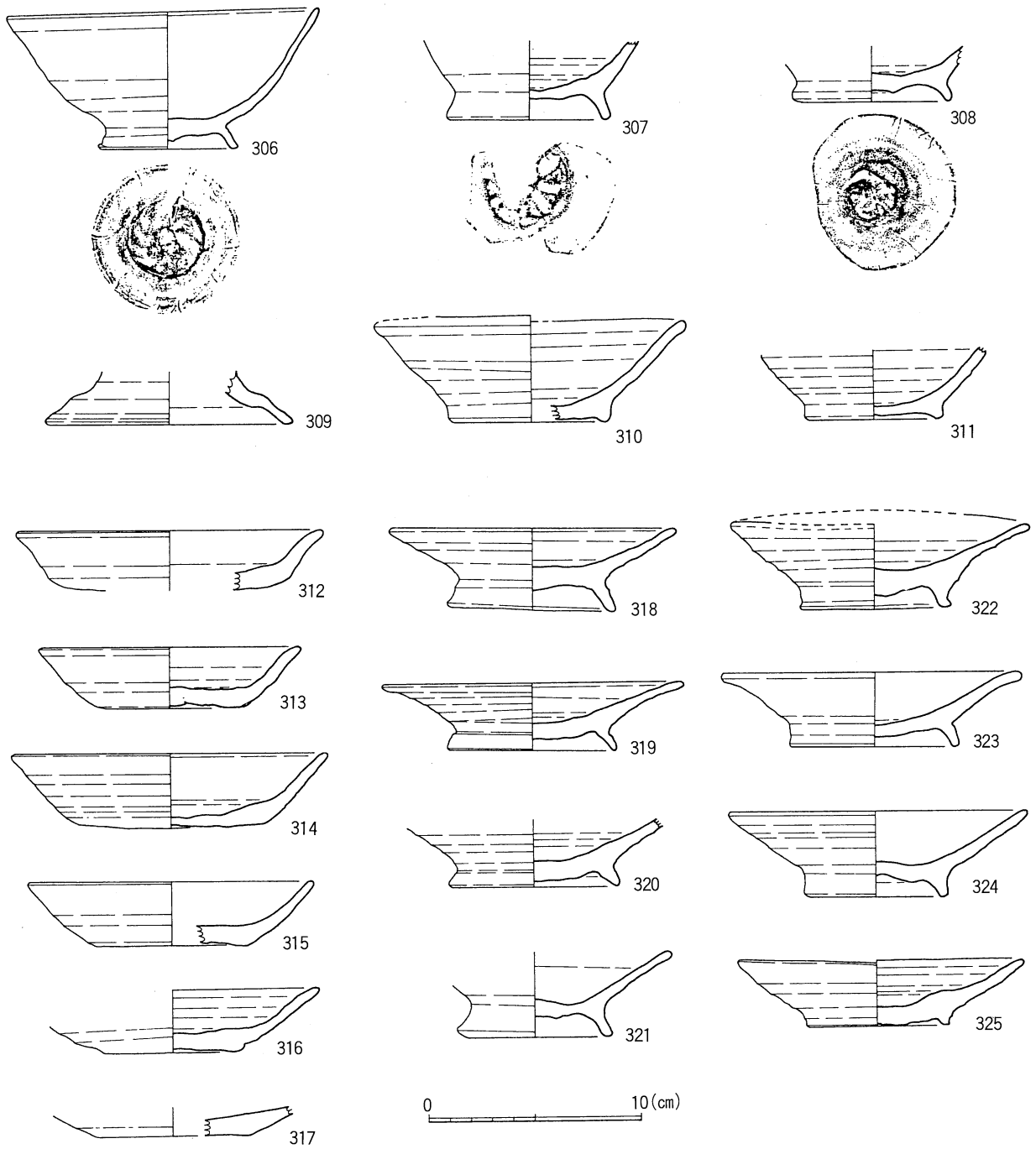
Ⅰ-2 坏が扁平になったような形態で口径と器高の比が約4：1程度のもの

a 体部が直線的で口縁部がわずかに外反するもの(313、314、422)

b 体部が内湾気味のもの(315、483)



第26图 II区出土遺物実測图(14) 1/3



第27図 II区出土遺物実測図(15) 1/3

I-3 底部が薄く円盤高台状となるもの (316)

I-4 底部と体部の境に明瞭な稜をもち、体部が大きく開くもの (317)

皿Ⅱ類 高台を持つもの

II-1 高台が斜め下方に直線的に伸びるもの

a 器高が比較的高く、体部は直線的なもの (318、336)

b 器高が比較的低く、体部は外反気味で高台の接合部が強いナデのため内・外面とも沈線状に窪むもの (319、320)

- c 口径が小さく、器高が高いもの (321)
- II-2 器高が比較的高く、高台部が直線的に下方に延び端部がわずかに外反するもの (322, 338)
- II-3 高台部が直線的に下方に延びるもの
 - a 器壁が厚く口縁部が外反するもの (323)
 - b 体部が内湾気味で高台が高いもの (324)
 - c 体部が内湾気味で高台が低いもの (325)

墨書土器 (第28図～第34図)

II区では総数150点にのぼる墨書土器が出土している。墨書には文字や記号らしきものなど様々なものがみられ、墨痕がみられるものもある。ここでは墨書を中心とした記述とし、墨書が施されている土器の形態に関しては各器種ごとの分類の項で併せて行っているため、その分類に従って記述する。

「日万」の墨書をもつもの

326～343、444は一文字のようにみえるが、「日」と「万」が縦に近接して書かれたものとみられる。今回出土した墨書の中で最も多くみられた同一文字で19点を数える。器種としては坏が大半を占めるが、高台付きの皿が2点みられる。この器種に施された墨書はこの文字だけである。327は接合はできなかったが同一個体とみられるものを図化した。墨書された部位では体部外面が8点、底部外面が8点、底部高台内3点である。また、体部外面に墨書されたものはすべて倒位である。土器の形態としては坏I-1類が1点 (335)、I-2類が1点 (327)、II-1類が2点 (330, 334)、II-2類が1点 (444)、III-1類が3点 (328, 333, 337)、VII-3類が1点 (332)、VIII-1 a類が3点 (326, 329, 331)、III II-1 a類が1点 (336)、II-2類が1点 (338)、その他5点である。

「寺」の墨書をもつもの

344、355の2点がみられた。いずれも体部外面に倒位で墨書されているが、字体、大きさがかなり異なる。土器の形態としては344が坏III-2類、345が分類外である。

「木」の墨書をもつもの

346、347の2点がみられた。いずれも体部外面に墨書されているが、346が倒位、347が正位である。346が坏V-2類、347が坏VIII-2類である。

「波太」?の墨書をもつもの

348～350の3点がみられた。すべて体部外面に倒位で墨書されており、字体もかなり類似している。348、349は坏III-1類、350は埴II b類である。また、この文字については「得万」という他の解釈も提示されている。

「吉」の墨書をもつもの

351～356、455の7点がみられた。すべて体部外面倒位で墨書されている。354～356は残存している部分についての判断であるため別字の可能性もある。その他は完全に文字が判読できるが、353だけは「口」の部分が他の3点と異なる。土器の形態としては351が坏Ⅷ－1類、352が坏Ⅰ－2類、353が坏Ⅱ－2類、354が坏Ⅱ－1類でその他は不明である。

「定」の墨書をもつもの

357の1点がみられた。体部外面に墨書されており、正位で大きく書かれている。土器の形態としては坏Ⅰ－1類である。

「直」？の墨書をもつもの

358の1点のみである。体部外面に横位で墨書されており、形態は坏Ⅲ－1類である。文字の下部を欠くため「直」ではない可能性がある。

「内」の墨書をもつもの

359、360の2点がみられた。ともに体部外面に正位で墨書されており、形態としては359が坏Ⅲ－1類、360が坏Ⅶ－3類である。

「人」の墨書をもつもの

361の1点のみである。体部外面に倒位で墨書されており、形態は坏Ⅱ－2類である。

「伴」の墨書をもつもの

362の1点のみである。体部外面に倒位で墨書されており、形態は坏Ⅶ－2類である。

「井」の墨書をもつもの

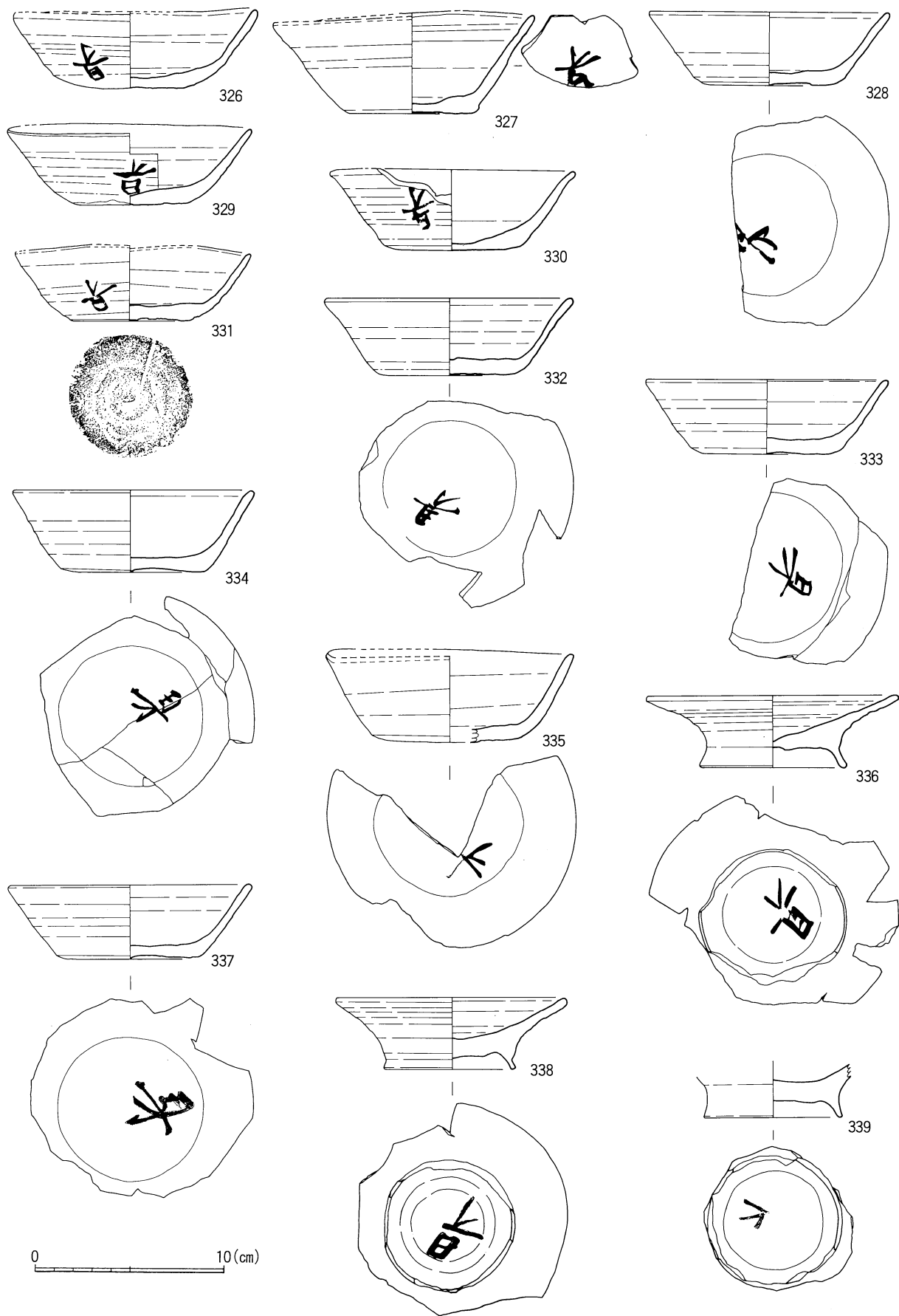
363の1点のみである。体部外面の2か所に倒位で墨書されており、字体が異なる。形態は坏Ⅱ－2類である。

「古」の墨書をもつもの

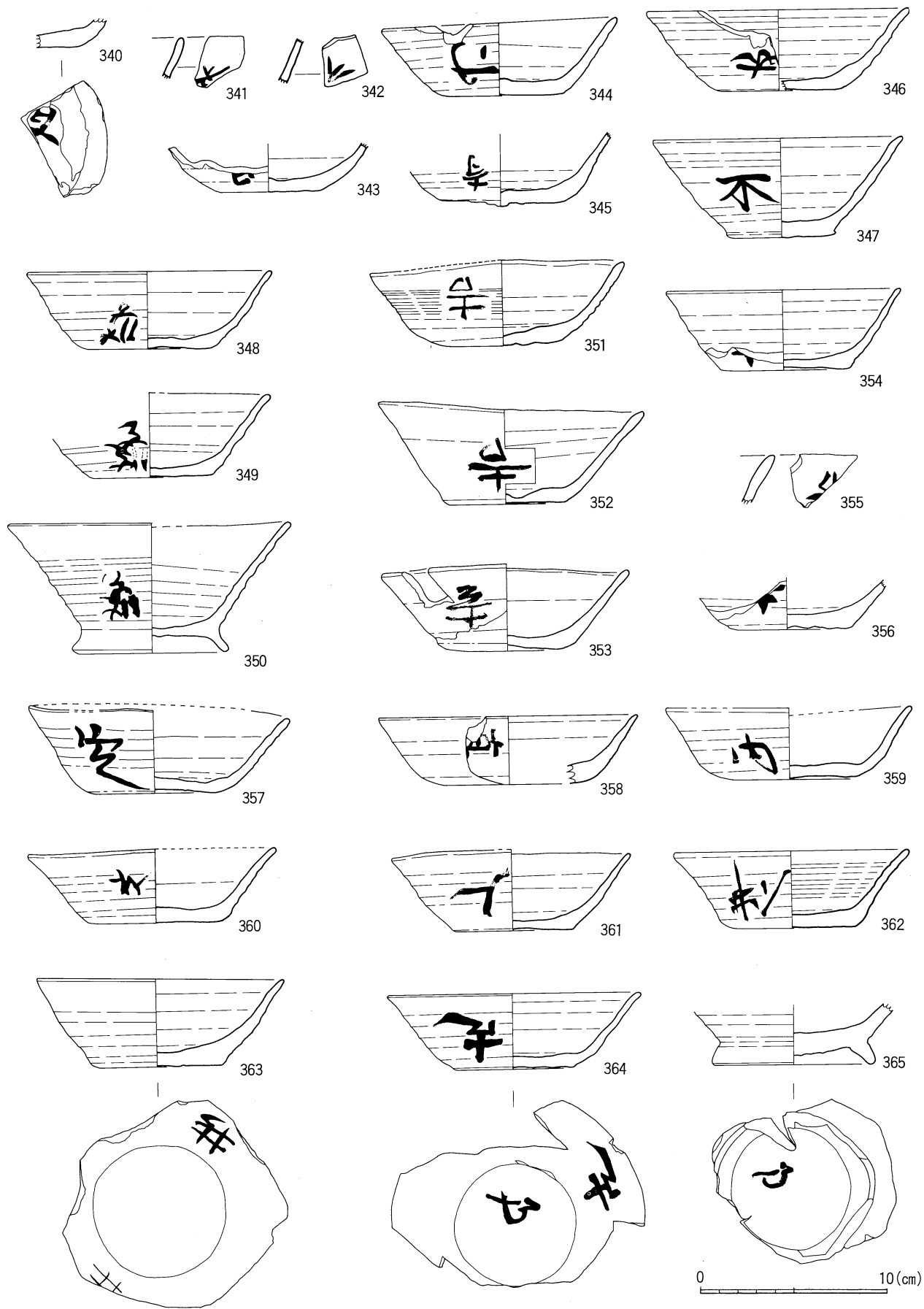
364の1点のみである。体部外面に倒位で墨書されており、形態は坏Ⅷ－1b類である。また、底部外面に「得」または「万」と考えられる墨書がみられる。

「得」または「万」の墨書をもつもの

364、365の2点のみである。364は上述のとおりで、365は塊で底部外面にみられる。また、365は全体的器形は不明だが、高台部はb類に属する。



第28图 II区出土遺物実測図(16) 1/3



第29图 II区出土遗物实测图(17) 1/3

「生」の墨書をもつもの

366の1点のみである。体部外面に倒位で墨書されており、形態は坏Ⅳ b類に属する。「生」の下部を欠くため断定はできないが、もう一文字書かれていた可能性がある。

「力」の墨書をもつもの

367の1点のみである。底部外面に墨書されており、全体的器形は不明である。

「仁」の墨書をもつもの

368の1点のみである。底部外面に墨書されており、全体的器形は坏Ⅲ－1類である。

特殊文字の墨書をもつもの

369は「𠂔」の墨書が体部外面正位にみられ全体的器形は坏Ⅴ－2類である。370は「𠂔」の墨書が体部外面にみられ全体的器形は不明である。この370に記された文字は載初元年（西暦690年）に唐の高宗の後であった則天武后（624～705年）によって考案された17文字、いわゆる則天文字のひとつである「天」とみられる。369の文字は則天文字そのものではないが、類似した形であるためここでとりあげた。

「伊益奉」の墨書をもつもの

371の1点のみである。体部外面に倒位で墨書されており、形態は坏Ⅳ－2類に属する。

「隅舎」の墨書をもつもの

372の1点のみである。体部外面に横位と底部外面に墨書されており、形態は坏Ⅷ－1 b類に属する。

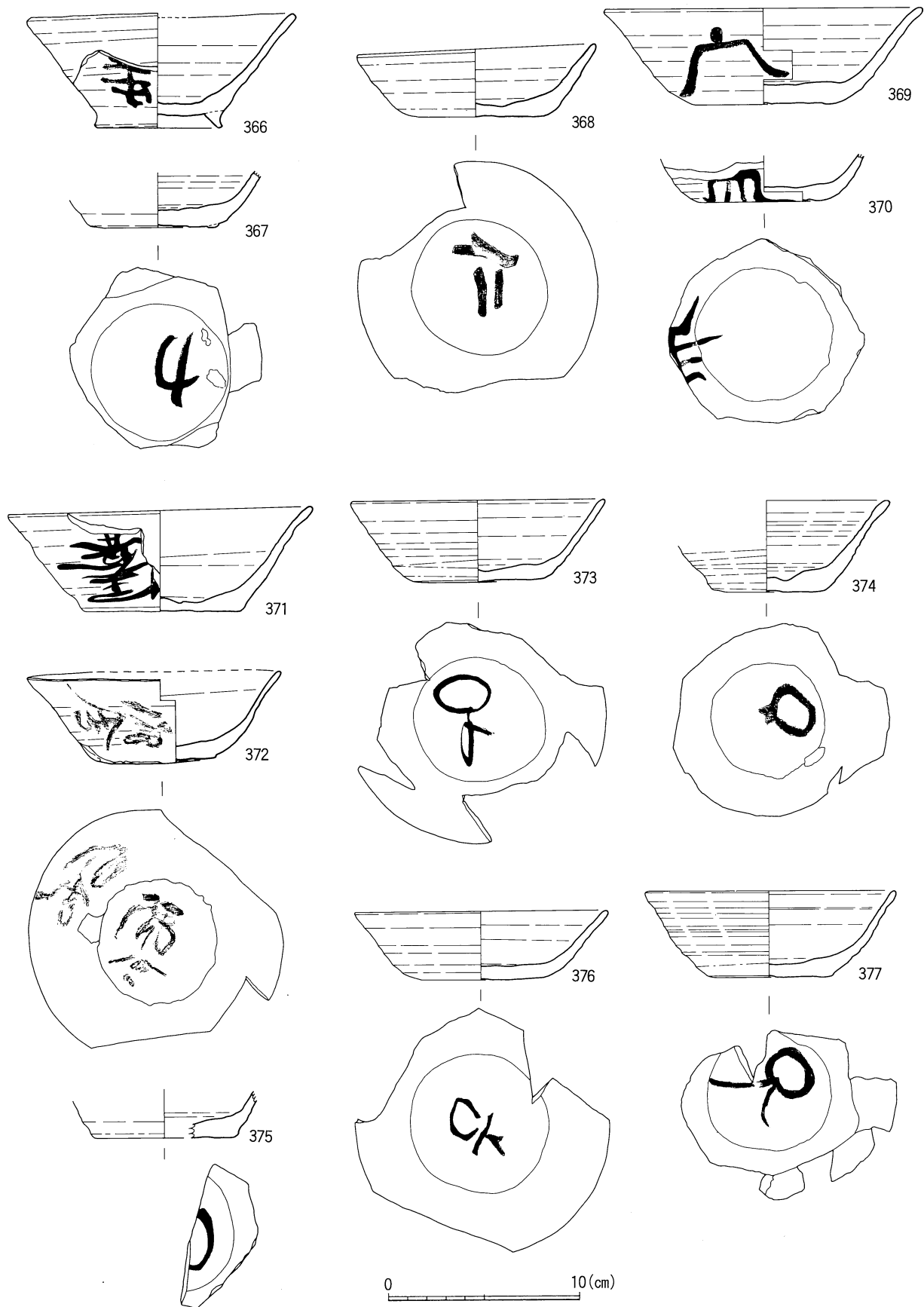
記号のような墨書をもつもの

373～387は文字というよりも記号的な墨書がみられるものである。記号には以下のようなものがみられる。

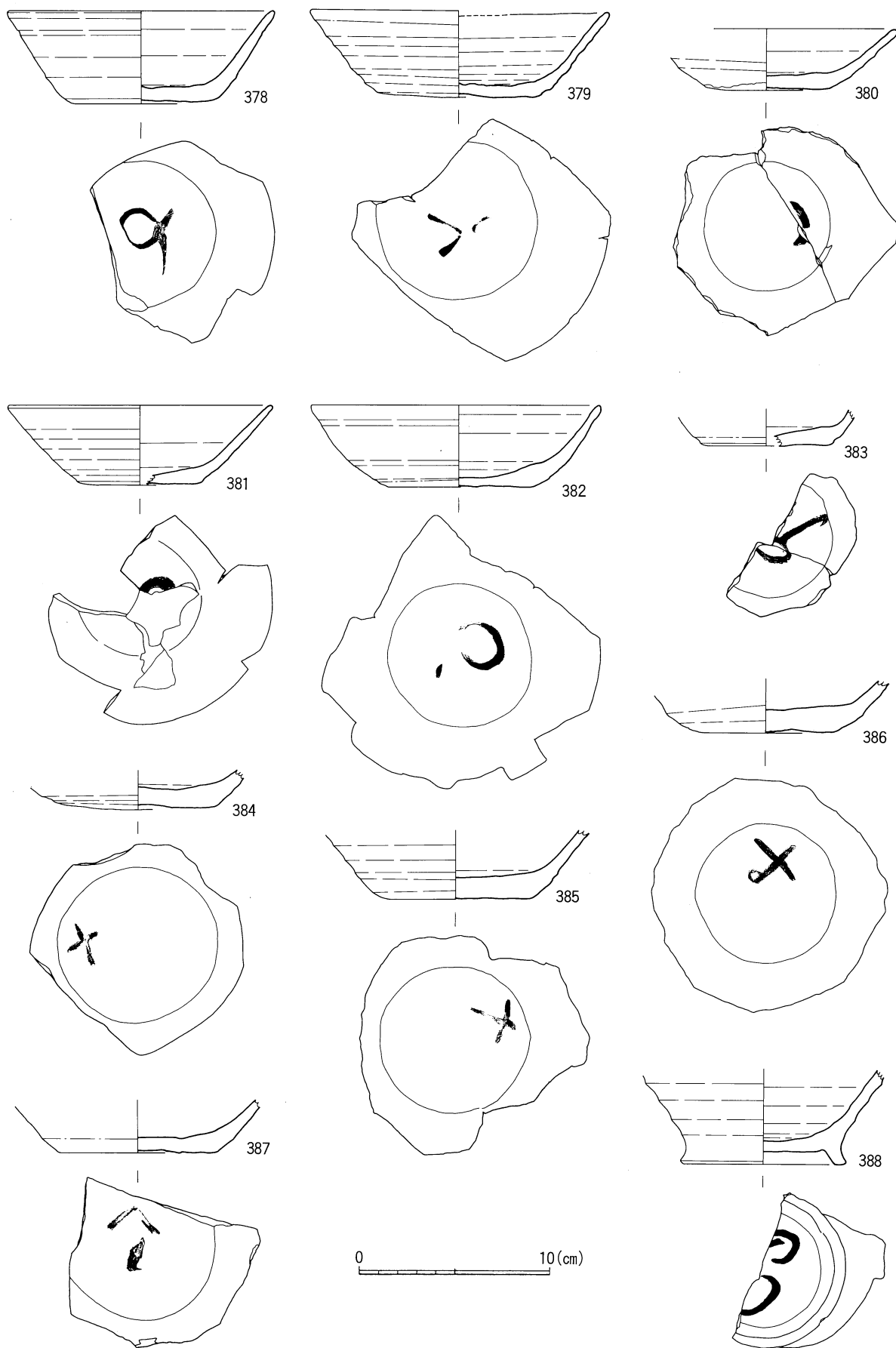
- 1 「○」と「ハ」の組み合わせのもの（374、377、383）
- 2 「○」と「一」と「ハ」の組み合わせのもの（376）
- 3 「○」と「+」の組み合わせのもの（373、379）
- 4 「○」と「、」の組み合わせのもの（382）
- 5 「+」だけのもの（384～386）

上記以外としては「○」の一部とみられるもの（375、380、381、382）、1の組み合わせを一筆書きにしたようなもの（378）、矢印のようなもの（387）がある。

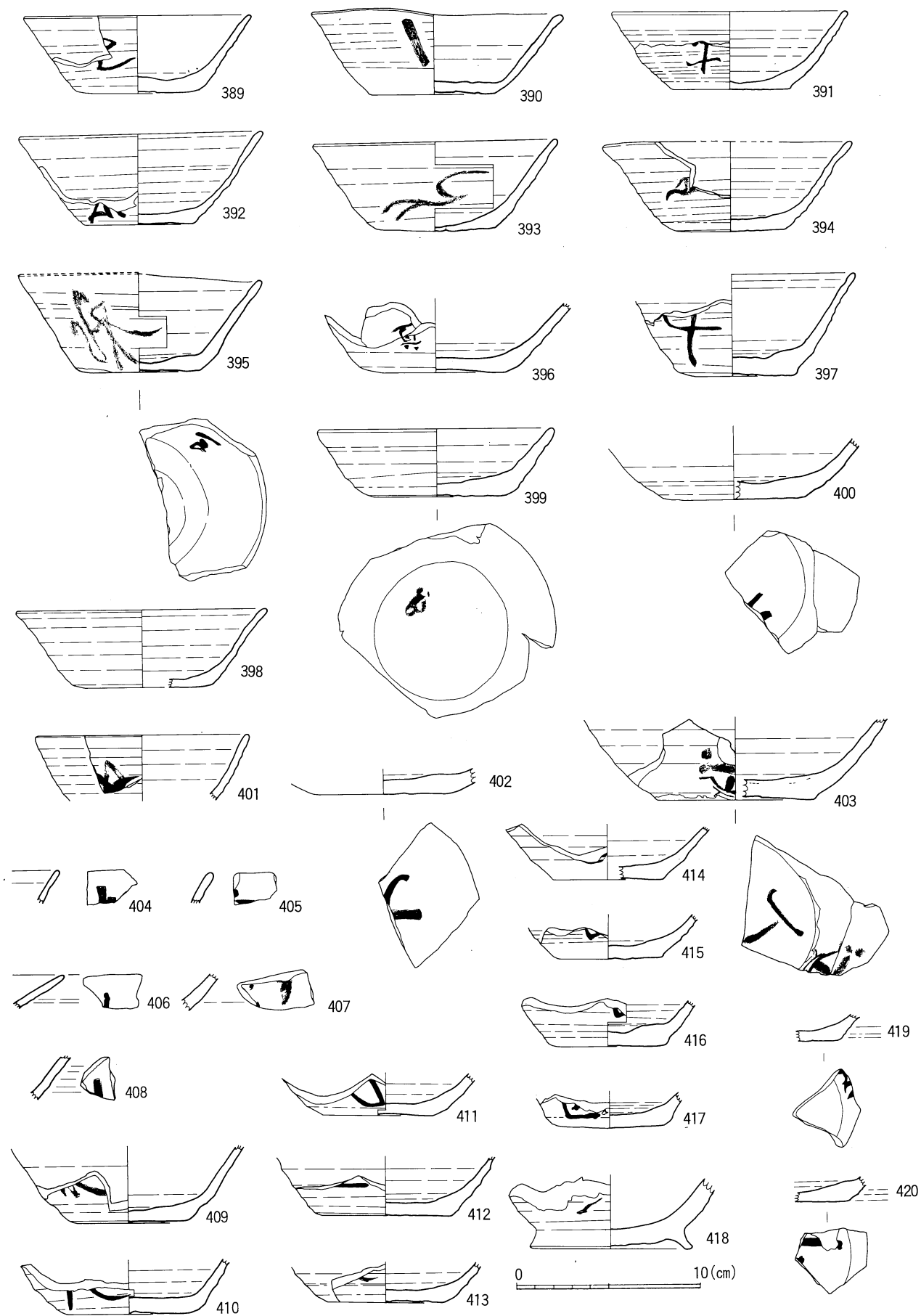
388～420、425、435、436には文字または記号の一部と思われる墨書がみられる。376は「道」の倒位もしくは「真」の正位の可能性がある。419は体部・底部外面に墨書が施されている。419はその特徴が「波太」？のもの非常に近い。墨書された部位は体部外面が大半を占め、399、402、403は底部外面、398は体部内面である。



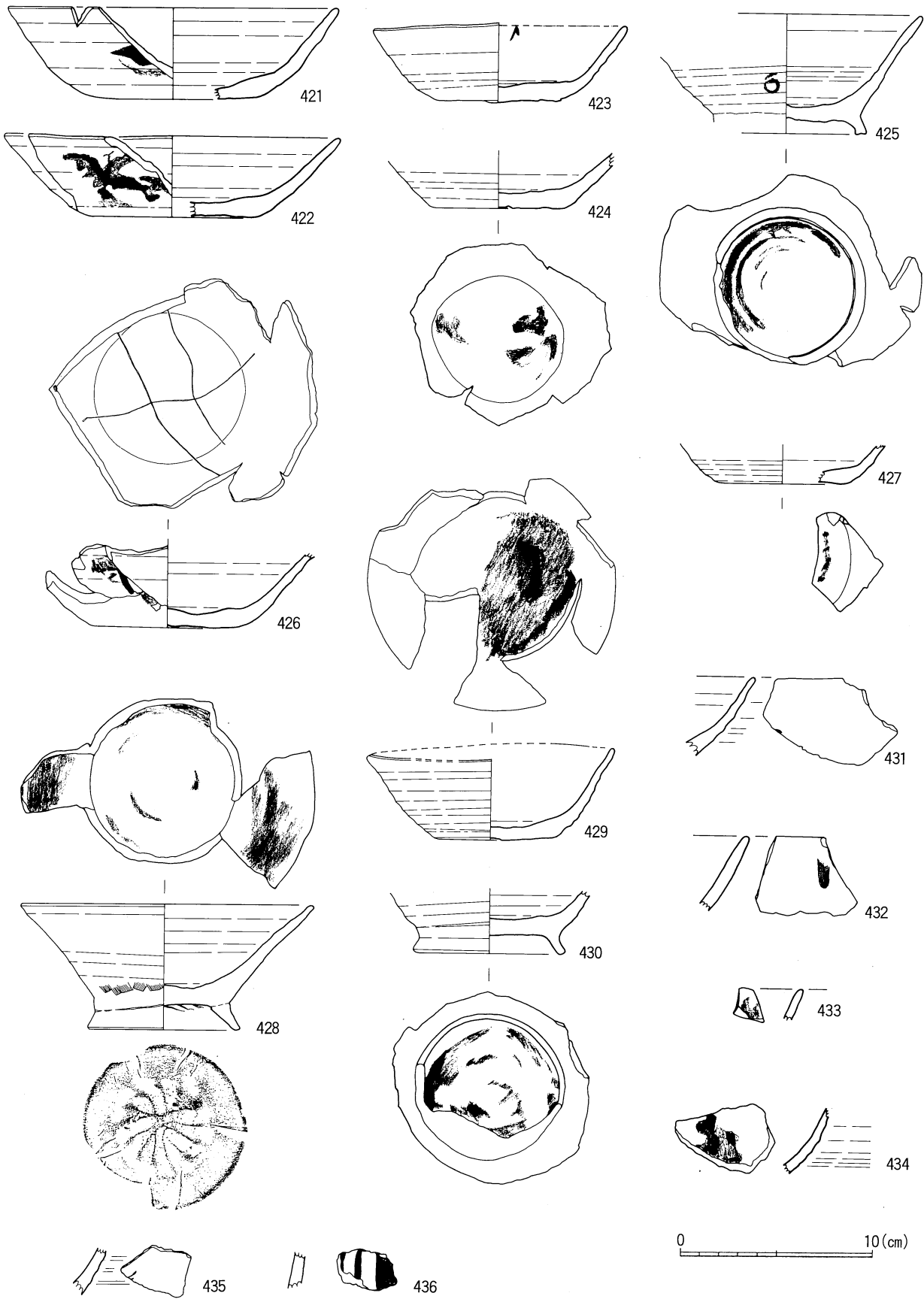
第30图 II区出土遗物实测图(18) 1/3



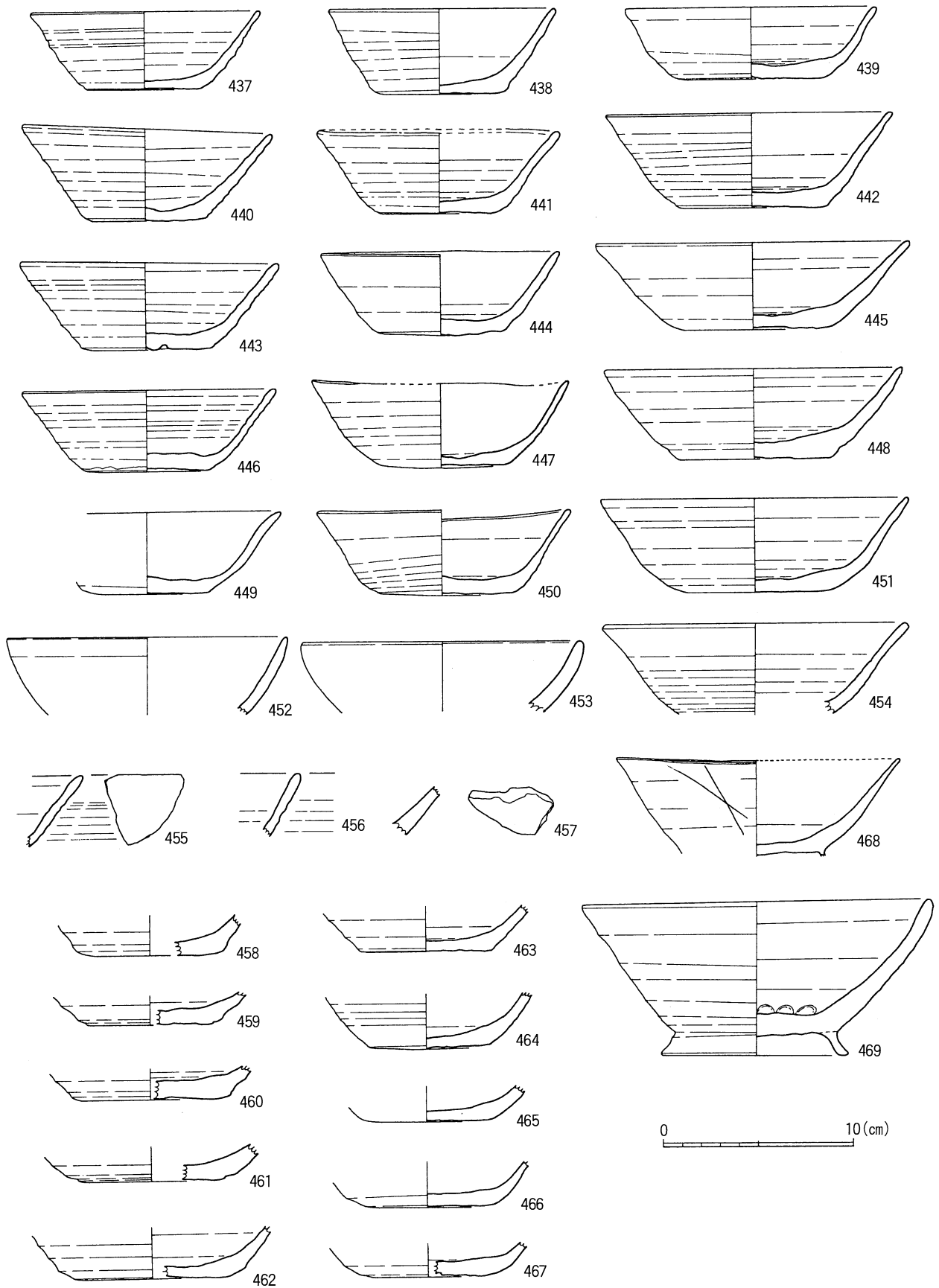
第31图 II区出土遗物实测图(19) 1/3



第32图 II区出土遗物实测图(20) 1/3



第33图 II区出土遺物実測図(21) 1/3



第34图 II区出土遗物实测图(22) 1/3

421～424、426～434は墨の痕跡がみられるものである。424には体部内面に線刻もみられる。428は内面が非常に滑らかになっているため硯として転用した可能性がある。また、427、430は硯ではないが、墨を溜めた痕跡とみられるためパレット的に利用した可能性が考えられる。

437～469は肉眼では墨書・墨痕を確認できないものである。ほとんどが判読できないが、444は「日万」、455は「吉」、467は「化」?である。448、453、463は344の「寺」の崩し字に類似したものが墨書されている。

刻書・線刻土器（第35図～第37図）

「井」の線刻をもつもの

確実なものは470だけであるが471、480はこの可能性がある。すべて体部外面である。470の形態は坏Ⅲ－1類でその他は不明である。

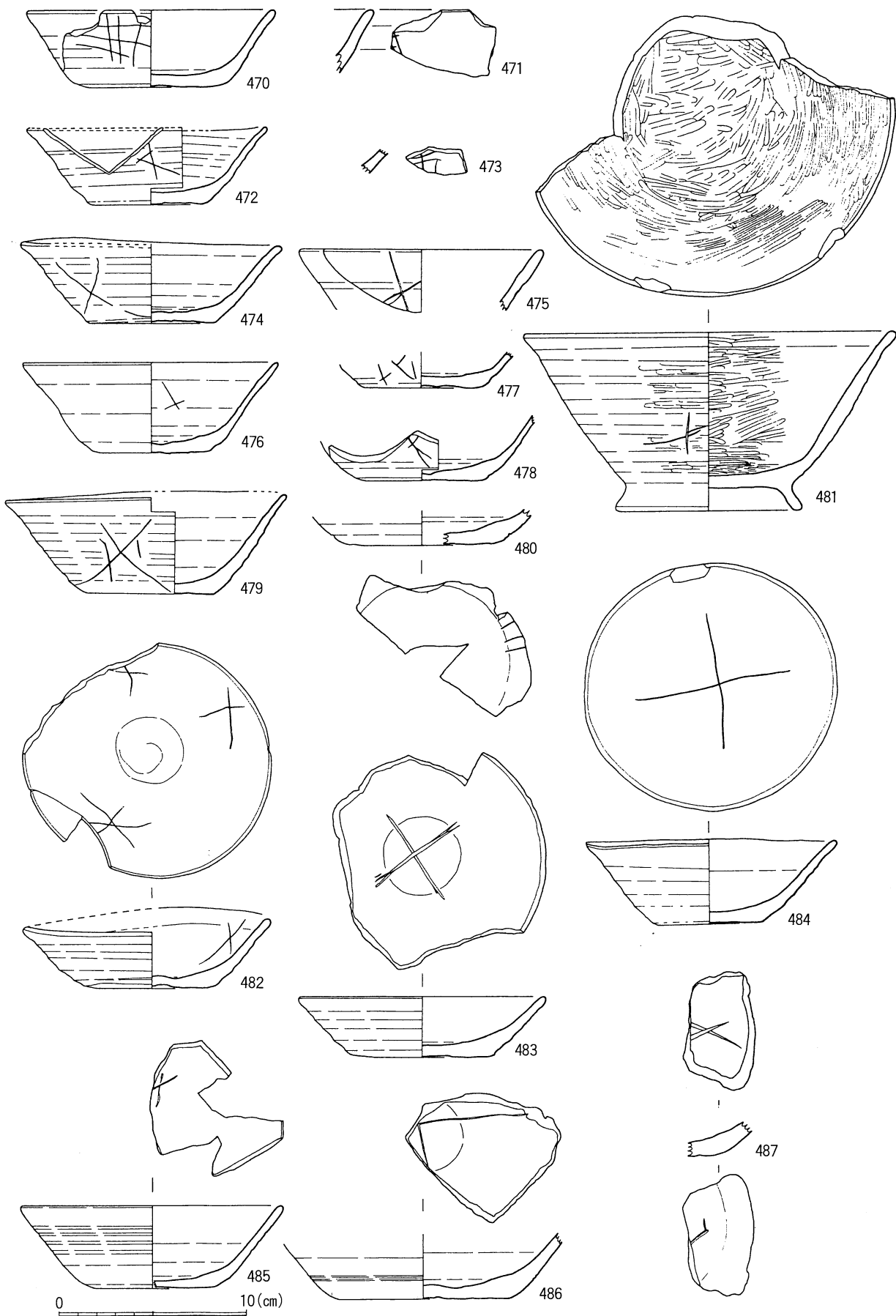
「×」の線刻をもつもの

472、474～476、479、481～487の12点である。472、474、475、479、481は体部外面、476、482は体部内面、483～487は底部内面に線刻されている。472、479は「×」以外の直線と組み合わせられている。482は体部内面の3か所に線刻されており、2つが「×」、1つは後述する「米」である。487は底部外面にも線刻がみられる。土器の形態としては坏Ⅱ－2類が4点（472、474、476、485）、坏Ⅱ－3類（484）、坏Ⅲ－2類（482）、坏Ⅳ－2類（479）、埴Ⅲb類（481）、皿Ⅰ－2b類（483）が各1点、その他は不明である。

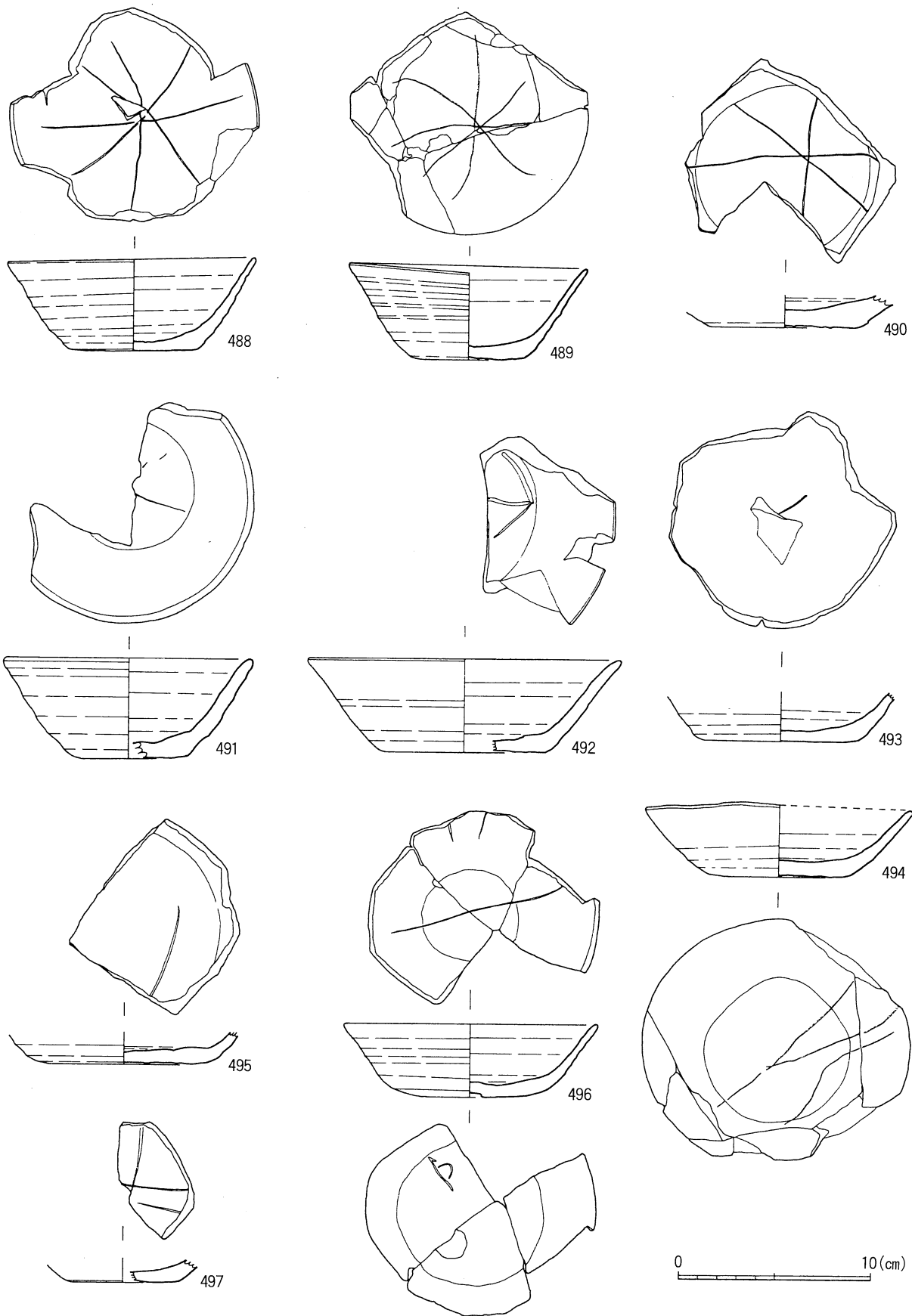
「米」の線刻をもつもの

482、488～490の4点である。482は体部内面で他に2つ「×」の線刻をもつ。488～490は底部内面に大きく線刻されている。土器の形態としては坏Ⅰ－2類が2点（488、489）、坏Ⅲ－2類（482）、490は不明である。

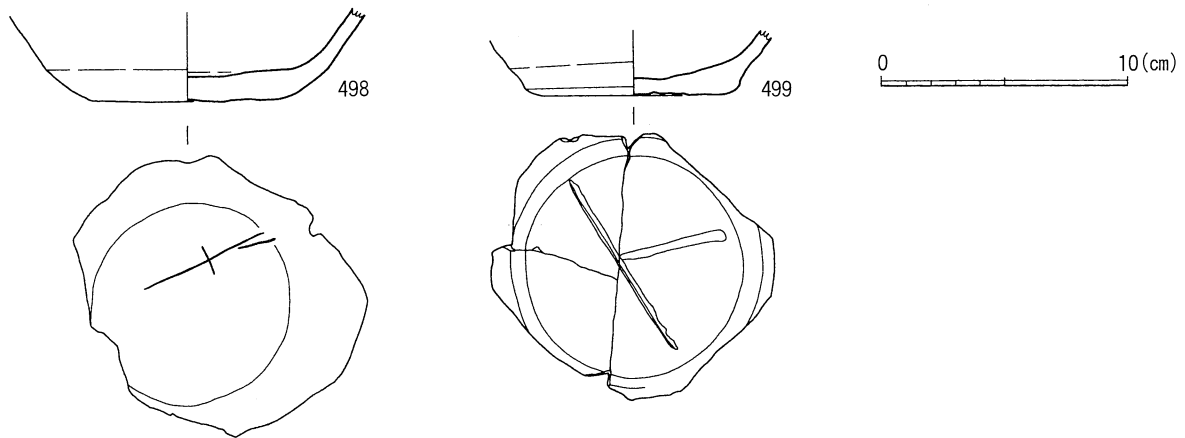
上記以外のものとして、473は小破片だが体部外面に刻書が施されておりなんらかの文字とみられる。477、478も体部外面に直線が数条みられ、形態は不明である。491～493、495～497は底部内面に線刻が施されている。器形としては491が坏Ⅰ－3類、492が坏Ⅴ－1類、496が坏Ⅲ－1類、493、495、497が不明である。また、496は底部外面に文字または記号のような刻書が施されている。494、498、499は底部外面に線刻が施されている。器形としては494が坏Ⅲ－2類で、498、499は不明である。



第35图 II区出土遗物实测图(23) 1/3



第36图 II区出土遗物实测图(24) 1/3



第37図 II区出土遺物実測図(25) 1/3

黒色土器 (第38図～第39図)

出土した黒色土器には壺と鉢がみられた。

壺 (第38図)

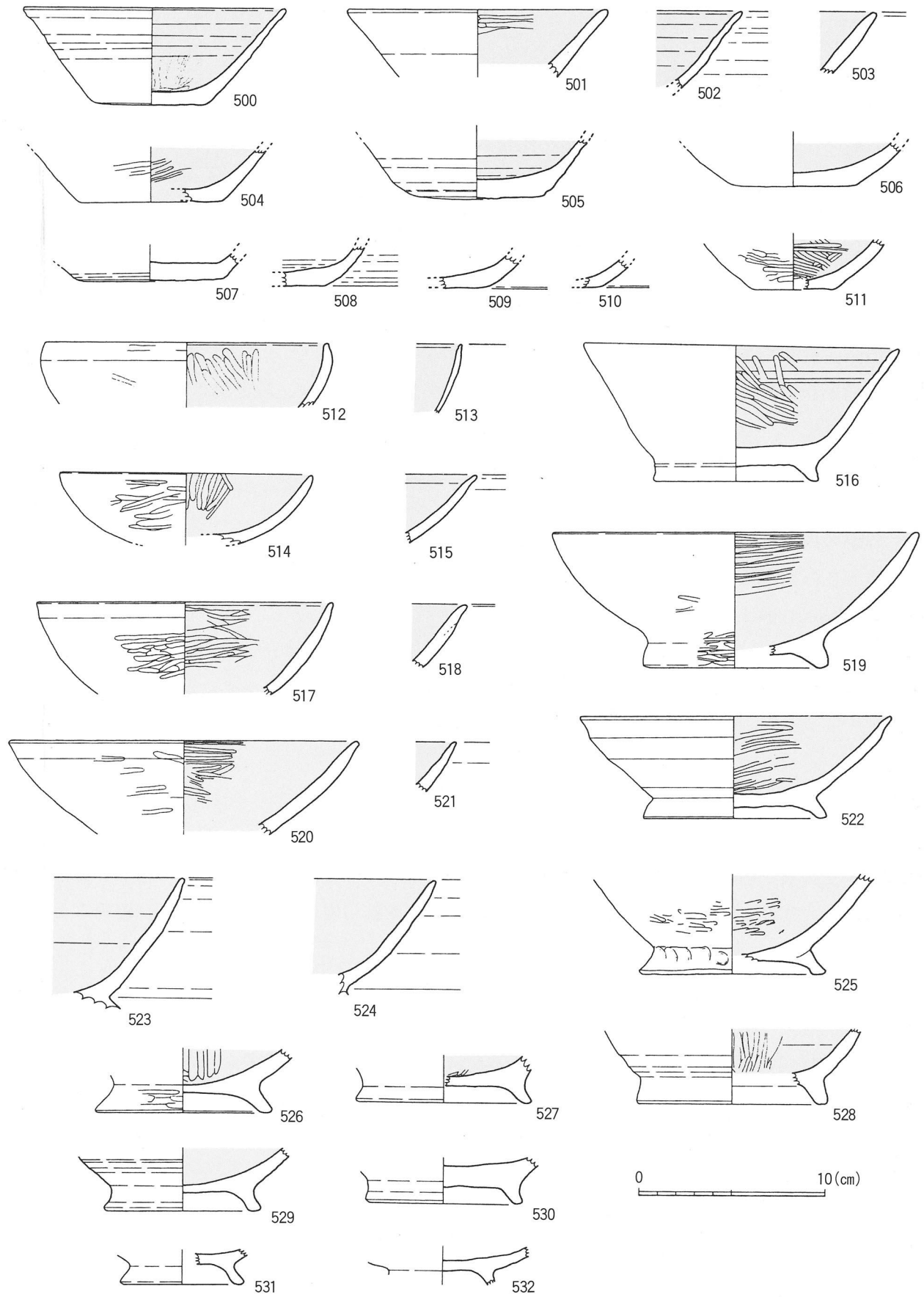
500は平底の底部に直線的な体部をもち、器形的には須恵器坏Ⅱ-2類に近い。501も直線的な体部だが500よりも器壁が厚く内面のミガキの方向が異なる。502は体部下位でやや内湾ぎみにふくらみ口縁部は外反する。504～511は平底の底部である。すべて底部はナデ調整だが、505はヘラ切り後のナデが荒いためヘラ切り痕跡がはっきりと見える。507は外面調整が回転ヘラミガキである。512は体部が内湾し、口縁部がやや強く内湾する。513は非常に器壁が薄く、口縁部下位の内面に細かい沈線がみられ、内面の調整がミガキではなく他のものと異なる。514は内湾する体部とおそらく小形の平底をもち、器高も低い。516は直線的な体部とわずかに外方に開く高台をもつもので、器形的には須恵器壺Ⅰ-1類に近い。515、517～524は体部が内湾し、口縁部外面がわずかに窪む。519、522は高台が内湾し厚手でしっかりとしている。525～532は高台をもつ底部で、高台が大きく外方に開き端部が平坦なもの(525、526、527、529、530、531)とあまり外方に開かず底径が大きいもの(528)がみられる。また、532は底径が小さく体部が大きく外方に開くもので他のものとは形態差がみられる。

鉢 (第39図)

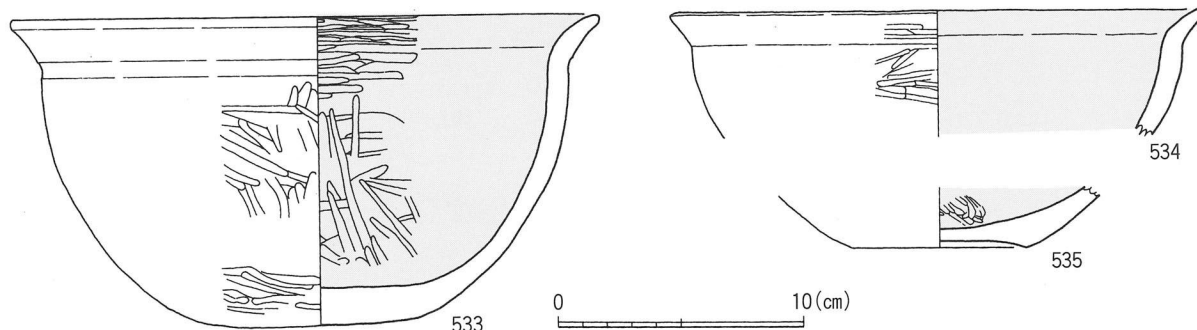
533は、小形の平底で体部は内湾し口縁部が外方に屈曲する。534も533と同様の器形だが口径、器高ともわずかに小さい。535はわずかに上げ底状の底部で鉢形の器形とみられる。

布痕土器 (第40図～第41図)

製塩や焼塩、塩の運搬に使用された土器とみられ円錐形の器形でやや内湾ぎみの胴部と口唇部が尖る特徴をもつ。南九州東岸部では一般的な形態で「布痕土器」と呼称されている。内面に荒い布の圧痕、



第38图 II区出土遗物实测图(26) 1/3



第39図 II区出土遺物実測図(27) 1/3

外面に指頭圧痕を残すものが多い。口唇部の形態では同一個体においても部分ごとによりかなり差がみられるが、三角形状の断面が基本とみられる。底部は尖底を基本とするが、乳房状に突出するもの(578)もみられる。また、口径がやや大きいものと小さいものがある。

全体的な形状には以下のようなものがみられる。

- 1 横からみた形状が横長の三角形状のもの
- 2 横からみた形状が正三角形状のもの
- 3 横からみた形状が縦長の三角形状のもの

1は口径の大きなものに多く、2と3は口径の小さいものに多い。

須恵器 (第42図～第49図)

土師器・土師質土器と比較すると量が少なく、古墳時代のものと古代のものがみられる。器種としては坏、蓋、碗、高坏、壺、甕があり、墨書が施されたものや転用硯もみられる。以下、器種ごとにその概要を述べる。

蓋 (第42図579～589、第43図607～614)

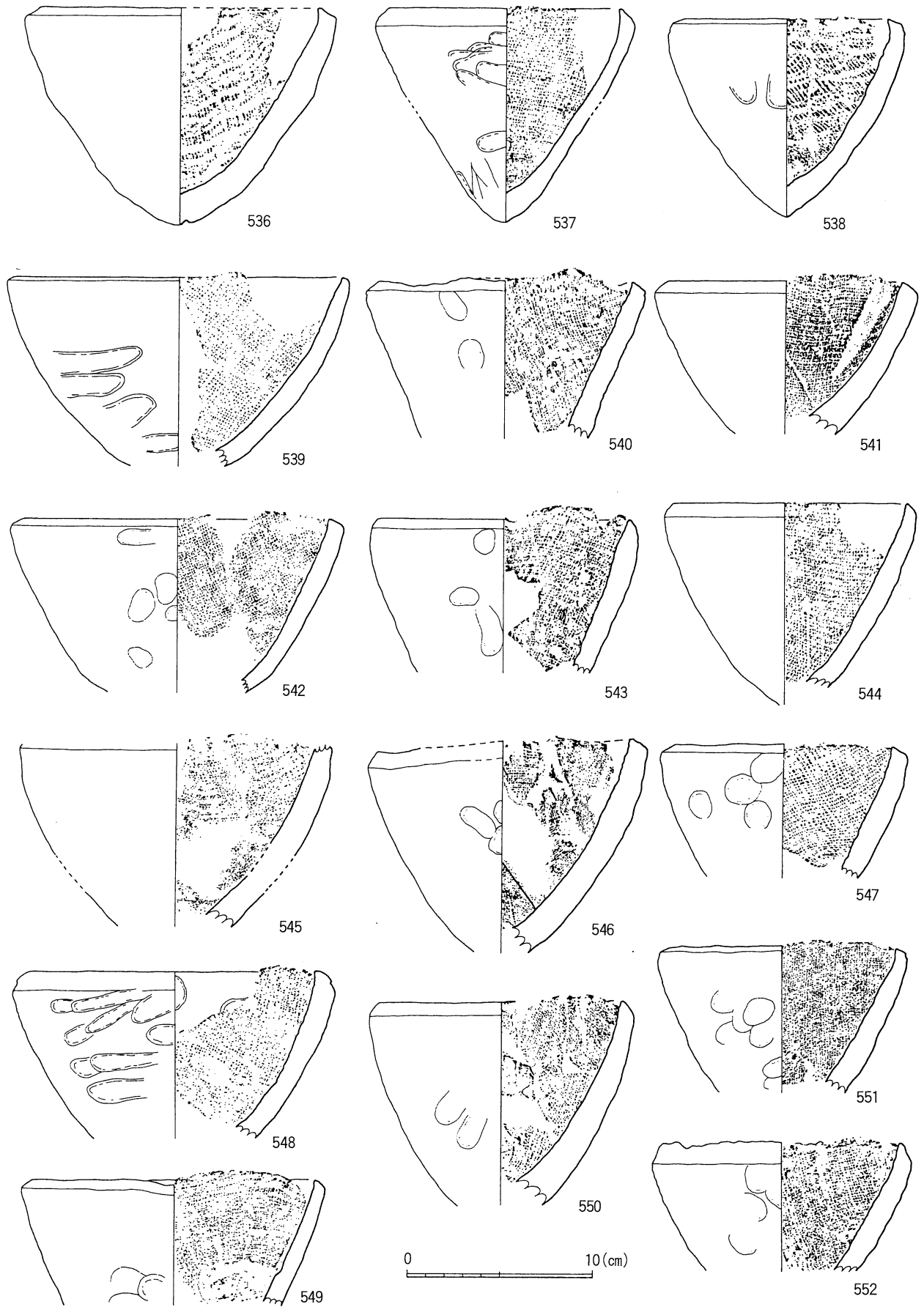
蓋には古墳時代のものと古代のものがみられるが、以下のように分類する。

蓋Ⅰ類 口縁部から短く垂直気味に立上がり内湾しながら丸い天井部へと続く。天井部は2～3単位分クロク右回転のヘラケズリを施している。法量的にも大差は無く、後述の坏Ⅰ-1類に伴うものとみられる。(579～589)

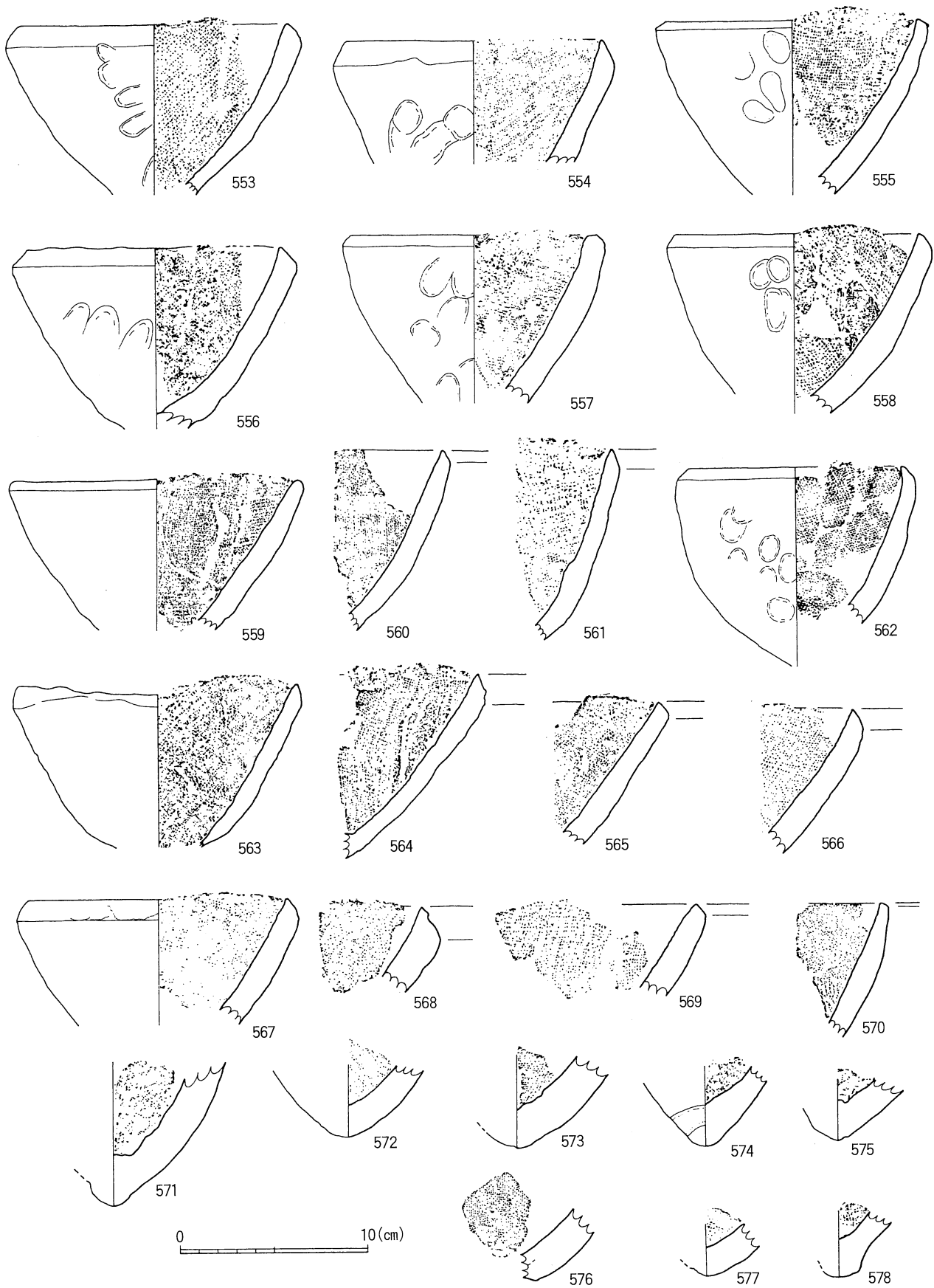
ただし、580、582、583は他のものとは胎土の混合物、焼成状況が異なる。

蓋Ⅱ類 つまみを持ち口縁部が屈曲し、返りを有する。

- Ⅱ-1 器高が低く偏平で大型のもの (607、612)
- Ⅱ-2 器高が低く偏平で小型のもの (610、613)
- Ⅱ-3 器高が比較的高いもの (608)



第40图 II区出土遺物実測図(28) 1/3



第41图 II区出土遗物实测图(29) 1/3

Ⅱ-4 つまみの中央が大きく窪むもの (609)

蓋Ⅲ類 口縁部が屈曲するが、器壁が厚く返りを持たない (614)

坏 (第42図590~606、第43図615~617、第49図685~687)

坏にも古墳時代のものと古代のものがみられるが、以下のように分類する。

坏Ⅰ類 返りを持つもの

I-1 大型のもの (590~601、603~604)

I-2 小型のもの (602)

坏Ⅱ類 返りを持たないもの

Ⅱ-1 口径が比較的小さく器高が高いもの (615)

Ⅱ-2 口径が比較的大きく器高が低いもの (616、685~687)

Ⅱ-3 口径、底径が大きく器高が低いもの (617)

碗 (第43図、第49図)

すべて古代のものとみられるが、全体形がわかるものを以下のように分類する。

碗Ⅰ類 口径に対して器高が高く、体部が内湾気味で口縁部がわずかに外反するもの。

I-1 大型のもの (618、619)

I-2 中型のもの (621)

碗Ⅱ類 I類よりも底径がわずかに大きく、器高がやや低いもの (622、623、688)

碗Ⅲ類 口径に対して器高が低いもの

Ⅲ-1 大型で底径が小さく高台端部が尖るもの (619)

Ⅲ-2 中型で底径が大きいもの (625)

Ⅲ-3 小型で底径が大きく、端部が丸く肥厚するもの (684)

上記以外のものは個別に記述する。624は低い円盤高台状を呈する。626は厚手で内湾し、体部下位にヘラケズリがみられる。627は小型で口縁部下位がわずかに窪み稜をもつ。628はやや内湾し器高が低く、629は体部が内湾気味に膨らみ、口縁部が外反し器高が高いものとみられる。630は高台の高さが低い。631、632は底径が小さく、焼成不良のためか白色で軟質である。

高坏 (第43図)

高坏は出土点数が少なく、それぞれ形態が異なるので分類はせず、個々の特徴を述べる。

633は坏部で口縁部、脚部を欠くが体部下位に透かし孔を開けた痕跡がみられる。634は脚部で3方に透かし孔をもち、裾部で屈曲する。635、636は坏部と脚部の結合部で外面にヘラケズリがみられる。また、636が脚の残存部がかなり外反する傾向にあるため低脚とみられる。637は小破片であるが体部中位で屈曲し1条の沈線がめぐる坏部で、古墳時代後期の長脚二段透かしをもつ高坏の坏部片とみられる。

壺 (第44図~第45図)

638~640は短頸壺である。いずれも薄手で肩が強く屈曲し張る。641、642、646は提瓶の胴部片で、肩

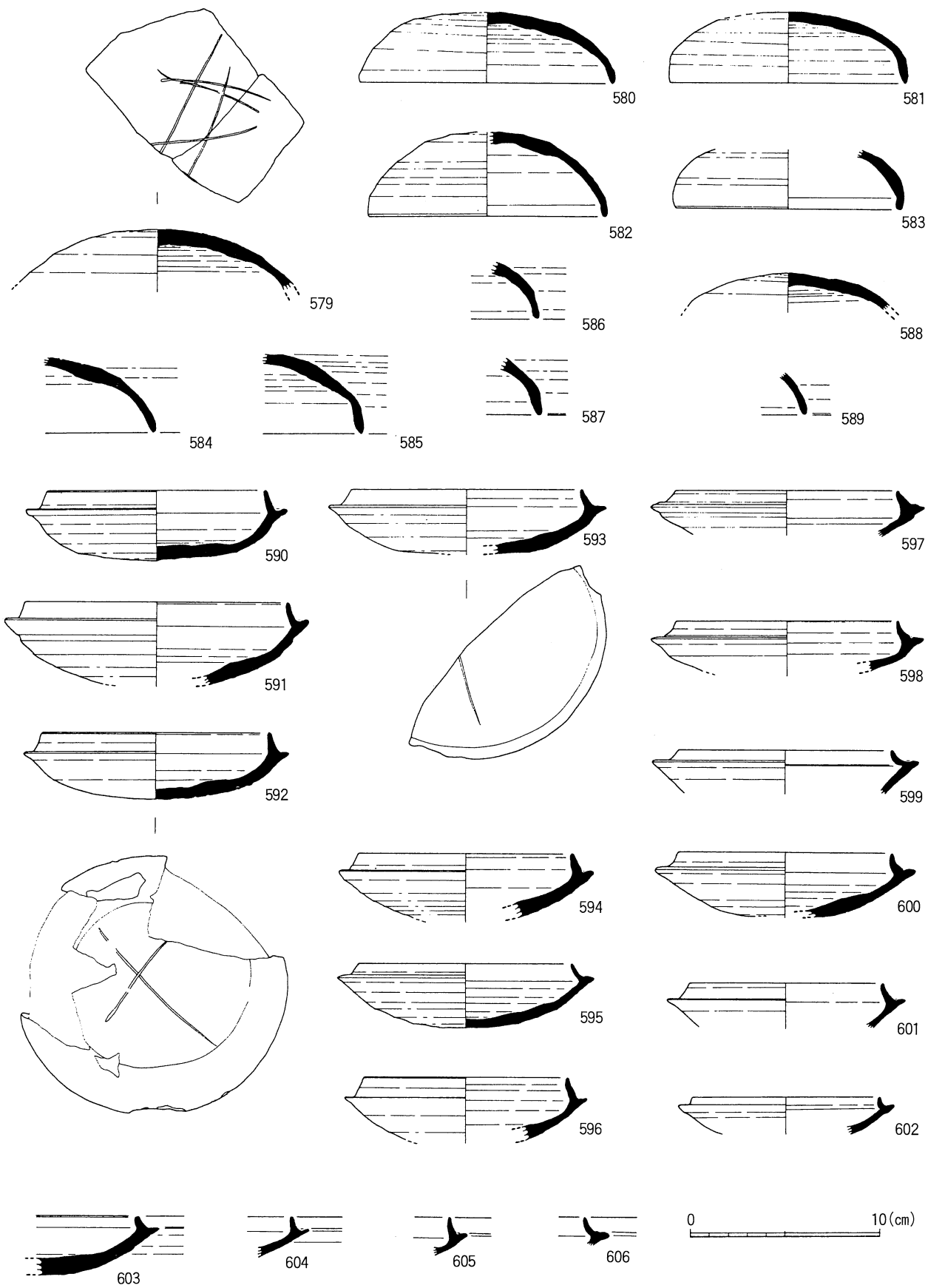
部から頸部にかけてカキメがみられる。644、645は提瓶の口縁部とみられる。643は小型の壺とみられ、丸底である。647は横長の楕円形を呈する俵壺の胴部で外面に平行タタキ、内面に同心円当て具痕を残す。また、胴部の両端を塞いだ痕跡が明瞭にみられる。648～651は口縁部が屈曲する壺の口縁部である。648は屈曲した口縁部が外反しながら短く直立気味に立上がり口唇部は丸い。649、650は屈曲した口縁部が外反しながら外方に立上がり口唇部は平坦である。651は頸部から大きく外方に開いた後屈曲して内湾気味に直立し、口唇部は丸く仕上げられている。652～658は頸部である。659は厚手で体部に丸みを持ち、細い頸部のやや小型の壺である。650も厚手で丸みを帯びた胴部だが659よりはかなり大型である。667は肩部が稜をもって張るタイプの胴部で外面に平行タタキ、内面に指頭圧痕や布目状の当て具痕跡がみられる。661～666、668は底部である。661は厚手で小さめの底部から内湾しながら立ち上がる。662、663は器形的には661に近いが薄手である。664、665は大きめの底部から鋭角的に立上がり、胴部は直線的である。また665は外面に格子目タタキがみられる。666は厚手の大きな底部で高台を有し、外面に格子目タタキがみられる。668は底部外面に回転糸切り痕を残す。

甕 (第46図～第49図)

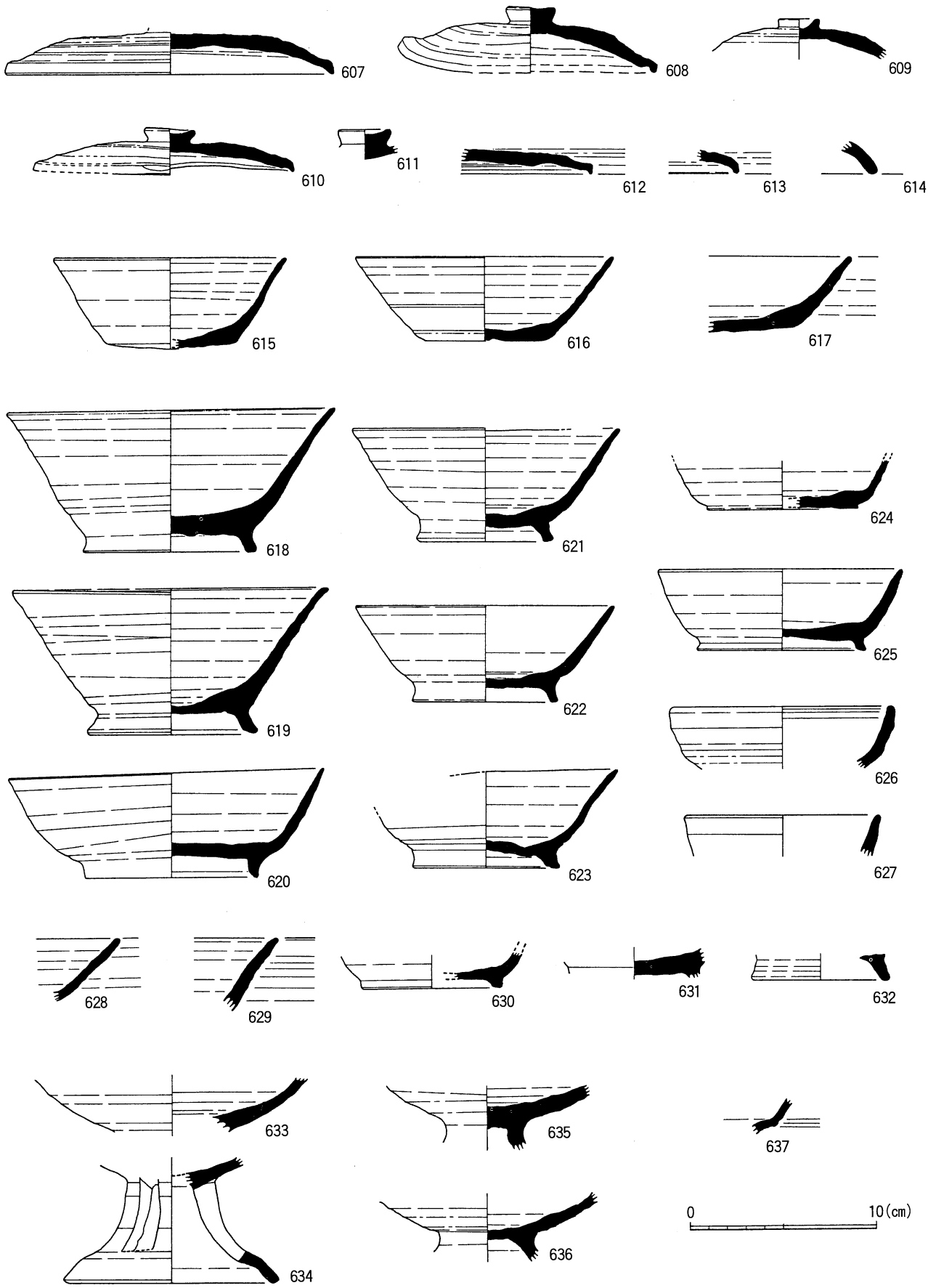
669は中形で口縁部が頸部から外反しながら外上方に開き口唇部中央がわずかに窪む。胴部外面は横方向の平行タタキ、内面は上位に同心円当て具痕と下位に縦方向の条痕がみられる。670も中形で口縁部はやや外反し、頸部から口縁部に向かって先細りとなる。口唇部中央が窪み、胴部外面に縦方向の平行タタキ、内面に同心円当て具痕がみられる。671は頸部から外反しながら外上方に開き口唇部が丸い。672は頸部から直線的に外上方に開き先端部が下方に屈曲する。675は頸部が直立気味に立上がり、胴部外面に平行タタキ、内面も同心円当て具痕がみられる。673、674は外面に縦方向の平行タタキ、内面に同心円当て具痕がみられる胴部片であるが、674は内面にまばらな横方向のナデがみられる。676、677は同一個体で、胴部上位でやや強く屈曲し口縁部は外反気味に外上方に立上がり端部は平坦である。胴部外面は格子目タタキ、内面は放射状の当て具痕と下位に斜めの条痕がみられる。678～682は大甕である。678は頸部径が大きく、胴部外面に縦方向の平行タタキ、内面に同心円当て具痕がみられる。679は胴部下半で外面に平行タタキ、内面に縦方向の条痕がみられる。680は丸底で外面に平行タタキ、内面下位に同心円当て具痕、上位に縦方向の条痕がみられる。681も丸底で外面に格子目タタキ、内面に条痕がみられる。682は外面に格子目タタキ、内面に同心円当て具痕と下位には横方向の条痕がみられる。

墨書土器 (第49図683～688)

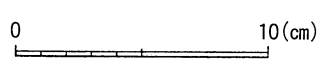
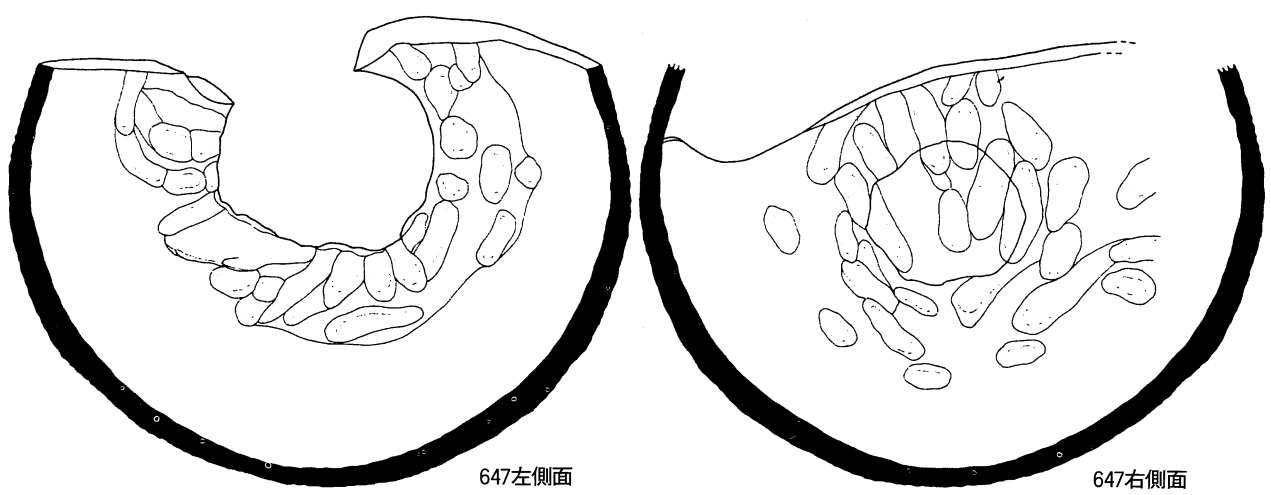
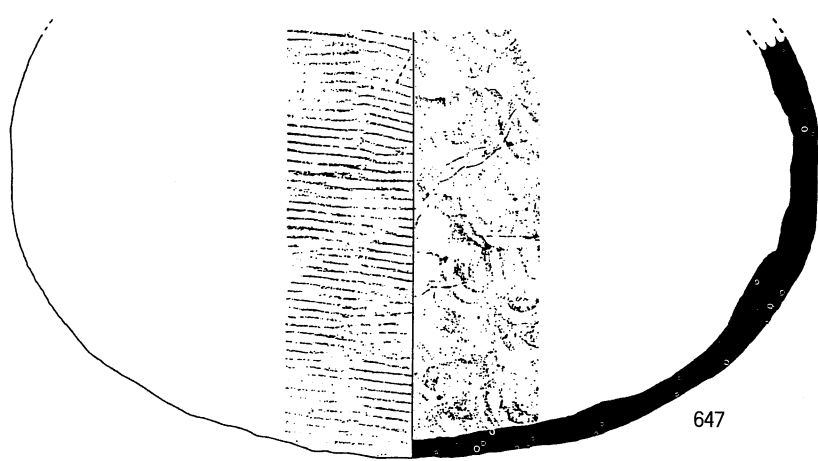
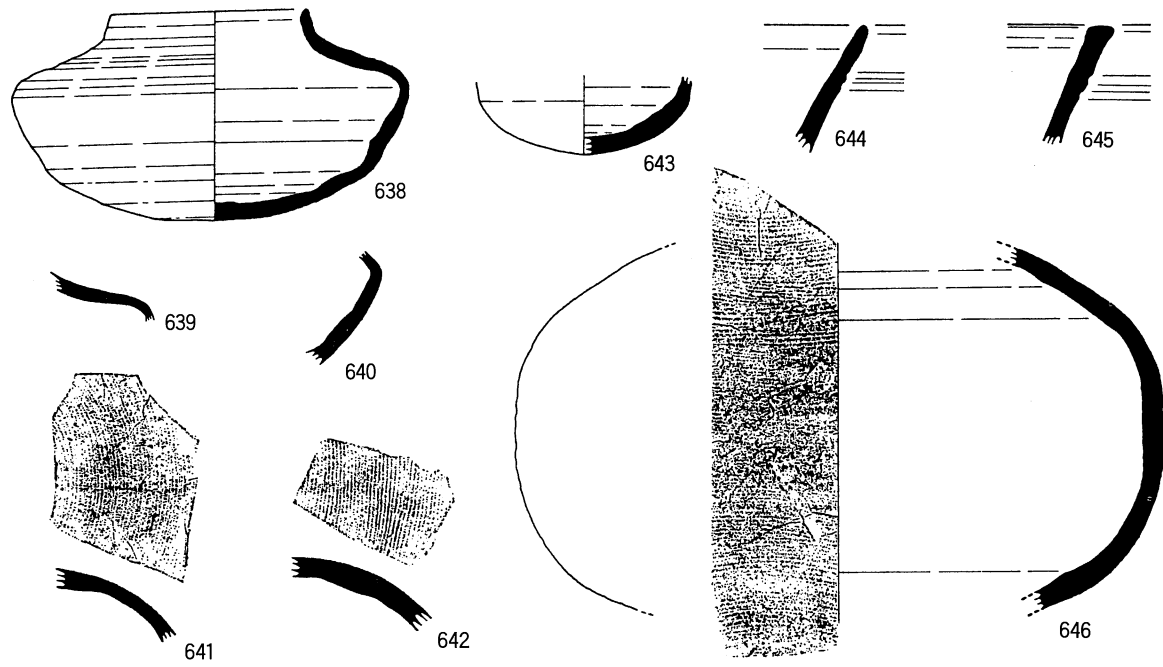
明確に文字が書かれているものと墨痕を残すものがみられた。683は器種は不明だが大きな底部に高台を持ち、肩部に1か所穿孔がみられる。底部高台内にわずかな墨痕と内面に褐色、黒色の付着物(漆か)がみられる。また頸部から胴部にかけての一部と高台の一部は人為的に打ち欠いたとみられる。685～687は形態的には坏Ⅱ-2類で、いずれも体部外面に墨書がみられる。685、686はともに倒位で「大」の文字、687は判読できないが文字の一部らしいものが記されている。684は碗Ⅲ-3類で口縁部内面と底部高台内に墨痕がみられるが硯としては使用していない。688は碗Ⅱ類で底部高台内に筆をならしたような墨痕がみられるが、やはり硯としては使用していない。



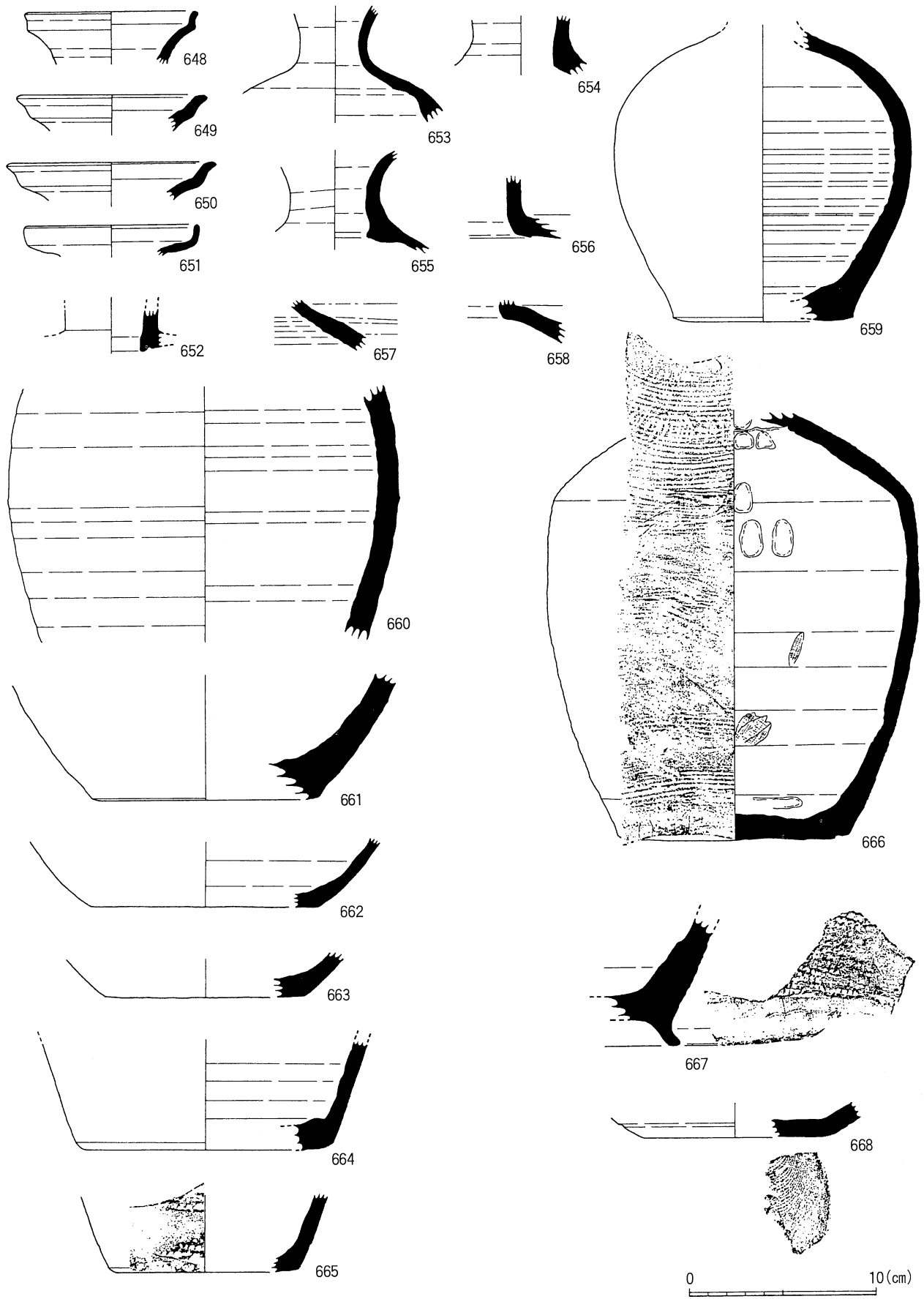
第42图 II区出土遺物実測図(30) 1/3



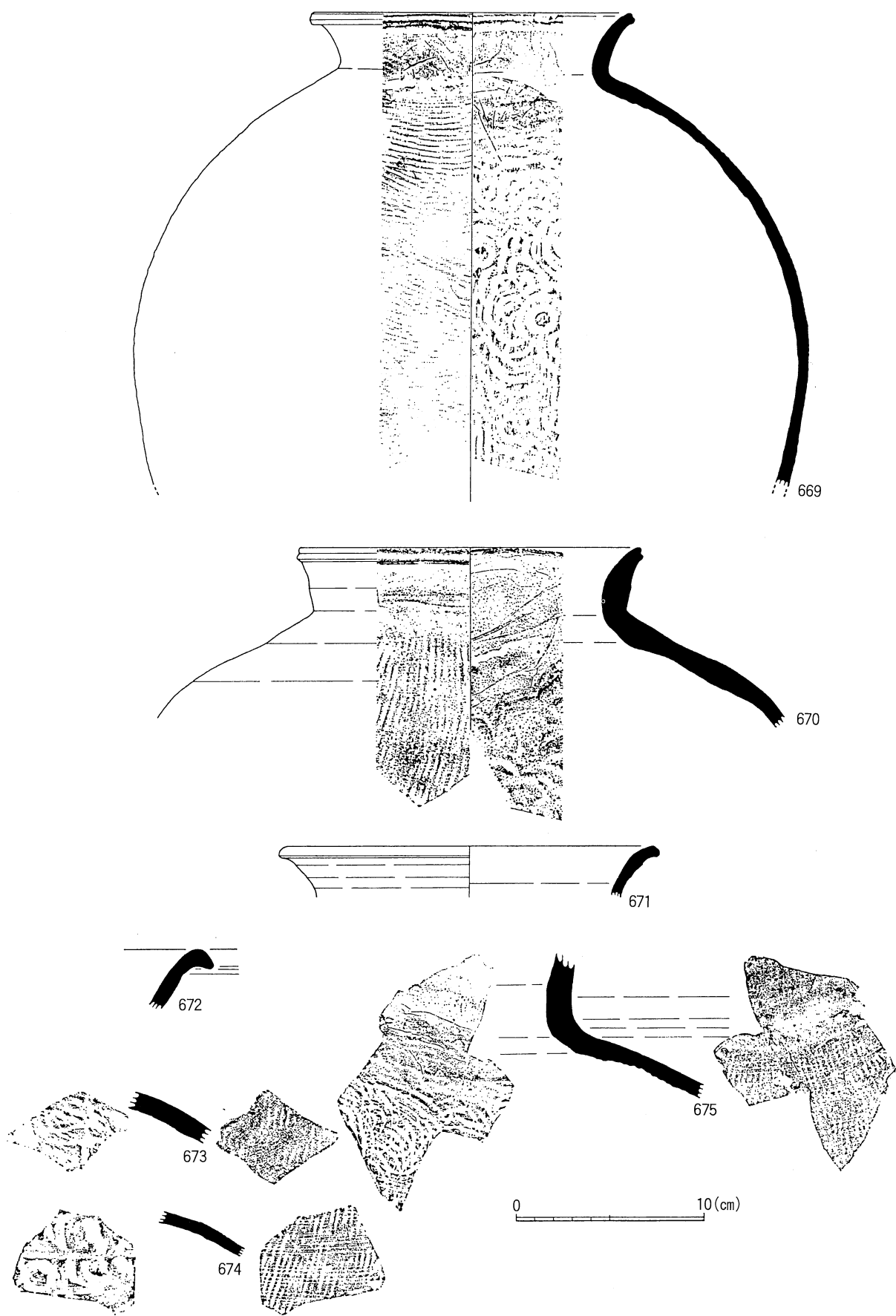
第43图 II区出土遺物実測図(31) 1/3



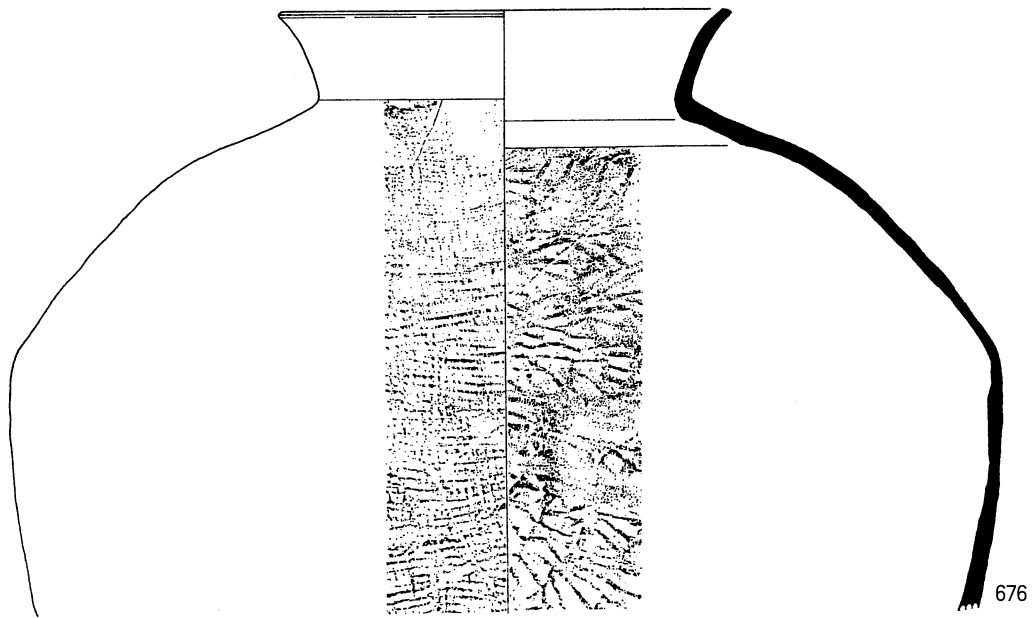
第44图 II区出土遺物実測图(32) 1/3



第45图 II区出土遗物实测图(33) 1/3

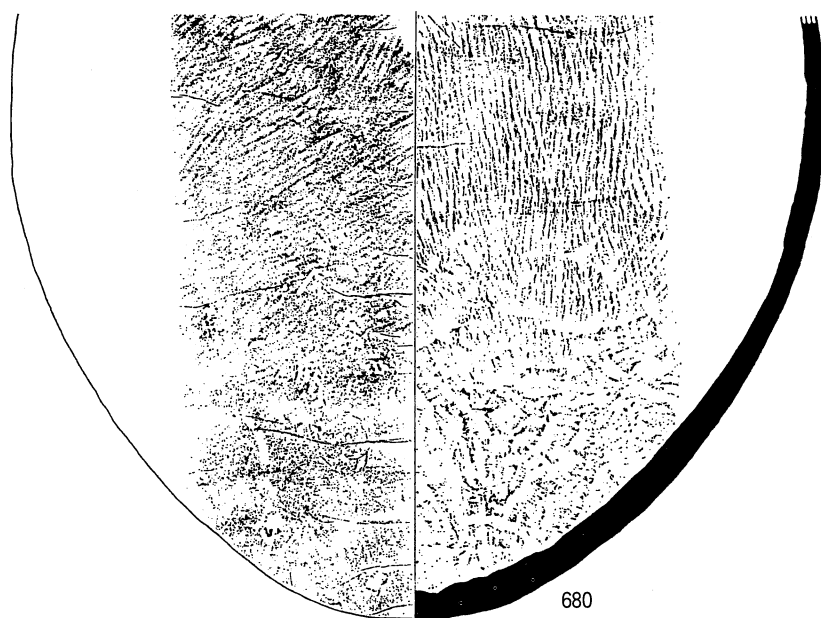
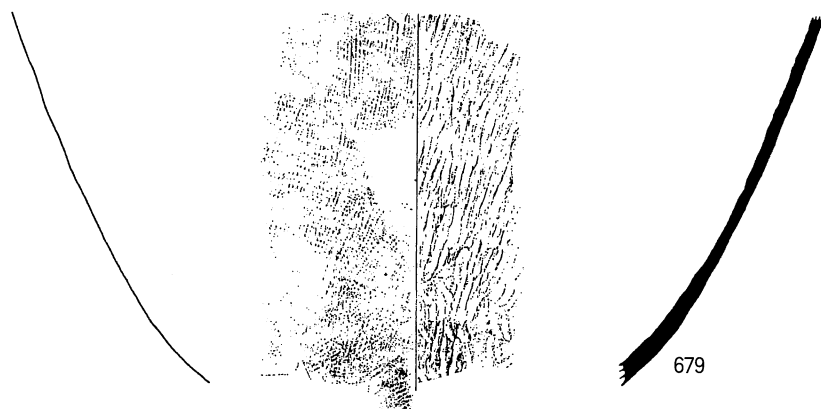
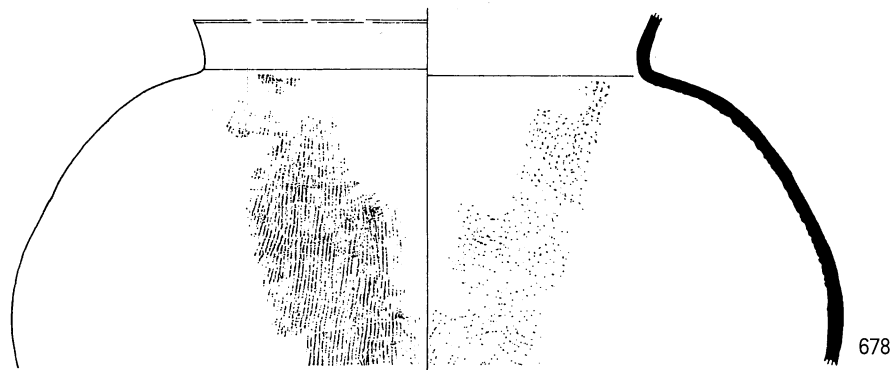


第46图 II区出土遗物实测图(34) 1/3



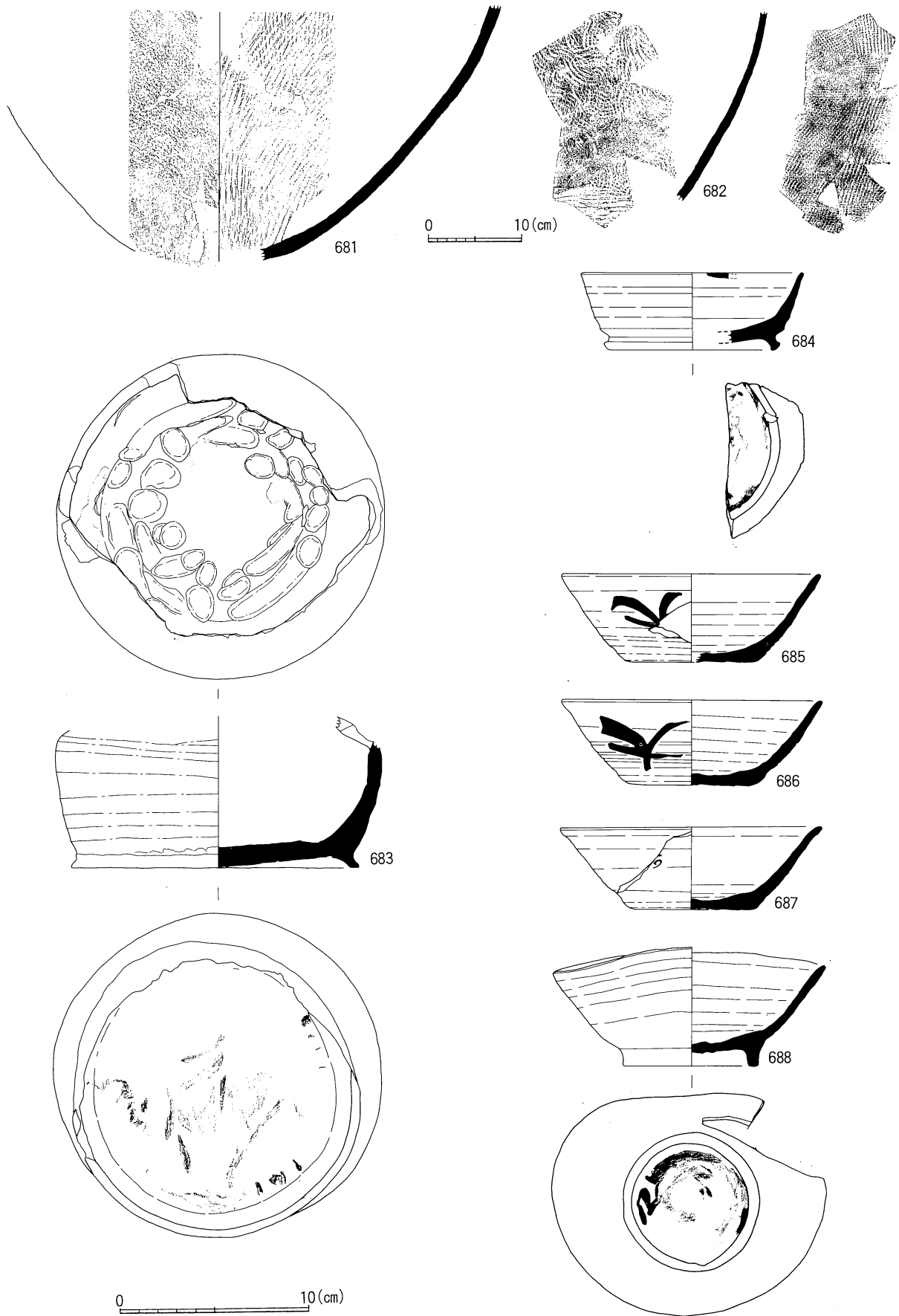
0 10 (cm)

第47图 II区出土遗物实测图(35) 1/3



0 10 (cm)

第48图 II区出土遗物实测图(36) 1/6



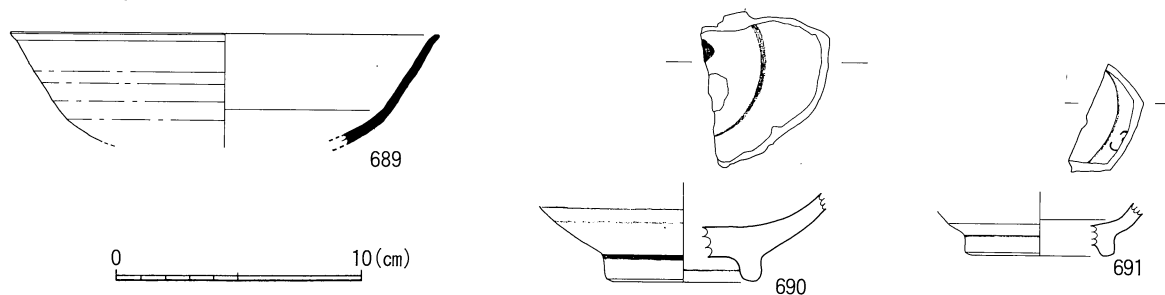
第49図 II区出土遺物実測図(37) 681、682は1/6 その他1/3

緑釉陶器 (第50図)

流路状遺構より689の一点のみが出土した。体部中位でわずかに屈曲して稜をもち、口縁部がやや外反する。胎土は白灰色で、微細な黒色粒子を少量含むが非常に精良である。内面・外面とも口縁部付近の施釉が厚く、体部下方の施釉が薄くなる傾向がみられる。また、施釉以前の調整とした横方向ミガキが内・外面ともにみられる。

陶磁器 (第50図)

690、691の2点は表土剥ぎの際、表土中より出土したものである。ともに青磁碗であるが、690は見込みに何等かの文様がみられ、高台内底にも釉がのこる。691は体部内面に何等かの文様がみられ、破損した底部側の断面には漆の付着がみられるため補修して使用していたことが伺われる。Ⅱ区で出土しているほかの遺物とは時期的に大きな隔りがあるため、周辺にこれらの陶磁器をともなう遺跡の存在が考えられる。



第50図 Ⅱ区出土遺物実測図(38) 1/3

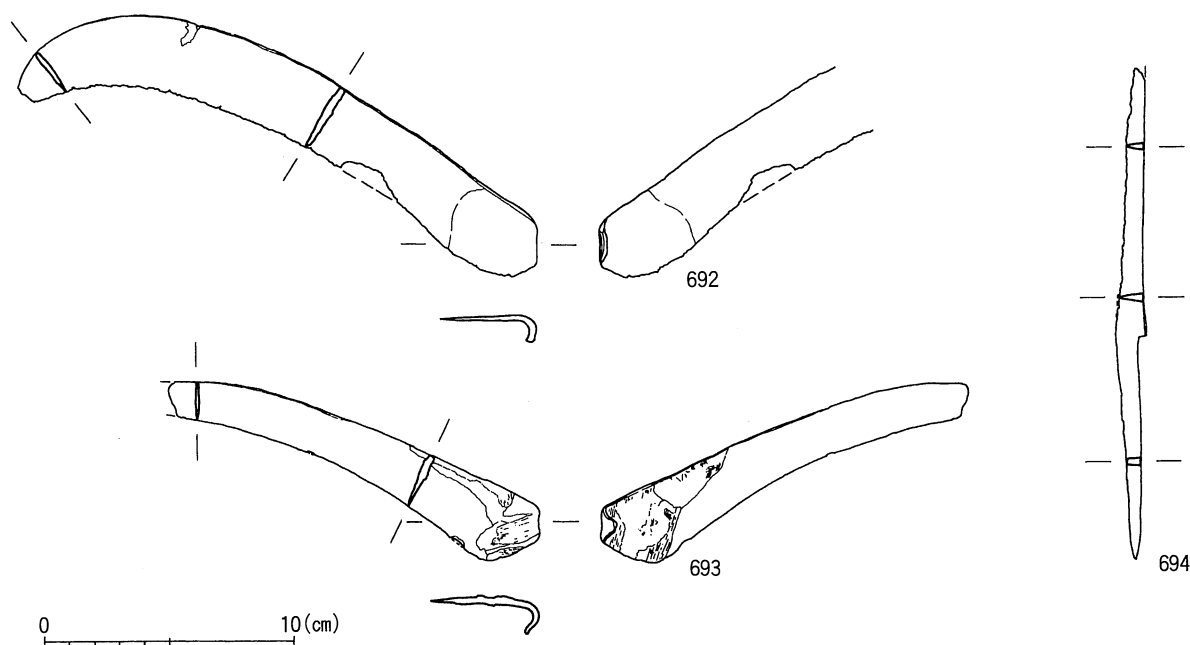
鉄器 (第51図)

鉄製品はすべて流路状遺構からの出土で、鎌と刀子がみられる。

692は、全長22cm、刃渡り17.5cm前後のほぼ完形の鎌で棟厚0.3mmほどと薄い。先端近くで強く内湾し、基部には着柄のための折り返しをもつ。刃元幅は3cmほどで、柄の装着されていた部分にはその痕跡が明瞭に残っている。

693は先端部を欠き、現存長16cm、刃元幅2.6cm、棟厚3mmを計る鎌である。先端に向かってやや内湾しながら細くなり、基部には692同様に着柄のための折り返しをもつ。

694は先端部をわずかに欠く細身の刀子とみられる。現存長19.5cm、刃元の身幅1.3cm、棟厚3mmを計る。茎長8.8cm、茎の厚さ3mmで棟関を明瞭に造りだしている。



第51図 II区出土遺物実測図(39) 1/3

木器 (第52図)

木製品はすべて流路状遺構からの出土で、容器類、服飾具、用途不明のものがある。

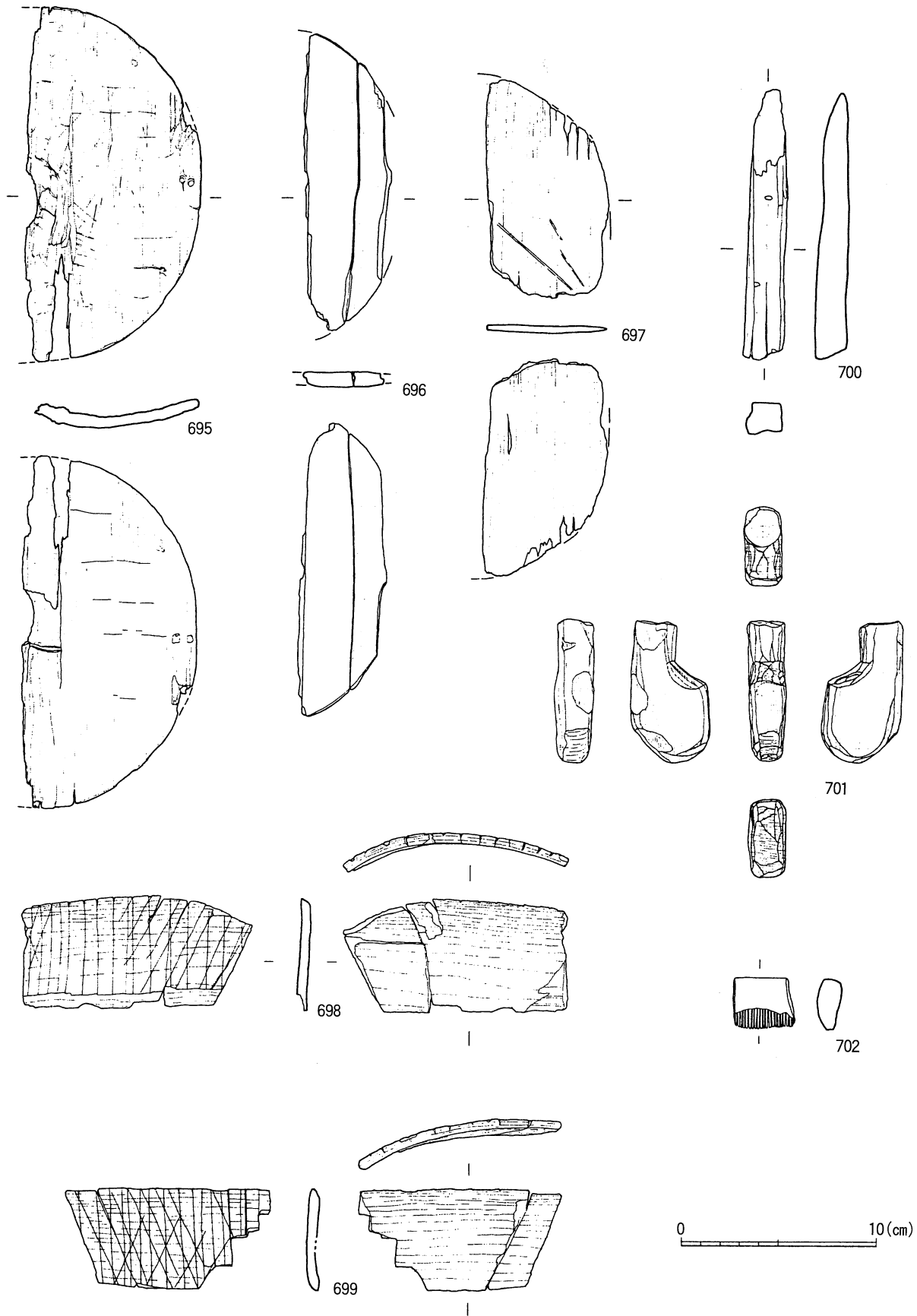
695～697は円形曲物の底板もしくは蓋板とみられる。ただし、いずれも接続させるための穿孔がみられないため、曲物以外の蓋板の可能性も考えられる。698、699は曲物の側板とみられ内面側に縦平行線と斜平行線のケビキ線を組み合わせて斜格子状にしている。曲物には円形、楕円形、長方形などの器形が知られているが、この2点は器形不明で使用時とは逆に反っている。702は横櫛の断片で表面は丁寧に研磨され、おそらく長形状のものと思われる。701は全面かなり丁寧に整形しているが、用途不明である。700は木製品ではなく、棒状の木片の一端が炭化しているものである。

その他の遺物 (第53図)

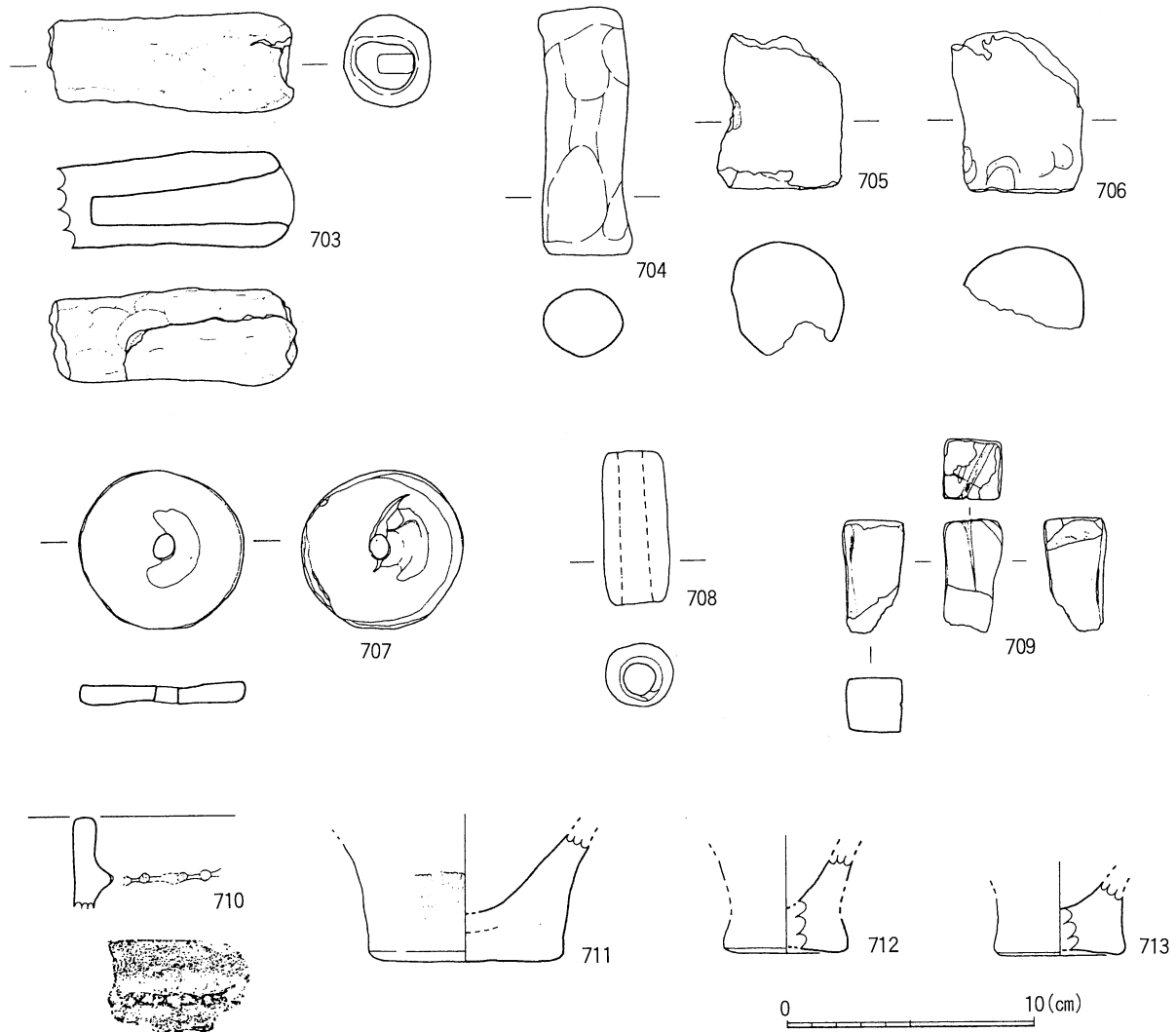
出土量の少なかった土製品、石器、弥生土器をここで扱う。

703は把手とみられ、中心部が断面長形状の中空となる。時期は異なるが、類似した遺物が北九州市の長野A遺跡Ⅷ区1号溝出土遺物の中にみられる。704～706は支脚とみられ、704はやや細く直径約3cm、705、706はやや太く直径約4.5cmほどである。707は土師質土器底部を利用した紡錘車で直径約6.6cm、孔の径約9mm、厚さ約6mmを計る。708は有孔土錘でほぼ円筒形を成し、全長約6.3cm、直径約2.5cm、孔の径約1.2cmをはかる。

709は砥石で欠損しているが、長側面のうち3面に擦痕がみられる。断面正方形で、比較的小型である。710～713は弥生後期前半の土器とみられ、710は下城系の甕口縁部、その他は甕の底部である。



第52图 II区出土遗物实测图(40) 1/3



第53图 II区出土遺物実測図(41) 1/3

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
1	土師器	甕	流路状 遺 構	(21.4)			横ナデ	横ナデ ヘラ削り	橙(2.5YR 7/6) 浅黄橙(7.5YR 8/4)	橙(2.5YR 7/6) 浅黄橙(10YR 8/3)	4mmの茶色の砂粒、3mm以下の白く 光る砂粒、黒く光る砂粒を含む。	
2	〃	〃	〃	(21.8)			〃	〃	灰黄(2.5Y 6/2)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	3mm以下の茶色・灰色・黒褐色・黒く 光る砂粒を含む。	
3	〃	〃	〃	23.0			横ナデ ①格子目タタキ	ヘラ削り	にぶい橙(5YR 6/4)	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい橙(5YR 6/4)	7mm以下のにぶい赤褐色・明赤褐色 ・褐灰色砂粒を含む。	スス付着
4	〃	〃	〃	(24.2)			横ナデ	横ナデ	にぶい黄橙 (10YR 7/3,6/3)	にぶい黄橙(10YR 7/2) 灰黄褐(10YR 5/2)	4mm以下の褐色・灰色・茶色・黒色 ・橙色・乳白色・黒く光る砂粒、石英 を多く含む。	〃
5	〃	〃	〃	(24.8)			〃	横ナデ ヘラ削り	にぶい黄橙(10YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 6/3)	4mm以下の褐色砂粒を多く含む。	
6	〃	〃	〃	25.5			〃	〃	橙(2.5YR 7/6,6/6)	にぶい褐(7.5YR 6/3)	5mm以下の赤褐色・灰褐色砂粒を多 く含む。	スス付着
7	〃	〃	〃	(25.8)			〃	〃	灰褐(7.5YR 6/2)	にぶい橙(7.5YR 7/3)	5mm以下の灰白色・褐色砂粒を多く 含む。	〃
8	〃	〃	〃	(23.1)			横ナデ、ナデ	〃	褐灰(10YR 6/1)	黄灰(2.5Y 5/1)	5mm以下の暗赤灰色・暗赤褐色・褐 灰色砂粒を多く含む。	〃
9	〃	〃	〃	23.9			横ナデ	〃	灰白(2.5Y 8/2) にぶい橙(2.5YR 6/3)	灰白(10YR 8/2)	3mm以下の褐色砂粒を含む。	〃
10	〃	〃	〃	23.8			横ナデ、ナデ	〃	明褐灰(5YR 7/2) 灰白(5YR 8/2)	淡橙(5YR 8/3)	4mm以下の灰褐色・赤褐色砂粒を多 く含む。1mmの角閃石、0.5mmの石英 を少し含む。	
11	〃	〃	〃	(23.5)			横ナデ ヨコハケ	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3) 灰褐(7.5YR 6/2)	浅黄橙(7.5YR 8/4) 灰白(2.5Y 8/2)	3.5mmの灰色・褐色の砂粒、2mm以下 の灰色・茶色・褐色・黒く光る砂粒、 石英を含む。	
12	〃	〃	〃	(23.2)			〃	〃	褐灰(7.5YR 6/1)	灰黄褐(10YR 6/2)	2mm以下の灰白色・褐色砂粒を多 く含む。	スス付着
13	〃	〃	〃	21.9			〃	ヨコハケ ヘラ削り	灰白(7.5YR 8/2) にぶい黄橙(10YR 7/2)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	5mm以下の褐色・橙色砂粒を含む。	
14	〃	〃	〃	(24.9)			横ナデ	横ナデ、ナデ	黒(2.5Y 2/1) 褐灰(10YR 4/1)	黒褐(10YR 3/2)	4mm以下の褐色・茶色砂粒を多く含 む。	スス付着
15	〃	〃	〃	(25.0)			横ナデ タテハケ	ヨコハケ ハケ	明褐灰(7.5YR 7/2) 淡赤橙(2.5YR 7/3)	にぶい橙(5YR 7/4) 褐灰(10YR 5/1)	3mm以下の黒色・灰色・白く光る砂 粒を含む。	〃
16	〃	〃	〃	(23.6)			〃	横ナデ、ナデ	灰白(5YR 8/1) 黒褐(7.5YR 3/1)	灰褐(5YR 5/2)	6mm以下の褐灰色・明褐灰色・にぶ い褐色砂粒を含む。	
17	〃	〃	〃				横ナデ	横ナデ ヘラ削り(まぼら)	灰白(10YR 7/1) 淡橙(5YR 8/4)	淡赤橙(2.5YR 7/4)	2mm以下の灰色・灰白色・褐色砂粒、 1mm以下の石英を含む。	
18	〃	〃	〃				〃	横ナデ ヘラ削り	灰白(10YR 8/1)	灰白(7.5YR 8/1)	3mm以下の灰白色・黒色・褐色砂粒、 1mm以下の黒く光る砂粒、石英を含む。	
19	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(5YR 7/3)	浅黄橙(10YR 8/4)	4mm以下の赤褐色・灰色・灰白色砂 粒を含む	スス付着
20	〃	〃	〃				〃	横ナデ	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/3)	3mm以下の赤灰色・にぶい橙色・白 色砂粒を含む。	
21	〃	〃	〃				〃	〃	明褐灰(5YR 7/1)	灰白(5YR 8/2)	3mm以下のにぶい赤褐色・褐灰色 ・黒色砂粒を含む。	スス付着
22	〃	〃	〃				横ナデ、ナデ	横ナデ ヘラ削り	明褐灰(7.5YR 7/2)	浅黄橙(7.5YR 8/4)	3mm以下の灰白色・灰色・褐色砂粒、 1mm以下の石英を含む。	〃
23	〃	〃	〃	(22.2)			横ナデ 工具によるナデ	横ナデ、ナデ	灰黄褐(10YR 6/2) にぶい黄橙(10YR 7/2)	褐灰(10YR 5/1) にぶい黄橙(10YR 7/2)	3mm以下の灰色・黒色・褐色砂粒を 含む。	
24	〃	〃	〃	(23.5)			横ナデ タテハケ	横ナデ ヘラ削り	灰黄褐 (10YR 6/2,5/2)	灰黄褐(10YR 6/2) 浅黄橙(10YR 8/4)	3mm以下の灰色・淡茶色・褐色砂粒、 角閃石を含む。	
25	〃	〃	〃	23.1			横ナデ 工具によるナデ	工具による 荒いナデ	橙(5YR 7/6) 淡橙(5YR 8/4) にぶい黄橙(5YR 7/4)	灰白(5Y 7/1) 黄灰(2.5Y 6/1) 淡橙(5YR 7/4)	6mm以下の灰色・褐色・灰白色砂粒 を含む。	スス付着
26	〃	〃	〃	(27.8)			横ナデ、ナデ	横ナデ ヘラ削り	にぶい褐(7.5YR 6/3)	にぶい橙(7.5YR 7/3)	3.5mm以下の灰褐色・赤茶色・黒く 光る砂粒、1mm以下の石英を含む。	〃
27	〃	〃	〃	(24.4)			横ナデ	横ナデ ヘラ削り(まぼら)	にぶい橙(5YR 7/3) 明褐灰(7.5YR 7/1)	灰白(7.5YR 8/2)	3mm以下の灰色・褐色砂粒、1mmの石 英を含む。	
28	〃	〃	〃	(18.0)			〃	横ナデ、ナデ	灰黄褐(10YR 5/2)	にぶい橙(7.5YR 7/3)	3mm以下の灰色・茶色・褐色砂粒を 含む。	スス付着
29	〃	〃	〃	(15.3)			〃	横ナデ ヘラ削り	灰褐(7.5YR 4/1)	灰褐(7.5YR 4/1)	1mm以下の褐色砂粒、石英を含む。	〃
30	〃	〃	〃	(16.9)			〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/2)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	3mm以下の灰色・褐色・黒く光る砂 粒を含む。	

第9表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
31	土師器	甕	流路状 遺 構	(24.2)			横ナデ	横ナデ ヘラ削り	橙(5YR 7/6, 6/6) にぶい橙(7.5YR 6/4)	橙(5YR 6/6) にぶい橙(5YR 6/4)	3mm以下の灰色・乳白色・褐色・茶色 砂粒、2mmの石英を含む。	
32	〃	〃	〃				〃	〃	灰黄(2.5Y 7/2) 黄灰(2.5Y 6/1)	灰白(10YR 8/2) 黄灰(2.5Y 6/1)	3mm以下の灰色・褐色・茶色砂粒を 含む。	
33	〃	〃	〃				横ナデ ヨコハケ	ヨコハケ ヘラ削り	浅黄橙(7.5YR 8/4)	明褐灰(7.5YR 7/2) にぶい黄橙(10YR 7/4)	7mm以下の灰色・赤褐色砂粒、3mm以 下の石英を含む。	
34	〃	〃	〃	27.4			横ナデ、ナデ	横ナデ ヘラ削り	黄灰(2.5Y 6/1)	黄灰 (2.5Y 6/1, 5/1)	4mm以下の灰褐色砂粒、1mm以下の 雲母を含む。	スス付着
35	〃	〃	〃	(24.9)			〃	〃	灰白(10YR 8/2) 浅黄橙(7.5YR 8/3) 灰褐(7.5YR 4/2)	橙(2.5YR 7/6) 灰褐(7.5YR 5/2)	3.5mm以下の灰色・灰褐色・褐色砂 粒、3mm以下の石英を含む。	
36	〃	〃	〃	(17.3)			横ナデ	〃	にぶい橙(7.5YR 7/3)	明褐灰(7.5YR 7/2)	4mm以下の灰色・灰褐色・赤褐色砂 粒を多く含む。	スス付着
37	〃	〃	〃	(15.5)			〃	横ナデ	黄灰(2.5Y 5/1)	灰黄褐(10YR 5/2) 褐灰(10YR 4/1)	2mm以下の灰色・褐色砂粒、石英、 1mmの黒く光る砂粒を含む。	
38	〃	〃	〃	(14.0)			〃	横ナデ ヘラ削り	灰黄褐(10YR 5/2) にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	2mm以下の灰色・褐色・茶色砂粒を 含む。	
39	〃	〃	〃	(25.0)			横ナデ ヨコハケ	ヨコハケ ヘラ削り	灰白(5Y 7/1)	灰(5Y 6/1)	3mm以下の浅橙色砂粒、1.5mm以下 の石英を含む。	スス付着
40	〃	〃	〃	(22.3)			横ナデ	横ナデ ヘラ削り	淡赤橙(2.5YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/3) 浅黄橙(7.5YR 8/3)	2mm以下の茶褐色・灰色・黒色砂粒 を含む。	〃
41	〃	〃	〃	(21.4)			横ナデ、ナデ	〃	灰白(2.5Y 8/1)	灰白(2.5Y 8/1)	4mm以下の灰白色・灰色砂粒を多 く、0.5mm以下の石英を少し含む。	〃
42	〃	〃	〃	(20.7)			横ナデ 荒いハケ	横ナデ ナデ	にぶい褐(7.5YR 5/4)	褐灰(7.5YR 4/1) にぶい褐(7.5YR 5/4)	7mm以下の灰白色砂粒、1mm以下の 石英を含む。	〃
43	〃	〃	〃				横ナデ	横ナデ ヘラ削り	灰白(2.5YR 8/1)	灰白(10YR 8/1)	3mm以下の灰白色・褐色・赤褐色砂 粒、石英を含む。	
44	〃	〃	〃				〃	横ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/2)	淡黄(2.5Y 8/3)	5mm以下の灰色・茶色砂粒を多く含 む。	スス付着
45	〃	〃	〃				〃	横ナデ ヘラ削り	にぶい橙(5YR 6/4)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	2mm以下の灰色・褐色砂粒を含む。	
46	〃	〃	〃				〃	横ナデ ⑤ヘラ削り	にぶい橙(5YR 7/4)	浅黄橙(7.5YR 8/6) にぶい黄橙(10YR 7/3)	5mm以下の灰色・褐色・黒色砂粒を 含む。	
47	〃	〃	〃	(15.2)			横ナデ、ナデ	横ナデ ヘラ削り	にぶい黄橙(10YR 6/3)	黒褐(7.5YR 3/1) 灰黄褐(10YR 5/2)	2mm以下の褐灰色・黒褐色砂粒を含 む。	スス付着
48	〃	〃	〃				ナデ	ナデ	黄橙(7.5YR 7/8)	橙(7.5YR 7/6)	3mm以下の白色・灰色・茶色・褐色砂 粒を含む。	
49	〃	〃	〃				横ナデ	横ナデ、ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/3)	橙(2.5YR 7/6)	3mm以下の灰白色・褐色砂粒、1mm以 下の石英を含む。	スス付着
50	〃	〃	〃	(15.0)			ナデ	ナデ 工具によるナデ	明褐灰(5YR 7/2) 褐灰(5YR 6/1)	褐灰(7.5YR 4/1)	4mm以下の灰白色・灰色・褐色砂粒 を含む。	
51	〃	〃	〃				〃	横ナデ、ナデ	橙(2.5YR 6/6)	褐灰(7.5YR 4/1)	4mm以下の白色・灰白色・茶褐色・赤 茶色・黒色砂粒を含む。	
52	〃	〃	〃				ナデ 工具によるナデ	ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/2)	にぶい黄橙(10YR 7/2) 褐灰(10YR 6/1)	3mm以下の灰白色・浅黄色砂粒を含 む。	
53	〃	〃	〃	(13.1)			横ナデ 工具によるナデ	横ナデ、ナデ	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 6/3)	にぶい黄橙(10YR 7/3) 灰黄褐(10YR 5/2)	4mm以下の灰色・乳白色・茶色・黒く 光る砂粒を含む。	
54	〃	〃	〃	(16.3)			ナデ	ナデ	にぶい橙(7.5YR 7/3)	にぶい橙(7.5YR 7/3)	6mm以下の灰色・褐色・赤茶色砂粒 を含む。	
55	〃	〃	〃				ハケメ	〃	灰黄(2.5Y 7/2) 灰黄(2.5Y 6/1)	灰白(2.5Y 8/2)	3.5mm以下の褐色砂粒を含む。	
56	〃	〃	〃				〃	〃	灰褐(7.5YR 6/2)	灰白(10YR 8/2)	2mm以下の灰褐色砂粒、1mm以下の 石英を含む。	
57	〃	〃	〃				ナデ	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 7/4)	2mm以下の褐色・淡黄色砂粒を多く 含む。	
58	〃	〃	〃				ヨコハケ ナデ	ヘラ削り	灰黄褐(10YR 5/2)	褐灰(10YR 4/1)	3mm以下の赤茶色・黒褐色砂粒、2mm 以下の石英を含む。	
59	〃	〃	〃				ハケメ	ナデ	にぶい橙(5YR 7/3)	灰白(7.5YR 8/1)	2mm以下の赤茶色・灰褐色・黒褐色 砂粒、1mm以下の石英を含む。	
60	〃	〃	〃				〃	〃	黄灰(2.5Y 4/1)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	2mm以下の褐色砂粒を含む。	スス付着

第10表 II 区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
61	土師器	甕	流路状 遺 構				格子目タタキ	同心円当具痕	にぶい黄橙(10YR 7/2)	灰白(N 5/)	2mm以下の灰白色・灰色砂粒を多く 含む。	
62	〃	〃	〃				〃	〃	灰白(10YR 8/1)	灰白(N 5/)	7mm以下の灰白色・褐色砂粒を多く 含む。	
63	〃	〃	〃				〃	ナデ	灰(N 5/) 浅黄(2.5Y 7/3)	灰(N 6/)	3mm以下の灰色・褐色・黒色砂粒、 2mm以下の石英を含む。	
64	〃	〃	〃				〃	〃	暗灰(N 3/)	浅黄橙(7.5YR 8/4)	4mm以下の灰色・褐色砂粒、2mm以下 の石英を含む。	
65	〃	〃	〃				格子目タタキ ナデ	同心円当具痕	浅黄橙(10YR 8/3)	灰(5Y 5/1)	3.5mm以下の明褐色・褐灰色・にぶ い橙色砂粒、石英を含む。	
66	〃	〃	〃				格子目タタキ?		灰(N 6/)	灰白(2.5Y 7/2)	2mm以下の灰白色・灰色砂粒を含む。	
67	〃	〃	〃				平行タタキ	ヘラ削り	褐灰(7.5YR 6/1)	灰白(10YR 7/1)	4mm以下の灰白色・灰色砂粒を多く 含む。	
68	〃	底部	〃		(11.3)		ナデ 工具によるナデ	ナデ	灰黄(2.5Y 6/2)	にぶい橙(7.5YR 7/3)	4mm以下の灰白色・灰色・褐色砂粒、 1mm以下の石英を含む。	
69	〃	〃	〃		10.4		ナデ	〃	灰褐(7.5YR 6/2)	橙(7.5YR 6/6)	4mm以下の褐灰色・黒色砂粒を含む。	
70	〃	〃	〃		(9.8)		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 浅黄橙(7.5YR 8/4)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	6mm以下の灰白色・褐色砂粒を含む。	
71	〃	〃	〃		(8.5)		〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3)	灰黄(2.5Y 7/2)	3mm以下の灰白色・灰色・褐色砂粒 を含む。	
72	〃	〃	〃		(7.4)		〃	〃	橙(2.5YR 6/6) 灰褐(7.5YR 5/2)	灰黄褐(10YR 6/2) 灰(5Y 4/1)	5mm以下の白色・灰色・淡茶色・茶色 ・褐色・黒く光る砂粒、石英を含む。	
73	〃	〃	〃		(5.1)		〃	〃	橙(2.5YR 6/6)	褐灰(10YR 6/1)	5mm以下の灰褐色・褐灰色砂粒を含 む。	
74	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7YR 7/4)	灰(5Y 5/1)	1mm以下の茶色・黒色砂粒、0.5mm以 下の石英を含む。	
75	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい黄橙(10YR 6/3)	灰黄褐(10YR 6/2)	4mm以下の灰白色・褐灰色・黒褐色 砂粒を含む。	
76	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	4mm以下の褐灰色砂粒を含む。	
77	〃	〃	〃		(5.7)		〃	〃	にぶい橙(5YR 6/4)	明褐灰(7.5YR 7/2)	5mm以下の灰白色・灰色砂粒を多く 含む。	
78	〃	〃	〃		(4.6)		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 7/3)		5mm以下の白色・灰色・褐色・茶色砂 粒を含む。	
79	〃	〃	〃		(6.3)		〃	ナデ	淡赤橙(2.5YR 7/4) 橙(2.5YR 7/6)	灰白(5Y 8/2)	7mm以下の灰色砂粒を多く、4mm以 下の赤褐色・黒色砂粒を少し含む。	
80	〃	〃	〃		(7.0)		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	5mm以下の褐灰色・明褐灰色砂粒を 含む。	
81	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	7mm以下の乳白色・灰色・褐色・茶色 砂粒を含む。	
82	〃	〃	〃				〃	〃	橙(7.5YR 7/6)	橙(7.5YR 7/6)	8mm以下の淡茶色・灰色・褐色砂粒 を多く含む。	
83	〃	〃	〃		(4.6)		〃	〃	橙(5YR 7/6)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	5mm以下の白色・褐色・茶色・黒色砂 粒を含む。	
84	〃	〃	〃		(5.0)		〃	〃	灰黄(2.5Y 7/2)	灰黄(2.5Y 7/2)	1mm以下の乳白色・茶色砂粒を含む。	
85	〃	〃	〃		(13.2)		〃	〃	明赤褐(5YR 5/6)	にぶい黄褐(10YR 7/2)	3mm以下の褐灰色・にぶい赤褐色砂 粒を多く含む。	
86	〃	〃	〃		(10.5)		〃	〃	灰白(5Y 7/2)	灰(N 4/)	3mm以下の灰色・褐色・赤褐色・黒く 光る砂粒、1mm以下の石英を含む。	
87	〃	〃	〃		7.8		〃	〃	橙(5YR 6/6) にぶい橙(7.5YR 6/4)	橙(5YR 6/6)	3mm以下の灰白色・褐色・茶色・黒色 砂粒を含む。	
88	〃	〃	〃				〃	〃	橙(5YR 7/6)	橙(5YR 7/6)	5mm以下の灰褐色・黒褐色砂粒を含 む。	
89	〃	〃	〃		(9.0)		〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	黄灰(2.5Y 5/1)	6.5mm以下の灰色・灰白色・灰褐色 ・黒色砂粒を含む。	
90	〃	〃	〃		(9.4)		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 灰黄(2.5Y 7/2) 灰黄褐(10YR 6/2)	黄灰(2.5Y 6/1)	2mm以下の乳白色・灰色・褐色・茶色 ・黒色・黒く光る砂粒、1mm以下の石 英を含む。	

第11表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
91	土師器	底部	流路状 遺 構		(8.8)		ナデ	ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/2)	灰黄(2.5Y 7/2)	2mm以下の褐色・黒く光る砂粒、石英を含む。	
92	〃	甌	〃				タテハケ 横ナデ	ヨコハケ 横ナデ	にぶい橙(5YR 7/4) 浅黄橙(10YR 8/3)	にぶい黄橙(10YR 7/3) 淡赤橙(2.5YR 7/4)	4mm以下の灰色・褐色・茶色・黒色砂粒を多く含む。	
93	〃	〃	〃		(10.4)		ナデ	ヨコハケ	浅黄橙(10YR 8/3) 淡橙(5YR 8/4)	浅黄橙(7.5YR 8/4)	3.5mm以下の灰色・褐色・黒色砂粒、1mm以下の石英を多く含む。	㊟と同一個体か
94	〃	〃	〃				〃	ナデ	にぶい橙(7.5YR 6/4) 橙(5YR 7/6)	黄灰(2.5Y 5/1)	7mm以下の灰白色・褐色砂粒、2mm以下の石英を含む。	
95	〃	〃	〃				〃		浅黄橙(7.5YR 8/3)		2mm以下の灰白色・赤褐色砂粒を多く含む。	
96	〃	〃	〃		(9.6)		〃	ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/4)	6mm以下の灰白色・黒褐色砂粒を含む。	
97	〃	〃	〃		(6.6)		〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい橙(7.5YR 7/3)	5mm以下の灰黄色・灰色・淡橙色・黒色砂粒を含む。	
98	〃	〃	〃		(6.6)		〃	〃	黄橙(7.5YR 7/8)	黄橙(7.5YR 7/8)	2.5mm以下の灰色・淡橙色・黒色砂粒を含む。	
99	〃	片口鉢	〃				〃	〃	にぶい橙(5YR 6/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	1mm以下の茶色砂粒、石英を含む。	
100	〃	鉢	〃				〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3)	淡黄(2.5Y 8/3)	3mm以下の灰色・褐色砂粒、石英を含む。	
101	〃	〃	〃				〃	〃	淡黄(2.5Y 8/3)	灰白(10YR 8/2)	2mm以下の褐色・赤褐色・黒く光る砂粒、石英を含む。	
102	〃	〃	〃				〃	〃	灰白(10YR 8/1) にぶい赤褐(10R 6/4)	灰白(10YR 8/1) にぶい赤褐(10R 6/4)	2mm以下の灰色・褐色・赤褐色・黒色砂粒、石英を含む。	
103	〃	鍋	〃		(13.5)		横ナデ	横ナデ、ナデ ヘラ削り	浅黄橙(7.5YR 8/3) にぶい橙(7.5YR 7/3) 淡赤橙(2.5YR 7/4)	浅黄橙(7.5YR 8/3) 浅黄橙(10YR 8/3)	3mm以下の褐色・茶色砂粒を含む。	
104	〃	壺	〃				ナデ	ナデ	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	3mm以下の白色・灰色・茶色砂粒を含む。	
105	〃	〃	〃		(6.0)		〃	〃	橙(2.5YR 7/6) 浅黄橙(7.5YR 8/4)	浅黄橙(7.5YR 8/4) にぶい橙(5YR 7/4)	1mm以下の灰白色・灰色・褐色砂粒、0.5mm以下の石英を含む。	
106	〃	高台付 壺?	〃				横ナデ	〃	淡赤橙(2.5YR 7/4)	灰白(5YR 8/1) 淡赤橙(2.5YR7/4)	2mm以下の灰色・褐色・黒色・黒く光る砂粒、1mm以下の石英を多く含む。	
107	〃	壺	〃				ナデ	〃	橙(5YR 7/4)	淡黄(2.5Y 8/3) 黄灰(2.5Y 6/1)	1mm以下の灰黄色・茶褐色・黒色砂粒、石英を含む。	
108	〃	〃	〃				〃	〃	灰白(2.5Y 8/2)	灰白(2.5Y 8/2)	5mm以下の白色・灰色・褐色砂粒、1.5mmの角閃石を含む。	
109	〃	〃	〃				〃	〃	橙(5YR 7/6) 褐灰(10YR 6/1)	浅黄橙(10YR 6/1) 黄灰(2.5Y 6/1)	2mm以下の白色・灰黄色・茶褐色砂粒、石英を含む。	
110	〃	坏	〃		(9.0)		〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/6)	灰白(10YR 7/1)	2mm以下の灰色・褐色砂粒を含む。	
111	〃	壺?	〃				〃	〃	橙(5YR 6/6)	橙(5YR 6/6)	4mm以下の褐色砂粒、1.5mm以下の石英を含む。	
112	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい黄橙(10YR 6/3)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	1mm以下の白色・茶色砂粒、雲母を含む。	
113	〃	底部	〃		5.0		〃	〃	灰黄(2.5Y 7/2)	灰黄(2.5Y 7/2)	3mm以下の灰色・褐色・黒色砂粒、石英を含む。	
114	〃	ニチャ?	〃		3.8		指頭圧痕	指頭圧痕	にぶい黄橙(10YR 7/2)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	6mm以下の灰白色・灰色・褐色砂粒を多く含む。	底部外面ナデ
115	〃	脚?	〃		(4.5)		工具によるナデ	ナデ	橙(5YR 7/6)	橙(5YR 7/6)	5mm以下の灰白色・褐色・赤褐色砂粒、石英を含む。	
116	〃	脚	〃		(5.0)		ナデ	〃	灰白(2.5Y 8/1) 黄灰(2.5Y 6/1)	黄灰(2.5Y 6/1)	2.5mm以下の褐灰色砂粒を含む。	
117	〃	高杯	〃	(12.6)			ミガキ	ミガキ	にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 7/4)	2mm以下の乳白色・茶色砂粒を含む。	
118	〃	〃	〃	(15.8)			ナデ	ナデ	橙(2.5YR 7/6) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 7/4)	2mm以下の白色・灰色・褐色・茶色砂粒を多く、石英を少し含む。	
119	〃	〃	〃	(15.4)			〃	〃	橙(5YR 6/6)	橙(5YR 6/6)	1mm以下の茶色砂粒、石英を少し含む。	
120	〃	〃	〃	(16.9)	(11.0)	12.35	ナデ、ミガキ	ナデ、ミガキ	にぶい橙(7.5YR 7/4) 橙(5YR 7/8)	にぶい橙(5YR 7/4) 橙(5YR 7/6)	1.5mm以下の黄白色・灰色・褐色・赤褐色・黒色砂粒、石英を含む。	

第12表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
121	土師器	高杯	流路状 遺 構	(12.1)			ナデ	ナデ	橙(7.5YR 7/6)	黄橙(7.5YR 7/8)	4mm以下の白色・灰色砂粒を含む。	
122	〃	〃	〃	11.2	9.0	5.35	ミガキ 工具によるナデ	ミガキ	橙(2.5YR 7/6)	にぶい橙(5YR 7/4)	2mm以下の灰色・赤褐色砂粒を含む。	
123	〃	〃	〃	(12.2)					にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	2mm以下の茶色砂粒を含む。	
124	〃	〃	〃						橙(5YR 7/8)	橙(5YR 7/8)	2.5mm以下の灰白色・灰褐色砂粒を多く含む。	
125	〃	〃	〃						橙(5YR 7/6)	橙(5YR 7/6)	2mm以下の灰白色砂粒、石英を含む。	
126	〃	〃	〃						橙(5YR 7/6)	浅黄橙(7.5YR 8/4)	1mm以下の赤褐色砂粒を含む。	
127	〃	〃	〃				ミガキ		淡橙(5YR 8/4)	橙(5YR 7/6)	2mm以下の灰白色・灰色・褐色・赤褐色砂粒、石英を含む。	
128	〃	〃	〃						灰黄(2.5Y 7/2)	灰黄(2.5Y 7/2)	2mm以下の黄灰色・赤茶色・黒褐色砂粒、1mm以下の石英を含む。	
129	〃	〃	〃				ミガキ 工具によるナデ	ミガキ、ナデ	橙(5YR 7/8)	橙(5YR 7/8) 浅黄橙(7.5YR 8/4)	6mm以下の褐色砂粒を含む。	
130	〃	〃	〃						にぶい橙(5YR 7/4) 灰(7.5Y 6/1)	にぶい橙(5YR 6/3)	5mm以下の灰白色・明褐色・褐色砂粒を含む。	
131	〃	〃	〃						にぶい橙(7.5YR 7/4)	淡橙(5YR 8/3) 褐灰(7.5YR 5/1)	2mm以下の灰白色砂粒、石英を多く含む。	
132	〃	〃	〃						にぶい黄橙(10YR 7/2)	灰(7.5Y 4/1)	3mm以下の黄灰色・赤茶色・黒くて光る砂粒、1mm以下の石英を含む。	
133	〃	〃	〃						淡黄(2.5Y 8/3)	灰白(2.5Y 8/2)	2mm以下の褐色・茶色砂粒を含む。	
134	〃	〃	〃		9.7		削り?	ミガキ	にぶい橙(7.5YR 7/3)	にぶい橙(7.5YR 7/3)	4mm以下の橙色砂粒を含む。	
135	〃	〃	〃		(9.9)		削り?	ナデ	橙(5YR 7/6)	橙(5YR 7/6)	1mm以下の茶色砂粒、石英を少し含む。	
136	〃	〃	〃		(10.5)		削り?	工具によるナデ	にぶい橙(2.5YR 6/4)	にぶい橙(2.5YR 6/4)	2mm以下の白色・灰白色・茶色砂粒、0.5mm以下の石英を含む。	
137	〃	〃	〃		(10.1)			〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	灰黄褐(10YR 6/2)	4mm以下の乳白色・灰色・褐色・橙色砂粒、2mm以下の石英を含む。	
138	〃	〃	〃		(14.8)				にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 7/4)	3mm以下の灰色砂粒を多く含む。 1.5mm以下の石英を少し含む。	
139	〃	〃	〃		7.7				にぶい黄橙(10YR 7/3) 橙(7.5YR 7/6)	灰(5Y 4/1)	3mm以下の灰白色・灰褐色・黒色砂粒、石英を含む。	
140	〃	〃	〃						にぶい橙(5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 7/2)	にぶい橙(7.5YR 7/3) にぶい黄橙(10YR 7/3)	1.5mm以下の灰色・灰白色・褐色砂粒、石英を含む。	
141	〃	〃	〃		10.0				にぶい黄橙(10YR 7/3) にぶい橙(5YR 7/4)	橙(5YR 7/6) 浅黄橙(7.5YR 8/4)	2mm以下の褐色・黒色砂粒を含む。	
142	〃	〃	〃		(7.6)				橙(5YR 7/6) にぶい橙(5YR 7/4)	橙(5YR 7/6)	3mm以下の白色・褐色・黒色砂粒を含む。	
143	〃	〃	〃		(7.8)				橙(5YR 7/6)	橙(5YR 7/6)	3mm以下の乳白色・灰色・褐色・黒色砂粒、2mm以下の石英を多く含む。	
144	〃	〃	〃		(9.4)				橙(5YR 7/6) 灰(N 4/)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 灰(N 5/)	3mm以下の灰白色・黄灰色・赤茶色・黒く光る砂粒、0.5mm以下の石英を含む。	
145	〃	〃	〃				ナデ		橙(7.5YR 7/6)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	2mm以下の白色・褐色・黒色砂粒を含む。	
146	〃	〃	〃						橙(7.5YR 7/6)	浅黄橙(10YR 8/3)	2mm以下の白色・橙色砂粒を含む。	
147	〃	〃	〃						にぶい黄橙(10YR 7/3) 橙(5YR 7/6)	にぶい黄橙(10YR 7/6)	2mm以下の褐色・茶色砂粒、石英を含む。	
148	土師質	坏	〃	12.0	6.9	5.1	回転ナデ	回転ナデ	にぶい赤褐(5YR 5/4) にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/3) にぶい赤褐(5YR 5/3)	精 良	
149	〃	〃	〃	(12.0)	6.6	4.7	〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3) にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	〃	
150	〃	〃	〃	(11.8)	7.0	4.7	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 6/3) にぶい橙(5YR 6/4)	にぶい黄橙(10YR 6/3)	〃	

第13表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
151	土師器	坏	流路状 遺 構	(12.8)	6.9	5.1	回転ナデ	回転ナデ	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤橙(5YR 5/4)		
152	〃	〃	〃	13.0	7.1	5.1	〃	〃	赤(10YR 5/6)	明赤褐(2.5YR 5/6) 灰褐(5YR 5/2)	精 良	底部外面板状圧痕
153	〃	〃	〃	(12.4)	6.7	4.7	〃	回転ナデ ナデ	にぶい黄褐(10YR 5/3) にぶい黄橙(10YR 7/2)	にぶい黄褐(10YR 5/3) にぶい黄橙(10YR 7/3)	1.5mm以下の褐色・灰白色砂粒を含む。	
154	〃	〃	〃	(11.9)	(6.4)	5.2	〃	回転ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/4)	精 良	
155	〃	〃	〃	12.1	6.1	4.8	〃	〃	黒(7.5YR 1.7/1) 黄橙(10YR 8/6)	灰褐(7.5YR 5/2) 橙(7.5YR 7/6)	〃	
156	〃	〃	〃	(12.3)	(6.2)	4.7	〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	灰白(2.5Y 8/2)	〃	
157	〃	〃	〃	12.1	6.5	4.6	〃	〃	灰褐(7.5YR 6/2) にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい橙(5YR 6/4)	〃	
158	〃	〃	〃	12.5	6.4	4.7	〃	回転ナデ ナデ	にぶい橙(7.5YR 7/4) 褐灰(7.5YR 4/1)	にぶい橙(5YR 6/4) にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	
159	〃	〃	〃	(12.5)	6.2	5.0	〃	回転ナデ	にぶい赤橙(10YR 6/4) 橙(2.5YR 7/6)	にぶい黄褐(10YR 4/3) 橙(2.5YR 7/6)	〃	
160	〃	〃	〃	12.7	6.0	5.0	〃	〃	灰白(10Y 8/1)	灰白(10Y 8/1)	〃	
161	〃	〃	〃	12.5	6.7	4.7	〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3)	浅黄橙(7.5YR 8/3)	〃	
162	〃	〃	〃	(12.6)	6.0	4.7	〃	〃	橙(2.5YR 6/8) 暗赤灰(2.5YR 3/1)	橙(2.5YR 6/8)	〃	
163	〃	〃	〃	(13.2)	6.6	4.8	〃	回転ナデ ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/2)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	底部外面板状圧痕
164	〃	〃	〃	13.4	6.5	5.3	〃	〃	明褐灰(7.5YR 7/2) 黒(5Y 2/1)	にぶい褐(7.5YR 6/3)	〃	
165	〃	〃	〃	(13.6)	(6.7)	5.2	〃	〃	明褐灰(7.5YR 7/2)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	〃	
166	〃	〃	〃	(13.3)	6.8	5.1	〃	〃	にぶい赤褐(2.5YR 5/4) にぶい褐(7.5YR 5/3) にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい橙(7.5YR 6/4) にぶい褐(7.5YR 5/3)	〃	
167	〃	〃	〃	(13.0)	(6.7)	4.7	〃	〃	黒(N 2/) にぶい橙(7.5YR 7/4)	黒(N 2/) にぶい橙(5YR 6/4)	〃	
168	〃	〃	〃	13.2	7.2	4.8	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/4) にぶい橙(5YR 6/3) 褐灰(5YR 4/1)	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい橙(2.5Y 6/4) 黒褐(7.5Y 3/1)	〃	
169	〃	〃	〃	(12.8)	6.0	4.8	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	橙(5YR 7/8) にぶい橙(7.5YR 7/4)	橙(5YR 6/6) にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	
170	〃	〃	〃	13.1	6.6	4.7	〃	〃	黒(N 2/) 橙(5YR 6/6)	橙(2.5YR 6/6) 灰褐(5YR 4/2)	〃	
171	〃	〃	〃	(12.8)	(6.3)	4.6	〃	〃	灰黄(2.5Y 7/2)	灰黄(2.5Y 7/2)	〃	
172	〃	〃	〃	12.9	6.5	4.6	〃	回転ナデ ナデ	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(5YR 7/4)	〃	
173	〃	〃	〃	(13.0)	6.3	4.8	〃	回転ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/3)	灰褐(7.5YR 6/2)	〃	
174	〃	〃	〃	13.2	6.6	4.8	〃	回転ナデ ナデ	褐灰(7.5YR 4/1) にぶい橙(7.5YR 7/3)	にぶい褐(7.5YR 6/3)	〃	
175	〃	〃	〃	13.4	6.6	5.0	〃	回転ナデ	浅黄橙(10YR 8/3)	浅黄橙(7.5YR 8/4) にぶい赤橙(10R 6/4)	3mm以下の灰黄色・灰色・赤褐色砂粒を含む。	
176	〃	〃	〃	13.4	7.0	4.8	〃	〃	黒(7.5YR 2/1) にぶい褐(7.5YR 5/4)	灰褐(7.5YR 4/2)	精 良	底部外面板状圧痕
177	〃	〃	〃	13.3	6.2	5.0	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	にぶい橙(5YR 7/3) 褐灰(5YR 5/1)	にぶい橙(5YR 7/3) 明褐灰(5YR 7/1)	〃	
178	〃	〃	〃	(13.2)	(6.0)	4.5	回転ナデ	〃	黒(N 1.5/) 灰黄褐(10YR 6/2)	にぶい黄橙(10YR 6/3) 黒(N 2/)	〃	
179	〃	〃	〃	(12.8)	5.8	4.8	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3) 淡赤橙(2.5YR 7/4)	浅黄橙(7.5YR 8/3) 橙(2.5YR 7/6)	2mm以下の赤茶色砂粒を少し含む。	
180	〃	〃	〃	(13.4)	6.0	4.4	〃	回転ナデ ナデ	明褐灰(5YR 7/2) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 7/4)	精 良	

第14表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
181	土師質	坏	流路状 遺 構	13.0	7.0	4.4	回転ナデ	回転ナデ	浅黄橙(7.5YR 8/3) 淡橙(5YR 8/4)	淡橙(5YR 8/3)	精 良	
182	〃	〃	〃	12.8	6.6	4.5	〃	回転ナデ ナデ	橙(2.5YR 6/6)	にぶい赤褐(5YR 5/3)	〃	
183	〃	〃	〃	12.8	6.2	4.6	〃	回転ナデ	浅黄橙(10YR 8/3) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 7/4) 浅黄橙(7.5YR 8/3) 橙(5YR 7/6)	3mm以下の茶色砂粒を少し含む。	
184	〃	〃	〃	12.8	5.1	5.0	〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい橙(7.5YR 7/4)	4mm以下の灰色・褐色砂粒を少し含む。	
185	〃	〃	〃	12.8	5.8	4.4	〃	回転ナデ ナデ	黒(N 1.5/) 灰黄褐(10YR 5/2)	黒(N 2/) にぶい橙(7.5YR 7/4)	精 良	
186	〃	〃	〃	(13.2)	(5.7)	4.3	〃	回転ナデ	浅黄橙(10YR 8/3)	灰白(2.5Y 8/2) 浅黄橙(10YR 8/3)	〃	
187	〃	〃	〃	13.0	6.7	4.4	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/2) 黒(10YR 1.7/1)	褐灰(10YR 5/1)	〃	
188	〃	〃	〃	(13.0)	6.5	4.4	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/4)	にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	
189	〃	〃	〃	(13.0)	6.9	4.3	〃	〃	橙(5YR 7/6) にぶい黄橙(10YR 7/2)	灰褐(7.5YR 4/2)	〃	
190	〃	〃	〃	13.5	6.7	4.0	〃	〃	淡赤橙(2.5YR 7/4) 淡橙(5YR 8/4)	浅黄橙(7.5YR 8/4) 淡赤橙(2.5YR 7/4)	〃	
191	〃	〃	〃	13.4	5.9	4.5	〃	回転ナデ ナデ	黒(5Y 2/1) にぶい黄橙(7.5YR 6/4)	黒(2.5Y 2/1) にぶい赤褐(5YR 4/3)	〃	
192	〃	〃	〃	(13.6)	6.9	4.4	〃	回転ナデ	にぶい橙(7.5YR 7/3) にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/3) にぶい橙(7.5YR 7/4)	2mm以下の白色・褐灰色・橙色砂粒を含む。	
193	〃	〃	〃	13.7	7.0	4.1	〃	回転ナデ ナデ	橙(5YR 6/6) 灰(5Y 4/1)	オリープ黒(5Y 3/1) にぶい橙(5YR 6/4)	2mm以下の灰色砂粒を含む。	
194	〃	〃	〃	(13.4)	(6.5)	4.2	〃	回転ナデ	浅黄橙(7.5YR 8/3)	浅黄橙(10YR 8/3)	精 良	
195	〃	〃	〃	13.9	6.7	4.3	〃	〃	橙(2.5YR 6/6) にぶい赤褐(2.5YR 5/3)	橙(5YR 6/6) 灰褐(5YR 4/2)	4mm以下の灰褐色砂粒を含む。	
196	〃	〃	〃	(13.8)	6.3	4.4	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	橙(5YR 7/4) 黒褐(5YR 3/1)	2.5mm以下の黒色砂粒を含む。	
197	〃	〃	〃	14.0	6.3	4.5	〃	〃	橙(7.5YR 7/6) 橙(5YR 6/6)	橙(7.5YR 7/6) にぶい褐(7.5YR 6/3)	精 良	
198	〃	〃	〃	13.4	6.4	4.5	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/3)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	
199	〃	〃	〃	13.3	7.3	4.7	〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3) にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	
200	〃	〃	〃	(12.7)	(6.5)	4.4	〃	〃	灰白(5Y 8/1)	灰白(5Y 8/1)	〃	
201	〃	〃	〃	13.8	7.5	4.3	〃	〃	橙(2.5YR 7/6)	橙(2.5YR 7/6)	〃	
202	〃	〃	〃	12.7	6.7	4.4	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/3)	にぶい橙(7.5YR 7/3)	〃	
203	〃	〃	〃	11.9	6.2	4.3	〃	〃	黒褐(7.5YR 3/1)	黒褐(7.5YR 3/2)	〃	
204	〃	〃	〃	12.5	6.7	4.2	〃	〃	黒(N 1.5/) 灰白(2.5Y 7/1)	黒(7.5YR 2/1) 灰黄(2.5Y 7/2)	〃	
205	〃	〃	〃	12.7	6.5	4.6	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	
206	〃	〃	〃	12.5	6.0	4.4	〃	〃	にぶい赤褐(5YR 5/4) 黒(N 2/)	にぶい赤褐(5YR 5/4) 黒(2.5Y 2/1)	〃	
207	〃	〃	〃	(12.5)	6.5	4.1	〃	〃	橙(7.5YR 7/6) にぶい橙(2.5YR 6/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	
208	〃	〃	〃	12.5	6.8	4.2	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/4) にぶい橙(5YR 7/4) 褐灰(7.5YR 4/1)	浅黄橙(10YR 8/4) にぶい橙(5YR 7/4) 褐灰(7.5YR 4/1)	〃	
209	〃	〃	〃	(12.6)	7.8	4.0	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/4)	浅黄橙(7.5YR 8/4)	〃	
210	〃	〃	〃	12.1	6.0	4.1	〃	〃	にぶい褐(7.5YR 6/3) 黒(2.5Y 2/1)	にぶい褐(7.5YR 5/3)	〃	

第15表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
211	土師質	坏	流路状 遺 構	13.0	5.7	4.0	回転ナデ	回転ナデ	橙(5YR 7/8)	橙(2.5YR 6/6)	精 良	
212	〃	〃	〃	(12.0)	6.0	4.2	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/4) 黒(5Y 2/)	にぶい黄橙(10YR 7/3) 黒褐(2.5Y 3/1)	〃	
213	〃	〃	〃	(12.9)	6.0	4.0	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/4)	灰黄褐(10YR 5/2) 黒褐(10YR 3/1)	〃	
214	〃	〃	〃	12.4	6.5	4.0	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/3) 浅黄橙(10YR 8/3) 黒(7.5YR 2/1)	にぶい黄橙(10YR 7/3) 黒褐(10YR 3/1)	〃	
215	〃	〃	〃	12.3	6.4	3.8	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3) 黒(N 2/)	にぶい黄橙(10YR 6/3) 黒(10YR 2/1)	〃	
216	〃	〃	〃	(12.6)	(6.7)	4.0	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 褐灰(10YR 6/1)	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(7.5YR 6/4)	〃	
217	〃	〃	〃	12.1	6.0	3.8	〃	〃	にぶい橙(5YR 7/3)	浅黄橙(7.5YR 8/4)	〃	
218	〃	〃	〃	(12.5)	(6.6)	3.7	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3) 灰褐(7.5YR 4/2)	にぶい黄橙(10YR 7/3) 灰褐(7.5YR 4/2)	〃	
219	〃	〃	〃	12.2	(7.1)	4.3	回転ナデ	〃	にぶい橙(5YR 7/4) 橙(5YR 7/6)	淡橙(5YR 8/4) 灰褐(7.5YR 6/2)	〃	
220	〃	〃	〃	12.7	7.3	4.0	〃	〃	橙(5YR 6/6) 浅黄橙(10YR 8/4)	橙(7.5YR 6/6)	〃	
221	〃	〃	〃	13.1	7.7	4.1	〃	〃	黒(2.5Y 2/1) にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい黄橙(10YR 7/4) 黒褐(7.5YR 3/1)	〃	
222	〃	〃	〃	(12.8)	(7.2)	4.2	〃	〃	淡赤橙(2.5YR 7/4) 赤灰(2.5YR 6/1)	赤灰(2.5YR 5/1)	〃	
223	〃	〃	〃	12.6	7.7	3.8	〃	〃	灰白(5YR 8/2) 橙(2.5YR 7/6)	橙(2.5YR 7/6)	〃	
224	〃	〃	〃	13.2	8.2	4.2	〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3) 浅黄橙(7.5YR 8/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 淡橙(5YR 8/3)	3mm以下の褐色・茶色砂粒を含む。	
225	〃	〃	〃	(12.7)	(7.3)	3.9	〃	〃	浅黄橙(10YR 8/4) 黄灰(2.5Y 6/1) にぶい橙(5YR 7/4)	浅黄橙(10YR 8/4) 黄灰(2.5Y 6/1) にぶい橙(5YR 7/4)	精 良	
226	〃	〃	〃	12.4	7.9	3.5	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(2.5YR 6/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい褐(7.5YR 5/3)	〃	
227	〃	〃	〃	13.8	7.5	4.1	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 淡橙(5YR 8/4)	にぶい橙(5YR 7/4) 浅黄橙(10YR 8/3)	3mm以下の褐色・茶色砂粒を含む。	
228	〃	〃	〃	(14.2)	(7.2)	3.7	〃	〃	灰白(7.5YR 8/2)	灰白(10YR 8/2)	精 良	
229	〃	〃	〃	(13.9)	(7.0)	3.8	〃	〃	黒(5Y 2/1) にぶい黄橙(10YR 7/3)	黒(5Y 2/1) にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	
230	〃	〃	〃	(15.0)	7.2	4.2	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/4)	浅黄橙(7.5YR 8/4)	〃	底部外面板状圧痕
231	〃	〃	〃	16.0	8.2	4.3	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 橙(5YR 7/6)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	
232	〃	〃	〃	(15.6)	8.2	4.2	〃	〃	にぶい橙(5YR 6/4)	橙(7.5YR 7/6) にぶい橙(5YR 6/4)	〃	
233	〃	〃	〃	(15.5)	8.6	4.8	〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3)	灰白(7.5YR 8/2)	〃	
234	〃	〃	〃	(15.6)	8.2	5.1	〃	〃	灰白(2.5Y 8/1) 淡赤橙(2.5YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/2) 黒褐(10YR 3/1)	〃	
235	〃	〃	〃	(16.0)	9.0	4.9	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3)	浅黄橙(7.5YR 8/3)	〃	
236	〃	〃	〃	14.6	6.9	4.6	〃	〃	黒(7.5YR 1.7/1) 明褐灰(7.5YR 7/2)	灰褐(7.5YR 5/2)	〃	
237	〃	〃	〃	(15.3)	8.4	4.9	〃	〃	淡橙(5YR 8/4) 黒褐(5YR 2/1)	淡赤橙(2.5YR 7/4)	〃	
238	〃	〃	〃	(15.5)	7.4	5.0	〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4) 橙(5YR 7/6)	橙(5YR 7/6)	〃	
239	〃	〃	〃	14.1	7.4	4.9	〃	〃	灰黄褐(10YR 6/2) 黒(2.5Y 2/1)	黒(N 2/) にぶい黄橙(10YR 6/3)	〃	底部内面炭化物付着
240	〃	〃	〃	(15.9)	8.0	5.2	〃	〃	橙(5YR 7/6) にぶい橙(2.5YR 6/4)	橙(5YR 7/6)	〃	

第16表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
241	土師質	坏	流路状 遺 構	14.4	6.3	5.3	回転ナデ 回転ヘラ削り	回転ナデ	にぶい褐(7.5YR 5/4)	灰褐(5YR 4/2) にぶい橙(5YR 7/4)	精 良	
242	〃	〃	〃	(15.5)	7.8	5.3	回転ナデ	〃	にぶい橙(5YR 7/4) 灰白(10YR 7/2) *	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	
243	〃	〃	〃	14.9	7.2	5.4	〃	〃	橙(2.5YR 6/8)	淡赤橙(2.5YR 7/4)	〃	
244	〃	〃	〃	(13.8)	7.4	5.1	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 6/4)	にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	
245	〃	〃	〃	14.8	6.6	5.6	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/2) 黒(N 1.5/)	にぶい黄橙(10YR 7/2) 黒(N 2/)	〃	
246	〃	〃	〃	(14.4)	(6.5)	4.7	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	
247	〃	〃	〃	(13.0)	(6.7)	4.0	〃	〃	淡黄(2.5Y 8/3) 淡橙(5YR 8/4)	灰白(2.5Y 8/2) 淡橙(5YR 8/3)	〃	
248	〃	〃	〃	13.0	7.0	3.8	〃	〃	にぶい赤褐(2.5YR 5/4) にぶい黄橙(10YR 6/3) 黒褐(7.5YR 3/1)	にぶい橙(7.5YR 6/4) 黒褐(7.5YR 3/2)	〃	
249	〃	〃	〃	(13.7)	6.8	3.6	〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3) 淡橙(5YR 8/3) 橙(2.5YR 7/8)	淡赤橙(2.5YR 7/3)	1.5mm以下の赤色・暗赤色砂粒を含む。	
250	〃	〃	〃	(12.3)	6.0	4.4	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	橙(7.5YR 7/6)	橙(7.5YR 7/6)	精 良	
251	〃	〃	〃	13.4	7.2	4.6	〃	回転ナデ ナデ	灰白(7.5YR 8/2) 淡橙(5YR 8/4)	灰白(7.5YR 8/2) 浅黄橙(7.5YR 8/3)	〃	
252	〃	〃	〃	13.1	5.6	4.4	〃	回転ナデ	にぶい褐(7.5YR 6/3) にぶい黄橙(10YR 7/2)	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい赤橙(10R 6/3)	2mm以下の褐灰色・暗赤褐色・黒色の砂粒を含む。	
253	〃	〃	〃	13.5	6.4	4.4	回転ナデ	〃	にぶい橙(5YR 6/4) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 6/4) にぶい橙(5YR 7/4)	精 良	
254	〃	〃	〃	14.1	6.8	5.3	回転ナデ 回転ヘラ削り	回転ナデ ナデ	にぶい黄橙(10YR 6/3) 橙(5YR 7/6)	にぶい橙(5YR 6/4)	〃	
255	〃	〃	〃	(12.2)	(6.6)	5.0	回転ナデ	回転ナデ	灰白(5YR 8/2) 淡橙(5YR 8/3)	淡橙(5YR 8/3)	〃	
256	〃	〃	〃	(11.5)	6.8		〃	〃	にぶい橙(5YR 6/4)	にぶい橙(5YR 6/4)	〃	
257	〃	〃	〃	(12.5)	5.2	4.9	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい褐(7.5YR 5/3)	〃	
258	〃	〃	〃	12.1	5.2	5.3	〃	回転ナデ ナデ	赤橙(10R 6/6) 浅黄橙(10YR 8/3)	赤橙(10R 6/6) 浅黄橙(10YR 8/3)	〃	
259	〃	〃	〃	(12.7)	5.1	5.0	〃	回転ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/2) 淡赤橙(2.5YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	円盤高台状
260	〃	〃	〃	(11.7)	5.5	4.6	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/3)	にぶい橙(7.5YR 7/3)	〃	〃
261	〃	〃	〃		5.2		〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3) 黄灰(2.5Y 5/1)	にぶい黄橙(10YR 7/2) 黄灰(2.5Y 5/1)	2.5mm以下の白色・茶色砂粒を含む。	〃
262	〃	〃	〃	(14.2)	6.2	4.7	〃	〃	灰褐(5YR 6/2) 黒(N 2/)	灰褐(5YR 6/2)	精 良	
263	〃	〃	〃	(12.9)	6.0	4.3	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3) 橙(5YR 7/6)	にぶい黄橙(10YR 7/3) 橙(5YR 7/6)	〃	
264	〃	〃	〃	13.2	6.2	5.1	〃	〃	灰白(10YR 8/2) にぶい黄橙(10YR 7/2)	淡橙(5YR 8/3) 灰黄褐(10YR 6/2)	2mm以下の灰白色砂粒を含む。	円盤高台
265	〃	〃	〃	(15.1)	(7.8)	6.4	〃	〃	にぶい赤褐(2.5YR 5/3)	黒(N 1.5/)	精 良	
266	〃	〃	〃	(13.8)	6.8	5.4	〃	〃	灰白(10YR 8/2)	灰白(10YR 8/2) 橙(5YR 7/8)	〃	円盤高台状
267	〃	〃	〃	14.2	7.0	6.3	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/2)	にぶい黄橙(10YR 7/2) 灰黄褐(10YR 4/2)	〃	円盤高台
268	〃	〃	〃		6.3		〃	〃	灰黄(2.5Y 7/2)	黒褐(10YR 3/2)	〃	円盤高台状
269	〃	〃	〃		5.4		〃	〃	灰白(2.5Y 8/2) 黒(10YR 2/1)	灰白(2.5Y 8/2) 淡橙(5YR 8/4) にぶい赤褐(5YR 4/3)	〃	円盤高台
270	〃	〃	〃	(13.0)	6.6	4.2	〃	〃	灰白(2.5Y 8/2)	灰白(2.5Y 8/2)	〃	

第17表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト番号	種別	器種	出土地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
271	土師質	坏	流路状遺構	(14.0)	7.6	4.1	回転ナデ	回転ナデ	淡橙(5YR 8/4)	にぶい赤褐(5YR 4/4) 浅黄橙(7.5YR 8/3)	1.5mm以下の黒褐色砂粒を含む。	円盤高台状
272	〃	〃	〃	(12.9)	7.5	4.4	〃	〃	灰黄(2.5Y 7/2)	灰黄(2.5Y 7/2)	精 良	〃
273	〃	〃	〃	(16.6)	8.8	5.0	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	〃
274	〃	〃	〃	(11.8)			〃	〃	灰白(10YR 8/2)	灰白(10YR 8/2)	2mm以下の赤褐色砂粒を含む。	
275	〃	〃	〃	(12.6)			ヘラ削り?		淡黄(2.5Y 8/3) 灰褐(7.5YR 5/2)	灰白(2.5Y 8/2) にぶい黄橙(10YR 7/2)	精 良	
276	〃	〃	〃	(17.1)	8.4	6.6	回転ナデ	回転ナデ	淡黄(2.5Y 8/3) 黒(2.5Y 2/1)	灰黄褐(10YR 4/2) 淡黄(2.5Y 8/3)	〃	
277	〃	〃	〃	16.1	8.1	7.2	〃	回転ナデ 縦方向のヘラミガキ	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(5YR 7/4)	〃	
278	〃	鉢?	〃	(16.8)			〃	回転ナデ	にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい橙(7.5YR 6/4) にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	
279	〃	碗	〃	(18.0)	(8.1)	8.5	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4) 褐灰(7.5YR 4/1)	褐灰(7.5YR 4/1) 浅黄橙(7.5YR 8/3)	〃	
280	〃	〃	〃	17.3	9.7	7.3	〃	回転ナデ ヨコナデ	浅黄橙(7.5YR 8/3) にぶい橙(7.5YR 7/3) 橙(2.5YR 7/6)(5YR 7/6)	浅黄橙(7.5YR 8/4)	2.5mm以下の褐色砂粒を含む。	
281	〃	〃	〃		8.0		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	精 良	
282	〃	〃	〃		9.0		〃	ヨコナデ 工具による 不定方向のナデ	にぶい黄橙(10YR 7/4) 橙(5YR 7/6)	にぶい橙(5YR 7/4)	〃	
283	〃	〃	〃	(17.5)	(9.4)	8.4	〃	回転ナデ	淡橙(5YR 8/4)	淡橙(5YR 8/4)	〃	
284	〃	〃	〃	(14.1)	7.5	6.5	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3)	浅黄橙(7.5YR 8/3)	〃	
285	〃	〃	〃		9.8		〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/2) 橙(5YR 7/6)	にぶい黄橙(10YR 7/2) 褐灰(10YR 4/1)	〃	
286	〃	〃	〃	15.0	8.1	6.6	〃	回転ナデ	橙(2.5YR 7/6) にぶい橙(5YR 6/3) 黄橙(7.5YR 8/6)	浅黄橙(7.5YR 8/4) 橙(5YR 7/6)	〃	
287	〃	〃	〃	14.4	(8.4)	6.2	〃	〃	灰白(10YR 7/1) 灰褐(7.5YR 5/2)	灰白(10YR 7/1) 褐灰(10YR 4/1)	2mm以下の茶色・黒褐色砂粒を含む。	
288	〃	〃	〃		9.2		〃	回転ナデ 布目圧痕	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	精 良	
289	〃	〃	〃	(13.7)	7.5	6.6	〃	回転ナデ	にぶい橙(7.5YR 7/4)	灰褐(7.5YR 6/2)	〃	
290	〃	〃	〃	(16.0)	(9.3)	(6.1)	〃	ミガキ	橙(5YR 7/6) 橙(2.5YR 6/6)	橙(5YR 6/6)	〃	
291	〃	〃	〃		8.5		〃	回転ナデ	浅黄橙(10YR 8/3) 褐灰(10YR 6/1)	褐灰(10YR 5/1) 灰白(10YR 8/2)	〃	
292	〃	〃	〃	14.2	7.4	6.0	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3) 淡赤橙(2.5YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	2mm以下の灰色・茶色・黒く光る砂粒を含む。	
293	〃	〃	〃	(14.6)	7.6	5.9	〃	回転ナデ ヨコナデ	にぶい橙(7.5YR 7/4) 黒(N 2/)	黒褐(2.5Y 3/2)	精 良	
294	〃	〃	〃		8.4		〃	回転ナデ	灰白(7.5YR 8/2) 浅黄橙(7.5YR 8/3)	浅黄橙(10YR 8/3)	〃	
295	〃	〃	〃	(15.6)	8.4	5.5	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/4) 明褐灰(7.5YR 7/2) 黒(7.5YR 1.7/1)	明赤灰(2.5YR 7/2) 橙(2.5YR 7/6)	〃	
296	〃	〃	〃	(14.3)			〃	回転ナデ ヨコナデ	にぶい黄橙(10YR 7/3)	灰白(10YR 8/2) 褐灰(10YR 6/1)	〃	
297	〃	〃	〃		(8.6)		〃	回転ナデ	にぶい橙(7.5YR 7/3) 淡赤橙(2.5Y 7/4)	灰黄褐(10YR 5/2)	3mm以下の灰色・茶色・淡橙色砂粒を含む。	
298	〃	〃	〃	(14.2)			〃	〃	淡橙(5YR 8/4) 淡橙(5YR 8/3)	淡橙(5YR 8/4) 淡橙(5YR 8/3)	精 良	高台接合痕跡明瞭
299	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい赤褐(2.5YR 5/4)	橙(2.5YR 6/6)	〃	
300	〃	〃	〃		9.7		〃	〃	浅黄橙(10YR 8/4)	浅黄橙(10YR 8/3)	〃	

第18表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト番号	種別	器種	出土地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
301	土師質	埴	流路状遺構		8.8		回転ナデ	回転ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	3mm以下の灰褐色・にぶい橙色・黒色砂粒、石英を含む。	
302	〃	〃	〃	(19.1)			〃	〃	赤褐(5YR 4/6) 黒(7.5YR 1.7/1)	にぶい黄橙(10YR 6/3) 黒(7.5YR 1.7/1)	精 良	
303	〃	〃	〃	(15.2)	(8.1)	6.7	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 6/3) 黒褐(10YR 3/2)	にぶい褐(7.5YR 6/3)	2mm以下の茶色砂粒を含む。	
304	〃	〃	〃		(8.8)		〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	灰褐(5YR 6/2)	精 良	
305	〃	〃	〃		8.8		〃	ナデ	にぶい橙(2.5YR 6/4) 黒褐(10YR 3/1)	黒褐(10YR 3/1)	〃	
306	〃	〃	〃	(14.4)	6.5	6.5	回転ナデ 高台内放射状調整痕	回転ナデ	灰白(2.5Y 8/2)	灰白(2.5Y 8/2) 黒褐(5YR 3/1)	〃	
307	〃	〃	〃		(7.7)		風化 高台内放射状調整痕	〃	灰黄(2.5Y 7/2)	黒(N 2/) 灰黄(2.5Y 7/2)	2mm以下の茶色・黒褐色砂粒を含む。	
308	〃	〃	〃		7.3		回転ナデ 高台内放射状調整痕	〃	灰白(2.5Y 8/1)	灰白(7.5YR 8/1)	精 良	
309	〃	高台又は脚か	〃		(11.0)		回転ナデ	〃	淡黄(2.5Y 8/3)	黄灰(2.5Y 5/1)	3mm以下の灰色砂粒を少し含む。	
310	〃	埴	〃	(14.2)	7.4	5.0	〃	〃	灰褐(2.5YR 6/2) 浅黄橙(10YR 8/3)	灰白(10YR 8/2) 灰褐(7.5YR 6/2)	3mm以下の白灰色砂粒を少し含む。	
311	〃	〃	〃		(6.4)		〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/2) 灰黄褐(10YR 5/2)	精 良	
312	〃	皿	〃	(14.1)	(9.6)		〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3) 橙(2.5YR 6/6)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	
313	〃	〃	〃	(12.0)	7.1	2.9	ナデ	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 淡赤橙(2.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 淡赤橙(2.5YR 7/4)	〃	
314	〃	〃	〃	(14.5)	(8.8)	3.5	回転ナデ ナデ	〃	灰白(2.5YR 8/2)	灰白(2.5YR 8/2)	〃	
315	〃	〃	〃	(13.2)	(7.0)	3.1	〃	〃	淡赤橙(2.5YR 7/4) 赤灰(2.5YR 6/1) にぶい橙(5YR 7/3)	にぶい橙(2.5YR 6/4)	〃	
316	〃	〃	〃		6.4	3.0	〃	〃	橙(5YR 7/6) 灰(N 6/) にぶい橙(7.5YR 6/4)	橙(5YR 7/6) 灰(N 6/)	2mm以下の灰白色・褐色砂粒を含む。	
317	〃	〃	〃		(7.2)		ヘラ削り	ナデ	橙(5YR 6/6)	橙(5YR 6/6)	精 良	
318	〃	〃	〃	13.2	8.0	3.9	回転ナデ	回転ナデ	橙(5YR 7/8) 浅黄橙(7.5YR 4/8) 浅黄橙(10YR 8/3)	赤橙(5YR 7/8) 浅黄橙(7.5YR 8/4) 黄橙(7.5YR 7/8)	〃	
319	〃	〃	〃	14.8	8.0	3.3	〃	〃	にぶい赤橙(10R 6/4) にぶい黄橙(10YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 6/4)	にぶい黄橙(10YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 6/4)	〃	
320	〃	〃	〃		8.0		〃	〃	橙(5YR 6/6)	にぶい橙(5YR 6/4)	〃	
321	〃	〃	〃		7.3		〃	〃	にぶい橙(5YR 6/4) 橙(5YR 6/6)	にぶい橙(7.5YR 6/4) にぶい橙(5YR 6/4)	〃	
322	〃	〃	〃	13.7	7.0	4.3	〃	〃	灰褐(5YR 6/2) 橙(2.5YR 6/6)	橙(5YR 7/6)	〃	
323	〃	〃	〃	(13.6)	7.8	3.5	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	〃	
324	〃	〃	〃	(13.6)	6.7	4.1	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 褐灰(7.5YR 4/1)	〃	
325	〃	〃	〃	13.2	6.7	3.2	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/4) 橙(5YR 7/5)	にぶい褐(7.5YR 5/3) 橙(5YR 7/3)	2mm以下の灰色・茶色・赤茶色砂粒を少し含む。	
326	〃	坏	〃	(12.7)	6.3	4.0	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	にぶい橙(2.5YR 6/4) にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい橙(5YR 6/4)	精 良	体部外面墨書 「日万」倒位
327	〃	〃	〃	(13.8)	6.8	5.3	回転ナデ	〃	にぶい橙(7.5YR 7/3) 浅黄橙(7.5YR 8/3)	浅黄橙(7.5YR 8/3)	〃	体部外面墨書 「日万」倒位 底部外面板状圧痕
328	〃	〃	〃	(12.6)	(7.3)	3.9	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/3) にぶい黄橙(10YR 7/4)	にぶい橙(2.5YR 6/4) にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	底部外面墨書 「日万」
329	〃	〃	〃	12.9	6.3	4.0	回転ナデ 回転ヘラ削り	回転ナデ ナデ	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	体部外面墨書 「日万」倒位
330	〃	〃	〃	12.8	7.2	4.3	〃	回転ナデ	にぶい橙(7.5YR 7/4) 褐灰(10YR 6/1)	黒褐(10YR 3/1)	〃	〃

第19表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
331	土師質	坏	流路状 遺 構	12.4	6.5	4.0	回転ナデ	回転ナデ	橙(2.5YR 6/6) にぶい橙(7.5YR 6/4)	灰褐(7.5YR 4/2) にぶい橙(5YR 6/4)	精 良	体部外面墨書「日万」 底部外面線刻?
332	〃	〃	〃	(12.8)	7.3	4.1	〃	〃	にぶい橙(5YR 6/4) にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	〃	底部外面墨書「日万」
333	〃	〃	〃	(12.7)	(6.7)	4.0	〃	〃	にぶい橙(5YR 7/3) 浅黄橙(10YR 8/3)	淡赤橙(2.5YR 7/4)	〃	〃
334	〃	〃	〃	(12.5)	7.7	4.5	〃	〃	にぶい橙(5YR 6/4) 黒褐(7.5YR 3/1)	にぶい橙(5YR 7/4) 黒褐(7.5YR 3/1)	〃	〃
335	〃	〃	〃	12.8	8.0	4.8	〃	〃	橙(5YR 7/6) 淡橙(5YR 8/4)	淡橙(5YR 8/4)	〃	〃
336	〃	皿	〃	(13.2)	7.9	3.8	〃	〃	橙(2.5YR 7/6) にぶい橙(5YR 7/4)	橙(2.5YR 7/6) 橙(2.5YR 6/6)	〃	〃
337	〃	坏	〃	(12.6)	7.7	3.9	〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 7/4)	〃	〃
338	〃	皿	〃	(12.0)	7.1	3.8	〃	〃	橙(5YR 7/6)	にぶい橙(5YR 7/4)	〃	〃
339	〃	〃	〃		7.3		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	浅黄橙(7.5YR 8/4) にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	〃
340	〃	坏	〃				〃	〃	にぶい橙(5YR 7/3) 灰白(2.5Y 8/2)	にぶい橙(5YR 6/3) にぶい赤褐(5YR 5/3) 暗赤灰(2.5YR 3/1)	〃	〃
341	〃	〃	〃				〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/4) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	1.5mm以下の淡茶色・茶色・黒く光 る砂粒を少し含む。	体部外面墨書「日万」 倒位
342	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 7/4)	精 良	〃
343	〃	坏	〃		5.3		回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 6/3)	〃	体部外面墨書「日万」? 倒位
344	〃	〃	〃	12.4	6.5	4.0	回転ナデ	〃	浅黄橙(7.5YR 8/4) にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 灰褐(7.5YR 5/2)	〃	体部外面墨書「寺」 倒位
345	〃	〃	〃		6.7		回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	橙(5YR 7/6) にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 橙(2.5YR 7/6)	〃	〃
346	〃	〃	〃	(14.0)	(6.2)	4.4	回転ナデ	回転ナデ ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	体部外面墨書「木」 倒位
347	〃	〃	〃	(13.3)	5.9	5.4	〃	回転ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	体部外面墨書「木」? 倒位
348	〃	〃	〃	(12.8)	7.0	4.2	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 6/3)	〃	体部外面墨書「波太」? 倒位
349	〃	〃	〃		6.6	4.5	〃	回転ナデ ナデ	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	体部外面墨書「波太」? 倒位 底部外面板状圧痕
350	〃	壺	〃	(14.8)	8.3	7.0	〃	回転ナデ	橙(7.5YR 7/6)	橙(7.5YR 7/6)	〃	体部外面墨書「波太」? 倒位
351	〃	坏	〃	13.5	6.5	4.5	回転ナデ 回転ヘラ削り	回転ナデ ナデ	灰白(2.5Y 8/2) 浅黄橙(7.5YR 8/3)	灰白(7.5YR 8/2) 淡赤橙(2.5YR 8/3)	3mm以下の褐色・黒色砂粒を含む。	体部外面墨書「吉」 倒位
352	〃	〃	〃	14.0	6.4	5.1	回転ナデ	回転ナデ	灰白(7.5YR 8/2) 淡橙(5YR 8/3)	灰白(5YR 8/2) にぶい橙(5YR 7/4)	精 良	体部外面墨書「吉」 倒位 底部外面板状圧痕
353	〃	〃	〃	13.1	7.4	4.5	〃	〃	灰黄(2.5Y 7/2)	黄灰(2.5Y 4/1)	〃	体部外面墨書「吉」? 倒位
354	〃	〃	〃	(12.4)	7.0	4.4	〃	〃	灰褐(7.5YR 6/2)	にぶい褐(7.5YR 6/3)	〃	〃
355	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	〃
356	〃	坏	〃		6.6		〃	〃	にぶい赤褐(5YR 5/3) にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい褐(7.5YR 6/3)	〃	〃
357	〃	〃	〃	13.7	7.3	4.7	〃	〃	黒(N 2/) にぶい黄橙(10YR 7/4) にぶい橙(5YR 6/4)	橙(7.5YR 7/6) 橙(5YR 6/6)	〃	体部外面墨書「定」 正位
358	〃	〃	〃	(13.7)	(7.2)	3.7	〃	〃	橙(7.5YR 7/6) にぶい橙(5YR 6/4)	橙(7.5YR 7/6)	〃	体部外面墨書「有」? 「直」? 横位
359	〃	〃	〃	13.0	7.3	3.9	〃	〃	にぶい橙(5YR 6/4) にぶい黄橙(10YR 6/4)	にぶい褐(7.5YR 6/3) にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	体部外面墨書「内」 正位
360	〃	〃	〃	(13.1)	7.3	4.0	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/4)	黒(N 2/) 明褐灰(7.5YR 7/2)	〃	体部外面墨書「定」 横位

第20表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
361	土師質	坏	流路状 遺 構	12.7	6.5	4.4	回転ナデ	回転ナデ	にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	精 良	体部外面墨書「人」 倒位
362	〃	〃	〃	(12.5)	6.7	4.1	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(5YR 7/4)	橙(5YR 7/6) 橙(2.5Y 7/5)	〃	体部外面墨書「伴」 倒位
363	〃	〃	〃	(13.2)	7.0	4.7	〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	橙(2.5Y 7/6) にぶい橙(7.5Y 7/4)	〃	体部外面墨書2か所 「井」倒位
364	〃	〃	〃	13.4	6.5	4.1	〃	〃	灰白(7.5YR 8/2)	浅黄橙(10YR 8/3)	〃	体部外面墨書「古」 倒位 底部外面墨書「万」
365	〃	塊	〃		8.7		〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3) 黒褐(10YR 3/1)	にぶい褐(7.5YR 6/3) 黒(10YR 2/1)	〃	底部外面墨書「万」
366	〃	〃	〃	13.6	6.7	6.0	〃	回転ナデ ナデ	浅黄橙(10YR 8/4)	にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	体部外面墨書「生口」 倒位
367	〃	坏	〃		7.1		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	底部外面墨書「力」、 板状圧痕
368	〃	〃	〃	12.3	6.8	3.5	〃	回転ナデ	にぶい褐(7.5YR 5/3) 橙(5YR 7/6)	橙(5YR 7/6) にぶい橙(5YR 7/3)	〃	底部外面墨書「仁」
369	〃	〃	〃	(16.4)	7.5	5.1	〃	〃	にぶい黄褐(10YR 5/3)	にぶい黄褐(10YR 5/3)	〃	体部外面墨書「几」 正位
370	〃	〃	〃		6.8		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい褐(7.5YR 5/3)	〃	体部外面墨書「而」 (刷文字「天」)正位
371	〃	〃	〃	15.8	8.1	5.3	〃	〃	灰黄(2.5Y 7/2)	浅黄(2.5Y 7/3)	〃	体部外面墨書 「伊益奉」倒位
372	〃	〃	〃	13.1	6.0	4.8	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	にぶい褐(7.5YR 6/3) にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい褐(7.5YR 6/3) にぶい橙(7.5YR 6/4)	〃	体部外面墨書横位 底部外面墨書「隔舎」
373	〃	〃	〃	(13.0)	6.8	4.4	回転ナデ	〃	にぶい褐(7.5YR 5/3)	にぶい褐(7.5YR 6/3)	〃	底部外面墨書
374	〃	〃	〃		6.0	4.8	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(5YR 6/4)	〃	〃
375	〃	〃	〃		7.2		〃	〃	にぶい褐(7.5YR 5/3)	にぶい褐(7.5YR 5/3)	〃	〃
376	〃	〃	〃	13.0	7.1	3.5	〃	〃	橙(5YR 6/6) にぶい橙(5YR 6/4)	橙(2.5YR 6/6) 赤灰(2.5YR 4/1)	〃	〃
377	〃	〃	〃	(12.9)	6.5	4.5	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	橙(7.5YR 7/6) 褐灰(7.5YR 4/1)	にぶい黄褐(10YR 5/3) にぶい橙(7.5YR 6/4)	〃	〃
378	〃	〃	〃	(13.7)	(8.0)	4.7	回転ナデ	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 灰褐(7.5YR 5/2)	〃	〃
379	〃	〃	〃	(15.4)	(8.5)	4.5	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3)	浅黄橙(7.5YR 8/3) 明褐灰(7.5YR 7/2)	〃	〃
380	〃	〃	〃		6.5	3.2	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4) 橙(2.5YR 6/6)	にぶい橙(5YR 6/4)	〃	〃
381	〃	〃	〃	(13.6)	(6.6)	4.2	〃	〃	橙(5YR 6/6) 灰褐(5YR 5/2)	橙(5YR 6/6) 灰褐(7.5YR 5/2)	〃	〃
382	〃	〃	〃	(14.8)	7.5	4.3	〃	〃	淡橙(5YR 8/4)	淡黄橙(7.5YR 8/4) 橙(2.5YR 7/6)	〃	〃
383	〃	〃	〃		6.9		〃	〃	にぶい褐(7.5YR 6/3) 灰黄褐(10YR 6/2)	にぶい橙(5YR 7/4) 淡黄橙(7.5YR 8/4)	〃	〃
384	〃	〃	〃		8.5		〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3)	浅黄橙(7.5YR 8/3) にぶい赤褐(5YR 5/3)	2mm以下の褐色・黒褐色・赤茶色砂 粒、石英を含む。	〃
385	〃	〃	〃		7.8		〃	〃	灰白(10YR 8/2) 橙(5YR 7/8)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	精 良	〃
386	〃	〃	〃		7.7		〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3)	浅黄橙(10YR 8/3)	〃	〃
387	〃	〃	〃		8.2		〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3)	浅黄橙(7.5YR 8/3)	〃	〃
388	〃	塊	〃		8.6		〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/4)	浅黄橙(7.5YR 8/4)	〃	〃
389	〃	坏	〃	(12.1)	6.6	4.2	〃	〃	灰黄褐(10YR 5/2)	灰黄褐(10YR 6/2)	〃	体部外面墨書
390	〃	〃	〃	13.3	6.7	4.6	〃	〃	橙(7.5YR 7/6) にぶい橙(5YR 6/4)	にぶい褐(7.5YR 5/3)	〃	体部外面墨書「寺」? 横位

第21表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
391	土師質	坏	流路状 遺 構	(12.4)	6.3	4.3	回転ナデ	回転ナデ	浅黄橙(7.5YR 8/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	精 良	体部外面墨書
392	〃	〃	〃	(13.0)	6.2	5.0	〃	回転ナデ ナデ	灰白(10YR 8/2)	灰白(10YR 8/2)	〃	〃
393	〃	〃	〃	13.0	6.5	4.8	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 灰黄褐(10YR 6/2) にぶい赤橙(10R 6/3)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 褐灰(7.5YR 6/1)	1.5mm以下の褐色砂粒を少し含む。	体部外面墨書 底部外面板状圧痕
394	〃	〃	〃	13.3	6.0	4.9	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 灰褐(7.5YR 5/2)	にぶい黄橙(10YR 7/3) 暗褐(7.5YR 3/3)	精 良	体部外面墨書
395	〃	〃	〃	12.9	6.6	5.4	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	にぶい橙(5YR 6/4) 明黄褐(2.5Y 7/6)	にぶい橙(5YR 6/4)	〃	〃
396	〃	〃	〃		7.8		回転ナデ	〃	橙(5YR 7/6) にぶい橙(5YR 7/4)	橙(5YR 6/6) 橙(5YR 7/6)	〃	体部外面墨書「道」? 倒位
397	〃	〃	〃		6.6	5.5	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	橙(5YR 7/6)	にぶい橙(5YR 7/4)	〃	体部外面墨書
398	〃	〃	〃	(13.3)	(7.6)	4.2	〃	〃	明褐灰(7.5YR 7/2) 黒褐(7.5YR 3/1)	灰褐(7.5YR 5/2)	〃	体部内面墨書
399	〃	〃	〃	(12.5)	7.5	3.6	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/6)	浅黄橙(7.5YR 8/4)	〃	底部外面墨書
400	〃	〃	〃		(7.7)		〃	〃	灰褐(7.5YR 5/2) 灰黄褐(10YR 6/2)	灰黄褐(10YR 6/2) 灰黄褐(10YR 5/2)	〃	〃
401	〃	〃	〃	(11.2)			〃	〃	淡橙(5YR 8/4)	淡橙(5YR 8/4)	〃	体部外面墨書
402	〃	坏	〃		(8.0)		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	底部外面墨書
403	〃	〃	〃		(8.5)		〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4) 浅黄橙(7.5YR 8/4)	にぶい橙(5YR 7/4)	〃	体部外面、底部外面 墨書
404	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	体部外面墨書
405	〃	〃	〃				〃	〃	淡黄(2.5Y 8/3)	淡黄(2.5Y 8/3) 橙(2.5YR 7/6)	〃	〃
406	〃	〃	〃				〃	〃	淡橙(5YR 8/3) 淡橙(5YR 8/4)	淡橙(5YR 8/3)	〃	〃
407	〃	〃	〃				〃	〃	灰白(2.5Y 8/2)	淡黄(2.5Y 8/3)	〃	〃
408	〃	〃	〃				〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3) 黒褐(7.5YR 3/2)	浅黄橙(7.5YR 8/3) 褐(7.5YR 4/3)	〃	〃
409	〃	坏	〃		6.4		〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3) 褐灰(10YR 4/1)	浅黄橙(10YR 8/3) 褐灰(10YR 4/1)	3.5mm以下の褐色・黒色砂粒を含む。	〃
410	〃	〃	〃		7.2		〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	淡赤橙(2.5YR 7/4)	精 良	〃
411	〃	〃	〃		6.0		回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	褐灰(7.5YR 5/2)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	〃	〃
412	〃	〃	〃		7.5		回転ナデ	〃	淡橙(5YR 8/4)	にぶい橙(5YR 7/3)	〃	〃
413	〃	〃	〃		(6.4)		回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	にぶい褐(7.5YR 5/3)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	〃	〃
414	〃	〃	〃		6.0		回転ナデ	〃	にぶい橙(7.5YR 7/3)	にぶい褐(7.5YR 6/3)	〃	〃
415	〃	〃	〃		5.7		〃	〃	灰黄褐(10YR 6/2) にぶい橙(7.5YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 6/3) 黒褐(7.5YR 3/1)	〃	〃
416	〃	〃	〃		6.2		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 橙(5YR 7/6)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 橙(5YR 7/6)	〃	〃
417	〃	〃	〃		5.8		回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	〃
418	〃	塊	〃		8.8		〃	〃	にぶい褐(7.5YR 6/3)	にぶい褐(7.5YR 6/3)	〃	〃
419	〃	坏	〃				〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3)	浅黄橙(7.5YR 8/3)	〃	〃
420	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	〃	底部外面墨書

第22表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
421	土師質	坏	流路状 遺 構	(17.1)	(8.9)	4.8	回転ナデ	回転ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	精 良	体部外面墨書
422	〃	〃	〃	(17.3)	(8.8)	4.3	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 黒褐(10YR 3/2)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 黒褐(10YR 3/2)	〃	〃
423	〃	〃	〃	13.1	6.6	4.2	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	灰黄褐(10YR 5/2) 黒褐(10YR 3/2)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	〃	体部内面墨書
424	〃	〃	〃		6.8		回転ナデ	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 黒(N 2/)	にぶい褐(7.5YR 5/3)	〃	底部外面墨書 「〇」、「在」
425	〃	塊	〃		8.2	6.3	〃	〃	橙(5YR 7/8) にぶい橙(5YR 6/4)	橙(5YR 7/8)	1.5mm以下の褐色砂粒を含む。	体部外面墨書 底部外面墨痕
426	〃	坏	〃		8.3		〃	〃	にぶい橙(2.5YR 6/4)	にぶい橙(2.5YR 6/3)	精 良	体部外面墨書 底部内面線刻
427	〃	〃	〃		(7.0)		〃	〃	灰黄褐(10YR 6/2) 灰褐(7.5YR 4/2)	灰黄褐(10YR 6/2) 灰褐(7.5YR 4/2)	〃	底部外面墨書
428	〃	塊	〃	15.1	8.0	6.6	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	にぶい褐(7.5YR 6/3)	3mm以下の褐色砂粒を少し含む。	体部内面墨痕？ 底部外面放射状調整痕
429	〃	坏	〃	12.6	6.4	4.7	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 灰黄褐(10YR 5/2)	橙(5YR 7/6) 灰褐(7.5YR 5/3)	精 良	底部内面墨痕？
430	〃	塊	〃		8.0		〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	底部外面墨痕
431	〃	〃	〃				回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	灰黄褐(10YR 4/2) にぶい橙(7.5YR 7/4)	灰黄褐(10YR 5/2) にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	体部外面墨書
432	〃	〃	〃				回転ナデ	〃	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 7/2) 褐灰(10YR 4/1)	にぶい橙(5YR 6/3) 黒褐(5YR 3/1)	〃	体部外面墨痕
433	〃	〃	〃				〃	〃	灰褐(7.5YR 5/2)	にぶい橙(5YR 6/3)	〃	〃
434	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	体部内面墨痕
435	〃	〃	〃				〃	〃	淡橙(5YR 8/3)	灰白(7.5YR 8/3)	〃	体部外面墨書
436	〃	〃	〃				ナデ		橙(5YR 7/6)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	3mm以下の茶色砂粒を含む。	体部外面墨痕
437	〃	坏	〃	(11.8)	5.9	4.1	回転ナデ	回転ナデ ナデ	浅黄橙(10YR 8/4)	浅黄橙(10YR 8/4)	精 良	墨痕ではない可能性が高い
438	〃	〃	〃	11.8	7.1	4.5	〃	回転ナデ	黒褐(10YR 3/1)	灰黄褐(10YR 6/2)	〃	体部外面墨痕
439	〃	〃	〃	(13.1)	8.5	3.8	〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい黄橙(10YR 7/4)	〃	底部、体部外面墨痕
440	〃	〃	〃	12.8	6.3	5.0	〃	回転ナデ ナデ	淡赤橙(2.5YR 7/4) にぶい橙(7.5YR 7/4)	浅黄橙(7.5YR 8/4) 浅黄橙(2.5YR 7/4)	2mm以下の白色・赤褐色・黒色砂粒を含む。	体部外面墨痕？
441	〃	〃	〃	12.5	6.2	4.5	〃	回転ナデ	橙(5YR 7/6)	橙(5YR 7/6)	精 良	体部外面墨痕
442	〃	〃	〃	14.9	7.8	5.0	〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	底部外面墨痕
443	〃	〃	〃	13.2	6.7	4.7	〃	〃	橙(5YR 7/6) にぶい褐(7.5YR 6/3) 黒(N 2/)	にぶい褐(7.5YR 5/3) 黒(N 2/)	〃	体部外面墨書 「□□」、「□」
444	〃	〃	〃	12.4	6.8	4.5	〃	〃	にぶい赤褐(5YR 5/4) 黒(N 2/)	にぶい赤褐(5YR 5/4) 黒(2.5Y 2/1)	〃	底部外面墨書「日万」
445	〃	〃	〃	(16.4)	8.0	4.6	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 褐灰(10YR 4/1)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 灰褐(7.5YR 5/2)	〃	底部外面墨書
446	〃	〃	〃	(13.1)	6.5	4.4	〃	〃	橙(7.5YR 7/6) にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	〃	〃
447	〃	〃	〃	13.4	6.8	4.5	〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3)	浅黄橙(10YR 8/3) 灰白(10YR 8/2)	〃	体部外面墨痕
448	〃	〃	〃	(15.6)	8.0	4.8	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/6) 橙(2.5YR 7/6)	浅黄橙(7.5YR 8/6)	〃	体部外面墨書「寺」？ 正位
449	〃	〃	〃		6.6	4.3	〃	〃	浅黄(2.5Y 7/3)	浅黄(2.5Y 7/3) 黄灰(2.5Y 6/1)	〃	底部外面墨書
450	〃	〃	〃	(13.3)	7.4	4.6	〃	回転ナデ ナデ	灰白(10YR 8/2)	浅黄橙(10YR 8/3)	〃	〃

第23表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト番号	種別	器種	出土地点	法量 (cm)			調整		色調		胎土	備考
				口径	底径	器高	外面	内面	外面	内面		
451	土師質	坏	流路状遺構	(16.1)	(7.7)	5.0	回転ナデ	回転ナデ	浅黄橙(10YR 8/3) 褐灰(10YR 4/1)	浅黄橙(10YR 8/3) 灰褐(5YR 5/2)	精良	底部外面墨書
452	〃	〃	〃	(14.6)			ナデ	ナデ	灰白(2.5Y 8/2) 褐灰(10YR 5/1)	灰白(2.5Y 8/2) 灰黄褐(10YR 6/2)	〃	体部外面墨痕?
453	〃	〃	〃	(14.5)					灰白(5Y 8/2)	灰白(5Y 8/2)	〃	体部外面墨書「寺」? 正位
454	〃	〃	〃	(15.8)			回転ナデ	回転ナデ	にぶい橙(7.5YR 6/4) 黒(7.5YR 2/1)	にぶい橙(7.5YR 6/4) 黒(7.5YR 2/1)	〃	体部外面墨痕?
455	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 黒褐(7.5YR 3/1)	浅黄橙(7.5YR 8/3) 褐(7.5YR 4/3)	〃	体部外面墨書「吉」 倒位
456	〃	〃	〃				〃	〃	灰黄褐(10YR 5/2) 黒(10YR 2/1)	橙(7.5YR 7/4) 灰黄褐(10YR 5/2) 黒(10YR 2/1)	〃	体部外面墨痕?
457	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3)	黒(10YR 2/1)	2mm以下の褐色・茶色砂粒を少し含む。	体部外面墨書
458	〃	坏	〃		(7.7)		〃	〃	にぶい褐(7.5YR 5/3)	灰褐(7.5YR 5/2)	精良	底部外面墨書
459	〃	〃	〃		6.5		〃	〃	淡赤橙(2.5YR 7/4)	にぶい赤褐(5YR 5/3)	〃	〃
460	〃	〃	〃		8.3		〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3) 黒褐(7.5YR 3/1)	にぶい黄橙(7.5YR 7/3) 黒褐(7.5YR 3/1)	〃	底部外面墨書
461	〃	〃	〃		(7.6)		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4) 黒(7.5YR 2/1)	にぶい橙(5YR 6/4)	〃	底部外面墨痕
462	〃	〃	〃		8.0		〃	〃	橙(2.5YR 6/8) 灰黄褐(10YR 5/2)	橙(2.5YR 6/6)	〃	〃
463	〃	〃	〃		6.9		〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3) 黒(N 2/)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	底部外面墨書
464	〃	〃	〃		6.4		〃	〃	淡橙(5YR 8/3) 褐灰(5YR 4/1)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	〃	〃
465	〃	〃	〃		7.2		〃	〃	褐灰(10YR 4/1)	灰黄褐(10YR 5/2)	〃	底部外面墨痕
466	〃	〃	〃		6.8		〃	〃	橙(7.5YR 7/6) にぶい橙(2.5YR 6/4)	橙(7.5YR 7/6)	〃	体部外面墨書
467	〃	〃	〃		7.0		〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい赤褐(5YR 5/3)	にぶい赤褐(5YR 4/3)	〃	底部外面墨書「化」?
468	〃	塊	〃	14.8			〃	〃	にぶい橙(5YR 6/4)	橙(5YR 6/6)	〃	体部外面墨痕 線刻
469	〃	〃	〃	(18.3)	(9.8)	8.2	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	淡赤橙(2.5YR 7/4) にぶい橙(7.5YR 7/4)	橙(2.5YR 6/8) にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	墨痕ではない可能性が高い
470	〃	坏	〃	(13.0)	(8.0)	4.2	回転ナデ	〃	浅黄橙(10YR 8/4) 橙(2.5YR 7/6) 褐灰(7.5YR 4/1)	にぶい橙(7.5YR 7/4) 褐灰(10YR 4/1)	〃	体部外面線刻
471	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	〃
472	〃	坏	〃	12.6	6.2	4.2	〃	回転ナデ ナデ	にぶい橙(7.5YR 6/4) 褐灰(7.5YR 4/1)	にぶい橙(7.5YR 6/4) 褐灰(7.5YR 4/1)	〃	〃
473	〃	〃	〃				〃	回転ナデ	橙(5YR 6/6) 褐灰(7.5YR 4/1)	橙(5YR 6/6)	〃	〃
474	〃	坏	〃	13.6	6.8	4.3	〃	回転ナデ ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/4) にぶい橙(5YR 7/4)	黒褐(10YR 3/2)	〃	〃
475	〃	〃	〃	(12.8)			〃	回転ナデ	灰褐(5YR 5/2)	灰褐(5YR 5/2)	〃	〃
476	〃	坏	〃	(13.4)	6.2	4.9	〃	〃	にぶい赤褐(5YR 5/3)	黒褐(5YR 3/1)	〃	体部内面線刻
477	〃	〃	〃		6.6		〃	〃	浅黄橙(10YR 8/4) 淡赤橙(2.5YR 7/4)	浅黄橙(10YR 8/4) 橙(2.5YR 7/6)	〃	体部外面線刻
478	〃	〃	〃		7.0		〃	〃	にぶい橙(5YR 6/4)	にぶい橙(5YR 6/4)	〃	体部外面線刻 底部外面板状瓦痕
479	〃	〃	〃	14.8	6.8	5.4	回転ナデ 回転ヘラ削り	回転ナデ ナデ	にぶい黄橙(10YR 7/3) にぶい橙(5YR 7/4) 橙(5YR 7/6)	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい黄橙(10YR 6/3)	〃	体部外面線刻
480	〃	〃	〃		(9.0)		回転ナデ	回転ナデ	浅黄橙(7.5YR 8/3)	淡赤橙(2.5YR 7/4) にぶい橙(2.5Y 6/4)	〃	〃

第24表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
481	土師質	壺	流路状 遺 構	(19.7)	9.5	9.7	回転ナデ 回転ヘラミガキ	不定方向のミガキ	にぶい橙(5YR 7/3) 黄灰(2.5Y 6/1)	にぶい橙(5YR 7/3) 黄灰(2.5Y 6/1)	精 良	体部外面線刻
482	〃	坏	〃	12.8	7.2	3.7	回転ナデ	回転ナデ	にぶい橙(5YR 6/4) 橙(7.5YR 7/6)	にぶい橙(5YR 6/4) 橙(7.5YR 7/6)	〃	体部内面線刻
483	〃	〃	〃	(13.2)	7.8	3.3	〃	〃	淡橙(5YR 8/4)	淡橙(5YR 8/4)	〃	底部内面線刻
484	〃	〃	〃	13.4	5.8	4.6	〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/3)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	〃
485	〃	〃	〃	(13.8)	(6.6)	4.4	〃	〃	黒褐(10YR 3/2) 黒(10YR 2/1)	にぶい黄橙(10YR 7/2) 灰黄褐(10YR 6/2)	〃	〃
486	〃	〃	〃		9.4		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/3) 褐灰(7.5YR 5/1)	灰褐(7.5YR 5/2) にぶい橙(7.5YR 7/4)	〃	〃
487	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい黄橙(10YR 6/3)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	〃	底部内外面線刻
488	〃	〃	〃	12.8	6.7	4.7	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	浅黄橙(10YR 8/3)	浅黄橙(10YR 8/3)	〃	底部内面線刻
489	〃	〃	〃	12.4	6.1	4.7	回転ナデ	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	2mm以下の褐色・茶色砂粒を含む。	〃
490	〃	〃	〃		(8.4)		〃	〃	淡橙(5YR 8/4) 橙(2.5YR 7/6)	淡橙(5YR 8/4) にぶい赤褐(2.5YR 5/4)	精 良	〃
491	〃	〃	〃	(12.6)	(6.0)	5.3	〃	〃	橙(7.5YR 7/6) にぶい橙(7.5YR 7/3)	橙(7.5YR 7/6) にぶい橙(7.5YR 7/3)	2mm以下の赤褐色砂粒を含む。	〃
492	〃	〃	〃	(16.2)	8.8	4.9	〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(5YR 7/4)	精 良	〃
493	〃	〃	〃		8.6		〃	〃	灰白(2.5Y 8/2)	灰白(2.5Y 8/2) にぶい赤褐(5YR 5/3)	〃	〃
494	〃	〃	〃	13.6	7.4	3.7	回転ナデ 回転ヘラ削り	〃	橙(2.5YR 6/6) 褐灰(5YR 6/1)	にぶい橙(5YR 6/3)	〃	底部外面から体部 外面線刻
495	〃	〃	〃		(10.0)		回転ナデ	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	浅黄橙(7.5YR 8/6) にぶい赤褐(5YR 5/4)	〃	底部内面線刻
496	〃	〃	〃	(12.9)	7.8	3.9	〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/3) にぶい橙(2.5YR 6/4)	にぶい黄橙(10YR 7/2)	〃	底部内外面、体部 内面線刻
497	〃	〃	〃		(5.8)		〃	〃	灰白(10YR 8/2) 浅黄橙(10YR 8/3)	灰白(10YR 8/2) 浅黄橙(10YR 8/3)	〃	底部内面線刻
498	〃	〃	〃		8.0		〃	〃	灰黄(2.5Y 7/2) 黒(7.5Y 2/1)	灰黄(2.5Y 7/2) オリーブ黒(5Y 3/2)	〃	底部外面線刻
499	〃	〃	〃		8.0		〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) 橙(2.5YR 7/6)	橙(2.5YR 6/6) 黒褐(2.5Y 3/1)	〃	〃
500	黒色土器	〃	〃	(13.9)	5.8	5.2	ナデ	縦方向のミガキ	淡橙(5YR 8/4) 灰白(2.5Y 7/1)	黒(N 1.5/)	精 良	内面光沢あり
501	〃	〃	〃	(13.9)			〃	横方向のミガキ	灰白(2.5Y 7/1)	黒(N 1.5/)	〃	〃
502	〃	〃	〃				〃	〃	淡黄(2.5Y 8/3)	黒(N 2/)	〃	〃
503	〃	壺?	〃				〃	〃	にぶい褐(7.5YR 6/3)	暗灰(N 3/)	〃	〃
504	〃	坏	〃		7.6		〃	不定方向のミガキ	にぶい黄橙(10YR 7/3)	黒(N 2/)	〃	内面光沢あり
505	〃	〃	〃		7.3		回転ナデ 底部ヘラ切り後ナデ	横方向のミガキ 底部回転ミガキ	浅黄(2.5Y 7/3) 浅黄(2.5Y 7/2)	黒(N 1.5/)	精 良	内面光沢あり、 風化著しい
506	〃	〃	〃		(6.5)		ナデ 底部削りに近いナデ	横方向のミガキ	にぶい橙(5YR 7/4)	黒(N 2/)	〃	内面光沢あり、 風化ざみ
507	〃	〃	〃		7.6		回転ヘラミガキ	縦方向のミガキ	灰黄(2.5Y 6/2)	黒(N 2/)	〃	〃
508	〃	壺	〃				ナデ	横方向のナデ	灰白(7.5Y 8/2)	黒(N 1.5/)	〃	内面光沢あり
509	〃	〃	〃				〃	〃	灰白(5Y 8/2)	黄灰(2.5Y 5/1)	〃	内面風化ざみ
510	〃	〃	〃				〃	〃	浅黄橙(7.5YR 8/4)	灰(N 4/)	〃	〃

第25表 II 区出土土器遺物観察表

レイアウト番号	種別	器種	出土地点	法量 (cm)			調整		色調		胎土	備考
				口径	底径	器高	外面	内面	外面	内面		
511	黒色土器	壺	流路状遺構		(4.2)		ミガキ、ナデ	不定方向のミガキ	浅黄(2.5Y 7/3)	黒(N 1.5/)	精良	内面光沢あり
512	〃	〃	〃	(15.1)			〃	斜方向のミガキ	灰白(5Y 7/2)	黒(N 1.5/)	〃	〃
513	〃	〃	〃				ナデ	横方向のミガキ 口縁部に一条の沈線	灰黄(2.5Y 6/2)	黒(N 2/)	金色に光る粒子を多く含む。	幾内産か
514	〃	壺	〃	(13.4)			ミガキ、ナデ	縦方向のミガキ	灰白(5Y 8/2)	黒(N 1.5/)	精良	平底か 内面光沢あり、風化ざみ
515	〃	〃	〃				ナデ	横方向のミガキ	灰白(10YR 8/1)	黒(N 2/)	〃	内面光沢あり
516	〃	〃	〃	(16.7)	8.7	7.3	〃	不定方向のミガキ	灰白(2.5Y 7/1)	黒(N 2/)	〃	〃
517	〃	〃	〃	(15.7)			ミガキ、ナデ	〃	橙(2.5YR 7/6) 淡赤橙(2.5YR 7/4)	黒(N 1.5/)	〃	〃
518	〃	〃	〃				ナデ	横方向のミガキ	灰黄(2.5Y 7/2)	黒(N 1.5/)	〃	〃
519	〃	〃	〃	(19.4)	(9.0)	7.35	ミガキ、ナデ	〃	灰黄(2.5Y 7/2)	黒(N 1.5/)	〃	〃
520	〃	〃	〃	(18.4)			〃	不定方向のミガキ	にぶい橙(7.5YR 7/3) にぶい黄橙(10YR 7/3)	黒(N 2/)	〃	〃
521	〃	〃	〃				〃	〃	灰白(2.5Y 8/1)	黒(N 2/)	〃	内面光沢あり、 風化著しい
522	〃	〃	〃	(16.5)	9.5	5.55	ナデ	〃	灰白(2.5Y 7/1)	黒(N 1.5/)	〃	内面光沢あり、 風化ざみ
523	〃	〃	〃				〃	縦方向のミガキ	灰白(2.5Y 8/2) 橙(7.5YR 7/6)	黒(N 1.5/)	〃	内面光沢あり
524	〃	〃	〃				〃	不定方向のミガキ	にぶい橙(5YR 6/3) 灰褐(5YR 5/2)	黒(N 2/)	〃	内面光沢あり、 風化著しい
525	〃	〃	〃		(9.7)		ミガキ、ナデ	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(7.5YR 6/4)	黒(N 2/)	〃	内面光沢あり
526	〃	〃	〃		(9.3)		ナデ 工具によるナデ	縦方向のミガキ	にぶい黄橙(10YR 7/2)	黒(N 2/)	〃	内面光沢あり、 風化ざみ
527	〃	〃	〃		(9.1)		ナデ	不定方向のミガキ	浅黄橙(7.5YR 8/3) 淡赤橙(2.5YR 7/4) 灰白(7.5YR 8/2)	黒褐(7.5YR 3/2)	〃	〃
528	〃	〃	〃		(10.1)		〃	縦方向のミガキ	灰黄(2.5Y 7/2)	灰黄(2.5Y 7/2)	〃	内面風化著しい
529	〃	〃	〃			7.9	〃	ミガキ	灰白(2.5Y 8/2)	黒(N 2/)	〃	内面光沢あり、 風化ざみ
530	〃	〃	〃			8.0	ナデ 底部横方向のナデ	ミガキ?	灰白(5Y 7/1)	暗灰(N 3/)	〃	〃
531	〃	〃	〃			6.2	ナデ	ミガキ	灰白(2.5Y 8/2)	暗灰(N 3/)	〃	〃
532	〃	〃	〃				〃	ミガキ?	にぶい黄橙(10YR 7/2)	黒(N 2/)	〃	内面風化著しい
533	〃	鉢	〃	(23.7)	(7.8)	12.2	ミガキ、ナデ	不定方向のミガキ	灰白(5Y 8/1) 黒(2.5Y 2/1)	黒(N 1.5/)	〃	内面光沢あり
534	〃	〃	〃	(21.0)			〃	ミガキ	灰白(10YR 8/1)	黒(N 1.5/)	〃	〃
535	〃	鉢?	〃		(7.0)		〃	不定方向のミガキ	灰白(5YR 8/2) 淡橙(5YR 8/3)	黒(N 2/)	〃	上底 内面光沢あり
536	土師質	鉢	〃	(14.7)		11.6	ナデ	布目圧痕	赤褐(10R 4/4) 橙(5YR 6/8)	赤褐(10R 4/4) 橙(5YR 6/6)	1.5mm以下の乳白色・茶色砂粒、石英を少し含む。	〃
537	〃	〃	〃	(12.5)		11.4	ナデ、指頭圧痕	〃	橙(7.5YR 7/6)	橙(5YR 7/6)	2.5mm以下の褐色・茶色砂粒を含む。	スス付着?
538	〃	〃	〃	(10.8)		10.55	〃	〃	浅黄橙(10YR 8/3) 褐灰(10YR 6/1)	にぶい黄橙(10YR 7/3)	7mm以下の浅黄色・褐色・赤褐色砂粒、石英を含む。	〃
539	〃	〃	〃	(17.4)			〃	〃	にぶい褐(7.5YR 5/4) 橙(2.5YR 6/6)	にぶい褐(7.5YR 5/4)	2.5mm以下の褐色砂粒を含む。	〃
540	〃	〃	〃	(13.7)			〃	〃	にぶい橙(5YR 6/4) にぶい褐(7.5YR 6/3)	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい橙(7.5YR 7/4)	8mm以下の褐色・赤褐色・茶色砂粒を含む。	スス付着?

第26表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト番号	種別	器種	出土地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
541	土師質	鉢	流路状遺構	(12.3)			ナデ	布目圧痕	赤灰(2.5YR 6/1) 橙(2.5YR 6/6)	橙(2.5YR 6/6) にぶい橙(2.5YR 6/3)	5mm以下の赤褐色砂粒を少し含む。	二次焼成による変色
542	〃	〃	〃	(16.3)			ナデ 指頭圧痕	〃	橙(2.5YR 6/6) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 7/4)	5mm以下の灰白色・褐色・橙色砂粒を含む。	
543	〃	〃	〃	(13.5)			〃	〃	にぶい赤橙(10R 6/4) にぶい橙(5YR 7/4)	橙(2.5YR 7/6)	11mm以下の明赤褐色砂粒、0.5mm以下の石英を含む。	スス附着?
544	〃	〃	〃	(12.5)			ナデ	〃	にぶい橙(2.5YR 6/4) にぶい橙(5YR 6/3)	にぶい橙(5YR 6/4)	10mm以下の赤褐色砂粒を含む。	〃
545	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい黄橙(10YR 7/2)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	0.5mm以下の褐色・茶色砂粒を少し含む。	
546	〃	〃	〃	(13.5)			ナデ 指頭圧痕	〃	灰白(7.5YR 8/2) 淡橙(5YR 8/4)	淡赤橙(2.5YR 7/4)	8.5mm以下の橙色砂粒、0.5mm以下の石英を含む。	
547	〃	〃	〃	(11.5)			〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4) にぶい黄橙(10YR 7/3, 6/3)	橙(5YR 6/6) にぶい橙(7.5YR 6/4)	10mm以下の白色・灰色・褐色・赤褐色・黒色砂粒、石英を含む。	スス附着?
548	〃	〃	〃	(15.0)			〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4)	にぶい橙(5YR 6/4)	7mm以下の灰色・褐色・茶色・黒く細かな光る砂粒、石英を含む。	
549	〃	〃	〃	(15.0)			〃	〃	淡赤橙(2.5Y 7/4) 浅黄橙(7.5YR 8/6)	淡赤橙(2.5Y 7/4) 浅黄橙(7.5YR 8/6)	9mm以下の赤褐色砂粒を多く含む。	
550	〃	〃	〃	(13.0)			〃	〃	灰白(2.5Y 8/1) 黄灰(2.5Y 6/1)	にぶい橙(7.5YR 7/3) 褐灰(7.5YR 6/1)	8mm以下の褐灰色・赤褐色砂粒を含む。	スス附着?
551	〃	〃	〃	(12.1)			〃	〃	にぶい橙(5YR 7/3)	にぶい橙(5YR 7/3)	7mm以下の褐色砂粒を多く含み、3mm以下の灰色砂粒を少し含む。	〃
552	〃	〃	〃	(12.6)			〃	〃	淡橙(5YR 8/4) 橙(2.5YR 7/6)	橙(5YR 7/8) 橙(2.5YR 7/6)	10mm以下の褐色砂粒を多く含む。	〃
553	〃	〃	〃	(14.1)			〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4)	橙(5YR 6/6)	8mm以下の褐色・茶色砂粒を含む。	〃
554	〃	〃	〃	(13.6)			〃	布目圧痕 (きめが細かい)	にぶい橙(7.5YR 6/4)	橙(5YR 6/6)	7mm以下の灰白色・褐色砂粒を少し含む。	
555	〃	〃	〃	(13.4)			〃	布目圧痕	浅黄橙(7.5YR 8/4) にぶい橙(5YR 7/3)	橙(5YR 7/6)	12mm以下の橙色砂粒、0.5mm以下の石英を含む。	スス附着?
556	〃	〃	〃	(13.4)			〃	〃	にぶい橙(2.5YR 6/3)	にぶい橙(2.5YR 6/4)	6mm以下の褐灰色・赤褐色砂粒を多く含む。	〃
557	〃	〃	〃	(13.0)			〃	〃	灰白(10YR 7/1)	浅黄橙(7.5YR 8/3)	5mm以下の浅黄色・浅橙色砂粒、2mm以下の石英を含む。	〃
558	〃	〃	〃	(12.9)			〃	〃	淡赤橙(2.5YR 7/4)	橙(5YR 6/6)	11mm以下の赤褐色・橙色砂粒を含む。	〃
559	〃	〃	〃	(15.0)			ナデ	〃	赤褐(10R 5/3) にぶい橙(5YR 6/3)	にぶい赤橙(10R 6/3)	10mm以下の橙色砂粒を含む。	二次焼成による変色 スス附着?
560	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	橙(7.5YR 7/6)	8mm以下のにぶい橙色・褐色砂粒を含む。	
561	〃	〃	〃				〃	〃	橙(5YR 7/6) 灰黄褐(10YR 6/2)	褐灰(10YR 5/1) 橙(5YR 6/6)	6mm以下のにぶい褐色・褐色・黒色砂粒を含む。	二次焼成による変色
562	〃	〃	〃	(11.2)			ナデ 指頭圧痕	〃	灰褐(7.5YR 6/2) 褐灰(7.5YR 5/1)	にぶい橙(7.5YR 6/4) 灰黄褐(10YR 5/2)	5mm以下のにぶい褐色砂粒を含む。	スス附着?
563	〃	〃	〃	(14.7)			〃	〃	橙(2.5YR 6/6) にぶい橙(7.5YR 7/4)	橙(2.5YR 6/8)	10mm以下の褐色・橙色砂粒を含む。	
564	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4)	橙(7.5YR 6/6)	12mm以下の白色・灰色・褐色・茶色砂粒を含む。	
565	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(2.5YR 6/4) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(5YR 7/4) にぶい赤橙(10R 6/4)	12mm以下の褐色・茶色砂粒を含む。	
566	〃	〃	〃				ナデ	〃	にぶい橙(5YR 6/3)	にぶい橙(5YR 6/4)	8mm以下の灰褐色・褐色・赤褐色砂粒、1.5mm以下の石英を含む。	二次焼成による変色
567	〃	〃	〃	(13.6)			〃	〃	にぶい橙(2.5YR 6/4)	橙(5YR 7/6)	8mm以下の褐色砂粒を含む。	スス附着?
568	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7.5YR 6/4)	橙(7.5YR 6/6)	1mm以下のにぶい橙色砂粒を含む。	
569	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(5YR 6/3)	橙(2.5YR 6/6)	8mm以下の褐灰色砂粒を含む。	スス附着?
570	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい赤褐(5YR 5/4)	にぶい赤褐(5YR 5/4)	2mm以下の灰褐色・褐灰色砂粒を含む。	〃

第27表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト番号	種別	器種	出土地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
571	土師質	鉢	流路状遺構				ナデ	風化著しい	にぶい黄橙(10YR 7/3)	にぶい黄橙(10YR 6/3)	7mm以下の褐色砂粒を含む。	スス付着?
572	〃	〃	〃				〃	布目圧痕	明褐灰(7.5YR 7/2)	黄灰(2.5Y 6/1)	6mm以下の灰色砂粒を含む。	
573	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(7.5YR 7/4)	橙(5YR 7/6)	8mm以下の褐色・橙色砂粒を含む。	
574	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/3)	6mm以下のにぶい橙色砂粒、0.5mm以下の石英を含む。	
575	〃	〃	〃				〃	〃	淡赤橙(2.5YR 7/4)	橙(2.5YR 7/8)	4mm以下の灰色・暗赤色砂粒を含む。	
576	〃	〃	〃				〃	〃	にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい赤褐(2.5YR 5/4)	6mm以下の赤褐色・黒褐色砂粒、1mm以下の石英を含む。	
577	〃	〃	〃				〃	〃	橙(7.5YR 7/4) にぶい橙(5YR 7/4)	にぶい橙(7.5YR 7/4)	7mm以下の灰白色・褐色・黒色・黒く光る砂粒を含む。	
578	〃	〃	〃				〃	〃	褐灰(5YR 6/1) にぶい橙(5YR 7/4)	橙(2.5YR 6/6)	5.5mm以下の褐色・黒く光る砂粒を含む。	
579	須恵器	坏蓋	〃				回転ナデ ヘラ削り	回転ナデ	灰白(N 7/)	灰(N 6/)	1.5mm以下の白色・灰色砂粒を含む。	ヘラ記号
580	〃	〃	〃	13.4		3.8	〃	〃	灰(N 5/)	灰(N 5/)	2mm以下の白色砂粒を含む。	断面セピア色
581	〃	〃	〃	12.4		3.8	〃	回転ナデ 天井部ヨコナデ	灰(N 6/)	灰(N 6/)	6mm以下の灰白色砂粒を含む。	
582	〃	〃	〃	(12.6)		(4.5)	〃	〃	灰(N 5/)	灰(N 6/)	1mm以下の赤色砂粒を含む。	断面セピア色
583	〃	〃	〃	(11.8)			〃	回転ナデ	青灰(10BG 5/1)	青灰(5B 5/1)	1mm以下の黒色粒子を含む。	〃
584	〃	〃	〃				〃	〃	灰(N 5/)	灰(N 5/)	2mm以下の乳白色砂粒を含む。	ヘラ記号
585	〃	〃	〃				〃	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	1mm以下の茶色・黒く光る砂粒、0.5mm以下の石英を含む。	
586	〃	〃	〃				回転ナデ	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	2mm以下の灰白色砂粒を含む。	
587	〃	〃	〃				回転ナデ ヘラ削り	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	3mm以下の乳白色砂粒を含む。	
588	〃	〃	〃				〃	〃	灰(N 6/)	灰白(N 7/)	1.5mm以下の白色・灰色砂粒を含む。	
589	〃	〃	〃				回転ナデ	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	0.5mm以下の白色砂粒を含む。	
590	〃	坏身	〃	(11.5)		3.8	回転ナデ ヘラ削り	回転ナデ ヨコナデ	青灰(10BG 6/1)	青灰(10BG 5/1)	1mm以下の黒色粒子を含む。	
591	〃	〃	〃	(13.8)			〃	回転ナデ	灰白(N 8/)	灰白(N 8/)	2mm以下の灰色・黒色砂粒を含む。	軟質
592	〃	〃	〃	11.9		3.65	〃	回転ナデ ヨコナデ	灰(N 6/)	灰(N 5/)	1.5mm以下の白色・黒色砂粒を含む。	外面に自然釉、ヘラ記号
593	〃	〃	〃	(12.3)			〃	回転ナデ	灰(N 4/)	灰(N 5/)	2mm以下の乳白色・灰色砂粒、黒色粒子を含む。	〃
594	〃	〃	〃	(11.4)			〃	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	1mm以下の白色・黒色砂粒を含む。	
595	〃	〃	〃	(11.3)		3.4	〃	回転ナデ ヨコナデ	灰(N 5/)	灰(N 5/)	3mm以下の白色・黒色砂粒を含む。	
596	〃	〃	〃	(10.8)			〃	回転ナデ	灰(N 5/)	灰(N 4/)	3mm以下の白色・灰色・褐色砂粒を含む。	
597	〃	〃	〃	(11.6)			回転ナデ	〃	灰(N 7/)	灰(N 6/)	2mm以下の白色砂粒を含む。	
598	〃	〃	〃	(11.7)			回転ナデ ヘラ削り	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	2mm以下の白色・乳白色砂粒を含む。	
599	〃	〃	〃	(11.2)			回転ナデ	〃	青灰(10BG 6/1)	青灰(10BG 6/1)	3mm以下の白色砂粒を含む。	
600	〃	〃	〃	(11.2)			回転ナデ ヘラ削り	回転ナデ ヨコナデ	灰(N 5/)	灰(N 5/)	3mm以下の白色砂粒を含む。	

第28表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
601	須恵器	坏身	流路状 遺 構	(10.2)			回転ナデ	回転ナデ	灰(N 4/)	灰(N 5/)	1mm以下の乳白色砂粒を含む。	
602	〃	〃	〃	(9.9)			〃	〃	灰白(10YR 7/1)	褐灰(10YR 6/1)	2mm以下の白色・灰色・黒色砂粒を含む。	外面に自然釉
603	〃	〃	〃				回転ナデ ヘラ削り	〃	灰(N 6/)	灰(N 5/)	1mm以下の白色砂粒を含む。	
604	〃	〃	〃				回転ナデ	〃	灰(N 5/)	灰(N 5/)	1mm以下の白色砂粒を含む。	外面に自然釉
605	〃	〃	〃				〃	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	2.5mm以下の乳白色砂粒を含む。	
606	〃	〃	〃				〃	〃	灰(N 5/)	灰(N 5/)	2mm以下の灰色砂粒を含む。	断面セピア色
607	〃	坏蓋	〃	(17.5)			回転ナデ ヘラ削り	回転ナデ ヨコナデ	灰(5Y 7/1) 灰(N 5/1)	灰(5Y 7/1) 灰(N 5/1)	1mm以下の灰色・褐色・黒色砂粒、石英を含む。	つまみ欠損
608	〃	〃	〃	13.9		3.6	〃	〃	灰(5Y 5/1)	灰(7.5Y 6/1)	0.5mm以下の黄白色砂粒を少し含む。	
609	〃	〃	〃				〃	〃	灰(N 6/)	灰(N 5/)	1mm以下の黒色砂粒を含む。	断面セピア色
610	〃	〃	〃	13.9		2.65	回転ナデ ヘラ削り?	〃	灰(5Y 7/1) 灰(N 5/)	灰黄(2.5Y 6/2)	精 良	
611	〃	〃	〃				回転ナデ	ヨコナデ	灰(5Y 6/1) 灰(10Y 4/1)	黄灰(2.5Y 5/1)	3mm以下の灰色・褐色砂粒を含む。	体部欠損
612	〃	〃	〃				回転ナデ ヘラ削り	回転ナデ	灰(N 6/)	灰(N 6/)	2mm以下の乳白色砂粒を含む。	つまみ欠損
613	〃	〃	〃				回転ナデ	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	精 良	墨痕?
614	〃	〃	〃				〃	〃	灰白(2.5Y 7/1)	灰白(2.5Y 7/1)	〃	軟質
615	〃	坏身	〃	12.3	7.0	4.9	回転ナデ 底部ヘラ切り	〃	暗灰(N 3/)	暗灰(N 3/) 灰白(N 7/)	〃	〃
616	〃	〃	〃	13.9	6.5	4.55	回転ナデ 底部ヘラ切り後ナデ	回転ナデ ヨコナデ	灰(N 4/) 灰白(7.5Y 7/1)	灰(7.5Y 6/1)	〃	やや軟質 内底に白色物附着
617	〃	〃	〃				回転ナデ、ヘラ削り 底部ヘラ切り	〃	灰白(7.5Y 7/1)	灰白(7.5Y 7/1)	〃	
618	〃	碗	〃	17.4	9.1	7.8	ヨコナデ 底部ヘラ切り後ナデ	回転ナデ	黄灰(2.5Y 6/1)	黄灰(2.5Y 6/1)	黒褐色微細粒を含む。	
619	〃	〃	〃	16.8	8.9	7.95	回転ナデ 底部ヘラ切り後ナデ	回転ナデ ヨコナデ	橙(5YR 6/6) 褐灰(5YR 6/1)	橙(5YR 6/6) 褐灰(5YR 6/1)	2mm以下の白色砂粒を少し含む。	高台及び見込みに 黒色物附着
620	〃	〃	〃	16.8	9.2	5.7	回転ナデ 底部ヘラ切り	回転ナデ 不定方向のナデ	灰(N 6/)	灰(N 6/)	精 良	断面セピア色 内面に黒褐色物附着
621	〃	〃	〃	(14.4)	6.95	6.2	〃	回転ナデ	灰(N 4/1)	灰(N 4/1) 暗灰(N 3/1)	〃	やや軟質
622	〃	〃	〃	(13.9)	7.8	5.25	〃	回転ナデ ヨコナデ	灰(N 5/)	褐灰(10YR 4/1)	〃	〃
623	〃	〃	〃		7.8	5.3	〃	回転ナデ	暗灰(N 3/1)	暗灰(N 3/1) 灰(5Y 5/1)	〃	やや軟質 高台見込みに褐色物附着
624	〃	〃	〃		(8.0)		〃	〃	灰白(7.5Y 8/1) 灰(5Y 5/1)	灰(N 4/)	1.5mm以下の灰色・淡茶色・黒く光る砂粒を含む。	軟質
625	〃	〃	〃	(13.0)	(8.9)	4.45	〃	回転ナデ 不定方向のナデ	灰(N 5/) 浅黄(2.5Y 7/3)	灰黄(2.5Y 6/2)	1mm以下の黒色粒子を含む。	
626	〃	〃	〃	(11.7)			回転ナデ ヘラ削り	回転ナデ	黄灰(2.5Y 5/1)	灰(N 6/)	精 良	外面に自然釉 断面セピア色
627	〃	〃	〃	(10.3)			回転ナデ	〃	黄灰(2.5Y 6/1)	黄灰(2.5Y 6/1)	〃	
628	〃	〃	〃	(18.7)			〃	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	〃	
629	〃	〃	〃		(7.4)		〃	〃	黄灰(2.5Y 6/1)	黄灰(2.5Y 6/1)	〃	
630	〃	〃	〃				回転ナデ 底部ヘラ切り後 回転ナデ	回転ナデ ヨコナデ			0.5mm以下の乳白色砂粒を含む。	

第29表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
631	須恵器	壺	流路状 遺 構						灰白(N 7/)	灰白(N 8/)	1mm以下の赤褐色砂粒を含む。	軟質、風化著しい
632	〃	〃	〃		(7.1)		回転ナデ	回転ナデ	灰白(5Y 8/1)	灰白(5Y 8/1)	0.5mm以下の石英を少し含む。	体部欠損
633	〃	高杯	〃				〃	回転ナデ ヨコナデ	灰白(N 7/) 灰(N 6/)	灰白(N 7/) 灰(N 6/)	1mm以下の灰色砂粒を少し含む。	透し成形時の痕跡 有り
634	〃	〃	〃		(10.8)		〃	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	精 良	やや軟質 脚部に三方透し
635	〃	〃	〃				〃	〃	灰白(7.5Y 8/)	灰白(7.5Y 8/)	3mm以下の灰色砂粒を含む。	やや軟質
636	〃	〃	〃				〃	〃	灰(7.5Y 6/1)	灰(7.5Y 6/1)	2mm以下の灰白色砂粒を含む。	
637	〃	〃	〃				〃	回転ナデ	灰(N 5/)	灰(N 5/)	精 良	
638	〃	短頸壺	〃	(7.65)	(4.8)	8.2	回転ナデ ヘラ削り	回転ナデ ヨコナデ	褐灰(10YR 6/1) 灰(N 6/)	灰(N 6/) 灰(N 5/)	6mm以下の白色・灰色・淡茶色砂粒 を含む。	
639	〃	〃	〃				回転ナデ	回転ナデ	灰(N 5/)	灰(N 6/)	0.5mm以下の灰白色・灰色砂粒を含 む。	
640	〃	〃	〃				〃	〃	灰白(N 7/)	灰(N 6/)	2mm以下の灰白色・灰色砂粒を含む。	外面に自然釉
641	〃	提瓶	〃				カキメ	〃	明青灰(5B 7/1)	明青灰(5B 7/1)	4mm以下の乳白色砂粒を少し含む。	断面セピア色
642	〃	〃	〃				〃	〃	青灰(5B 6/1)	灰白(N 8/)	2mm以下の乳白色・赤褐色砂粒を含 む。	〃
643	〃	壺?	〃					回転ナデ ヨコナデ	灰白(N 7/)	灰白(5Y 7/1)	精 良	やや軟質
644	〃	提瓶	〃				回転ナデ	回転ナデ	灰(10Y 6/)	灰(10Y 6/)	4mm以下の白色砂粒を含む。	外面に自然釉 内面に褐色物附着
645	〃	〃	〃				〃	〃	灰(N 4/)	灰白(N 7/) 灰白(N 6/)	1.5mm以下の乳白色砂粒を含む。	外面に褐色物附着
646	〃	〃	〃				カキメ	〃	灰白(N 7/)	灰白(N 7/)	精 良	内外面に褐色物附着
647	〃	俵壺	〃				平行タタキ	同心円当具痕 指頭圧痕	灰(N 5/)	灰(5Y 5/1)	2mm以下の黒色砂粒を含む。	内外面に黒色、 褐色物附着
648	〃	壺	〃	(8.9)			回転ナデ	回転ナデ	灰白(N 7/) 灰(N 5/)	灰(N 5/)	精 良	外面に自然釉 内面に褐色物附着
649	〃	〃	〃	(9.8)			〃	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	1mm以下の白色砂粒を含む。	
650	〃	〃	〃	(10.8)			〃	〃	灰(N 6/)	灰(N 6/)	1mm以下の白色砂粒を含む。	
651	〃	〃	〃	(9.1)			〃	〃	灰白(N 8/)	オリーブ灰(2.5GY 6/1)	1mm以下の黒色粒子を含む。	内面に自然釉
652	〃	壺?	〃				〃	〃	灰(N 5/)	灰(N 5/)	0.5mm以下の灰白色・黒色砂粒を含 む。	内外面に自然釉
653	〃	壺	〃				〃	回転ナデ ナデ	灰(N 6/) 灰(N 5/)	灰(N 5/)	1mm以下の灰白色・黒色砂粒を含む。	内外面に褐色物附着
654	〃	〃	〃				〃	回転ナデ	暗紫灰(5R 3/1)	オリーブ灰(5GY 6/1)	精 良	外面に自然釉
655	〃	〃	〃				〃	〃	灰白(N 7/1)	灰白(N 7/1)	1mm以下の黒色粒子を含む。	内外面に自然釉
656	〃	〃	〃				〃	〃	暗オリーブ灰(5GY 4/1)	オリーブ灰(5GY 6/1)	精 良	内外面に自然釉 断面セピア色
657	〃	〃	〃				〃	〃	灰白(N 7/)	灰白(N 7/)	1mm以下の白色砂粒を含む。	
658	〃	〃	〃				〃	〃	灰(N 6/)	灰(N 5/)	3mm以下の白色・褐色砂粒を含む。	外面に自然釉
659	〃	〃	〃		(9.6)		〃	〃	灰(N 5/)	灰(N 6/)	1mm以下の白色・黒色砂粒を少し含 む。	外面に自然釉 内外面に褐色物附着
660	〃	〃	〃				タタキ後 回転ナデ?	〃	オリーブ黒(7.5Y 3/2)	灰(N 6/)	3mm以下の乳白色砂粒を少し含む。	外面に自然釉

第30表 II区出土土器遺物観察表

レイアウト 番号	種別	器種	出土 地点	法 量 (cm)			調 整		色 調		胎 土	備 考
				口径	底径	器高	外 面	内 面	外 面	内 面		
661	須恵器	壺	流路状 遺構		(12.2)		回転ナデ	回転ナデ	灰白(7.5Y 7/1) オリブ黒(10Y 3/1)	灰白(N 7/)	2mm以下の黒色粒子を含む。	外面に自然釉 (青紫色)
662	〃	〃	〃		(12.2)		回転ナデ 底部ヘラ切り	〃	灰(N 5/)	灰(N 5/)	3mm以下の白色砂粒を含む。	
663	〃	〃	〃		(10.6)		回転ナデ 底部回転ナデ	〃	灰(N 4/)	灰(N 5/)	1mm以下の白色砂粒を少し含む。	
664	〃	〃	〃		(13.8)		回転ナデ	〃	灰白(7.5Y 7/1) 灰(N 6/)	灰(N 5/)	精 良	外面に自然釉
665	〃	〃	〃		(10.0)		格子目タタキ 回転ナデ 底部ヘラ切り後ナデ	〃	灰白(7.5Y 7/1) 灰(N 5/)	灰白(7.5Y 7/1)	1mm以下の黒色粒子を少し含む。	
666	〃	〃	〃		12.4		平行タタキ 回転ナデ 幅の広いカキメ	回転ナデ、蓋いナデ 布状の当具痕 指頭圧痕	灰(5Y 6/1)	灰(5Y 6/1)	2mm以下の黒色砂粒を少し含む。	
667	〃	〃	〃				格子目タタキ 回転ナデ	回転ナデ ナデ	灰白(7.5Y 7/1) 灰(10Y 6/1)	灰白(7.5Y 7/1)	3mm以下の黒色砂粒、微細な石英を含む。	外面に自然釉
668	〃	〃	〃		(9.9)		回転ナデ 底部糸切り	回転ナデ	灰白(N 7/)	灰白(N 7/)	精 良	
669	〃	甕	〃	16.8			平行タタキ ヨコナデ	同心円当具痕 縦方向の当具痕	灰(N 5/、4/) 赤灰(5R 5/1)	灰(N 5/、4/)	〃	内外面に褐色物付着
670	〃	〃	〃	(18.0)			〃	同心円当具痕 ヨコナデ	灰(N 4/)	灰白(N 8/) 灰(N 4/)	1.5mm以下の白色・灰白色砂粒を含む。	外面及び口縁部内 面に自然釉
671	〃	〃	〃	(19.3)			ヨコナデ	ヨコナデ	灰(N 5/)	灰(N 5/)	1.5mm以下の黒色砂粒を少し含む。	
672	〃	〃	〃				〃	〃	灰(N 6/)	灰白(N 7/)	1mm以下の白色・淡茶色砂粒を含む。	外面に自然釉 断面セピア色
673	〃	〃	〃				平行タタキ後 カキメ	同心円当具痕後 ナデ	灰(7.5Y 6/1)	灰(7.5Y 6/1)	1.5mm以下の黒灰色砂粒を含む。	やや軟質
674	〃	〃	〃				〃	同心円当具痕後 工具ナデ	褐灰(10YR 6/1)	灰黄褐(10YR 6/2)	1mm以下の褐色砂粒を含む。	〃
675	〃	〃	〃				平行タタキ ヨコナデ	同心円当具痕 ヨコナデ	灰白(N 7/)	灰(N 4/)	5mm以下の灰白色砂粒を少し含む。	内外面に自然釉 断面セピア色
676	〃	〃	〃	(17.4)			格子目タタキ ヨコナデ	放射状当具痕 ヨコナデ	灰(N 5/) 灰(N 6/)	灰(N 6/)	1.5mm以下の黒色砂粒を含む。	内外面に褐色物付着
677	〃	〃	〃				格子目タタキ	放射状当具痕、ナデ 下半部は平行タタキ 状当具痕	灰(N 4/)	灰(N 5/)	2mm以下の黒色砂粒を含む。	㊦と同一個体
678	〃	〃	〃				平行タタキ ヨコナデ	同心円当具痕 ヨコナデ	灰(N 5/)	灰(N 5/)	3mm以下の白色・褐色砂粒を含む。	外面に褐色物付着
679	〃	〃	〃				平行タタキ後ハケ状 工具によるナデ	工具による 荒いナデ	にぶい橙(5YR 6/4) 褐灰(10YR 6/1)	灰褐(7.5YR 5/2)	1mm以下の赤褐色砂粒を少し含む。	外面に黒色物付着 赤焼け
680	〃	〃	〃				平行タタキ	同心円当具痕 下半部はハケ状工具 による荒いナデ	にぶい赤褐(2.5YR 5/4)	にぶい赤褐(2.5YR 4/3)	7mm以下の灰色砂粒を含む。	赤焼け
681	〃	〃	〃				格子目タタキ 後ナデ	同心円当具痕後 ハケ状工具による 荒いナデ	暗灰(N 3/) 灰(7.5Y 6/1) 灰(7.5Y 5/1)	灰(7.5Y 5/1)	精 良	
682	〃	〃	〃				〃	同心円当具痕後 ナデ	灰(N 5/)	灰(N 6/)	2mm以下の灰白色砂粒を含む。	
683	〃	〃	〃		15.1		回転ナデ ナデ ヘラ削り	回転ナデ 指頭圧痕	灰白(5Y 8/) 灰(5Y 4/)	灰(5Y 5/)	精 良	内外面に黒褐色物(漆 か)付着、底部見込みに 墨痕、穿孔有り
684	〃	坏身	〃	(11.5)	(8.6)	4.1	回転ナデ 底部ヘラ切り後 回転ナデ	回転ナデ ヨコナデ	灰(N 6/)	灰(N 6/)	〃	内面に墨痕 底部見込みに転用靨
685	〃	〃	〃	13.55	6.9	4.2	回転ナデ 底部ヘラ切り	回転ナデ	灰白(7.5Y 8/1) 灰白(7.5Y 7/1)	灰白(7.5Y 8/1)	〃	墨書 やや軟質
686	〃	〃	〃	13.6	6.5	4.5	〃	〃	灰白(2.5Y 7/1) 灰(5Y 5/1)	灰白(2.5Y 7/1)	1mm以下の黒色砂粒を含む。	墨書 やや軟質
687	〃	〃	〃	(13.8)	6.65	4.4	〃	〃	灰黄(2.5Y 6/2) 暗灰(N 3/)	灰黄(2.5Y 6/2) 暗灰(N 3/)	1mm以下の黒色砂粒を含む。	墨書、やや軟質 内底に白色物付着
688	〃	壺	〃	14.3	6.9	5.0	〃	〃	灰(7.5Y 5/1)	灰(N 5/)	精 良	外面に墨書 底部見込みに墨痕 非常に歪つ
689	縁輪陶器	〃	〃	(16.6)			施釉	施釉	暗オリブ灰(2.5GY 4/1) 灰(N 5/)	暗オリブ灰(2.5GY 4/1) オリブ灰(2.5GY 6/1)	灰白色精良	
690	青磁	〃	〃	(5.7)			施釉	施釉 見込みに施文あり	灰オリブ(7.5Y 6/2)	灰オリブ(7.5Y 6/2)	素地灰色	

第31表 II区出土土器遺物観察表

第4章 まとめ

余り田遺跡ではⅠ区は墓地として捉えられるが、Ⅱ区は複雑な様相を呈し遺跡の性格を判断することは非常に困難である。最後に今回の調査で得られた資料をもとに、いくつかの注目される点についてまとめてみたい。

1 五輪塔群について

Ⅰ区では空風輪・層輪が調査区外のものを含めて62個体分と最も多く存在した。板碑は調査区外のものを含めて11基分存在した。このことから、当五輪塔群は最低でも五輪塔62基、石塔1基、板碑11基で構成されていたことが考えられる。ここでは、今回の調査で得られた様々な資料から当五輪塔群の年代について考えてみたい。

まず、紀年銘によって年代が明らかなものは、82の水輪に墨書された「文禄参□」(1594年)、54の石塔の塔身正面の仏像レリーフの縁に墨書された「永禄五年」(1562年)、35の板碑裏面に墨書された「永正十年」(1513年)がある。また、76の板碑正面の墨書は残存する文字断片から「天正」(1573~1591年)の可能性が高い。以上の4点にみられる紀年銘には1513年から1594年の幅がみられるため、当地は少なくとも16世紀代には墓地として機能していたことが伺われる。

紀年名以外から年代を考えることは困難であるが、宮崎学園都市遺跡群のひとつである山内石塔群では法量比の利用によって年代の考察を行っている。その結果、水輪においてはある程度の成果をあげているものの、当五輪塔群の主体をなす時期である16世紀代についてはあまり良好な成果をみていない。したがって、当五輪塔群についても各部材の法量比から年代を考えることは困難であると思われる。

以上の点から当五輪塔群の造営は遅くとも16世紀代には始まっていたとみられる。ただし、Ⅰ区において出土した古銭の鋳造年代や最も古い紀年名をもつ35の板碑正面の碑文を考慮すれば、16世紀以前から墓地として成立していた可能性も十分考えられる。

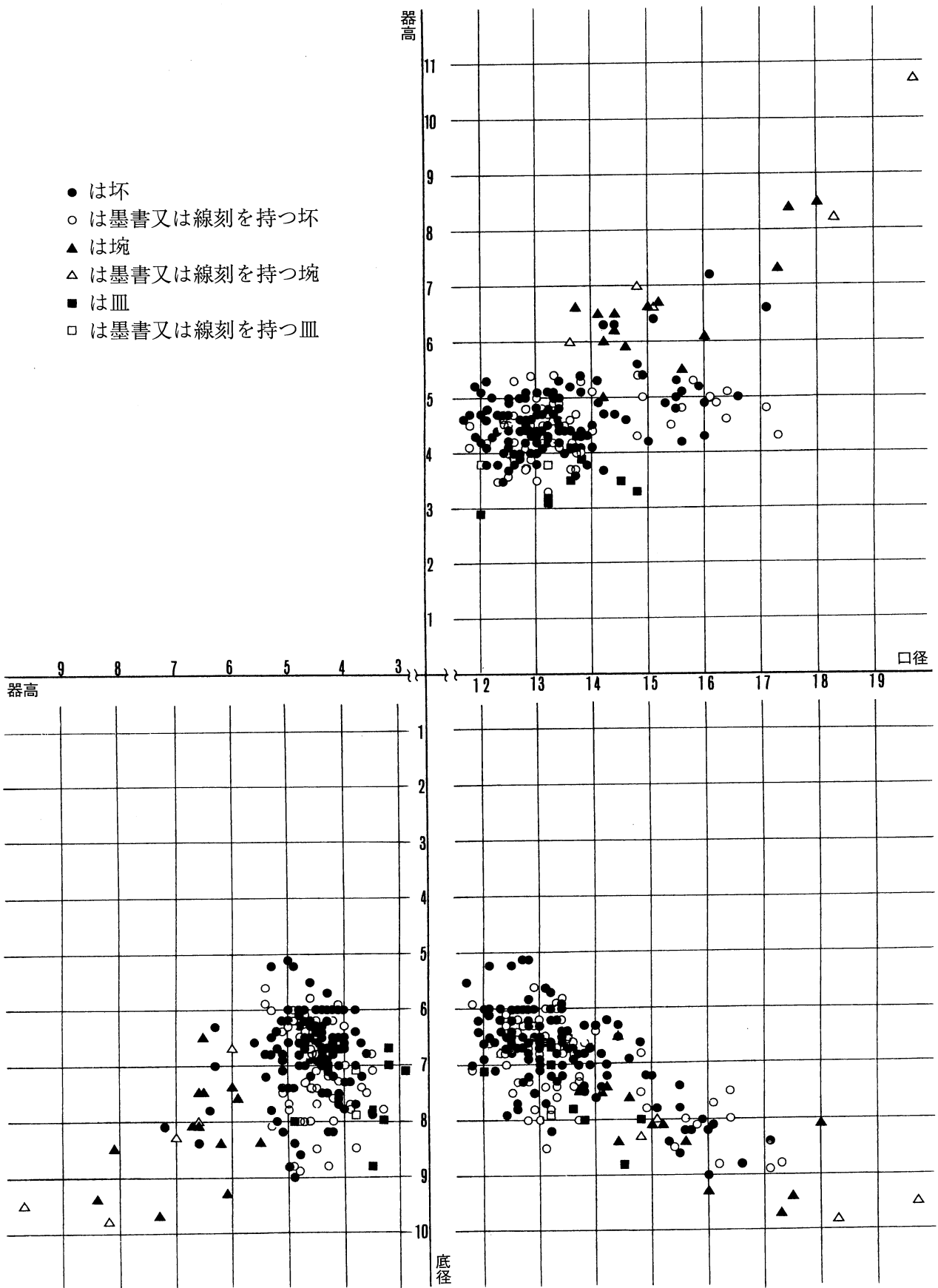
2 Ⅱ区出土土器について

Ⅱ区出土土器は殆どが流路状遺構からの出土である。時期的には弥生時代から古代までの広い時期幅がみられるが、その大半は古代の土器であった。余り田遺跡が所在する宮崎平野部では、近年宮崎学園都市遺跡群をはじめとして古代の遺跡の調査例が増加している。しかし、他地域と比較すると未だ少なく、古代の土器研究も岡元氏の宮崎学園都市遺跡群の土器編年以来停滞している。ここでは第3章において行った分類をもとに、供膳形態を中心として古代の土器の年代について考えてみたい。

土師質土器・土師器

坏

第54図は土師質土器の坏・椀・皿の法量分布図である。この分布図をみると口径12~14cm、器高3.5~5.5cm、底径6~8cmに坏の法量集中がみられる。坏Ⅰ~Ⅲ類はこの分布域にすべて含まれており、多少の法量差はあるものの同一時期のバリエーションもしくは器高が低下していく過程を示していると思われる。また、Ⅳ~Ⅵ類はそれぞれⅠ~Ⅲ類と形態が類似しており、ひとまわり大きな規格の一群と



第54図 土師質土器（坏・碗・皿）法量分布図

して捉えられる。Ⅷ類は底部と体部の境に回転ヘラケズリ痕跡がみられ、やや古い整形技法を残しているが、底部が薄い円盤状になる点でⅨ類との関係が伺われる。またⅩ類～ⅩⅡ類は後続する時期に定型化する円盤高台の前段階の底部形態と考えられる。これらの坏はⅠ～Ⅵ類が出土量全体の9割程を占め、その他のものにも形態や製作技法に大きな差は認められないことから時期的に大きな差は感じられない。その時期については底部と体部の境に回転ヘラケズリがほとんどみられない（上からナデている）点、定型化した円盤高台が含まれていない点などから9世紀後半でもやや古いものと考えられる。

埴

埴は出土点数が坏に比べて少なく、形態には様々なものがみられるため判断し難いが、全体的に高台のつくりがしっかりとしている点や共伴する須恵器の埴と形態が類似するものがみられる点から、坏と同様の時期のものと思われる。

皿

皿は高台の有無で大きく2つに別れる。高台をもつものは高岡町の蕨野遺跡において類例が多くみられ、共伴する坏の形態などから9世紀後半の年代が与えられている。本遺跡出土のものは体部の器高が全体的に蕨野遺跡例よりも若干高いように見受けられるが、ほぼ同時期のものとみられる。

その他煮炊具については甕が「く」の字状に屈曲した口縁部をもち外面調整がヨコナデ、ハケメ、内面調整がヘラケズリのものが大部分を占めることなどから供膳具と同様の年代で矛盾はないとおもわれる。

須恵器

須恵器の供膳具には皿はみられず、坏・埴も土師質土器と比較すると圧倒的に少ない。このような須恵器供膳具の減少傾向は9世紀以降にみられるものであり、土器自体の形態も佐土原町下村窯跡群出土のものと類似していることから、9世紀後半頃のものと考えられる。壺や甕についても下村窯跡群出土のものと形態が類似しており、やはり同様の時期とみられる。

以上のように土師器・土師質土器、須恵器について供膳具を中心としてみてきたが、ほとんどが既ね9世紀後半頃のものとして判断された。ただし、この時期については最近南九州の中でも様々な説があり、北部九州の年代観との誤差が指摘されているため、今後この誤差の修正を含めて注意を要する。

3 墨書土器について

これまで県内で出土した墨書土器は1遺跡で多くても数点というのが通例であったが、本遺跡においては150点ほどが一度に出土している。これは出土した遺構および遺跡の性格を考えるうえで注意が必要である。以下今回出土した墨書土器についていくつかの点についてまとめてみたい。

まず、墨書・墨痕の形態としては大きく文字・記号・墨痕・転用硯またはパレットの4種にわかれる。文字がみられたものは91点で墨書土器全体の約62%を占める。これらには1文字、2文字、3文字を記したものがみられるが、複数文字が記されているものは少ない。また、「日万」・「波太」?のように2文字が1文字のように記されたものもあるが、これはその表記の状況から1文字として捉えるべきではないかと思われる。1文字（2文字が1文字のように記されたものを含む）のものは「寺」を除いて所有などのような実用的意味が伺われるものは少なく、複数文字が記されているものは371の「隅舎」、372の「伊益奉」などのようにその意味が比較的明瞭である。全体的には文字が実用的な意味合いを持

つと考えられるものは非常に少ない。記号がみられたものは32点で墨書土器全体の約22%を占める。記号の全体形がわかるものは少ないが、「○」と線・点の組み合わせもしくは「+」のように線だけの組み合わせがほとんどである。前者は文字の「日万」、後者は文字の「寺」と形態的に類似していることから何等かの関係が想起される。痕跡がみられるものは19点で墨書土器全体の約13%を占める、これらについては単なる墨痕や筆慣らし状のもの、墨を器面に塗ったようなものなど様々なものがみられる。転用硯・パレットとみられるものは6点で墨書土器全体の約4%を占める。この中でもパレット的用途に用いられたとみられるものはこれらの土器が投棄された場所のごく近くで墨が使用された可能性を示すものとして注意される。

次に墨書が施されている土器の種別として墨書土器総数146点中土師質土器が139点で95%、須恵器が6点で4%、黒色土器?が1点と圧倒的に土師質土器が多い。また、この土師質土器の中で器種を特定できるもの118点のうち坏が105点で約89%、碗が9点で約8%、皿が4点で約3%と坏が大部分を占める。この坏の中ではⅠ～Ⅲ類、Ⅷ類に墨書土器が多く、Ⅲ類・Ⅷ類はその墨書のほとんどが文字である。

墨書部位では体部外面が81点(正位33点、倒位46点、横位2点)、体部内面が6点、底部外面が51点、2カ所に墨書がみられるものが2点である。

墨書・土器形式・墨書部位の関係を最も多くの同一墨書「日万」をもつ土器についてみると、土器形式が同一のものは墨書部位が共通していることに気付く。また、この土器形式と墨書部位が共通するものは書体も非常に類似している点は非常に興味深い。これは、墨書を施した人物の共通性や墨書が施された時期の同時性を示しているのではないだろうか。

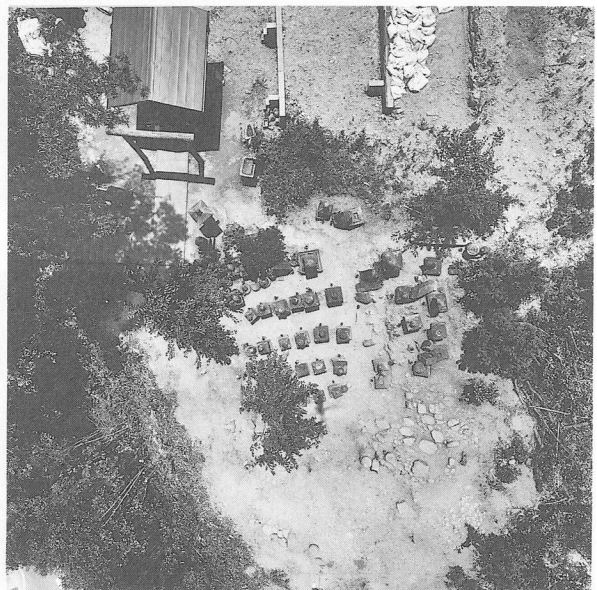
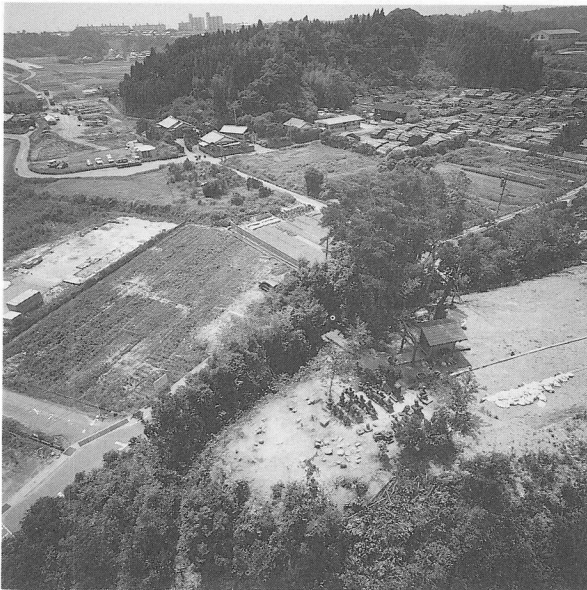
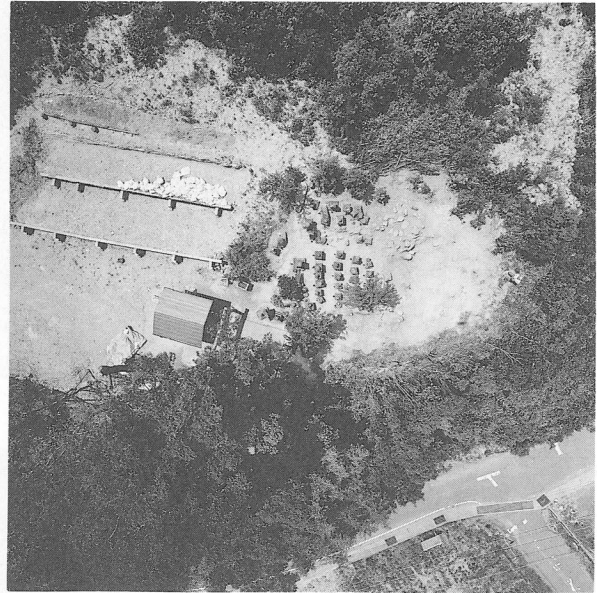
4 流路状遺構について

繰り返しになるが、Ⅱ区において検出された流路状遺構ではその最下層から多くの遺物が出土した。この遺物の中には墨書土器や、桃核、獣骨といった祭祀を伺わせるものが含まれていた。しかし、斎串や人面墨書土器、土馬などの祭祀を決定付ける遺物がないこと、墨書が施されていない日常雑器も大量に出土していることからこの遺構が祭場として利用されていた可能性は低いと思われる、したがって現状では「ゴミ捨て場」的な用途に使用された場所と考えるが、遺構の全容が不明なため、可能性の指摘にとめる。またこの遺構がいかに利用されていたと、周辺に墨書土器を使用した祭祀を行う集団が存在していたことは確かであり、その集落の位置など今後注意を要する。

以上4つの点について簡単にまとめたが、諸般の事情により検討できなかった点が多い。今後、それらの問題については資料の増加をまってあらためて検討したい。

なお、調査時から整理段階に至るまで多くの方に御指導・御協力を頂いた。文末ながら記して謝意を表す。

石川悦雄 柄本久子 岡元武憲 柴田博子 島田正浩 菅付和樹 高島英之 谷口武範
鶴嶋俊彦 中野和浩 永山修一 松浦由美 東憲章 富士本智子 北郷泰道 柳田晴子
山本信男 和山浩彰 (敬称略・五十音順)



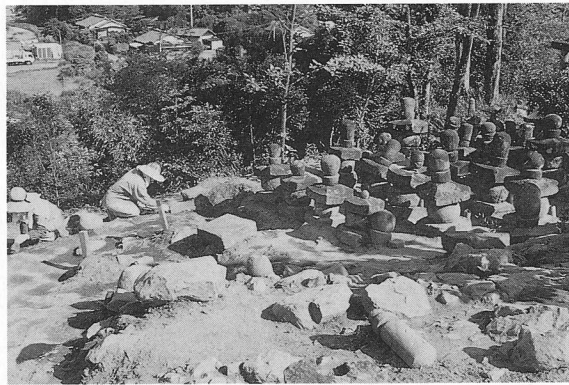
左上 北側上空から
左中 西側上空から
左下 北東側から
右上 上空から(写真上が南)
右中 上空から(写真上が東)



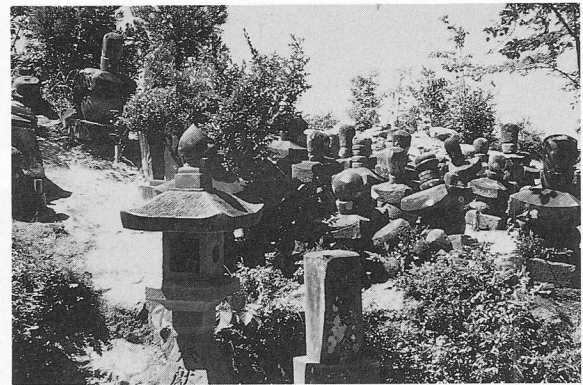
I区五輪塔検出状況(下段群・北から)



I区五輪塔検出状況(北から)



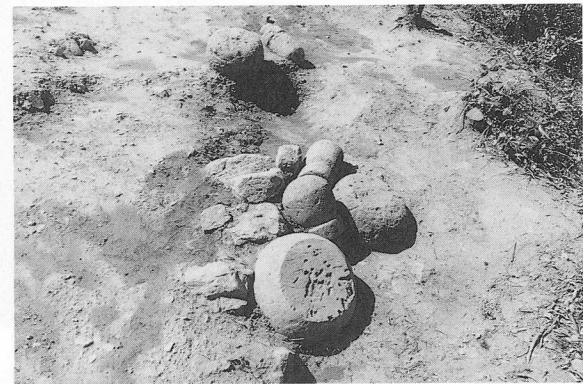
I区五輪塔検出作業風景(西から)



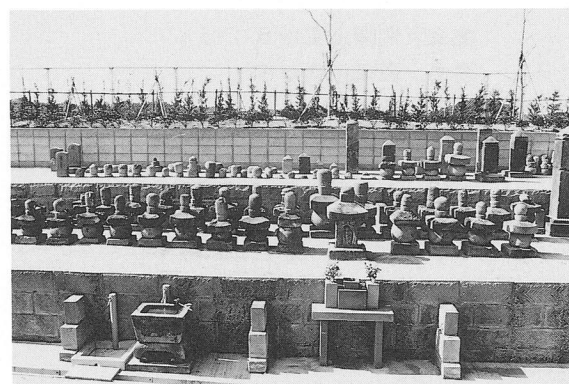
I区五輪塔(南から)



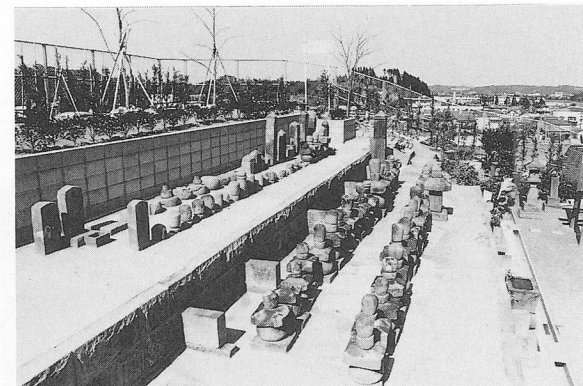
I区五輪塔検出状況(上段群・北から)



I区五輪塔検出状況(1~6)

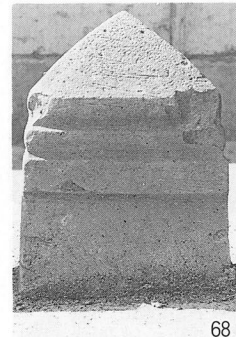
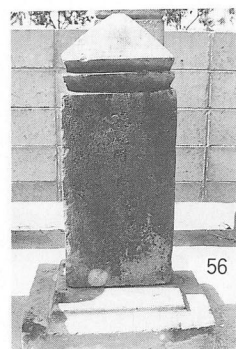
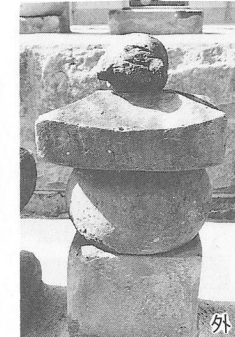
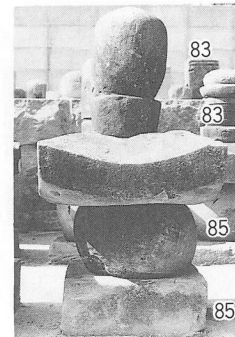
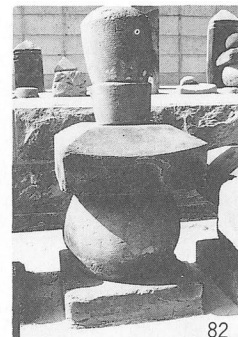
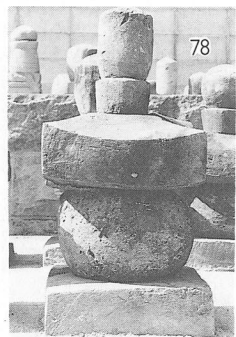
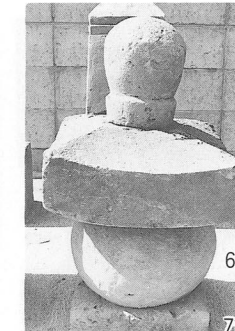
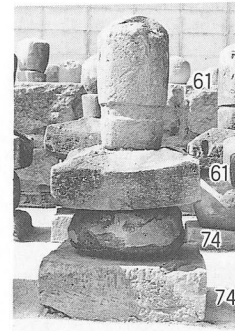
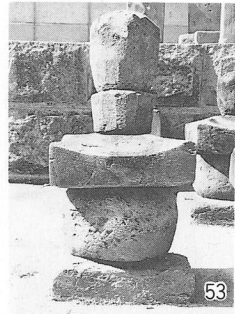
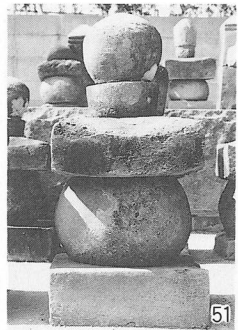
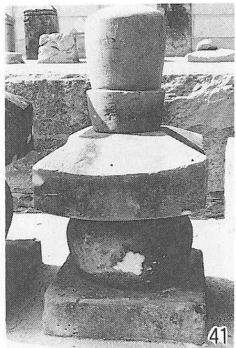


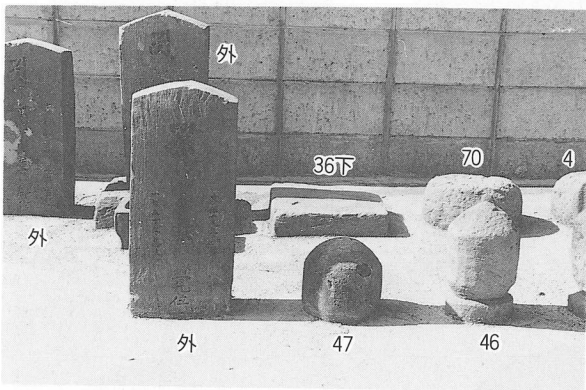
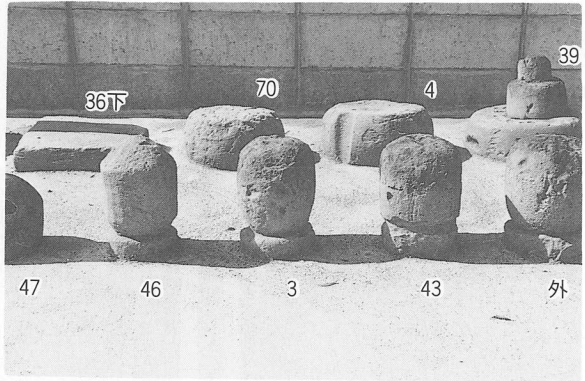
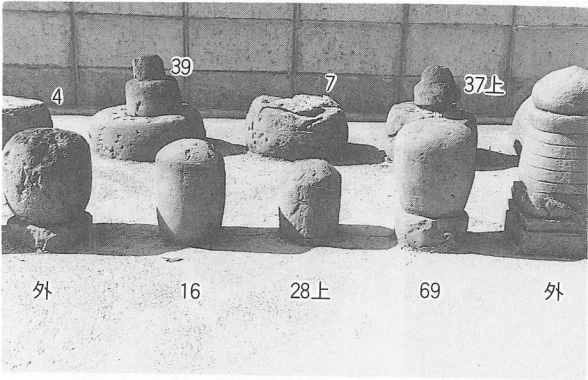
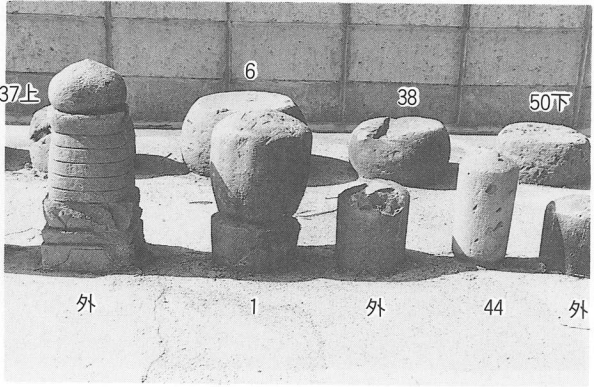
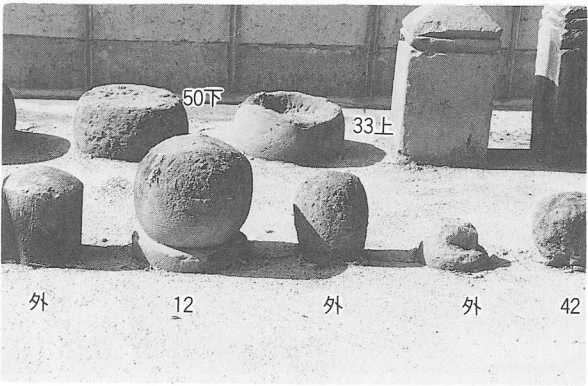
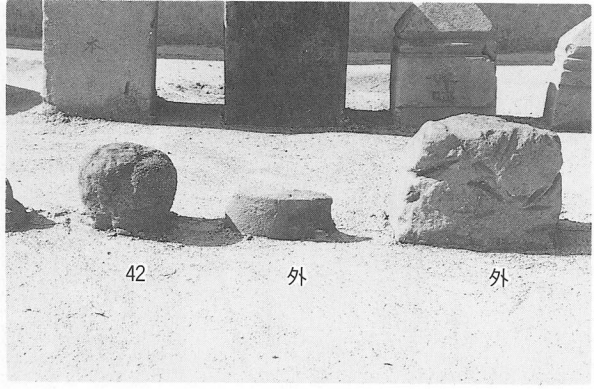
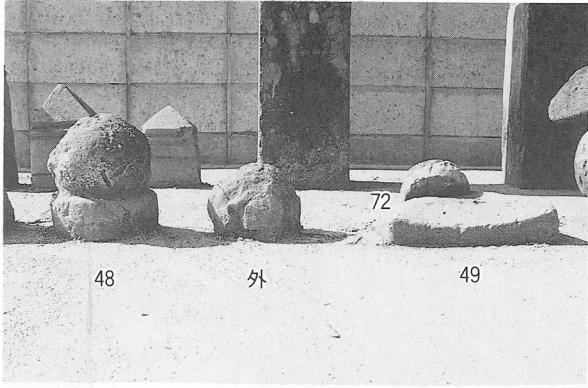
I区五輪塔移設後の状況(東から)

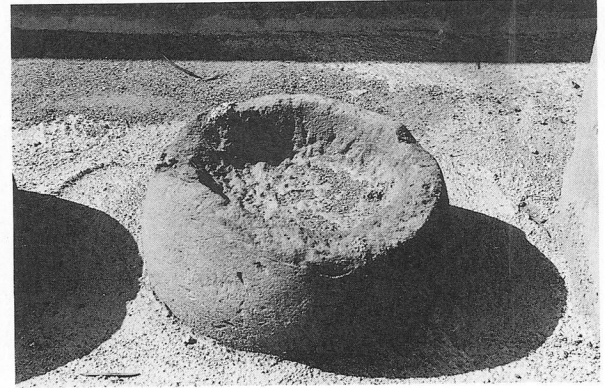
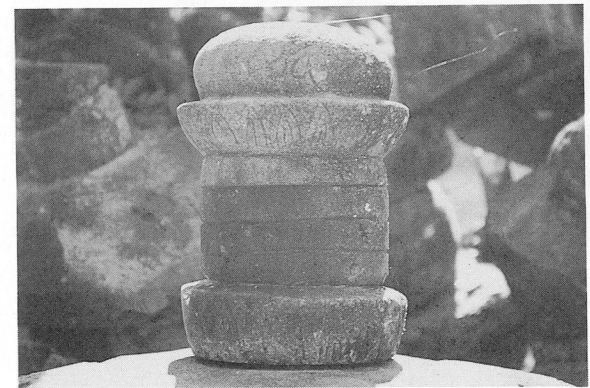
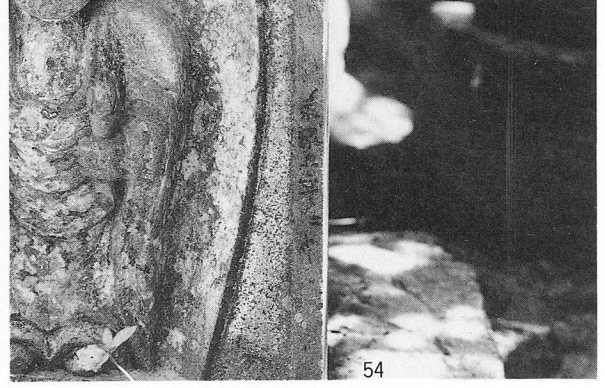


同左(南から)

図版 4

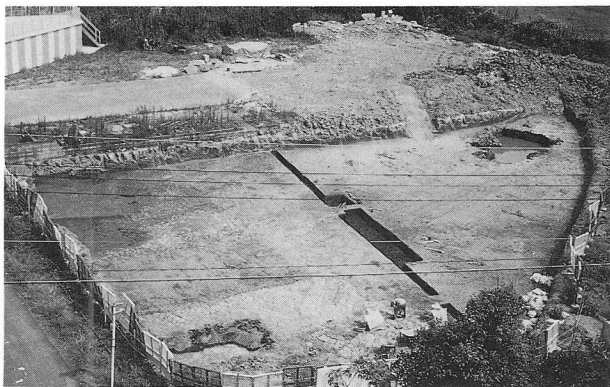






40

33上



Ⅱ区流路状遺構検出状況(西から)



Ⅱ区流路状遺構掘り下げ状況(西から)



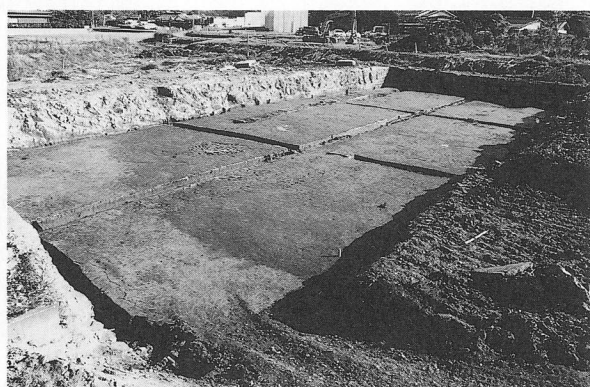
Ⅱ区流路状遺構(南から)



同左中央部土層断面図



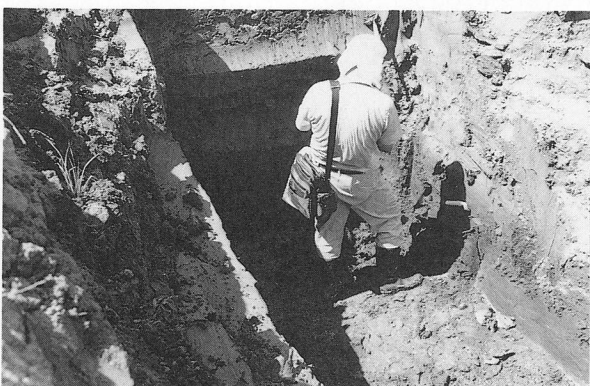
牛下顎骨検出状況



Ⅱ区東側水田面?検出状況(北西から)

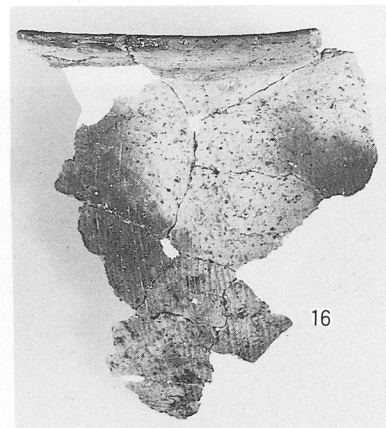
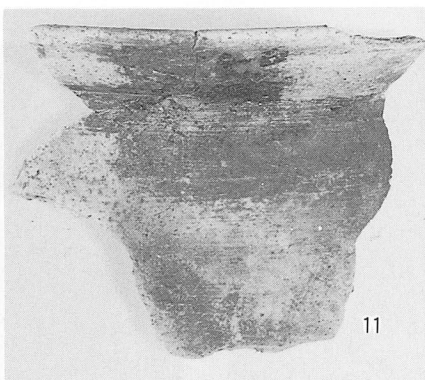
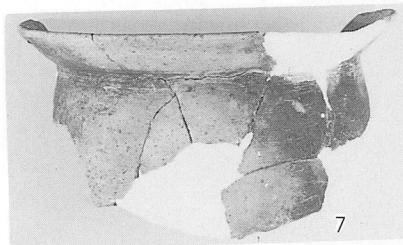
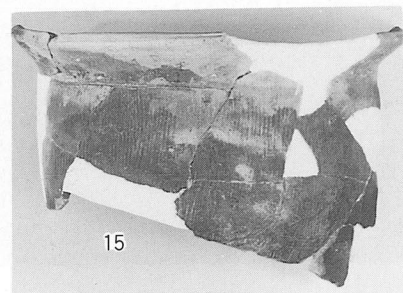
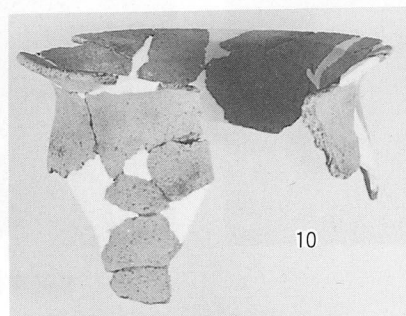
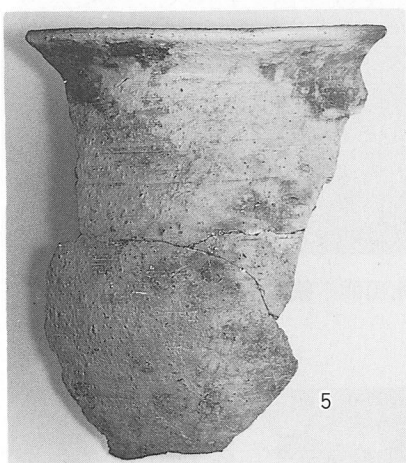
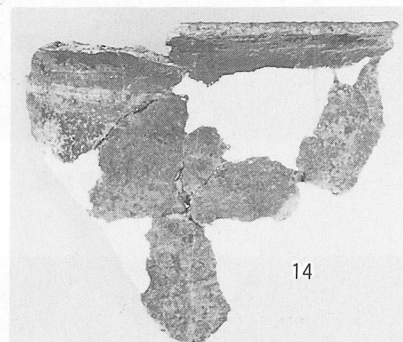
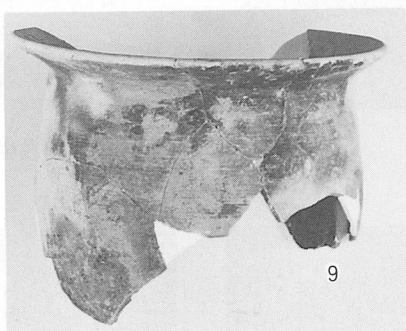
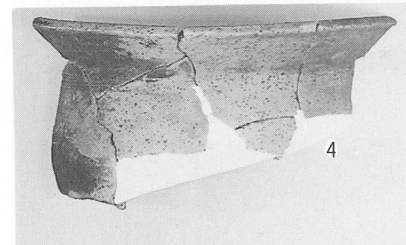
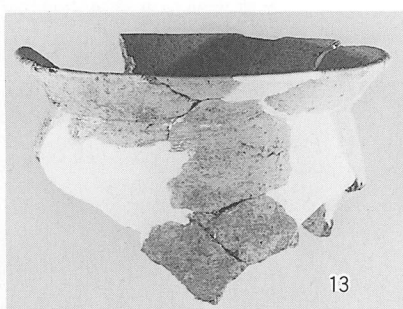
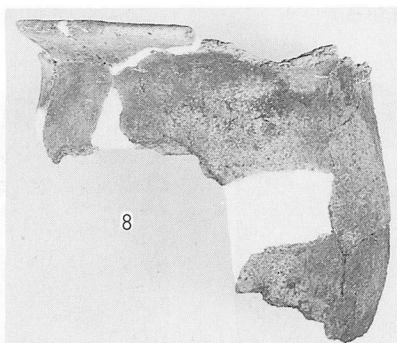
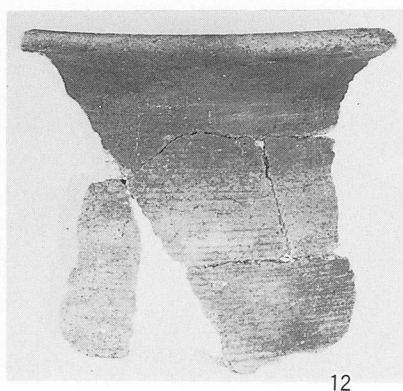
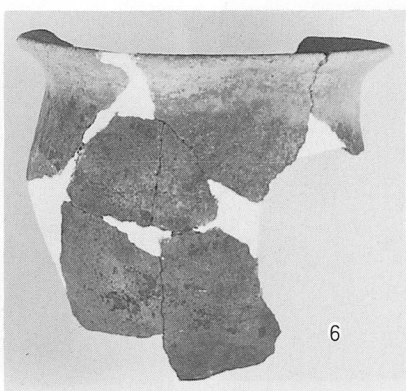
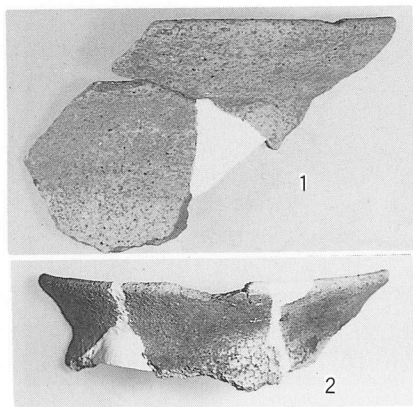


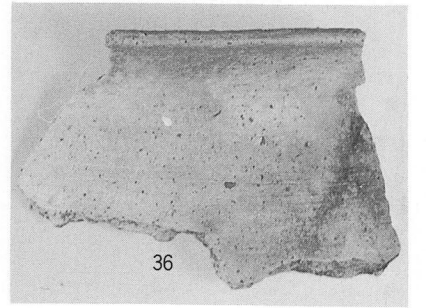
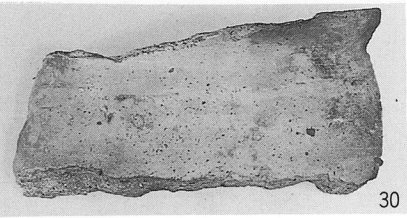
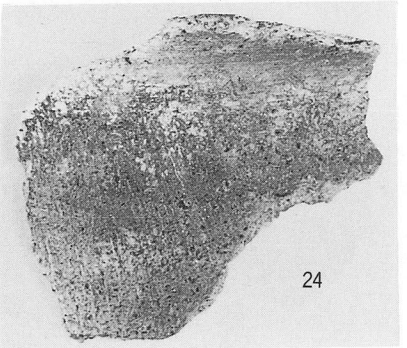
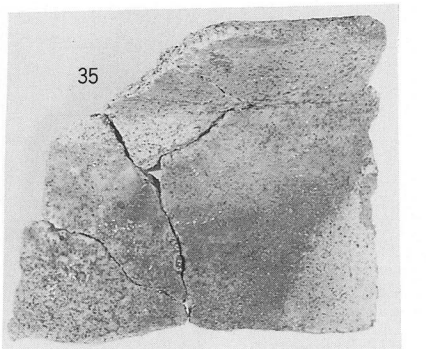
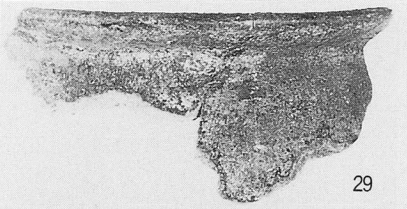
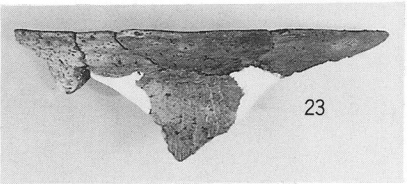
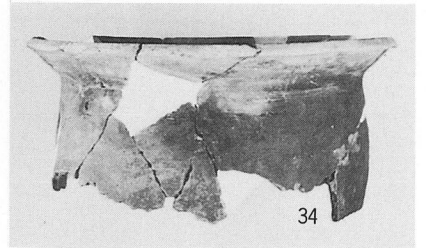
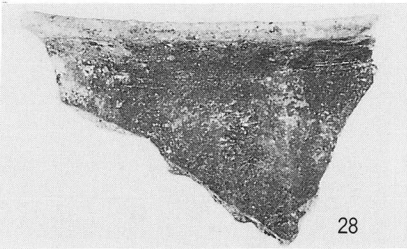
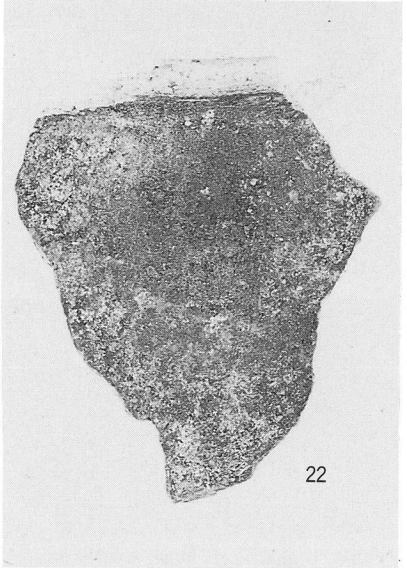
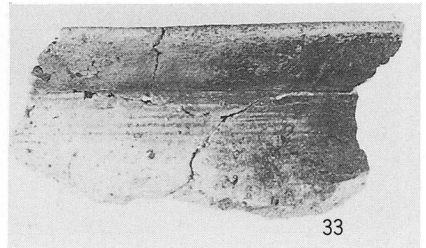
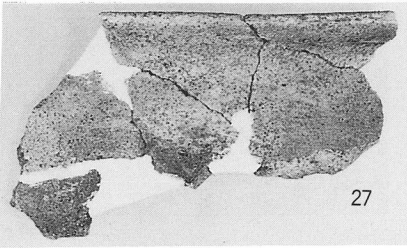
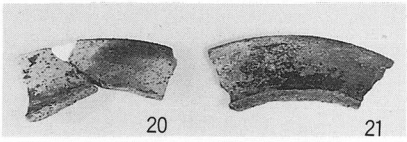
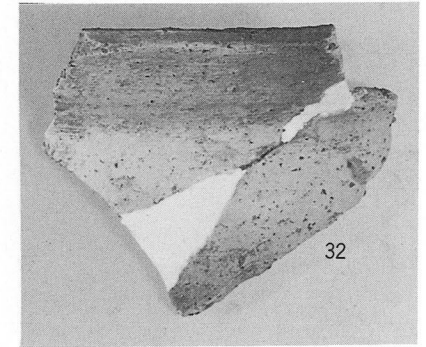
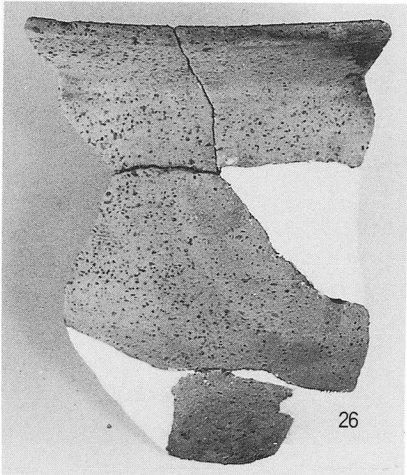
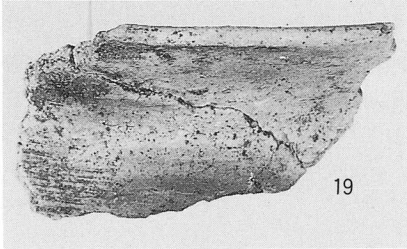
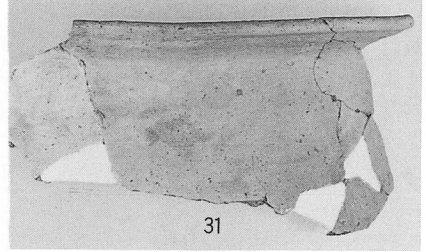
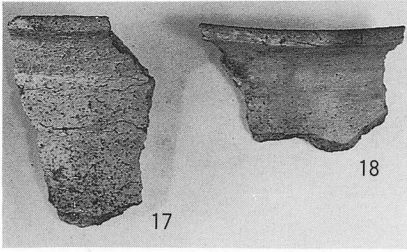
Ⅱ区掘り下げ作業風景

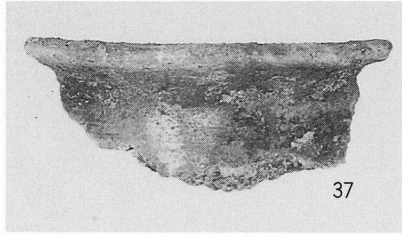


Ⅱ区自然科学分析サンプリング状況

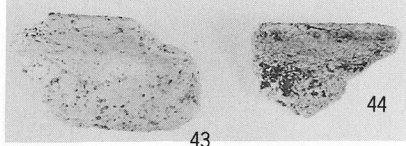
图版 8





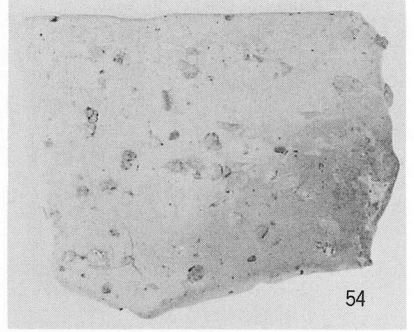


37

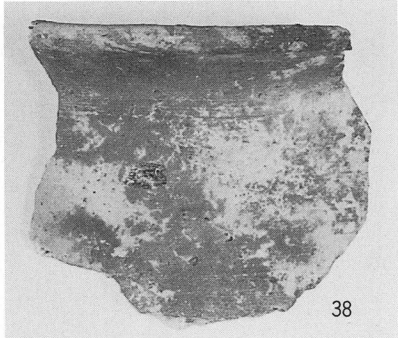


43

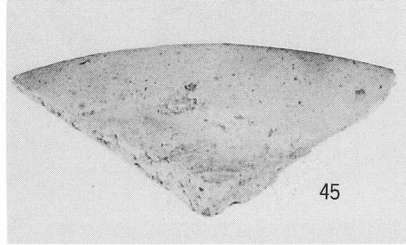
44



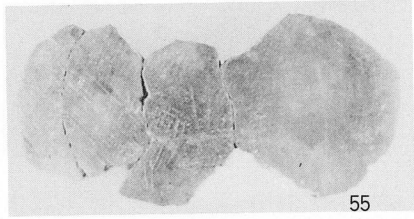
54



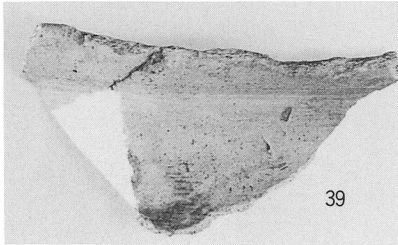
38



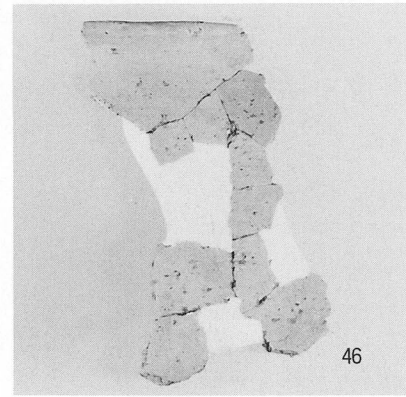
45



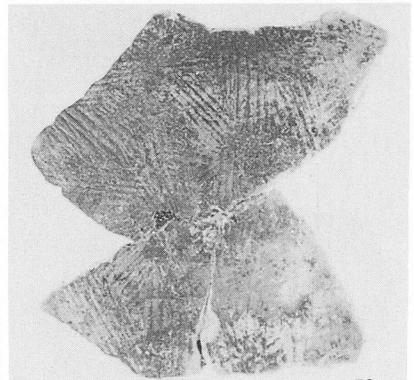
55



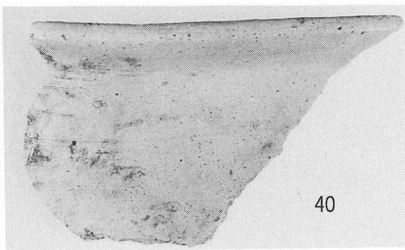
39



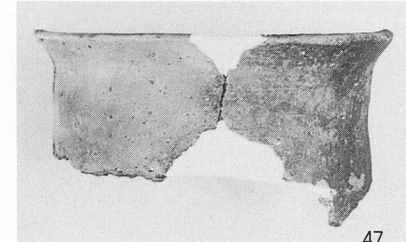
46



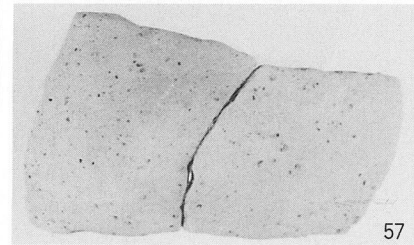
56



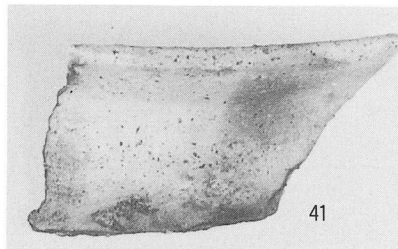
40



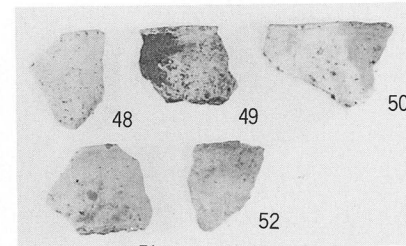
47



57



41



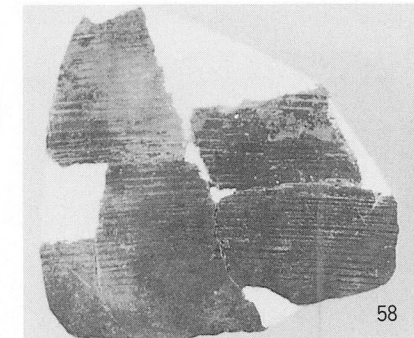
48

49

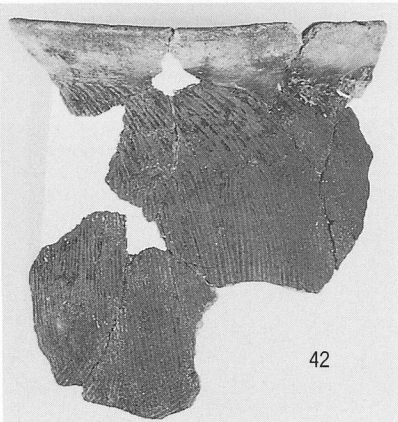
50

51

52



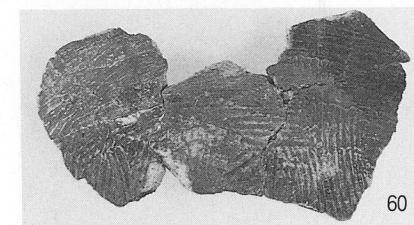
58



42



53



60